臺灣時報

十月號

SOUTH MANCHURIA RAILWAY CO. LIMITED
NOV 1926
目錄記入濟

新高山

臺灣時報發行所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況並に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す。（發行規定第一條）

臺灣時報發行所役員

評議員長　後藤文夫

評議員　（以下イロハ順）

石坂荘作　今井周三郎　井村大吉　伊藤兼吉　岩本多助　西川利藤太　醫學博士 堀内次雄　富地近思　陳鴻鳴　陳中和　林熊徵　林獻堂　林烈堂　林鶴壽　李延禧　大竹勝一郎　農學博士 大島金太郎　大越大藏　大賀基作

太田吾一　渡邊金造　川崎軍治　簡朗山　片山三郎　吉岡荒造　楊吉臣　醫學博士 高木友枝　田村武七　田村藤四郎　田賀奈良吉　高山仰　瀧田傳吉　武田英一　津田毅一　津久井誠一郎　鼓包美　要木栗造　永田隼之輔

宇賀四郎　草鹿砥祐吉　醫學博士 倉岡彥助　久米孝藏　松岡富雄　牧山清砂　松本晃吉　藤野幹　古木章光　小松吉久　吳昌才　辜顯榮　古賀三千人　黃欣　吳汝祥　黃春帆　後藤和佐二　枝德二　江口良三郎　鄭神寶　赤石定藏　赤司初太郎　後宮信太郎　阿部滂　荒卷鐵之助　相原祐彌　淺田知定

近江時五郎　坂本素魯哉　佐々木紀綱　櫟瀨軍之佐　皿谷廣次　蔡蓮舫　坂本森一　齋藤透　佐藤得太郎　木村久太郎　木村泰治　許廷光　北村吉之助　喜多孝治　木下信　三好德三郎　三浦碌郎　生野團六　白勢黎吉　徐杰夫　遠藤所六　平山寅次郎　森廣藏　本山文平　鈴木重臣　諏訪禮次郎

編纂委員

猪股松之助　今川淵　生駒高常　服部武彥

林田軍五郎　原口竹次郎　富田松彥　大澤清高

常務員

大竹勇　和田一次　和田博　鎌田正威　横光吉規　田端幸三郎　中瀨拙夫　中田榮次郎　中田秀造　内田隆

深川繁治　古山榮三郎　青木敬一　淺野安吉　佐藤續　水越幸一　城間垣人

編輯係

秦滿　鷹取田一郎　泉芳德　葉山石雲　栗山新造

眞倉民治　安藤泰夫　鈴木重男　伊藤憐之助

大正十五年十月十三日印刷
大正十五年十月十五日發行（毎月一回十五日發行）
（定價一部郵稅共金三十五錢
廣告料一頁金二十圓）

發行所　臺灣總督府内　臺灣時報發行所
振替貯金口座臺灣二〇七〇番
電話總督府内第八九九番

臺北市東門町一五八番地
編輯兼發行人　伊藤憐之助

臺北市本町一丁目十九番地
印刷者　中村誠道

臺北市榮町一丁目二十七、二十八番地
印刷所　松浦屋印刷部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三井物産株式會社
臺北
臺南支店

出張所、出張員
厦門　福州
基隆　高雄
臺中

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報大正十五年十月號 目次

口繪 ▼南洋貿易會議 ▼中等學校對抗リレーレース

□時　言□

臺南高等商業學校開校式に於ける後藤長官の訓示……一

貿易の振興は刻下の急務……幣原外相……三

道德觀念の再建……春山作樹……六

南洋貿易會議……一五

時報……一六

上山總督上京　來期産糖豫想　蓬萊種原種田　早速藏相逝去と內閣改造　南洋貿易會議終了　貿易會議と其成果　國際經濟會議召集　暴力行爲取締法實施　糖稅改正如何　文敎局官制樞府通過　臺南高商開校式　日本ホテル協會總會　臺灣銀行利子引下

□寄　書□

圖書の力と圖書館に就て……今井貫一……二一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

信託事業に就て　□講　演□……加藤小太郎……三六
乃木將軍の陣中を偲ぶ　□說　苑□……曾根田謙治……四二
娯樂と其の歸趨　□調査研究□……小林一三……五二
佛領印度支那法制調査……板倉貞男……五七
熱帶性有用樹種の造林に就て臺灣の使命を論ず……矢田貝寛……六九
支那關稅會議と棉織業の前途……小林一馬譯……八四
島情……一〇四
臺灣金融統計……財務局金融課……一〇四
臺灣貿易統計……總督府稅關……一一七
文苑　詩壇、俳壇……一三三
臺灣日誌　人事消息　任命……一三六
□□□□□□□□□□□□□□□□
支那及南洋情報……總督官房調査課……一―六〇
支那及南洋其他海外重要記事索引……同上……一―八

B170
32
M33
E124
D47
A115

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大阪市高麗橋

株式會社三十四銀行

資本金五千萬圓

各地支店（東京、京橋（東京）、京都、神戸、兵庫、尼崎、尼崎東、西宮、姫路、廣島、德島、阿波池田、奈良、伊丹、傳法、臺南、高雄、（大阪市內）南天滿、雜喉場、堀江、日本橋、九條、朝日橋

本行之特色（銀行一般の業務の外擔保附社債信託法に依り信託事業を兼營す
事業資金部を置き工業資金の供給を爲す
外國爲替は香港上海銀行の代理店として最も便宜に取扱を爲す

臺北支店　臺北市本町二丁目
（電話三四、五六、二一九五）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

南洋貿易會議

（大正十五年九月、衆議院内にて）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺北市中等學校對抗リレーレース

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大正十五年十月號

臺南高等商業學校開校式に於ける後藤總務長官の訓示

爰に本日を以て臺南高等商業學校開校の典を擧ぐるに當り親しく其の席に列するは予の深く欣幸とする所なり

本校は本島の實情と其の地理的及人文的環境とに鑑み最も緊切の必要あるものとして其の設立を見るに至りたるものなり臺南は本島最古の都市にして往昔南支南洋に對する交易通商の要衝たり今本校の位置を此の土に卜したる亦必らず偶然に非ず

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

將來本校より輩出すべき人材は克く本校教養の目的を體して邦家の進運に貢獻するの一大責務を有するものと信ず

希くば本校職員生徒は勿論地方の人士共に均しく思を玆に致し內外心を一にして醇良なる校風の振起と校運の繁昌を圖り黽勉努力本校の特色を發揮して能く其の設立の趣旨に副はむことを

（大正十五年九月二十七日）

貿易の振興は刻下の急務

貿易の會議に於ける幣原外相の演説

——本會議の開催は純然たる通商關係の改善にあり　其間何等政治的動機を加味せず　國際通商の發展は當事者の奮勵努力に俟つ　政府は之に必要なる保護を加ふ——

我國の對外通商關係は世界戰爭中顯著なる發展をしたのでありますが、戰後の反動によつて一頓挫を來たし、加ふるに大正十二年の關東大震火災は我經濟界に深甚なる打擊を與へ、一方に於て突然生產力の破壞せられたると共に、他方に於て多量の復興材料は外國より供給を俟たざるを得ない場合に立至り、之がため我國は年々巨額の輸入超過を見ること丶なつたのであります。幸に官民一致の努力により貿易の逆潮は漸く減退の傾向を呈することになりましたけれども、今尙決して心を安んずるに足るべき情態ではないと考へます。

こ丶に於て外國貿易の振興竝に我國人の海外に於ける投資企業の奬勵は刻下の急務として、現に我々の眼前に展開せられてゐる問題であります。この目的のため具體的の方法を攻究討議することが本會議の主眼であります。卽ち本會議の開催は純然たる通商關係改善の見地から出たものであつて、固よりその間何等政治的の動機を加味して居るものではありませぬ。申すまでもなく國際通商は彼我有無相通ずるの途であります。我國を利すると共に他國をも等しく利することがその本質であつて、また我々の目的でなければなりま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

せぬ。全然利已的の欲望に基くところの通商上の活動は、恰も會社が妄に利益配當率を多くせんがために資本金まで食込むと同樣、極めて無謀であつて結局は自滅に終らざるを得ませぬ。

元來帝國の外交政策は、列國との共存共榮主義を基調とするものであります。帝國の永遠にわたる眞の利益を保護せんが爲には、この方針を離れて他に進路を求められませぬ。我が對外通商も亦同一の軌道によつて進むことが最も有效、且確實の政策であると信じます。次に申述べたいことは、元來國際通商の發展は主として當業者諸君の奮勵と努力に待つべきものであつて、政府が實質的に立つて之に參與すべき性質のものでありませぬ。政府が自ら通商の當事者となるが如きは、國家の專賣局事業等極めて特殊の場合を除くの外は力めて避けねばなりませぬ。政府としては當業者の正當適法なる計畫、活動に對し自由なる機會を與へ、必要なる保護を加ふることが主要なる任務でなければなりませぬ。

我對外貿易の現狀改善に付ては、この際關係の方面から十分御注意を伺つた上で、前述の方針を基調としたる政府の施設に必要且有益なる資料を得たいのであります。從つて本會議に於て別に決議といふが如き形式のものを作らぬことに定めました。また會議に於て審議すべき事項は、移民問題を包含して居りませぬ。固より移民問題は通商問題とも互に關係あることは明瞭でありますけれども、本會議に於て之を論議することは適當と認められませぬ。從つて全然これを議題より省くことに致しました。

唯萬一の誤解を避けんがために一言付加へたいことは、移民問題に關する大體の方針は、私が從來屢々公私の機會に於て申述べた通りであつて、常に移民を送りだす國と、受入れる國との双方の利益を考慮に加ふることが肝要であります。我移民の歡迎せられざる地方に對して移住を奬勵するが如きは、總ての見地より不得策であると信じます。既に明治四十年米國との間には所謂紳士協約成立するに至つたのも畢竟同一の趣

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

旨に出でたものであつて、今日はその紳士協約は消滅に歸して居りますけれども、外國の特殊の國情を無視して、妄に移住を奬勵するが如き處置は努めて避けるといふ根本方針に至つては何等の變更がありませぬ。

外務省が從來通商發展問題を講究せんがため、隨時各地に於て關係地方の在外公館長を會合せしめたことがありまして、現に南洋方面に於ても前後三囘既に同樣の會合を行ひましたが、その際に於て外務省以外の諸官廳が代表せられたことがなかつたのであります。固より通商問題は之等諸官廳の主管事務とも關聯するものでありますから、內地の關係各官廳と在外公館との間には十分の了解を保ち、相互に步調を一にして共通の目的に努力することが必要であります。從つて今囘は會議參加者の範圍を擴張し、廣く內地の關係各官廳と共同して此會合を催すことゝなつた次第であります。これと同時に此の機會に於て南洋貿易に關係せらるゝ民間當業者竝に公私の團體よりも篤と實情または希望を承ることが有益であると考へまして、之等當業者及び團體の代表者諸君をも此處に招請することゝ致しました。尤も我國通商上重要なる地方は南洋及び印度方面に限つた譯ではありませぬが、我國と地理上接近して居り且世界經濟上に於ても重要なる地位を占むる割合に、比較的我國が從來注意することの少かつた南洋及び印度方面に關して先づ研究を遂げたいといふ趣旨であります。

次に今囘の會議には出席者數も相等多數であるのみならず、審議すべき事項は多種多樣であると信じますから、自然この參加者全體が常に一堂に會して審議することは、腹藏なき意見交換の目的を達するに不適當であつて、或は一種の討論會の觀を呈する樣になりはしないかと恐れるのであります。依つて企業投資、輸入輸出・通信運輸・調査情報・金融及び法規の七箇の部會を設け出席者を各部會に配屬し、討議は各部會にて行ふことゝ致したいのであります。そして席上各種の御意見の要旨を摘錄して置き他日の參考としたいと思ひます。

――大正十五年九月十三日、衆議院內に於ける外務省主催の貿易會議にて――

道德觀念の再建

文學博士　春山作樹

今夕、此臺北市の市民講座に於て貴下方に御話致します機會を與へられましたことは、私に取りまして光榮と存じます。私の出して置きました題は道德觀念の再建と申すのであります。

一體道德と云ふものは吾々の日常生活の上のキマリでありまして、それが吾々自身と致して自分達の生活を完全にする爲めに必要なるものであり、同時に社會全體の人が共同の生活を致しますのにお互に守つて行かなければならぬものなのであると云ふことは申すまでもありませぬ。一體人間と云ふものは自分一人りで孤立して生活することの出來ないやうになつて居ります以上、自分自身の生活を完全にしやうと思へば、それは共同生活の間に於て自分も人の援けとなり、又人の援けを藉りて生活すると云ふことに因り致し方はないのでありますから、道德と云ふことは吾々人間が常に本性から出た正しき生活法であると同時に又社會共同生活の法則であるべき筈であります。此自分自身の正しき生活をする道であり、又社會全體がそれに依つて完全になつて行くべき道であると云ふ、此二つのことは道德の兩方面でありまして、同時に此二つが完たれて行かなければならぬのであります。

然るに吾々の道德に對する考への持ち方は往々一方に片寄ることがあります。若し自分自身の本性に基い

た生活の致し方であると云ふことばかりを考へまして、そうして之が社會の共同生活の上に必要なる一つのキマリであると云ふことを忘れますと云ふと、色々自分が善であると考へた場合に、世間の人の考へ或は其の土地の風俗習慣等に注意しないで勝手のことをやると云ふことも往々起つて參ります。それに反して大勢の人間が共同の生活をして居るために守らなければならぬのであると云ふことばかりを考へまして、其の道德が自分の本性に基いて居ると云ふことを忘れますと云ふと道德が段々外面的になつて參ります。斯うしなければならぬと云ふ風になつて居るからさうすると云ふことになつて、其の極は人の前だけは先づ道德家らしく裝うて居ると云ふやうな僞善に近づいて參ります。それで今日の狀態を見ますると云ふと、此二ツの見方が同時に行はれて居るのではないか、二ツの異つた觀方が同時に行はれて居るではないかと云ふやうに感せられるのであります。其の一つは比較的古い考へであります、舊い人の考へでありますが、一體我國を長く支配して居ります儒敎に致しましても、亦宗敎の側から觀まして佛敎に致しましても、道德が全く外面的のものでありまして人間の本性に基いて居ないと云ふやうな敎へ方があるべき筈はありませぬ。併しながら日本の江戸鎖幕時代のお寺の道德觀念と云ふものはどうも稍外面的になつて居つたやうに感せられるのであります。御承知の通り江戸時代に於ては、能く俗文學が人情と義理との衝突と云ふことを好んで題目と致して小說を書いたり何か致して居ります。

一體人間の本性に基いて道德が成り立つて居るものでありますならば義理と人情と衝突すべき筈はないのであります。人情の終末卽ち義理である。義理の源泉卽ち人情でなければならぬのであります。それが二つに分けて考へられて居つたと云ふことは其の觀方の上に何處か缺點があつたに相違ないと言はなければならぬ。勿論江戸時代に於ても學者先生の說かれた道德論に於て義理と人情と相反した觀方は行はれて居りませ

Digitized by Google	Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ぬ。之は儒教の俗文學者の考へであります。俗文學者は勿論世の中を指導すると云ふやうな力を有つて居なかつたのであります、併しながら彼等は却つて能く其の當時の社會の大勢の人の考へ方を捉へて居ると云ふことがあり得るのであります。又事實さうであつたのであります。

何故にさう云ふやうな風に義理と人情が衝突すると云ふやうに考へられて居つたかと云ふと、之には多少理由があると思はれるのであります。其の理由と云ふのは色々あるのでありませうが、其の一つは江戸時代は一體何う云ふ時代であつたかと云ふことから觀なければならぬ、江戸時代は一方に於ては武士階級が未だ歴史的の情勢に依つて勢力を有つて居ります。それで表面は武士と云ふものは威張つて世の中を通れるやうになつて居つたのであります。併しながらもう江戸時代の初めからして段々町人階級の勢力が増して居つたのであります。段々末期に近寄るに從つて經濟上の實力と云ふものは町人の手に移つて參りまして、武士と云ふものは唯大小を差して役に就いた關係から辛うじて其の地位を維持して居つたに過ぎなかつたのであります。そこで武士階級が自分の地位を保つて行き又自分の地位を保つことのために、社會の秩序を維持して行くと云ふ考へが町人階級に段々起つて來た。さう云ふ現象は段々經濟上の發展に伴つて强烈になつて來る。それから金と云ふ考へが段々强くなつて來たこと、さう云ふやうな考へに對して、何うしても今後の社會の秩序を其の儘に維持すると云ふことはむつかしい狀態になつて居つたのであります。

それで義理と申しますのは學者の方の古代から說かれた說明に依れば色々難しいことがありますが、江戸時代に唯義理と云つて世間の人が解釋して居ります所を觀ると云ふと、之は唯傳統的政治に基いた一種の古い道德觀であつたのであります。人情と云ふものは、町人の頭を擡げて來たと云ふことを第一にして、其の外社會の各方面に現はれて來た新現象がそれに加はつて作り出された所の一種の新しい道德觀念であつたので

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

あります。其の二つが寄れば衝突する、或は其の衝突の間に起つた所の悲劇を俗文學者が捉へやうとして居つたのであります。俗文學者の書いたやうに一方に於ては義理と云ふものを強て說き、さうして表面は義理を立てさせるやうにして置いて、裏面に於て非常に無理を求めると云ふ風にして、若し之れがうまく行かなかつた場合には、人情と云ふものは捨てられない義理と云ふものが犠牲になる、さうした所に悲慘な結果が生じて見る人の同情を惹き寄せると云ふやうな時代を多く通つて居つたのであります。さう云ふことの爲めに義理と人情と云ふものは別なものゝやうになつた。

併もそれが時々衝突するやうに考へられた、之は不健全な狀態であります。さう云ふ所から、義理と云ふ觀念が專ら神聖なる道德觀念であるべきに拘らず、段々墮落して參りまして其の餘波が今日まで及んで居るのであります。それは何う云ふ譯であるかと云ふと俗文學者の既に試みられたやうな解釋は一般世人の頭を支配して居つて、正面に於て義理を立てるやうにして居つてその裡面には何等か連絡を得やうとして片寄つて參りました爲めに、道德と云ふものは外面的になつて行つたのであります。其の名殘りと見るべきものは明治の時代を經て大正の時代にまで及んで居ることゝ私は考へる。それは何う云ふ所にあるかと云ふと、此頃用ゐられて居ります所の義理と云ふのは何う云ふ意味に使はれて居るかと云ふと形式的或は外面的と云ふやうな意味が非常に露骨に現はれて居る。例へば、あの男にそれ程して親切にする必要はないけれども之も義理だからだまつて居る譯にはゆかないと云つたり、或はあすこに此品を贈るのは實は馬鹿らしいやうだけれども此前何か貰つたから之は惜しいけれどもやらうと云ふやうな外面的に繕らうことになつて居る。

之は極めて不健全なる考へであると言はなければならぬ、所が案外にさう云ふ風の考へ方が今日まで傳つて居りまして、道德と云ふものは人前を繕ろはなければならぬものであると云ふやうに考へられ、甚しきに

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

至つては道德と云ふものは自分自身の生活の羈絆であると云ふことは忘れて他人を攻擊する口實を與へられるものであると云ふやうなことに考へられて、例へば政治上に於て自分と反對に立つて居る者を攻擊する、或はその人の私行上に就て缺點を發き出してさうして敵を陷入れると云ふことのやうに道德觀念を引出される。平生は何處か箱の中に藏つて置いて何か相手を攻擊するに都合が好く相手の缺點を見付けた時にその道德を擔ぎ出して、あの男はかう云ふ不都合なことがあると云ふやうなことを言ひ、さうして相手の人望を失はしめると云ふやうなことが政治上の競爭の手段として屢々用ゐられて居ると云ふことは貴下方は幾らもその實例を御承知のことゝ思ひます。

昔あの叡山の山法師が何か朝廷に强訴します場合に比叡山王の神輿を擔ぎ出した、奈良の僧兵が京都に出て參りました時に春日の神木を擔ぎ出した、それに對しては警護の武士も矢を向けられないと云ふことを奇貨として無暗に之を擔ぎ出して居ります。それと同じやうに平生は何處にあるか判らない、所が何か相手が出來ると道德と云ふものを擔ぎ出してさうして自分達も守らなければならぬものだとは考へないで唯敵を陷入れる手段攻擊をする手段として道德を振りまはす。之は實に慨嘆すべきことである。さう云ふやうな考へ方は何う云ふ年齡の人に多いかと言ひますと寧ろ中年以上の人でありまして、さうして眞面目な修養を餘りして居ない人、詰り江戶時代の國家觀念を唯其の儘何と云ふことはなく受け繼いで居ると云ふやうな人の間に今日でも殘つて居るやうに見える。所がさう云ふ人の口から頻りに唱へられます言葉には近頃の青年は甚だ不都合である、自分の勝手ばかり言つて年寄りの言ふことを肯かないと云ふことを言つたり、それから又世の中のことを知らない癖に何か新しがつたことばかりを言ふ甚だ不都合だと云ふやうなことを大いに言ふのでありますが、それは矢張り多く中年以上の人から出るのであります。所がそれが當つて居ないこともない、當

つて居ないこともないのでありますけれども、亦今日の青年に對して大いに同情すべき點もあるのであります。

私は我が國の思想問題などに就きまして大體斯う云ふ風に考へることが出來るかと思ふのであります、一方に於ては道德と云ふものは外部からして吾々を拘束する所の一つの法則である、人間が勝手なことばかりして居つては不可ないからして共同の生活をする爲めにはお互に守らなければならぬと云ふ則法が外部から與へられて居る、それが即ち道德であると云ふ見方をして居る人だちが老人に多い。其等の人の中の餘り修養の積んで居ない不眞面目な人達は只今私の申上げましたやうに道德と云ふことは自分達のことでない唯敵を攻擊するばかりにあの男はこんな不都合なことを言つたと云ふ理由を敎へて吳れるのだと云ふ風に言つて居りますが。修養のある人は必ずしもさうは言つて居ない、修養のある人は道德と云ふものは互に守らなければならぬものだと考へて居る、守らなければならぬと考へて居りますけれども、それが人間の本性から出たものであつて自分自身の修養に必要なものである、自分自身の生活に全く必要なものであると云ふことは思つて居ない。それであるから始終我を押へて道德の線に縋つて行くと云ふ方面に大いに努力して居るのであります。さう云ふ風の人達は惡いことは餘りしない、惡いことは餘りしないでまあ普通の善良な生活をやつて居るのであります、けれどもその善良なる生活と云ふものは何う云ふ意味であるかと云ふと、唯前例に從つて行つて居ると云ふだけでありましてさうして之が自分自身のしなければならぬ自分自身の心の底から起つて來た所の根本の要求であると云ふことは餘り考へを有つて居ない。從つて唯風俗習慣の中に編みこまれて居りますものをその儘守つて行くと云ふことに片寄つて居ります。それに對して非難をすると云ふやうなことは決してしない、まあ正直に傳統的の精神を守つて居るに過ぎないのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

　さう云ふ人のある一方には割合に眞面目な青年が又居ります。青年の中にも色々ありますから一概には言はれはせぬけれども、青年の中に眞面目な人があります。其の眞面目な人が言ふことを考へますと云ふと道德と云ふものは外面的のものではない。外部からして吾々に與へられる所の法則ではない自分の本質からして發する所の正しき生活である。さう云ふ考へ方は今日世間から種々の非難を受けて居りますが青年の中にも案外眞面目な人があると云ふことを知らなければならぬ。案外今日の青年は眞面目であります、さうして眞に正しき生活をしやうと云ふことを考へて居るのであります。所が其の人達は內面的の方面のみ注意して居りますからして一般の社會の風俗習慣と云ふやうなものに對しては隨分大膽に批評的の態度を取つて行く。從來斯う云ふことが習慣になつて居つたけれどもそれは據り所がないものである、我々は自分の本質に基いた所の生活をやつて行けば可いのであるからして風俗習慣と云ふものに捉はれることが必要はない、風俗習慣になつて居りますもの丶中には隨分誤つたことがあると云ふやうなことを遠慮會釋もなく言ふのであります。さう云ふ點からして往々又危險思想などをさう云ふ人達は考へる。

　其の二つの違つた傾向が眞面目な生活をやらうとして居る人にも發見せられる。今日の思想問題と云ふものは案外に複雜なものであります。何うなつても可いと云ふやうにボンヤリ考へて居る人もあります、中には眞面目に考へて居る人もあります。其の眞面目に考へて居る人の中に既に社會の風俗習慣になつて居るものを唯尊重して行くと云ふばかりに固つて居る人があります、それから吾々の內面的要求と云ふ風に重きを置いて傳統的の習慣と云ふものに對しては餘り重きを置いて居ない人もある。前者は中年以上の人に多く後者は青年に多いのであります。

　そこで新舊思想と云ふものが對立してお互に理解しやうとしないのであります。其のお互に理解して居り

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ませぬ爲に一方から青年を非難致し、青年の方では中年以上の人の言ふことを耳を傾けないと云ふ工合になつて居りますから、それで永久に解決の方法は著かないのであります。吾々は内面外面兩方からして觀なければならない、そこに於て正しき道徳的の觀念が再建されて來るのであらうと思ふのであります。そこで吾々は道徳觀念の再建と云ふことを眞面目に問題として考へなければならぬと思ふ。今日の人が能く思想善導などゝ云ふことを申しますと、其の場合に外來思想或は新思想と云ふものが古來の善良な風俗習慣或は思想を攪き亂したと云ふ風に申して居りますが、それは或る程度までは事實でありませうけれども、全然新思想と云ふものばかりが害をなして居るものではないと思ふ。一體道徳の問題は其の時代〳〵に依つて違つた要求が現はれて參りますからしてそれに對して又適當の解釋を取つて行かなければならぬのであります。案外今日の時代に於て舊い思想がとうに亡びてしまわなければならぬに拘らず、今日に殘つて居つてさうして禍いして居るやうな思想もあるのであります。例へば、今日臺灣でも或はさうかも知れませぬが、內地に於て講談物の流行と云ふことは非常に顯著な事實であります。月々雜誌が澤山出て居りますが其の內講談雜誌と云ふものが一番多い、その講談雜誌を調べて見ますとその大部分は俠客物であります、俠客物でなければ仇討であります。若しさうでなければ義賊と云ふものが大分讀まれて居る。さう云ふものを多數の老人も讀んで居れば若い者も讀んで居る狀態であります。私は之は甚だ面白くない狀態であると思ふのであります。

所が一部の人には、極めて喜ばしい現象で、今日のやうに人心が惰弱になつて居るのにあゝ云ふものが讀まれて居るのは、何處かに魂の腐つて居ない所があると云ふ風に考へて居る人もある。私共の觀ます所に依ると云ふと多數の青年はさう云ふ意味に於て俠客物を愛讀して居るのではない。俠客と云ふものは江戸時代に現はれました一種特別のものであります、一體病的のものであると私は考へる。あの俠客の中に於て青年

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が最も共鳴しますのは代官に反抗した話等で、それが最も喜ばれるのでありますが、それは權威に反抗すると云ふことを意味して居るのであります。權威に反抗すると云ふことは何でも盲滅法に反抗すと云ふ風に靑年の氣分として現はれて困るのであります。所が江戶時代の如く專制的の政治が行はれて居りました時には、愈々代官屋敷の夜討をすると云ふやうなことは或は意味のあることであつたかも知れませぬけれども、今日の時代にさう云ふことを考へると云ふことは不都合千萬である。今日は吾々は言論の自由を有して居る、又政治上に於ても自分の代表を通じて政治に參與することが出來るやうになつて居る。今日の時代に於て暴力に訴へて權力に反抗しなければ惡政を取除けることが出來ないと云ふことは極めて不都合なことである。所が老人達はそこを能く考へてない、若い者はあんなものを讀んで居ると幾らか安心だと云ふやうに考へて居ることは以ての外である。

　あゝ云ふものが流行して居りますと靑年の間の道德が善惡に拘らず權威に反抗すると云ふ氣分が强くなつて參りまして、殊に暴力に訴へると云ふことが是認せられると云ふことになりますと、吾々の最も心配致します所は政治上の改革或は經濟上の改革と云ふやうなことは所謂直接行動に依つて試みられることになつて來ると思はれるのであります。吾々は非常に悲しむべき傾向であると思ふのであります、仇討にしても同樣でありまして、今日の時代に於て私のお互に怨みを報ゆると云ふことは許されないのであります。然るに仇討を喜ぶと云ふことは矢張り公の權威と云ふものを認めぬと云ふことになる。之も喜ばしくないのである。さう云ふやうな風に色々の舊い思想が、今日の時勢には合はないものであるに拘はらず個々に殘つて居る。舊思想も又禍をなして居る。吾々は思想善導であるとか何とか云ふやうなことを申しましても、唯新思想の中に危險分子がある、必ず傳統的の確りした考へを後までも傳へて行かなければならぬと云ふやうに單純に考

へては不可ないのであります。さう云ふ考へでは道德的觀念の再建と云ふことは出來ないのである。吾々は指導とか善導とかは暫らく別問題として、今日の時代に於て吾々は如何に心得なければならぬかと云ふことを眞面目に研究して見なければならぬのであります。

傳統的の精神の中にも今日の時代に必ずしも適合しないことがあります、又適合するものがあります。道德と云ふものは其の時代〳〵に於て皆何等かの社會上の必要があつて生れて來たものでありまして、決して偶然の發生物ではないのであります。故に或る時代に行はれた道德的觀念と云ふものはその時代の社會の生活と照し合せて見ますと云ふと、成る程斯う云ふ社會に於ては斯う云ふ道德的觀念が生れて來たと云ふことは尤もであると云ふことが能く判るのであります。所がさう云ふ道德的觀念が時代の推移と共に變化して参りまして後に唯形だけが殘し、それを生み出した所の眞の理由と云ふものを存在して居ない場合がある。さう云ふ時代に吾々は其の時代に適合するやう考へ直して見なければならぬのであります。

玆に私は又俗文學の中に能く現はれて來ます所の例を引いて見たいと思ふのであります。德川時代に於て考へられて居ります男女間の不義と云ふ考へ、あれは非常に廣い範圍に亙つて當嵌められた言葉であります。江戸時代に於ては詰り兩親なり或は主人なりの許しを得て居ない所の男女關係と云ふものは悉く不義であると云ふことになつて居りましたが、其の觀念は何處から生れて來たかと云ふことを考へて見ますと、少くとも王朝にはなかつた、奈良朝や平安朝時代にもさう云ふ考へは一向ない、武家時代に於て段々さう云ふ考へは出來て居つたものと思ひます。それも餘程それが嚴しくなりましたのは、私の考へでは武家時代の大分末の頃であると思ふのであります。それは何故さう云ふ風に男女間の問題が窮屈になつて來たかと言ひますと、之は其の當時の武家の生活から來て居るのであります。武家の方では殊に戰國時代になりますと云ふと小さく

國が分れて互に睨合つて居つたのであります。其の間に於て自分の臣下の者が敵方と內通すると云ふことは大層諸大名の心配の種になつて居つて居りました。故に戰國時代に出來ました武家の規則を見ますと云ふと之は多く壁書式の或は箇條書になつて出て居りますが、例へば朝倉敏景の十七條であるとか或は大內家の壁書だとか云ふ種類のものを見ますと皆一樣に斯う云ふことが這入つて居ります。自分の臣下の者が主人の許しを得ないで緣組をしては不可ないと云ふことが書いてある、又一方に妻の緣に因つて敵方と內通すると云ふことは不可ないと云ふやうなことが書いてある。一方にさう云ふ規則がありますと共に又盛に姻戚關係に依つて殊に敵方に內通する事實もあるのであります。當時は大名相互の間に極端な政略結婚が行はれたので、戰爭が終つた後で和睦すると云ふと和睦の條件に緣組が伴つて居ります。それが大概本當の意味に於て夫婦關係が成立つと云ふことは餘りに不幸である、昨日まで戰爭したものが和睦する、和睦すると親類になる、それは本當の親類にはなり惡いので表面だけは親類になつて居りますが行つた方では間諜を放つた心算りで居ります。貰つた方では人質に取つた心算りで居る。で嫁入りをした本人は必ずしもさうではないかも知れませぬが、お附人と云ふものは唯軍事探偵である、軍事探偵を勤めて居る、貰つた方でも知つて居るが直接には嚴しく云ふことは出來ないから間接に色々の手段で之れを見張つて居つたのであります。さうして本人は何時逃げ出すかも知れぬと云つて人質に取つたやうな心算りで見えない所から始終看視して居ると云ふ狀態であつた。所がさう云ふことでありますと云ふと又後に兩家の間が不和になると云ふことが往々起つて參ります、さうしますと大抵の場合に嫁入をして居る者或は養子入りして居る人が自分の生命を犧牲にすると云ふことが起つて來るのであります。さう云ふことが屢々戰國時代に於て發見されるのであります。

さう云ふやうなことの行はれて居ります時代に自分の娘を他に片付けるとか或は又自分の家來の息子の所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に他から嫁が來ると云つても、始終大名相互の鬪爭の關係から自分だちに不利の緣組が出來ないやうに干渉して居らなければならぬ。それが壁書等になつて許しを受けないで緣組をしては不可ない、緣組をするには許しを得なければならぬことになつたのであらうと思ふ。所が江戸時代になりますともうそんな睨み合つて人質に取つたり間諜を放つたりする必要はないのでありますけれども、型だけは矢張り殘つて居つたのでありますからして、男女間のことは案外に嚴しく言はれて居つたのであります。で所謂不義は御家の御法度と云ふことはさう云ふ所から來たのであります。多くの武家に於ては密通した男女は手討にすると云ふことは殆んど定つて居つたのであります、がさう云ふことは表向きでありまして實際に於ては壁書等で之れを心得て居つても本人に申含めて脫走させたりして大抵は援けてやつて居る。小說には表は昔の掟を立てゝ置いて裏面に於て人情を生かす斯う云ふやうな工合になつて居つたのであります。そこの間には未だ徹底しない所が確かにある。

今日の時代になりますと云ふと凡ての事情が餘程變つて來ましたからしてさう云ふ觀念を昔の通りで押し通すことは出來ない。それは明に社會の事情が變つて來た爲めに特種の社會の事情から起つて來た所の要求が……其の根本の要求が變つた爲めに又多少考へ直さなければならぬと云ふことの例として之を擧げることが出來ることゝ思ふのであります。明治以後我國の事情は非常に變つて參りました。是に伴つて又道德上に於ても色々の變つた思想が出て參りました。其の間には吾々が注意深く考へて見ないと云ふと採るべきものと採るべからざるものとを決定することが困難なものが澤山あります。そこで今日の所謂思想混亂の狀態と云ふものが起つて居るのであります。所が此際に舊い人は大いに舊い習慣を其のまゝ保存しやうとします。若い人は無暗に新しい思想を採り入れて、之は過去の習慣に過ぎないのであつて道德上何等意義あるもので

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ないと云ふ風に容易く考へる人がある。所がその中に段々〳〵時代が變化して參りまして今日では青年の中にも相當眞面目な考へが起つて居るのであります。

それで最近になりまして十八九から二十五六位まで高等學校からして大學位までの間の學生、私共は平素朝夕接近して居ります人だちの様子を見ますと云ふと、大部眞面目になつて居ります。其の人だちは一方に於ては老人の如く道德と云ふものを、固定した一つ型で外部から吾々を拘束するものだとは考へてゐないけれども、傳統的に成り立つて來た所の一種の道德觀念風俗習慣と云ふものは其の時代〳〵に於て意義のあつたものである、それは今日の時代に適合するか適合しないかと云ふことは空論で判らない、空論で決することは出來ない、實際にそれが今日の時代に必要であるか何うかと云ふことを見る爲めには、その時代〳〵に於て何故斯う云ふやうな道德觀念が生れて來たかと云ふことを考へる、さうして之れを產み出して來た所の事情が今日如何に變化して居るかと云ふことを觀なければ決定することは出來ない、さうして過去のものが悉く唯空の習慣に過ぎないと云ふことを考へることは謬りである、之まで成り立つて來た所のものはさう云ふ所の理由が存在して居るのである。それで改むべきものがあるのでありますけれども凡てのものが改むべきものではないと云ふのが最近になつて大分判つて來たやうであります。殊に二三年來その點に就て青年の考へが大分變つて參りました。それだけ我國の思想界も段々安定しかゝつて居るのであります。それで吾々は此傾向を段々援けて行つてさうして眞面目に考へてさうして新時代の道德と云ふものを完全に打建てゝ行かなければならぬと云ふことを始終考へ、又さう云ふ方面に絶えず努力したものなのであります。

然るに最近臺灣の對岸に於て何う云ふ思想が行はれて居るかと云ふことを考へて見ますと何うも我國より大分遲れて居るやうに私は思ふのであります。それは何う云ふ風に遲れて居るかと云ふと、凡ての道德と云

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ふものは一つの便宜上設けられた習慣に過ぎないと云ふやうな考へが、少くとも傳統的の道德觀念と云ふものは便宜上設けられた所の習慣に過ぎないと云ふ考へが、可なり强く靑年の頭を支配して居るではないかと思はれる。さう思はれるものが書物や何んかの上に隨分多く現はれて來るやうであります。それは我國の方で申しますと云ふと最早やさう云ふ時代は經過したのであります。我國は今より七八年或はもう少し前十年前大きく申しますともつとずつと前明治十年時代が最も隆んでそれが今より十年位前迄可なり强く現はれて參りましたけれども、今日ではさう云ふ考へ方は下火になつて參りまして、凡ての風俗習慣と云ふものは唯便宜上出て來たものでないと云ふ考へが强くなつて來て、各種の今申しましたやうに道德觀念の再建をしやうと努めて居る。對岸に於ては今日二十年前の吾々の先輩の有つて居つた考へが今頃强くなつて來たではなからうかと思ふ。それは彼の禪學と云ふものが對岸の方に流行つて來ました時代から計算しても唯思想界の變遷が、經過した事情が丁度今そこに現はれて居るではないかと思ふのであります。その影響が此臺灣には內地よりも尙一層强く現はれて來るでありませう、內地に於ては支那の方の影響は餘り强くありませぬ、けれども此臺灣に於ては對岸の思想の影響が可なり强くなつて來るであらうかと思ひます。そこで此地に御在住の諸君はその問題に就きまして特別の注意を拂はるゝことが必要であらうかと思ふのであります。そこで今夕の講演題としてはかう云ふ題目を揭げた譯であります、之も段々時代が經過して行きまして對岸の方に於ても秩序立つて參りましたならば復たかう云ふ傾向は消えて參ります。

所謂啓蒙時代と云ふものはさう續くものではない。啓蒙時代は何でも自分の考へが理窟一片で自分勝手なことをやつて居る、左樣に風俗習慣を無視して居る時代を指すのでありますが、さう云ふ時代は長く續くものではありませぬ、段々變化するものであります。その變化は隣國のことでありますから吾々は唯傍觀して

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

居る譯に行かない、能るだけ早く對岸の青年が、丁度人間が青年期に於て一度經て來なければならぬ思想の混亂時期を能るだけ安全に經過することが大事であるやうに常に社會全體として最も安全に行くやうに吾々も傍から努力して行かなければならぬ。さう考へて居るのであります。

それで先刻私はかう云ふやうな方面に就て吾々努力して居ると云ふことを申しましたが、今日此處に出まするに就て豫め主催者の方に御願致して、日本公道會の趣意を此機會に一言させて頂くことをお許しを得て參つたのでありますが、この日本公道會の起りましたのは前に申しました道德觀念の再建の問題と密接の關係を有つて居るのであります。日本公道會と申しますのは、明治の初年に凡てのものが皆新しくなりまして、之までと全く違つた世界が現はれて來たが如くに人々が感じ、それで一時何と云ふことなく全く無方針に西洋の思想を採り入れて舊物は悉く排斥しやうと云ふ傾向が現はれて來ましたので之を戒めんが爲めに西村茂樹先生が起されたものであります。それは丁度西南戰爭が起りました前年明治九年であります。本年丁度日本公道會創立の滿五十年に相當致します。その紀念祝賀會を催したのであります。

西村茂樹先生は元來は儒教に依つて育てられた人でありますけれども、早くから西洋の學問をして居つたのであります、それで明治九年に此會を起されました時に、塾のやうなものを開いて若い人を集めて德學要義と云ふやうなものをやつて居つた。それが因になつて段々日本公道會と云ふものが發展して來たのであります。無批判に西洋の摸放をすると云ふことは不可ないと云ふので此會を起された、けれども先生の趣意は決して頑冥ではない。先生の書かれた德論、或は日本道德論その他白翁全集の中に現はれました意見を見ますと、過去の道德觀念に於ては是認せられて居つた所も非難して居る所もある、又西洋の思想の中にも採るべきものは採り入れて居つて極めて公平の考へを有つて居る。全くことが公平であります。白翁と云ふのは

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

西村先生の號であります、先生は長く文部省の方の宗教局に關係して居られまして終りは宮中顧問官でありました。或る時當時の政府のやり方が面白くない所があると云つて強く攻撃をされた所もあつた却々一方に於ては硬骨な所もあつたのであります。その西村先生の門下に集りました人が段々多くなつて行つて、日本公道會となつたのでありますが、多い時には會員が一萬以上にもなつて居つた。今日でも約七千ばかりの會員が全國にありますが、その會員は大部分各地方の名望家であります、資産家もありますが教育に從事して居られる學校の先生が可なり澤山あります。その他には宗教家として佛教の人もあり、中には基督教の牧師も極く小數ですがあります。

此會の事業と致しては公道と云ふ雜誌を毎月一回發行して居ります、その外に大正十二年の震災前には毎月二回、その後會場の都合その他がありまして毎月約一回になつて居りますが講演會を東京市内或は東京附近に於て開いて居ります、それから別に社會教化學院と云ふ學校を有つて居るのであります。

其處で社會事業に從事しやうと云ふ人を養成すると云ふ考へで一箇年の期間で講習のやうなものをやつて居るのであります、此會の事業が天聽に達しまして御内帑金の御下賜になつたこともあります、又社會教化學院の校舍に充てゝ居りました建物が震災のために倒潰したものを復興せよと云ふことで内務省から二萬圓下付されて居ります。

吾々は此日本公道會の事業を成るべく多數の人に御理解を願ひたいと云ふことを心掛けて居りまして一年に一回吾々は手分けをして彼地此地巡回講演を致して居りますが、今日私がこちらへ參りまして市民講座で話をすると云ふことになりましたのでその機會に鳥渡お話をすることをお許しを願ひたいと云ふことを申し出まして、さうして此會の紹介を致すことが出來たのでありますが、此會は只今申しましたやうな事業を致

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

して居りますので、さう云ふことをやつて居る會があると云ふことを貴下方に御承知を願うと云ふことが先づ第一の吾々の希望であります。次に其の趣意に御賛成下さつて入會して下さる方があれば一層喜ばしい譯であります。私共の會は單獨でかう云ふ事業をやつて行く考へではないのでありまして、今日では他に澤山の教化團體或は社會事業團體と云ふものがございます。それらの團體とも目的を同じくする以上は互に妨げないやうに又互に援け合つて行くものであり、又團體でなくしても個人としてもさう云ふ事業をやつて居る人がある、さう云ふ人だちは必ずしも自分の會員でなくても互に援け合うものだと心得て居りますので、先づ第一に私共の會に御理解を願うと云ふことが第一の務めで若し特別の御理解があれば入會を願ひ又會に御入會なさらないでも外部から之を援助してやらうと云ふ方があれば喜んで御志を受ける。

私共が何かの時に互に共同して仕事をやつたり或はその精神が互に通ずるやうに便宜を圖つたりするさう云ふことを考へて居るのでありますが唯それだけでは此會の趣旨が充分お判りにならないことでありませうが此日本公道會には要領と云ふものが二つあります甲號乙號と云ふものが出來て居ります。甲號は最も古く出來たものでありましてそれは言葉が極めて通俗的に出來て居ります、乙號の方は甲號に續いて出來たのでありますト、甲號の出た時には未だ問題になつて居ない中にその態度を決められて最近には又日本公道會の主張と稱する箇條書が出來て居るのであります。前後三回、甲號要領乙號要領それから又本會の主張と三つのものが出て居りますが根本の精神は全然同一であります。唯時代〳〵に依つて社會の問題が違ふためにさう云ふ風に三通りになつて居るのであります。

それで主張します所の大意を申しますと云ふと、先づ我國の國體を尊重し皇室を中心として行くと云ふことが徹頭徹尾根本の主義と致して居ります。宗教に對しては全く宗派の外に立つことになつて居ります。そ

れで西村先生の定められた要領の中にも何ふ云ふ宗教を信じても宜しい唯國家に害となるやうな宗教を信じては不可ないと云ふことがあるだけであります。此何う云ふ宗教を信じても宜しいが國家に害となる宗教は信じては不可ないと云ふことは、我國の憲法に規定されて居る精神と全く趣旨を同じくして居りまして、日本公道會の規定が出來ましたのは明治九年でありまして憲法發布前よりもう既にさう云ふ精神を明にして居る。それでありますから今日でも世間の人は往々公道會は儒教主義のやうに申しますけれ共實はさう云ふ風になつて居りませぬ。佛教の人も這入つて居り基督教の牧師なども這入つて居ります。それからその外勤儉貯蓄とか色々の箇條がありますが、最近の社會問題に對することは多く本會の主張と云ふものゝ中に取入れられて居るのであります。それに依りますと所謂階級鬪爭と云ふものを否定致します。階級鬪爭に依つて社會の改造をやると云ふ主張に對して私共反對致します。併しながら私共は決して資本家の味方と云ふ譯ではありませぬ、徹頭徹尾社會は共存共榮の原則に從つて行くべきものであると云ふことを信じて居ります。さうして資本家と勞働者と互に理解して互に援けて共同に繁榮して行かなければならぬと云ふことが勞資問題に對する私共の根本の態度であります。それから財產制度に對しては共產主義に對しては反對致しまして私有財產制度を認めます、併しながら一方に於きまして共存共榮と云ふことを主張します點からして各種の社會的事業の隆になると云ふことは最も私共の希望する所であり、又その方面に活動する人を養成する方法として社會教化學院と云ふものを作つて居るのであります。全體から申しまして、手前味噌となるかも知れませぬけれども、凡ての點に於て極めて穩健中正であると云ふ批評を受けるだらうと考へて居ります。餘りに穩健であります爲めに却つて何かどの點を強く主張すると云ふやうなこともない爲めに近頃は世間の注意を惹かなくなつて居るのであらうかと思ふのでありますが、併し強いて敵を作つて世間の注意を惹くやうに活

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

動をするよりは矢張り穩健中正で進んで行くのが私共の進んで行くべき途であらうと思ふのであります。

今日でも世間には知らない人も隨分ありますが、或は西村先生が會長として居りました時代は我國の思想狀態は今日よりも尙一層不安定の狀態でありましたが、その頃に可なり激しい活動をしたのでありまして日本公道會と云ふものは大分世間の注意を惹いて居りましたのでありますが、今日では全國に六十餘りの支會が存在して居るのであります。段々各地方で本會の趣旨を御了解になり又御贊同の方が多くなつて行きましたならばそれに從つて段々支會を設けたいと云ふことが私共の希望であるのであります。そこまで到りませぬでも亦趣旨を理解して下さりましてその事業に他所ながらにも援助をして下さるやう希望するのであります。今回は市役所の方に申出でました所が此市民講座に於て日本公道會のことをお話しても宜しいと云ふことでありまして私は深くその點に就て感謝するのであります。（終り）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

南洋貿易會議

南洋及び印度に於ける我貿易の一大進展を期すべく外務省主催の下に開かれた第一回の大貿易會議は、實に我國未曾有の大會議であつて、國内は勿論關係列國の等しく注目するところであつた。同會議は九月十三日から十日間衆議院内に於て開かれ、第一日の總會は十三日午前九時二十分衆議院内豫算委員室に於て開會、幣原外相以下、外務・內務・大藏・商工・遞信・農林の各省次官・政務官・關係局課長及び拓殖局・臺灣總督府・南洋廳の各關係當局、民間側より六大都市商業會議所代表者の外各關係當業團體代表者其他合計百四十七名出席、劈頭幣原外相から別項の如き演說あり、議席、發言其他事務上の打合を爲し總會は僅に二十分にして終つたが、同會議は審議事項頗る廣汎に亘り且つ出席者も多數であるため、企業及投資・輸入・輸出・通信運輸・調査及情報・金融・法規の七部に分ち關係各省政務次官を部長に決定し、同日午後から十日間關係各事項につき夫々熱心に審議を重ねた。かくて二十三日午後の金融部會を以て各部會を終り同三時三十分から總會を開き、

幣原外相　凡そ國際通商問題を共同審議せんがため第一に內地の各關係官廳、第二に在外公館、第三に直接の利害關係を有する當業者及び諸團體、この三方面の參加せる會合は今回が最初の企である。この機會に於て諸君の熱誠有效なる御協力に對し衷心より深く謝意を表します。

本會議に於て開陳された御意見は永く記錄に存し、その內直に實行し得らるべき適切の事項は躊躇なく實行し、また現行法令・豫算・財政等諸般の關係上別に考慮を要するものは篤と緩急を計り、時宜に應じて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

實行の歩を進めたい。

本會は此の如き具體的效果を得たる外に、官民の各方面が一堂に相會し重要なる國際通商問題に關して、誠心誠意互に胸襟を披きたる無形の效果に至つては頗る貴重なるものがあると信じ無限の滿足を感ずる次第であります。尙本會議に於ける各位の御意見の要領は之を摘錄して御手元に送付致します。

との挨拶を爲し、海外貿易進展の第一步たる劃時代的大會議はこゝに全く終了し、委員一同は外相官邸に於ける招待會に列した。

第一囘貿易會議議題

第一　南洋及印度方面に於ける企業及投資(企業を基礎としたる移民問題を含む意)

(一)　將來有望なる事業如何

(二)　企業及投資に關する調査及情報に付考慮を要する事項如何

(三)　企業及投資の助成方法殊に左記の各項に關し考慮すべき點如何

イ、最も有效なる企業組織

ロ、小企業の保護

ハ、在外本邦從業者の誘導保護

ニ、資源開發上の利便

ホ、國家に於て試驗を爲し又は保護を與ふるの必要ある事業

ヘ、運輸の改善及新設

ト、通信施設の改善

（四）企業及投資に關し金融上考慮すべき事項如何

第二　南洋及印度方面に於ける貿易

（一）將來有望なる輸出入品如何

（二）本邦商品の品質其の他に關し改善を要する事項如何

（三）本邦品廣告紹介に關し考慮を要する事項如何

（四）本邦輸出業者の取引方法中改善を要する事項如何

（五）本邦輸入業者の取引方法に付考慮を要する事項如何

（六）貿易に關する調査及情報に付考慮を要する事項如何

（七）貿易に關する金融及爲替取組方法に關し改善を要する事項如何

（八）貿易促進上通信及運輸竝に倉庫に關し改善を要する事項如何

（九）南洋及印度方面に於ける本邦定期航路の改善及新設に關し考慮を要する事項如何

（十）貿易促進上保險に關し考慮を要する事項如何

第三　關稅及通商條約

（一）南洋及印度方面に於ける企業及投資の助成竝貿易（仲繼貿易を含む）促進上內外の關稅率稅關設備、稅關手續其他に關し考慮を要する事項如何

（二）南洋及印度方面に於ける企業及投資助成竝貿易促進上通商條約及內外の法規に付考慮を要する事項如何

時報

上山總督上京

上山總督は莅任後、事務報告の聽取、島内各地の巡視に多忙を極められたが、既に統治の方針を確立し、管下各地に於ける諸般の施設を親しく視察されたので、九月十一日午前七時二十分臺北驛發、同九時基隆出帆の扶桑丸にて上京の途に就かれた。

來期產糖豫想

殖產局調查による第一囘の來期產糖豫想は、新式製糖場七百三十七萬二千六百十八擔(分蜜及耕地白糖)、改良及舊式糖廍十六萬三千百五十三擔(赤糖)合計七百五十三萬五千八百二十一擔の見込である。

本豫想は六月末の實查を基礎とし、更に最近に於ける生育狀況を參酌したもので、今後に於ける風水害其他の災害は見込んでないが、この豫想を本期產糖八百三十三萬二千九十七擔に比すれば、七十九萬六千二百七十六擔の減收見込である。而して來期產糖減收の主因は、植付當時に於ける旱魃並に對抗作物の價格騰貴等の影響により本期に比し其植付面積を減少した結果であるが、單位面積當蔗莖收量は品種の改良、耕作の改善等により却つて增收を豫想さるゝと。

蓬萊種原種田

總督府の米作奬勵方針に基き各州は蓬萊種の普及を促進せしむると共に、その土地に適した品種を選定し一般農民に栽培せしむる方針の下に、本年度から新に原種田を設け各種蓬萊種の栽培を爲しつゝあるが、その品種は中村種以下十種を算し、植付面積は百十一甲一分一厘に達してゐると。

早速藏相の逝去と內閣改造

早速藏相は豫てより鎌倉に病軀療養中のところ九月十三日遂に逝去され、十四日內閣一部の改造が行はれた、即ち片岡商相大藏大臣に轉じ、衆議院議員藤澤幾之輔氏新に商工大臣に任ぜられた。

南洋貿易會議終了

外務省主催にかゝる第一囘貿易會議は九月十三日から十日間衆議院內に開かれたが、同二十三日を以て結

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

了し我が對南洋及び印度の經濟的發展の促進に資すること多大であつた。總督府からは片山殖産局長以下、深川遞信部長・色部技師・中田金融課長・原口統計官の五氏出席、各協議事項につき總督府の意見を開陳したが、同會議に於ける總督府の調査及び對案は頗る注目されたと。

貿易會議と其成果

今回の南洋貿易會議は實に劃時代的の大會議であつたが、政府に於ては同會議に提出された各種意見中、直に實行し得らるべき適切の事項は躊躇なく實行し、また現行法令・豫算・財政等諸般の關係上別に考慮を要するものは緩急を圖り、時宜に應じ實行の歩を進むる筈である。尚同會議は斯る具體的の效果を得たる外、各方面の官民一堂に會し重要なる各種の問題につき、互に胸襟を披きたる無形の效果に至つては頗る貴重なるものがあると。

國際經濟會議招集

國際聯盟總會は明年七月を期し招集せらるべき國際經濟會議に對する準備調査を近く開始すべく、目下三十五箇の專門家より成る調査委員會に於て審議を急ぎつゝあるが、右國際會議は國際軍縮會議・國際新聞會議と共に明年中國際聯盟主催の下に開催さるゝ三大會議であつて、その目的は戰爭發生の重大原因たる經濟的不均衡を除き、各國民の共存共榮を圖り之によつて世界平和を助長せんとするものであつて、農業問題(農業金融其他特殊問題)、產業竝に生產問題、商業問題竝に市場問題の三部に分つて準備審査を進めて居ると。

暴力行爲取締法實施

暴力行爲取締法は、九月十五日から本島にも實施さるゝこととなつた。この法律は、近時團體を背景として暴力または威力を用ひて、暴行・脅迫・器物損壞または面會强請・强談威迫等の犯罪を敢行する者が續出し、良民に迫害を加へ公安を紊すことが著しく多くなつた、然るに刑法其他の規定を以てしては未だ充分に之が取締の目的を達することが出來ないので、之等の不備を補ひ嚴重に斯る行爲を取締らんがために制定されたものであると。

糖税改正如何

第二次税制整理問題中極めて重要視せらるゝ砂糖の關税及び消費税の改正については、目下大藏省主税局竝に關税率調査會に於て鋭意調査中であるが、當業

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

者側は愈に之が改正に關し決議し理由書を大藏省に提出した。大藏省に於ては民間當業者竝に總督府の意見を參酌して改正の具體案を作製することゝなるであらうが、其の如何は本島糖業に至大の關係があるので、非常に注目されて居る。

文教局官制樞府通過

文教局新設に伴ふ臺灣總督府官制中改正外一件の樞密院第一回精査委員會は、九月二十一日午後一時から樞府事務所に於て開かれ、議長以下各委員、政府側から若槻首相、上山總督其他出席、直に兩改正案を上提し、若槻首相・上山總督・山川法制局長官の説明あり、各委員の質問に對し政府側の説明及び答辯があつて原案可決、次で二十九日の本會議に於て委員長報告通原案を可決確定した。

臺南高商開校式

南方發展の一大使命を擔へる臺南高等商業學校の開校式は、九月二十七日午前十時から同校に擧行された。總督府から後藤總務長官・木下内務局長・山口視學官臨席、喜多知事以下官民百三十名參列、君ヶ代合唱、教育勅語捧讀、加藤校長の開校の辭に次いで、後藤長官の訓示竝に喜多知事の祝辭、其他祝辭、祝電の披露あり式を閉ぢ別室に於て茶菓の饗應あり、尙臺南市公會堂に於ては官民合同の盛大なる祝賀會が開かれた。

日本ホテル協會秋季總會

日本ホテル協會第十七回秋季總會は、九月二十三日午前臺北鐵道ホテルに開會、菊池同協會理事長司會の下に、明年秋季總會、ホテル廣告に關する件を議決し、事務上種々の協議打合を爲し午後散會した。因に同協會員菊池鐵道省旅客課長外一行は、二十二日基隆入港の扶桑丸にて來臺、各地を視察して二十六日解散した。

臺灣銀行利子引下

臺灣銀行に於ては島内の財界及び金融界の現狀に鑑み、今回日本銀行の利下を機會に、大體二厘方の利下を決定し、十月八日から實行することゝなつた。即ち貸出金最低利率は左の通りである

▲商業手形　二錢四厘　▲輸出爲替　二錢三厘乃至二錢四厘　▲有價證券擔保　二錢二厘乃至二錢五厘　▲倉庫證券擔保　二錢五厘乃至二錢七厘　▲農業倉庫證券擔保　二錢三厘

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

圖書の力と圖書館に就いて

大阪圖書館長　今井貫一

現代、文明社會に於ては、高度の科學的動力と精巧なる機械との聯結によつて、近世的産業の謂所大生産を行つて居る。昔、人智の階程が今日の如く進んで居なかつた時代にあつては、水力、風力等の原始的動力が幼稚な機械を通じて人類の生活に寄與したに過ぎなかつた。眞に此經濟的現象の進歩の跡は驚異すべきものである。

私は、此處に、物質生活卽ち經濟行動に於て、物理的エネルギーが機械或は組織を通じて人類に寄與する事に連想して、人間の精神生活或は靈的活動に於て、知能の力が圖書を通じて我々に重大なる效用を致して居ることを考へる。

書籍の效用は、直接目に見えて表はれることが物質的の現象に比すれば稀少である。然しその及ぼす所は、

人間の生活にとつて、偉大なる機械或は進歩せる動力の經濟生活に寄與するより以上に、深遠にして且重要なるものがあると信ずる。か丶る意味に於て圖書は一つの力を藏して居ると云ひ得る。

伊藤仁齋先生の用ひられた論語には、今も尙、伊藤家に遺されてあるが、其の卷頭に「宇宙第一の書也」と識してある。世に「論語讀みの論語知らず」と云ふ言葉がある、即ち、文字を追ふて讀む事は出來るが、其の意義を會得し、其の思想に感ずる力を有たぬ者がある。一方に於ては世界第一の聖典であると感ずる人があれば、他方には又猫に小判を與へたと同じく、何等の價値を知らぬものも居るのである。

如上の事例より考へると、書籍の力は眞に微妙なるものがある。同じ書物であり乍ら人に依つては其の及す力は雲泥の差を生ずる。賢愚强弱、人々の置位、環境の異なるに伴ひ、必ずしも同樣の效果を得ることは出來ないのである。然乍、人として書籍を讀めば何等かの效果を得ない筈はない。只、有效に受け入る丶準備が出來て居るか否かに依つて效果の差異の大部分は生ずるのである。從つて、書籍に接して其の價値を受け得るやうに馴る丶事が必要である。而して、我々は書籍の藏する力を極大にまで誘出し、物質生活に於ける近代的大生産と同樣に、吾人の精神生活を豐富にすべきである。既に現在に於ては至る所に圖書館の設備があつて多數の書籍を藏しその組織乃至效果は、近世産業の大動力、巨大にして併も精巧なる機械を有する大工場に匹敵する階程にまで進んで居る。今日の圖書館の設備を既往の歷史に比較するならば、其の著しい進歩を認めざるを得ない、書籍の藏する力は愈々發揮されんとして居るのである。

元來、書籍には集合的傾向、即ち多數相集らうとする性質が在ると云はれて居る。勿論書籍自身に集る能力はないので、人間が其れを集蒐するのである。

我々が或る一つの書物を讀んだとする、そこで感興が湧いて亦他の同樣な書物を手にしたいと云ふ欲求が

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

生じて來る、斯くして漸次多數の書籍に接することになり、或は我國の出版物のみでは滿足することが出來ず更に外國の物を讀まうとするやうにもなる。既に辭書や其の他の參考書類の必要がそこには起つて來る。若し許されるならば、其等の書籍を集めて置き度いと云ふ望みが必然生ずるであらう。何か研究しつゝある人、或は讀書に趣味を有する人は必ず幾程かの書籍を集めて居る。更に、人間には集蒐癖と云ふものがあつて、種々の集蒐がなされて居るが、書籍は其の最も普通の對象の一つである。斯の如く、人間は書籍の集合には必然的因果關係を有つのであるが、書籍それ自身に集合の意義を有つと云ふことも云ひ得るのである。書物は一の力を藏する、其の力が、個々別々に分散して居る時、各々一であるとすれば、十冊集まれば十の力となるわけであるが、或る場合、十冊の集書で二十の力ともなり、或は百の力ともなり得る。或る一の體系に於て、其れに關連する書籍が集合すればする程、其の集合は完全になり、其の力は增大する併も各一冊の價値は愈々加重するのである。而して書籍は其の有する力を最善に發揮することが出來るのである。

書籍に集合的傾向があり、其の效果、意義は右の如くであるが、我々個々人に於て其れを行ふことは許されない。此處に於て圖書館の必要が生ずるのである。而して各圖書館經營者は、完全なる大集書に絶えず苦心して居る。

現在、世界に於ける最大の圖書館として知られて居るのはパリの國民圖書館であつて、其の藏書は三百五十萬と云はれて居る。これについで百萬冊以上を有して居る圖書館が歐米の各國を通じて約三十あると記憶する。我が國には、未だ百萬以上の藏書を有する圖書館は存在しない。東京帝國大學圖書館の七十五萬冊、京都帝國大學圖書館の六十萬冊等が尤も大なるものであるが、近い將來に於て百萬冊に達するであらう。

然乍、書籍の集蒐は決して容易の事業ではない、歐米文明國の大圖書館が二百萬、三百萬の藏書を有する

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

迄には長い歷史を經て居るのである。徒らに藏書數の大を誇ることは無味である、圖書の集蒐は此の意味に於て一層難かしくなる。又、古書、珍書を飾るのみが能事ではない、更に新刊書籍選擇の範圍も充分に考慮しなければならぬのである。

斯くして、長い歲月と幾多の人力とを以て集積された書籍が、一朝にして破壞され、逸散した事は從來少からず起つて居る。近い例は、大正十二年の大震火災の際東京帝國大學圖書館の燒失した如き、眞に我が國のみならず、世界の損失である。古來、兵火の爲めに有名な圖書館の失はれたのは屢々史上に見る所であつて、就中、アレキサンドリアの圖書館がローマ侵入軍によつて燒かれたのは有名な史事とされて居る。秦の始皇の書を焚いた暴虐が、東洋文明に如何に禍したかも、我々として忘るゝ事は出來ない。亦、天保年間の饑饉に際して、大阪の與力で有名な漢學者であつた大鹽平八郞は、窮民救助の爲、其の藏愛する所の書籍を賣り拂つて金に代へた。此時、彼は多數細民等の困乏を見るに忍びず、或は上司に献策し、或は富豪に說いたのであつたが、入れられずして遂に自家の藏書を手離すに到つた。當時不便の世情にあつて、幾多の年月と辛苦とによつて集蒐した書物を、散逸せしめた事は、學者たる平八郞に對して最も同情の念に耐えざる所であると共に、社會的にも誠に惜しいことであつた。

一般の人々の無理解の爲めに、或は不慮の災害によつて、今日に於ても尙ほ書籍の散逸は起つて居る。我々は極力之を防止しなければならぬのである。

圖書の效用、乃至は其の集合、分散に就いて、大略述べ來つた事によつて、圖書館の意義は大體に於て明かになつたと思ふ。卽ち今日の社會に於ては、書籍の力を最も有效に發揮せしめ、亦其の消失、散逸を防止する方法として、圖書館は最も有力なるものである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

今後、圖書館の文明社會に致す效果は益々大なるものがあると信ずる、然して、圖書館の完備、充實は益々必要となるべきは疑ふべからざる事である。併も現在、我が國に於ける圖書館の狀態は尙遺憾の點が少くない。

我々は、我國に於ても百萬冊以上の藏書を有する大圖書館が數箇所の都市に設立さるゝと同時に地方にも圖書館が增設され、圖書館事業が充分に發達することを希望して止まない。

今度、私は臺灣を巡遊して圖書館に就いては特に注意した。臺北・臺中等の圖書館は中々立派なものであるが、全體としては遺憾ながら貧弱であると申さねばならぬ。尤も最近の設立にかゝるものが多いのであるから、今後の發展に期待すべきであらう。臺灣產業の發達は過去に於て著しいものがあることを實際に見る。今後も益々發展せしめらるゝ計畫であると聞いた。私は、產業の進展に伴つて、臺灣に圖書館事業の發達することを希望する。

信託事業に就て

加藤小太郎

私の從事して居る信託業務に就いて簡單に述べ度い。別に信託の御披露を致す譯でも無いが、只現代は信託の時代で有るかの如くに、內地の方面では信託流行の現象を見る。何でも信託に關係すれば非常に儲かるやうに大分吹聽されて居るやうであるから、信託の事を御話する事は强ち無益のことで無からうと思ふ。

本來信託はそんなに儲かるものではない。例へば八朱の利廻りで、八朱の配當を會社がする場合に、之れは二十年三十年後ならば、現在の保險會社の有して居る株劵が非常に高いやうに、或は二十年三十年持つて居れば、非常に儲かる事業であるだらうと云ふ。何か保險株の性質見たやうに、或は二歩方か或は一歩五厘方と云ふやうな望を持つて居る。之れは一つの見方によるものであつて、さうなる共言へるし、さうで無いとも言へる。

兎に角內地に於ては經濟界は、殊に事業界は極めて不景氣に係らず、信託業は非常に流行る。何うしてそんなに流行るやうになつたかと云ふに、一言で言ふならば、現代のやうな經濟組織のもとに當然要求された、新らしい事業だと申すより外に道は無い。そこで注意すべきことは以前信託と云ふ名前が起つた時代の信託と云ふものと、現在新らしい法律制度の出來た時の信託は、全然違ふのである。夫れ故に現在の信託制度卽

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ち大正十二年の一月一日から實施せられた處の、新らしい制度のもとに出來た信託と云ふものと、夫れ迄有つた信託と云ふものは、何う云ふ風に違ふかと云ふことを一應述べて、次ぎの問題に移つた方が宜しいと思ふ。

固より信託と云ふ文字は以前から有つたのであるが、未だ制度としては從來日本に見られなかつたのである。信託と云ふ文字は大分前から有つて、實際今の信託に似たやうな性質もあり、或は賴母子講のやうなものと似て居たのもあつた。然し今嚴格に法律で決めて居る處の信託と云ふ制度は今日迄無かつたのである。其信託と云ふ文字の現はれた年は今明確に記憶して居ないが、明治三十三年の頃に日本興業銀行の創立と同時に、日本興業銀行法の中に、有價證券に關する業務と云ふものが現はれて居るけれども、信託と云ふ文字の解釋は附いて居ない。有價證券の信託と云ふ文字が其時に現はれて居る。夫れからして其の翌々年の三十八年一月八日には、更に擔保附きの社債信託法の實施と共に、擔保附きの社債信託業務を營むものと云ふ事が出來て居るのである。信託と云ふ文字は有つたけれども、信託業と云ふもの、法律上の根據と云ふものは無かつたのである。制度としては出來て居ないが、特別法に認められて居る信託業務はあつた、つまり一般信託業に成つて居なかつた、然るに今申した通り三十七八年、詰り日露戰爭後大正を經て、財界が非常に殷盛を極めた當時から、信託と云ふものは漸く流行しはじめたのである。而して段々其數が殖へて來た。監督官廳を經て各地に於て信託と云ふ看板を以つて、仕事を行つて居るものが、大藏省の調べによると、其數約五百四十位有つた。之れは個人のものも有り、法人組織のものも有つて、大きなものは無いけれども、最高の金額に達した時代は、投資々本金が三億に上つた。斯く多額の公稱資本を持つて居つたのであるが、然し數が五百以上であるから平均の資本金と云ふものは極めて少なかつた。先づ五百と見て平均五六十萬位のものである。尤も五萬圓、十萬圓、二十萬圓のものが澤山ある。一體之等の信託會社は何う云う事を行つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

かと言へば、之れは又非常に色々の事を行つたのであつて、只今私の記憶して居る丈けでも一般信託業務の他に、有價證券の發布に係る物品販賣業務、不動產の賣買、金錢の貸付け、債務の保證、夫れから一般債務の代理業務、代理行爲、夫れから調査鑑定、其他に工事設計監督、其他の請負ひ業務と云ふやうに、種々雜多に、あらゆる業體を信託と云ふ名前のもとに經營して居たのである。斯う云ふ狀態であるから信託會社が最近一般から不信用を招くと云ふ事實も止むを得たい事と思ふ。

諸君も御承知の通りに、信託會社と云ふと何か不正行爲でもするかの如く思はれた時代も有つた。此時代に丁度內務省の方で、色々弊害があるやうであるから取締りの方針を決めなければならぬと云ふことになつたのである。夫れ迄は何の法律も無く取締がつか無い。法律の無い未開地に行つたかの如く勝手に營んで居つた、そこで大變に金儲けも出來たが、不正の事も有つたやうに思ふ。內務省に於ては、新らしい制度の下に一つに纏めて從來の不備を改めなければならぬ、と云ふ議論が前後から起り、そこで改めて此信託法と云ふもの丶制定を企てたのである。之迄は信託と云ふ文字は有つたけれども、信託と云ふ文字の解釋と云ふものが統一されて居ない爲めに、人々は世間に流行る美名のもとに色々の事を行つたものであるが、信託を許す以上は法律上信託の意味を一定しなければならぬと云ふので、內務省と司法省の當局の間に此の法律を決めたのである。丁度大正十一年に大體創案が出來た事を私は記憶して居る。私も暫く關係が有つたのであるが、其の際は信託業の條文は七十三條計りで、夫れに業法を二十三條加へたので九十何條かの法律になつたのである。信託を一つの商行爲と認める可き以外に營業として營ましめる場合と、監督を異にしなければならぬと云ふ業法のもとに、業法と云ふものを拵へて之れを別々にするが宜らうと云ふので別々になり、信託法と信託業法と云ふ字に改まつて十二年の一月一日より實施する事になつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新らしい法律のもとに出來た信託と云ふものは一體何う云ふものであるか、從來行つて居る仕事に制限を加へる必要があつたので第一定義を決めた。兎に角一つの範圍を決めて制限を加へて來たのである、之れが爲めに從來存在した處の信託業者と云ふものは殆ど全部無くなつて仕舞つた。之れで嚴重監督を加へて精選したものでありますから、五百以上有つた信託業者が內務省の免許に依て「ライセンス」を得たものは實施の當時僅かに二十四になつて仕舞つた。如何に信託の美名のもとに色々の仕事を行つて居つたかと云ふ事が解るのである。僅かに二十四、一割に足らない殆ど五步內外の數に止どまつたと云ふ事は、如何に現在の信託業者と云ふものは嚴重なる制度のもとに、取扱われて居るかと云ふ事が諸君に御解りであると思ふのである。其位迄數が減つたので有ります、そこで何う云ふ仕事を信託業者が許されて居るかと云ふと、之れは既に御承知であると思ふが、矢張り財產の全體に涉り得るやうになつて居て、或る人の財產を會社が引受ける、さうして管理處分する、斯う云ふ事になるのである。

其の引受け得るものは殆ど財產の全部に涉つて居るけれども、中には現在の信託業者と云ふものは、未だ幼稚なものであるから、實際の財產權と云ふものは認めて居ない。金錢の信託預金は、五百圓以上ならば幾何でも預けられる、有價證劵も信託で行けるやうになつて居る、金錢の債權と云ふやうなものも會社のものとして信託を受ける、債權の取立てと云ふやうな事も出來るのである。

其他に之れは不動產物普通建築物、不動產の信託處分を受ける。土地の賃借權々利、斯う云ふ事も受ける。財產權の移轉、財產權を會社に移して會社の名義で代理となつて、本人の物として外部に對して仕事を行つて居るから信託財產と云つて居る。信託財產と云ふものは之れが特色なのである。一端會社の名前に移して、品物を移して仕まつたならば此財產と云ふものは、絕對不可侵のものになる。唯れが何と言つても公賣處分、

若しくは競賣處分に附する事の出來ない安全地帶になる。但し信託前の債務、財産の上に借財を有した場合は信託會社は知らぬ。若し處分しなければ會社の費用が取れないと云ふ場合は、之れは競賣若しくは處分する事が出來るけれども、例外に二つ認めて居る以外は絕對に之れを侵す事の出來ないと云ふのが、財産確保の道に於ける安全地帶になつたのである。此地帶の財産に對する關係と云ふものは進んで來たのである。之れが行ければ所謂財産の受託機關として會社は滿足であるが、今の處では商賣を行つて引合わぬ。人と人との間に於ける信認關係に於て出來た制度であるから手數料を安く行つて居る、手數料の觀念と云ふものがもう少し發達して行かなければならぬ。手數を掛けたから相當の禮金を拂ふ、之れに對して禮をなすと云ふ習慣が來なければ、會社が營業をして行くと云ふ事は困難である。

例へば亞米利加法は、商賣として、商行爲として認めた時代が新らしい故に儲からない。信託業務を殺しつきりは可愛想であるから、業務に抵觸仕ないやうな第二期の業務を認めてくれたのである。會社の儲けになつたり又色々の費用にしたりするのである。第一が本來の業務である、もう一つは附隨業務が認められて居つて保護預り業務、夫れから不動産賣買の仲介、金錢不動産賃借の媒介、公社債株式の保證、株式の引受け、拂ひ込み金の受入れ支拂ひ、若しくは配當金の支拂ひと云ふやうなものも許されて居る。其他に其方法は前に申した代理事業、或は證劵或は債權の取立て、整理・精算と云ふやうなものも認められて、之等の仕事を現在の信託會社が合せて營んで行くならば相當の儲けがある、營業を行つて行けるのである。之れには大變議論が有つたので、大體信託業は英吉利流の信託で行かなければならぬと云ふ論と、英吉利から亞米利加に渡つて商行爲化された亞米利加式で行かうと、斯う云ふ論と大論爭が初まつたのである。實は內務省の方では亞米利加風の仕事を加味して居り、夫れから司法省の方では全然英吉利流である。息子が父の亡くなつ

たと云ふ場合に、叔父に一切の財產を賴んで、夫れから息子が大きくなつた時に引渡しを受ける其間は直接の信認關係にある。之と同じく英吉利の信託は人と人の間に於ける信認、此の人は間違ふ事は仕まいと云ふ、絕對信認を置くと云ふ基礎のもとに進んで數百年を經て居るので最も發達してゐる。矢張民本主義で押し通さなければならぬと云ふ權利を、之れを司法省の方では堅く取つた。信託法を讀んで見ると餘程此の意味が加味されて居るのである。內務省の方に行きますと夫れでは商賣に成るまいから、商行爲として一方を認めるなら亞米利加流の主義の行き方が宜いと云ふので段々勢力を得て、さう云ふ事も加味された。而し乍ら現在は兎に角纏まつた一つの財產の引受けである。故に財產制度と云ふ事になつて、現在日本の開闢以來入れなかつた處の信託と云ふものは、將來財產の確保に於て財產から起る一切の紛擾を只信託する事に依て一切の解決されるので有ると云ふ迄、人々が賞賛する迄になつて居るのである。多くは各國の一番良い處を集めて參つたので、日本獨得の信託と云ふ制度が出來て居る。恐らく世界中に於て立派なものが出來るであらうと、又出來て居ると學者も言つて居る。之れの硏究をする學者も少なくないのであるが、從來外國から模倣して法律制度を輸入して居るが、而し乍ら外國の制度を取り入れた中で、信託制度を取り入れた程立派な取り入れは無いと云ふやうに批評して居る。之れが日本化され、日本のものになつて、將來立派な結果を現わすに至るであらうと云ふ事は私の信じて疑はない處である。

尙ほ現在の信託會社信託業者と云ふものと銀行との關係、其の間の競爭の事實や、信託業者に對する內務省の方針と云ふものは、何う云ふ風に現われて現在何うして居るか、又將來信託者の設立に就ては何う云ふ波瀾を持つて居るかと云ふ事を述べ、同時に信託業の將來、金融界に對するその使命はどこにあるかと云ふやうなことを述べなければ、今申しました意味は徹底しないのであるが他の機會に讓ることにする。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

乃木將軍の陣中を偲ぶ

陸軍步兵少佐　曾根田謙治

私は曾根田でございます、本日乃木將軍のお話を致せと云ふ御命令を受けたのでありますが、私は全く此乃木將軍閣下に緣故のないものでありますから、將軍の講演をなすと云ふことは衷心より恐縮を致して居る次第でございます。殊に永く演習に行つて居りまして、二三日前に私は臺北に歸つて參つたのであります。臺北に歸りまして初めて印刷物を拜見致して承知したと云ふ譯でありまして、從つて準備其他に就きましても誠に不行屆千萬でございます。實は御斷りしたいと云ふ考へもあつたのでありますが、既に印刷物も出來て居るから罷りならぬと云ふことでありましたので、厚顏の次第でありますが此處に出た次第でございます。

私のお話を申上げることは日露戰爭に於ける乃木將軍の陣中に於ける其狀況を偲びたいと考へて出た譯で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ございます。其順序と致しまして乃木將軍は第三軍の司令官になられたのでありますが、第三軍の編成に就て極く簡單に申上げて置きたいと思ふのであります。明治三十七年の二月に日露の開戰となるや、第一第二軍は朝鮮竝に滿洲に於て戰鬪をして居りました。其間に將軍は留守の近衛師團長でお出でになつたのであります。さうして五月一日に第三軍の編成と共に、第三軍司令官を拜命されたのであります。五月二十六日になりますと、此處は、〔圖説〕南山であります、我が第二軍は南山を攻擊致し敵を北方に擊退したので五月二十七日第三軍は東京を出發致しまして、六月一日宇品を出帆したのであります。其當時第三軍の任務は何んであるかと云ふと、成るべく速かに旅順の要塞を攻略致し、さうして、敵をして一人たりとも、卽ち滿洲の全軍の戰鬪して居る方面に敵を一名でもよこしてはならんと云ふ大任務を乃木將軍は大本營から受けたのであります。尙ほ大本營と致しましては、旅順を陷落致し出來るならば速かに第三軍を滿洲の遼陽方面に使つて露軍を一擧に叩き潰したいと云ふ腹でありました。六月二十日になりまして新たに滿洲軍總司令部の編成になり、大山大將閣下が總軍司令官として滿洲に御出發になりました。此處で申上げたいことは、六月の始め乃木將軍は滿洲に渡つて續いて軍司令官も滿洲に渡つた時に、日本に於ける大本營が露軍の敵狀に就て如何に判斷されて居たかと云ふことを簡單に申上げます。

七月から八月に掛けまして滿洲の奉天竝に「ハルビン」附近に集合して居た敵は步兵二百四十四大隊、騎兵百八十九中隊、砲兵九十五中隊合計二十箇師團でありました、九月の中旬までに滿洲に到著する豫定の露軍は十八箇師團故に合計三十八箇師團は九月中旬までに滿洲に到著することになつた。西比利亞鐵道開通と同時に一日滿洲に十六列車這入つて居ります。其十六列車の中に七列車は兵卒を載せ、後の九列車は軍需品を載せて合計一日に二十七師團の兵に對して、ものを食はすことが出來たのであります。殘りの九箇師團の方

に如何にものを配つたかと云ふと、之れは作戰上の原則と致しまして糧は敵地より求むと云ふことであります、此筆法に於て九箇師團は滿洲の品物で飯を食はす、後は鐵道輸送で滿洲に送ると云ふ計畫をしたのであります。其當時の日本の滿洲に於ける兵力は幾らであつたかと申しますと、十三箇師團後備の歩兵大隊を編成しまして夫れが七師團ばかり、更らに勅令後備の四十八大隊合計日本軍は二十四箇師團と云ふことになつて居ります。露軍は三十六箇師團であります。然るに八月末から九月の末まで日本軍は六萬五千人の死傷者を出して居ります。更らに馬匹が三百二十四頭の不足を告げて居る狀況であります。從つて當時内地に殘つて居る師團は北海道の第七師團、弘前の第八師團此二師團の外に日本軍隊は殘つて居りません。

敵の主力艦隊は旅順口に逼入つて居ります、一部の艦隊は遠く浦鹽に居りました。十一月頃に露西亞の本國からバルチック艦隊が、少なくも十一月頃に臺灣の南の方の馬來半島に到著する、と云ふ報告が參つたのであります。大本營に於きましては旅順の陷落を八月下旬と豫定して活動を始めたのでありますが、ハルビン方面に於ては動もすれば日本軍に對し積極的に行動すると云ふ報告が上つて居る。八月下旬大山司令官に伯林電報により露西亞の皇太子が東狙第十三聯隊長として露國の本國から滿洲に御出になると云ふ報告が參つて居ります。夫れのみならず、滿洲のクロパトキン將軍が露國皇帝陛下に報告申上げて、吾人は欣然として敵と接戰し以て陛下及國家に對する忠誠を表彰せんことを母國の皇帝に對し報告して居ります。故に大本營並に滿洲軍司令官に於ては、露軍は早晩日本軍に對し攻勢的に出て來るものと判斷して居たのであります。其狀況に於て乃木將軍は旅順港の第一回の總攻擊を開始したのであります。其所で私が今晩お話を致します事も、重に之れから後のことを御紹介したいためであります。

今の樣な狀況であつて、陣中に於て乃木將軍がどう云ふ心持であつたかと云ふ事を御汲取り下されて、乃

本將軍の心理狀態に御這入り下さることを希望して止まない次第であります。第三軍即ち乃木軍の第一回總攻擊には第一・第九・第十一師團と後備旅團を以て八月十九日に實行致しました。其參加兵力は五萬七百、死傷者が一萬六千、之れだけの死傷者を出して其目的を果さず失敗に歸したのであります。殊に第十一師團の如きは萬龍山を取りましたが、敵の爲めに更らに之を奪取されました。當時狙擊步兵十四聯隊は露國皇帝から武勳拔群と云ふ勳章を貰つて居ります。所が時變つて十四聯隊の貰つた勳章は、日本の遊就館に殘つて居るのであります。

第二回の總攻擊には戰のやり方を變へたのであります、十月下旬第三軍の參加兵力は四萬四千で死傷者三千八百を出し遺憾ながら失敗に終りました。引續いて第三回の總攻擊の準備となつた。第三回の總攻擊の準備には乃木將軍は非常に頭を痛められた樣に私は拜見致して居ります。十月十五日には佛蘭西に行つて居りました本野公使から大本營に電報が參りました、其報告には露西亞のバルチック艦隊は十一月の末に馬來半島に到著する、其上に十二月の末か、遲くも一月の初めには臺灣附近に到著するならんと云ふ情報が參つたのであります。同時に英吉利より大本營に達した情報に依ると、露國は一億六千萬ルーブと云ふ金を出して智利から五六隻の軍艦を買ふことになつた。又前に申しました通り、北方に於ては露軍は次第に活動を開始して居ります。其所で十一月六日になると滿洲軍の總參謀長である兒玉大將から乃木將軍に對し、第三軍の總攻擊は何時やるかと云ふ催促が來たのであります。十一月の九日になるとバルチック艦隊は次第に東の方に進んで居ります。大本營から一日も早く攻落を切望すると云ふ電報が來て居ります。十一月十一日には內地に殘つて居りました所の第七師團は、第三軍の乃木將軍の膝下に入ると云ふ電報が來た。此時に乃木將軍並に部下各師團長は非常に憤慨して、日本の軍人は與へられた兵力を以て與へられた任務を遂行することの出來

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ないことはない、其任務を終らないで增援隊の來ることは武人の恥であると申されたのであります。

之れは左もあるべきことであると思ひます、思ひ出しますと今から二百年前の九月十三日、即ち今日であります。關が原の大戰に於て西軍の總大將石田三成、本日・明日・明後日の戰鬪に島津の軍隊に對し增援隊を要求して居ります。所が島津軍の大將島津豊久は頑として聽かない、「今日に於て增援隊を要求することは甚だ當を得ない」と申して絕體に之に應じないで、最後まで踏み止まつて自から進んで遂に戰死した、夫れは丁度今日から明日と、明後日の戰鬪になつて居ります。斯う云ふ堅き決心の腹は昔も今も決して變るべきものではないと私は考へて居ります。十一月の十四日になりますと大本營に於きまして御前會議が開かれましたが、其御前會議に於て第三軍は成るべく速かに旅順港を攻略せよ、やれるならば旅順港の背面の一段高い處を占領せよ、と云ふ命令が來て居ります。恐らく二百三高地を取れと云ふ事であつたと私は考へて居ります。十一月の十五日になると、愈々バルチック艦隊は十一月から十二月の末に掛けて馬來半島に來ると云ふことが確實であると云ふことになりまして、十一月の末になつても若し旅順港が陷落出來ないならば、我日本の海軍が今まで旅順港を封鎖して居りましたが、其封鎖を解いて海軍は海軍に依つてバルチック艦隊に當らなければならぬ。陸軍は十二月十日頃まで少なくも準備をやらなければならぬと云ふ交涉が來ました。

當時旅順には露國の艦隊が五隻殘つて居ります、此頃乃木將軍の所に山縣大將・兒玉大將・東鄉大將から色々の手紙が來た、手紙の內容は成るべく早く旅順港を取らなければ、北方の兵力が一層苦戰をするので困ると云ふことを乃木將軍に言つたと傳へられて居ります。十一月の十九日になりますと參謀總長山縣大將から乃木將軍の所に電報が參りました、其電報は、第三軍は更らに第三回の總攻擊を開始することを聞いて畏くも天皇陛下に奏上した。其攻擊が若し不成功に終つたならば再擧は謀り難し、旅順の攻略は實に一日を爭ふ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の時期にして、其成否は陸海作戰利害の岐るゝ處、國家安危の繋る所なりと言ふて來たのであります。十一月二十一日に滿洲軍總司令官大山大將は絶大なる犧牲を拂ひ如何なる苦戰をするとも必勝を期せと云ふ電報を打つたのであります。

序に當時の彈藥の狀況を申上げます。第二回の總攻擊に乃木軍が大砲の彈は百二十發と制限された、乃木將軍は百二十發の彈藥では戰鬪は出來ない、三百發に增して呉れと云ふことを滿洲軍總司令官に願ひ出たが採用にならん、彈がなくて戰爭が出來なければ戰は延ばせ、と云ふ囘答があつたのであります。如何に軍司令部に於ても戰勝にあせつたかゞ判かるのであります。乃木將軍は此時に心配されたのは、巳に十一月の末に第三軍の兵卒の全體に防寒外套を著せたいと考へたが、遺憾ながらバルチック艦隊が東方に來ると云ふので、亞米利加方面からの諸材料は全く杜絶して居ります故に政府に於ては止むを得ず日本の內地に於ける總べての犬を殺し、其犬の皮を以て防寒外套を作らうと考へて日本全體の犬の數を調べた。所が當時僅かに三十萬頭でありまして、三四乃至四匹分無ければ一人分は出來ないのであります。臺灣の人に防寒外套の話は向きでありませんが、百萬の軍隊に十萬の防寒外套は役にたゝぬと云ふことで、犬を殺すことは取り止めになつたのである。十一月の二十二日になりますと畏くも『今ヤ陸海軍ノ狀況ハ旅順攻落ノ期ヲ緩ウスルヲ得サルモノアリ此時ニ當リ第三軍總攻擊ノ擧アルヲ聞キ其時期ヲ得タルヲ喜ヒ成功ヲ望ム甚タ切ナリ汝等將卒自愛努力セヨ』と云ふ御勅語が第三軍に下つたのであります。加之當時乃木將軍に宛てた無名匿名の手紙、信書等が合計二千四百位到著して居ります。其內容は旅順の攻落が出來なければ乃木將軍は腹を切れ、腹を切ることが出來なければ乃木將軍は辭職せよ、と云ふ手紙がある。十一月十七日東京赤坂乃木邸に於て夫人は朝早く屋外を見ますと、宅の前に於て呶鳴つて居る者がある。「乃木の野呂間、今に於て旅順が取れなければ腹

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を切つて死ぬか辭職するが宜い」と云ふことを言つて居る。夫れを聞いて乃木將軍夫人は十一月十八日に伊勢詣りをして居られます。伊勢詣の其時に願をかけました、我々親子四人の生命を捧げますから旅順を一日も早く陷落さして貰ひたいと云ふ事を伊勢參宮で祈つて居られます。

內外かくの如き狀況の許に第三回の總攻擊を開始しました。彼の有名なる中村少將が拔刀白襷隊と云ふものを編成して攻擊をやりましたが、其效果は遺憾ながら意の如くならず、遂に十一月二十七日から更らに戰鬪の部署を變へて、二〇三高地を早く取ると云ふことに著手したのであります。斯の如くにして十二月五日始めて二〇三高地を奪取して、三十八年一月一日午後三時三十分旅順港の中に、我が忠勇なる將卒が梅干の汁を以て書いた日の丸の旗を翻すことになつたのであります。而して此攻圍百五十五日間に日本軍の死傷は合計五萬九千餘名であります、序に申上げますが、露軍の方の死傷者は將校一千三百八十名、下士一萬三千、下士卒の捕虜四萬將校一千百名、其他日本人で拘禁されて居たもの百〇一名、其中に婦人もあります。

之れより先き三十七年の六月一日に乃木將軍が第三軍司令官として宇品の港を出發されんとするとき、長男の乃木中尉が五月二十六日南山の戰鬪に於て重傷を負はれて、二十七日野戰病院に於て戰死されたのである。宇品に於て大將は此狀況をお聞きになりまして戰死とは本望なり、死樣はどうであつたかと聞かれました、之れは私は偉い所であると思ふのであります。昔豐臣秀吉が或城持大名に切腹を申附けた、すると大名の言ふには暫く御待ち下さい、今私は體に灸をすえて然る後に切腹するから見て吳れと申しました。其理由は自分は卒中の系統である、腹を切るのに卒中の豫防をして其後に腹を切から待つて吳れと言つたとのことである。乃木將軍が伜中尉の死樣はどうであつたかと聞かれた次第であります。

乃木將軍の第二師團長當時部下たりし步兵隊第十五旅團は露軍總豫備隊の逆襲を受けて全滅せんとする時

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に旅團長岡成少將は猛然と立つて自分の軍用行李を開き一番良い軍服を着て戰鬪したと云ふことでありますが、此行爲は乃木將軍に感化された結果であります。六月二日宇品にて乃木將軍が東京の乃木邸に向つて電報を打つた、其電報には「勝典戰死す滿足に存す」とあります。十一月三十日に第三軍は二〇三高地攻擊の最中に、乃木將軍と滿洲軍總參謀長兒玉大將と陣地の視察を致されました。丁度其時に一人の傳令が飛んで參りましての報告には、乃木少尉は戰死されましたといふのであつた。側に付いて居りました各將校は何れも沈默を守つて默つて居りました。所が兒玉將軍は「乃木は宜いことをした」斯う云ふ一言を申されますと、乃木將軍は傳令に「お前御苦勞であつた」の一言の下に、後は將軍は沈默を守つて居られた。乃木中尉は友安旅團の副官として二〇三高地の塹壕の中で、敵の小銃彈の爲めに頭を射たれて即死したのであります。夜の八時半、乃木將軍は軍服を着て望遠鏡を手にし腰掛けに腰を掛け沈默して居られますと、其所に這入つて參りました津野田少佐が、閣下誠に悲しむべき御報告を申上げなければならぬと一言申上げました所が、乃木將軍は其事はもう既に承知して居る、是れで吾輩は世間に初めて申譯が立つと一言申された。

之より先きに乃木少尉は二〇三高地を攻擊の前に、父乃木將軍の乘鞍が餘つて居ると云ふ話を聞いた爲めに、將軍の鞍なら乘心地が良いだらうと云ふので、餘つて居る鞍をどうかして吾輩に貸して貰ひたいと云ふことを使に傳けてやつたのであります。所が乃木將軍は夫れを聞いて烈火の如く怒つて、不埒な奴だ、本分を辨へないで乘り心地の宜い鞍を貸せとは何事だ、馬具は悴には貸さないと仰せられた。爲めに、乘心地の宜い鞍に乘ることも出來なかつたのである。世の中に死き子の年を數へる親が多いのに、私は感慨無量であります。

十二月の六日に全く二百三高地を奪取しました時に、乃木將軍は單身、自分で山の上に駈け登つて、二百

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

三高地の樣子を山の上から視察しました、當時の山上は我軍の六千の死傷者がありました。山の陰には露軍三千の死傷者があり、其殘骸、血痕、脂肪、鐵片、石塊……即ち山形改まり草木跡を斷つと云ふ光景であります。乃木將軍の『鐵血山を覆ひ山形改たまる、萬人齊しく仰ぐ爾靈山』の詩は此時の事であります。其二百三高地の上に外國の武官が登りまして、樣子の悲慘なのに、多くは腦貧血を起して登り切れないで歸りましたが、將軍は一人で登つて居られました、それは死所を選ぶ死場所を選ばれたのだと申しますが、將軍のお心では流れ彈に當つて戰死したいと云ふ希望であつたのが此時の樣子であります。或人は乃木將軍の殉死は旅順に於て澤山の部下を殺したから其申譯であるを申しますが、私は之れは當つて居るとは申しません、私の考へは將軍の殉死は責任の觀念から生じて居ると思ひます。其責任觀念の原因は、當時でなく明治の初めに聯隊旗を失つたと云ふことが抑の根本の樣に思ひます。自分の位置が高くなつたら高くなるに從つて自分の責任を明らかにしなければならぬことを、將軍は充分に豫て考へて居られたのであります。所謂大行は細瑾を顧みずと云ふ事がありますが、大行が成就すれば細瑾も大瑾となります、一尺の蛇の一分の傷も蛇が一丈となれば傷は一尺となります、故に大行を志すものは須く細瑾をさけざるべからず、過去の細瑾は今日の大瑾なり、昔日の責任は是非果さゞるべからずと云ふ事から、一同に申譯の爲めにどうしても死なゝければならぬと云ふことを覺悟して居られたのであります。而して　先帝陛下の御崩御に感奮致され漸く死場所と死ぬ時間を發見することが出來たのであります。

現に明治の初めに聯隊旗を失ふた時乃木將軍は福岡の病院に這入つて居られ、其時に此間死くなられた大島大將も一所に居られましたが、軍旗を取られたと云ふ瞬間に入院中の將軍は馬に體を縛り付けて戰爭に出かけたと云ふことであります、之等は將軍の責任觀念の旺盛なる處でありまして、此責任觀念の旺盛が我國

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

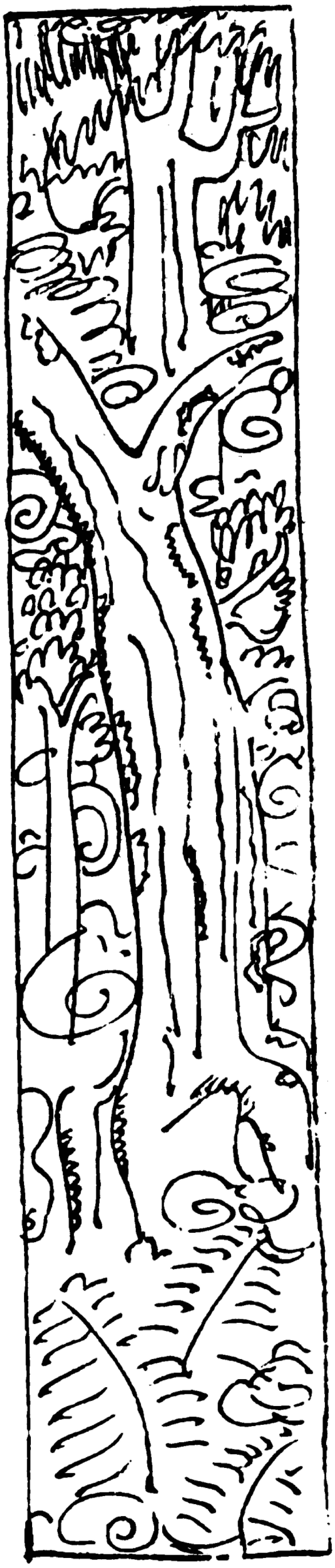
民、軍隊に好感を與へしめたのであります。乃木將軍に私淑して居られた所の田中館少佐と云ふ人があります。此人は遼陽の開戰に後備歩兵第四聯隊大隊長として敵彈の爲め股を射たれて、立つことも出來ないで病院に送られて居つたが、自分の大隊が敵前に向つて前進すると云ふことを聞いて、病院を抜け出で、自分の馬に自分の足と體を縛り附け戰場に立つて悲慘なる戰死をされたのであります。

更に軍人以外の人で申しますると、有名なる横川省三氏の如きも其一人であります。横川氏は日本の軍事探偵として、松花江附近の鐵橋破壞の爲めに、ハルピンに出て行きましたが、不幸にして四月二十日に露軍の爲めに捕はれて、ハルピンに於て銃殺されたのであります。銃殺される時に、自分の持つて居た五百圓の金は露軍の赤十字社に寄贈し、更らに自分の子供に以後の事を手紙に認めて送つた。其手紙の文章は「父は天皇陛下の御命令に依り露西亞に來り、四月十一日露兵の爲めに捕はれて彼等の手に銃殺されんとす之れ天なり命なり、汝等大いに身を以て國家の爲めに盡せ、死に臨み一言す」と、遂にハルピンの露となつた。斯の如き志士が續〃出て居る所のものは、皆乃木將軍に私淑して居られたからであります。嗚呼軍人、乃木將軍は軍人精神の固まりであり、國民精神の固まりであります。眞に至誠奉公國家を思ふ一念より外にありません。十四年前に而も本月本夜、明治大帝、神さりましまされ將に青山祭場に出御あらせられました時に殉死されたのが今日であります。將に今日の八時であります。午後八時に明治御大帝の御後を慕ひ永久に大帝の御守護に任ぜられました。私共は賢明なる各位と共に無念無想、默祈の心願を捧げ此精神が明治大帝陛下並に乃木將軍夫妻の神明に通じましたならば頗る幸甚至極と思ふのであります。

時間がありませんので之れで終ります。

——本稿は大正十五年九月十三日、乃木講主催講演會に於ける同氏講演の速記である——

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



娯樂と其の歸趨

小林一三

此度臺灣各地を見物さして戴きまして考へましたことは、娯樂機關が存外完備して居ないことで、大變に殘念なものであると考へました。內地人が本島にどうも落付かないで困ると云ふやうな種々の不平話を承はりましたが、移住して住みつくには娯樂的の慰安が必要でその效力は重要な關係があると思ひます。製糖會社に參りますと微弱ながら相當一局部の人の爲めに娯樂の設備が出來て居るに係はらず、臺北・臺南・臺中・高雄・嘉義と云ふやうな大きな所に參りましても內地人の皆されの爲めに何等娯樂の組織が出來て居ないのはどう云ふ譯であるかと考へましたが、公園を例にしてお話を申上げますると、樹木鬱蒼として中に亭がある、又種々の花がある、博物館或は商品陳列所と云ふものもあるが、すべて從來の形式に囚れて出來て居る。然

し時代の進歩に連れて現代は總べて民衆を對象とする時代に這入つて居るのでありまして、東京の例を申上げますと、赤坂の山王臺の如き樹木鬱蒼として居り、芝山内の公園は相當幽邃で風情のある公園でありますが、此處に集まる人は存外寂々寥々たるものであります。これに引かへて銀座に散歩に行きますことを「銀ぶら」と申しまして一つの流行語にまでなつて居ます。又淺草公園に參りますと、低級の公園と云ふ名前は付いて居りますが常に民衆の歡樂境となつて居ます。京都で京極、大阪なら千日前、其他内地には小さい場所は夫れ〳〵あります。大體レストラントがあつて芝居・活動と自首がある、全々遊廓の延長で國民の娯樂機關としては頗る舊式で遺憾の點が多いと思ひます。

先刻申上げましたやうに、公園が一つの型にはまつたもので生活に遠ざかつて居るのでは之又頗る遺憾である。公園は新しい意味で民衆的に造らなければならぬ。公園の周圍には例へばプールとか、ベースボール・グラウンド其傍に活動寫眞館、其側には劇場を造り、更らに音樂堂を作る等不健全な享樂と離れて國民の娯樂機關の中心を作ると云ふことに對して充分考へなければならぬと思ひます。

私共商買柄殊にそう感じるのかと思ひますが、注意して見ますと御當地に參りまして娯樂機關が貧弱で御氣の毒に思ひました。もう少し民衆本意に總べての設備をしたならどうかと考へた次第であります。私は鐵道ホテルに泊つて居りますが、承われば鐵道ホテルは無家賃で貸して居るそうであります。我々旅行者が泊まる場合に提供する、總督府の歡待なさるお考へも結構ではあるが何故もつと必要なる、在臺者諸君の爲の立派な娯樂機關でも設けて無賃で貸してやらないのかと思ふ。

民衆娯樂の中で一番大切なるものは芝居である。此芝居に就ての私の考へを簡單にお話致します。芝居は私の理想通りに發達すれば國家の爲めに非常に必要なる利益のあることであると信じて居りますが、私の芝

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

居に對する立場は殆んど四面楚歌の聲であります。私は芝居を國民の手に移して安く家族的本意に見られるやうにしたいものであると松竹に對して宣戰を布告したのであります。大劇場本意に依つて安く見せる他はないと話しました。私自身寶塚に四千人を收容する民衆的な劇場を造つて居ります。大阪では御維新前には道頓堀に莫蓙櫓を列べて芝居をして隨分繁昌したものであります。神社佛閣の後には、オデヾコ芝居が澤山ありました。其當時は二十五萬人足らずの小さな大阪で、莫蓙櫓を列べて芝居をして居り其他に有する神社佛閣の後でオデヾコ芝居があつて、何れも滿員で全く民衆娛樂の觀があつた。今日の大阪の人口は二百五十萬の大都市となり、道頓堀の莫蓙櫓の芝居小屋は活動寫眞に變つて芝居小屋は四つしかありません。大阪中の劇場で今客席は九千九百七十であります。二百五十萬の芝居のお客さんに對し九千九百七十人のお客さんの設備しかない、一方に高い金を出して傭つて居る役者は、お客から觀覽料を十圓取ることを餘議なくする。そうして一時から始めて夜の十一時までやる到底民衆的とは云はれぬ芝居である。此んな現在の芝居はどうなるかと云ふと潰れるに決つて居る。

お若い方はお讀みでございませうが、菊池寛先生が文藝春秋の八月號の中に次のやうなことを、つまり演劇思潮をやつた爲めに三箇月で五千圓損をした、どうも芝居の雜誌を讀むものは少ない極限されて居ると考へると斯う云ふやうなことを書いてあります。菊池寛先生のやうな現代の脚本の大家が現在の芝居に不滿を有つて一つの權議を打立てられたのであるが、今芝居の本や雜誌を讀む人は意外に少なく極限されて居て成功しなかつたことは不思議であると考へられるかも知れませんが、現在の芝居道・舞臺・役者・外座・そう云ふものヽ爲めに先生方が新らしいものをお書きになつても成功するはづはないのでありまして、寧ろ特種階級の人に對して利益はありますが國民一般の上から見ると夫れは徒勞ではなからうかと思ふ。そこでもう少し

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國民の生活に接觸して國民の娛樂となる芝居を造つて頂いてはどうかと云ふことを私は書いて發表致しました。

私はどうしても多數國民の生活に適した芝居を造る他に方法はないと斯う云ふことを考へたに付きまして、どう云ふものが然らば多數國民の見る芝居になるかと申しますと、何と申しましても小學校は元より幼稚園、有ゆる學校で今日敎へて居りますのは西洋音樂である、西洋音樂を基礎としてやる他に方法はないと私は考へて居ります。

話が餘談になりますが、先日來、日月潭に參りまして彼處で蕃人の杵歌を聽きましたが御承知の通り長い杵、短かい杵と色々の杵を持つた十二三人の女が集まつて石を叩いて歌ふ、あの音調を聽いて私は愕然として驚いた、彼等が唄ひます其歌の立派なメロデイ、淸爽と申しますか藝術的と申しますか、私は覺えず涙を零した。考へて見ますと我々には、集まつてあゝ云ふ風に唄ふ國民の歌がありますか、國民歌は學校に行けば君ケ代があります、木曾に行けば木曾の御嶽山と云ふ歌があるが、組織立つた一つのオーケストラなりコーラスが何處にありますか。所が之れが生蕃にあるに至つては私は驚かざるを得ない、實に彼等は音樂的に惠まれて居る。日本でも三味線の這入らない前の奈良朝の時代までは總べての國民があゝ云ふ簡粗なる音樂しか有たなかつたのであります。然るに三味線と云ふものが渡來してどう云ふ結果を及ぼしたかと云ふと、三味線は廓を征服して遊廓大人の藝術となつた、そして三味線のメロディーは國民を悲哀の感じに誘ふたのであります。少くとも足利時代から豐臣時代までの日本の歌は今日のやうに悲調のこもつたものではなかつた。然らば三味線は何處に育つたかと申しますと、御承知の通り遊廓で育つた。隨分賑やかな調子も出しますが、どうも健全でありません。活惚と云ふと泣いて居る子供が喜んで騷ぐやうに思ひますが、外國人の耳

に這入るとやはり一種の哀調があるのでせう、ピエール・ロチのお蝶夫人と云ふ歌劇がありますが、その中で長崎で別れる悲しい時に活惚が這入つて居る、之れは頗る痛快な話であります。

斯う云ふわけで芝居は遊廓に成長した三味線の發達と相俟つて今日をなしたもので家庭本意 國民本意・家族本意とは云はれません。今日は全國が西洋音樂を基礎として童兒に敎へて居ります。此等の子供が大きくなれば總べてのものは耳を傾けて洋樂に走り三味線に興味を有つて居るものはなくなつて從來の哀調を帶びたメロデイーは永く存續する譯はないと思ふ。どうしても西洋音樂を基礎とした芝居を中心として音樂舞踊化したものでなければ滿足することは出來ない。學校で洋樂の歌を敎へて居ります以上は一般社會的にも何んとか始末を付けなければならぬが、今では何處にも始末を付ける所はない。卽ち學校で西洋音樂の面白味を習つても學校を出て其の樂しみを以て生活を慰することは出來ない。

私は玆に於てどうしても家族本意の必要なる芝居を作らなければならぬと斯う云ふことに出發して、寶塚少女歌劇を興しましたのでありますが、此話は私の廣告になりますから一切申しません。只西洋音樂を基礎として唄つて舞つて芝居をする歌劇が必ず將來の天下を取ると云ふことを信じて疑はないのであります。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

佛領印度支那法制調査（六）

臺灣總督府囑託　板倉貞男

第二節　一般豫算及州豫算支辨の統治機關

一般豫算及州豫算の分擔支辨に依る機關は左記の如くである。

（一）印度支那敎育機關

印度支那に於ける敎育制度の基本法は一九一七年十二月二十一日總督令（初等中等普通敎育及實業敎育に關する制度）及一九一八年十二月二十五日總督令（高等普通敎育に關する制度）であつて、爾來屢次改正增補せられて今日に至つたものである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、教育行政機關

教育行政機關は中央及地方機關の二種に區別する。

A　中央教育行政機關

印度支那教育行政の中央機關として印度支那教育局がある。教育局は一九二〇年五月二日大統領令に依つて設置せられたもので、大統領令に依り任命せらるゝ局長を置く。局長は印度支那全國に於ける高等及中等教育機關の指導統理に任じ且つ印度支那教育の發展に關する一般施設につき總督に進言す。

局長の任務を補佐するため視學官六名を置く。視學官は局長の推薦に依り總督之れを任命す。

教育局は祕書課・監理課・技術課の三課に區分し各所管事務を分擔せしむ。

B　地方教育行政機關

印度支那教育行政の地方機關として各地方長官の權限下に地方教育課長を置く。（一九二四年四月十五日總督令）地方教育課長は技術關係に於て教育局長の監督を受け管內に於ける尋常高等小學校、補習學校（師範學校・シャッスルーブ・ローバ中學校を含む）及實業學校を監理す課長は地方長官及教育局長の推薦に依り總督之れを任命す。課長の任務を補佐するため地方視學一名を置き所管學校の檢閲に當らしむ。

二、教育實施機關

印度支那教育實施機關として初等普通教育機關・中等普通教育機關・高等普通教育機關・職業教育機關・土人特殊教育機關等がある、以下順次之れを說明する。

A　初等普通教育機關

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

初等普通教育機關は初等佛蘭西學校及初等土人學校であつて一切學費を徴收せず。是等學校の一般的監督は地方長官又はその代理者に依り行はるゝも學科に關する監督は地方首府に於ける指定學校の佛人校長又は之れを缺く場合は地方教育課長の推薦に依り地方長官の任命する土人小學校視學之れを擔當す。

(a) 初等佛蘭西學校

佛蘭西學校は幼稚園及小學校の二種に區別し歐人生徒を限り入學を許可し、教員も亦佛人のみで人口尠き地方にあつては男女共學とす。

幼稚園に對しては特別の學制を設けず。現在に於ては西貢幼稚園・河内女子小學校附屬幼稚園の二あるのみ。

小學校は各地方の首府又は大都市に之れを設置し、六歲以上十三歲以下の兒童を收容教育す。小學校の學科教育は小學課程修了證書の受領に必要なる學力を養成するを主眼とし、年齡十二歲以上の生徒は各學年の最終の月に於て河内・海防・順化・トゥラン・西貢及プノン・ペンに於て施行する小學課程修了檢定試驗委員會に出頭して受驗することを得。檢定試驗委員會の委員は教育課長の申請に依り地方長官之れを任命す。(委員長は教育課長とす)

檢定試驗科目は筆記・口頭試驗及體操とし、及第者には地方長官より檢定證明書を授與す。

印度支那佛蘭西小學校の一九二三年末現在數は合計二十四校(中學又は高等女學校の附屬小學校を除く)で東京十二校、安南九校・西貢・プノン、ペン・ヴヰヤンチアン各一校である。

(b) 初等土人學校

初等土人學校は土人及之れに準ずべき者を收容教育する機關で町村立男子小學校及女子小學校に區別す。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

初等土人學校の經費は原則として町村の負擔とし、納稅者五百名以上の各町村に尠くも一校を設置する規定である。學科程は初步科・準備科・初等科・中等科及高等科の五級に區分するも多くの土人學校はその內一、二又は三級のみを設備するのが普通でこの場合之れを土人別科小學校と稱し、五級全部を設備する場合は土人全科小學校と稱す。是等小學校に於ける用語は原則として一、二、三級にありては土人語、四、五級にありては佛蘭西語とす。(安南に於て地方長官の指定する二三の學校に於ては支那字を必須科に加ふ)

初等土人學校生徒の小學課程修了證書檢定試驗の規定は初等佛蘭西學校の生徒の場合に準ずれども受驗年齡男子は滿十三歲、女子は十四歲としなほ全科小學校の高等科生徒に對し全部受驗を認むる點に於て差等がある。

土人小學校の一九二三年末現在數は合計三、一一六校(內別科小學校二、九一〇校、全科小學校二〇六校)で生徒總數一七五、一〇二名內一六、〇〇〇名が女子である。(右の內全科小學校在學生徒數四七、六九五名で、その內六、〇〇〇名が女子である)

B　中等普通教育機關

中等普通教育機關は行政的管理に關しては地方長官に技術的管理に關しては敎育局長に隸屬し。(河內中學校は敎育局長に專屬す) a 佛蘭西高等小學校。 b 土人補習學校。 c 中學校に區分せらる。

(a)　佛蘭西高等小學校

佛蘭西高等小學校は地方長官及敎育局長の申請に依り總督之れを設置す。生徒は佛人たるを原則とすれども、一定の人員を限り補缺生として土人生徒の入學を許す。修業年限は本科を三箇年として十八歲未滿の生徒を收容す。高等小學校には別に六歲以上十四歲未滿の生徒を收容する豫備科の制度あり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

佛蘭西高等小學校本科生は小學校初等免狀及高等免狀並に高等小學校修了免狀の檢定試驗を受くることを得。初等免狀の檢定試驗は年齡十五歳以上の生徒に對して河內・西貢・プノン、ペンにて毎年之れを施行し、**高等免狀檢定試驗は初等免狀を有する年齡十七歳以上の生徒に對して河內及西貢に於て毎年之れを施行す。**なほ高等小學校修了免狀の檢定試驗は年齡十五歳以上の志願者に對し河內・西貢に於て毎年施行する規定である。

(b) 土人補習學校

補習敎育機關としては一、土人補習學校。二、男子及女子師範學校の二種がある。以上孰れも土人生徒のみを收容し經費は原則として地方豫算支辨とす。

一、土人補習學校

土人補習學校は年齡十六歳以上にして小學校修了證書を有する土人生徒を收容し佛蘭西語に習熟せしめ兼て科學上の智識を授け高等敎育を受くる準備を得せしむるを目的とす。

土人補習學校の現在數は男子部、十一校(東京三校・交趾支那三校・安南三校・東埔寨・老撾各一校)女子部、三校(河內・西貢・順化)で生徒總數男子三千八名女子六百五十二名である。

二、男子及女子師範學校

男子及女子師範學校は男子及女子敎員の養成を目的とし、年齡十八歳未滿にして小學校修了證書を有する志願者に對し試驗の上入學を許可す。修業年限は四箇年で卒業生は十年間學校敎育に從事すべきことを誓約せしめらる。

師範學校の現在數は男子部女子部各二校(河內・西貢)で、一九二三年度の現在生徒數は男子部三百三十六名

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(河内百十名、西貢二百二十六名)女子部四十九名(西貢女子師範學校は一九二三年七月開校)である。

(c) 中學校

中等普通教育機關としての中學校に佛蘭西中學校及土人中學校の二種類がある。

佛蘭西中學校(アルベール、サロー中學校及シャッスルーブ、ローバ高等中學校)は本國中學校と同一課程(支那語科と及印度支那、亞細亞の地理に重きを置く點に於て多少の例外あり)で修業期を一期二期に區分し、一期を六級五級四級及三級に、二期を二級一級(文科・理科)に區分す。以上各級を通じ更に四科に分つ。

土人中學校は年齢二十三歳未滿にして補習學校修了證書、高等小學校卒業證書又は中學校第一期修了證書を有する土人を入學せしめ修業年限を二箇年とす。

C 高等教育機關

高等教育機關としては、a印度支那醫學校。b印度支那獸醫學校。c法政學校。d高等師範學校。e高等農林學校。f土木工業學校。g印度支那商業學校及西貢商業實務學校。h應用科學學校。等がある。

(a) 印度支那醫學校

印度支那醫學校は高等教育の重要機關で、一、物理・化學・博物科。二、正科醫學科。三、正科藥學科。四、補助醫學科。五、補助藥學科。六、軍醫科。七、支那人科。八、助産科の八科に分れてゐる。

(b) 印度支那獸醫學校

修業年限は四箇年で卒業生は見習獸醫に任命せらる。學校に獸醫病院を附屬し家畜の診療を行ふ。一九二三年度に於ける生徒數は二十八名を算す。

(c) 法政學校

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本校は一九一七年十月十五日總督令に依つて設置せられたもので、主として土人行政官吏志願者に對し法律行政に關する一般的教育を施すを目的とす。修業年限は三個年で卒業生は見習二年の後ち三等書記に任命せらる。一九二三年度に於ける生徒數は五十九名を算す。

(d) 高等師範學校

修業年限は三個年で文科・理科に區分す。最終學年は實地教授に充當し河内所在の中等學校に於て實習せしむ。卒業生は土人補習學校助教授に任命せらる。

(e) 高等農林學校

本校は一九一八年三月廿一日總督令(一九二三年七月卅一日改正)に依つて設置されたもので修業年限は三個年である。最終學年を農業科・林業科に區分し專門の教育を施す。卒業生は二個年間の見習を了へたる後ち農務・林業各部の三等技手に任命せらる。

(f) 土木工務學校

本校は入學に一定の資格を要せず入學試驗に依つて生徒を採用す。土木科・建物及地籍科・地質科の三科に區分し、卒業生は工務、地籍・地質の各部に於て技手補に任用す。

(g) 印度支那商業學校及西貢商業實務學校

印度支那商業學校は商業志望の青年に對し一般教育及商業に必要なる特殊教育を施すを目的とす。修業年限は二個年で卒業生は志望に依り西貢商業實務學校に於て一個年間商業實務の練習に從事せしむ。

(h) 應用科學々校

本校は一九二二年十月三十日總督令に依つて設置せられたもので官公廳及私設工業の技術員を養成するを

目的とし、高等工務科・化學工業科・電氣科・鑛山科・高等測量及地籍科の五科に分れてゐる。以上の内目下開設中のものは高等工務科のみで在籍生徒五名、修業年限一個年理論と實地とを併課する。

D 職業敎育機關

印度支那に於ける職業敎育機關としては工業學校及裝飾工藝學校の二種類がある。各校孰れも初等中等の二種の程度に區分せられてゐる。

(a) 工業學校

初等程度の工業學校は工業實習學校と稱し、將來熟練なる職工長たるべき敎養ある職工を養成するを目的とす。

中等程度の工業學校は工業技術學校と稱し工場各部の部長を補佐し又は商船に於ける機關士の任務に服するに足るべき技術員を養成するを目的とす。

初等中等を通じ修業年限は孰れも三個年で卒業生は卒業後一年又は二年間工場に於て實務に服せしめその間一定の手當(一個月十弗)を仕給す。

學校の現在數は初等程度のもの五校(生徒數四〇五名)中等程度のもの一校(生徒八四名)計六校である。

(b) 裝飾工藝學校

初等程度のものを土人工藝學校、中等程度のものを應用工藝學校と稱し、前者は印度支那に於ける地方的傳統工藝の振作を助長すべき工匠の養成を目的とし、後者は裝飾工藝の主任者を補佐すべき圖案家又は技術員を養成するを目的とす。

修業年限は孰れも四個年で最終の二個年は工場に於ける實習に服せしむ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

學校の現在數は初等程度のもの四校(生徒數六〇一名)中等程度のもの一校である。

E　土人特殊教育機關

土人特殊教育機關に、a東埔寨法政學校、b安南政府高等研究所、c老撾法制學校、dプノン、ペン「巴利」高等學校等がある。

(a)　東埔寨法政學校

本校は一九一七年十一月二十日東埔寨王令(一九二一年十一月七日理事廳令に依り改正)に依り設置せられたもので、東埔寨官吏及裁判官の養成又は是等官吏に對する補習教育を施すを目的とし、修業年限を二個年とす。本校は印度支那教育局長の監督下に置かれてゐる。

(b)　安南政府高等研究所

一九二二年十月二十五日安南王令に依り安南文部大臣の監督下に設置せられたもので印度支那法政學校卒業生たる安南學生を一定の人員を限り收容す。學生は安南政府より年額六百弗の學資を補給せらる。研究年限は二個年である。

(c)　老撾法政學校

本校は一九二三年六月十二日理事廳令に依つて設置せられたもので老撾青年官吏の志願者に對し十個月間法政教育の補習を施すを目的とす。

(d)　プノン、ペン「巴利」高等學校

本校は一九一四年設置、一九二二年四月十三日王令に依り學制を改革せられたが巴利語、サンスクリット語等の特別教育に依り佛教學を研究するを目的とす。本校は極東佛蘭西學校長の保護下に東埔寨文部大臣に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

隷屬す。修業年限は五個年である。

(二) 印度支那工務部

工務部は純然たる經濟部局であつて植民地各種豫算に繰入れらるゝ工務部の歳入はその巨額の歳出に比し誠に微々たるものである。然しながら工務部歳出は主として印度支那經濟設備の增大及完成に充當せらるゝもので鐵道・道路・運河・港灣の開發に伴ふ印度支那工業・商業及農業の發展に深甚の關係を有することは勿論である。

印度支那工務部の最高監督機關たる工務總監部に就ては第一章(六)に於て既に之れを述べた。玆には主として各地方の工務部局に就て記述することゝする。

印度支那地方工務部局はその職制上各州地方工務管區・特別工務管區・ラン・ビアン特別工務管區の三に區別す。

一、印度支那各州地方工務管區

印度支那各州地方工務管區は之れを東京・安南・交趾支那・柬埔寨・老撾の五管區に分ち各州地方長官の監督を受けしむ。各管區に於ける所管事務は州郡及町村豫算又は總督より地方長官に委任したる一般豫算の支辨に屬する工務關係事業の調査及實施であつて、その內容は各級道路の調査・敷設・改良及維持。家屋・堤防・灌漑設備及土地清潔法に關する同上の事項。河川・航行・運河・河港・堤防・埠頭・堰柵・水門・浮標・市街地の照明・水道及衛生に關する同上の事項等である。以上の外交趾支那及東京管區に於ては軍港以外の港灣及繫船所の調

査・工事の實施・維持及警備並に沿岸の照明及浮標に關する同上の事項をも管掌す。

二、印度支那特別工務管區

特別工務管區の所管は地方的に統一することを得ざる工務の調査及實施であつて地方長官に直屬することなく工務檢閲總監の監督を受く。特別工務管區は (a) 鐵道經營特別工務管區。(b) 安南・老撾鐵道調査及事業特別工務管區の二種に區分せらる。

(a) 鐵道經營特別工務管區

鐵道經營特別工務管區は本部を河內に置き鐵道及特許線以外の一般公益を目的とする電車事業の維持及經營に任じ、北部鐵道工務分區、安南中部鐵道工務分區及南部鐵道工務分區の三分區に區分す。

(b) 安南・老撾鐵道調査及事業特別工務管區

本特別工務管區はヴヰン＝ドン、ハ間及トゥラン市以北の未設線の調査及工事實施の目的を以て一九二一年十二月十七日總督令に依つて設置せられたもので本部をヴヰン市に置く。

三、ラン、ビアン特別工務管區

本特別工務管區は工務檢閲總監に直屬せず安南理事官長の監督下に於て管區長之れを指導す。所管事務はドンナイ高原地方の用水調査、ダラ導水工事、クロン、パ＝ダラ間の鐵道工事監督等である。

(三) 印度支那衞生部

玆に云ふ印度支那衞生部は單獨の一官廳の意味でなく、各種醫藥扶助機關・海上衞生警察・醫科學研究機關・

藥劑檢査機關・私立慈善病院に對する技術的監督機關及領事館所在地病院の總稱である。

以上各種の機關を統轄するため保健醫務總監部長を置くことは第一章(六)に述べた通りである。

醫藥扶助機關は施療院・官公署に於ける醫藥手當・陸上衛生警察・公衆保健機關・各種病院・防疫機關・鐵道特別醫療設備等である。

海上衛生警察は印度支那各沿海地方に之れを設置し保健醫務總監部長の代理權に依り地方醫務部之れを監督す。

醫科學研究機關(パストゥール研究所及印度支那醫學校を除く)は之れを各種研究所及學校の二種に區分し前者は更に一、衛生及細菌研究所。二、痘苗研究所。三、眼科研究所の三種に分ち全國樞要の地に之れを設置す。後者には產婆學校及看護婦養成所の二種があつて之れ又全國樞要の地に設置せられてゐる。

藥劑檢閲事務は地方長官の監督下に於て地方醫務部長之れを監理す。藥劑師の任命藥劑の營業等は總て成規の規定に基いて處理せらる。

私立慈善病院に對する技術的監督は各地方長官の定むる所に依り編成せられたる醫務委員會と地方醫務部長之れを實施す。

領事館所在地病院は印度支那醫務衛生總監部長に直屬し政治的社會的施設として印度支那の隣接地たる廣東・海口・パクホイ・雲南・磐谷外三箇所に設置す。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

熱帶性有用樹種の造林に就て臺灣の使命を論ず（續き）

臺灣總督府囑託　矢田貝寛

其の二、北海道の森林狀況及需給力

大正十年の農商務省の統計に依れば、森林原野總面積五百四十三萬七千三百町歩內立木地四百七十四萬三千町無立木地六十九萬四千三百町なり、今明治四十年以降大正十年迄の伐採量及價額を示せば次の如し。

年次	用材（石）	薪炭材（石）	合計（石）
明治四〇年	—	—	一四、二八三、四〇九
同　四一年	—	—	七、九九九、八九四
同　四二年	四、〇四八、三五四	三、九一七、三六九	七、九六五、七二三
同　四三年	四、三一三、五一六	二、九九五、二〇〇	七、三〇八、七一六
同　四四年	六、一二〇、四二〇	四、一五〇、一八一	一〇、二七〇、六〇一
大正元年	五、二〇四、〇九六	三、六二一、六七二	八、八二五、七六八
同　二年	五、二九五、五七一	三、七三三、六五五	九、〇二九、二二六
同　三年	四、九一八、五一三	二、四〇五、二五四	七、三二三、七六七
大正四年	六、五六一、三四三	六、四一一、三九一	一二、九七二、七三四
同　五年	九、二四六、二五一	六、三〇九、九六八	一五、五五六、二一九
同　六年	一〇、六八五、七四四	八、四七三、七一七	一九、一五九、四六一
同　七年	一三、七三二、四七〇	二〇、四二三、四一七	三四、一五五、八八七
同　八年	二三、一二六、八二七	一二、五八二、四二六	三五、七〇九、二五三
同　九年	一一、八七〇、七二三	一一、七三三、〇四一	二三、六〇三、八一四
同　一〇年	一〇、四三五、七六八	一三、四二六、七〇〇	二三、八六二、四六八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

然るに北海道に於ては從來一定の拓殖方針に基き移民を奬勵し毎年二萬五千町宛の開墾をなさしめつゝあり。此の區域に存在する森林は開墾の支障となるにより悉く伐採し多くは燒却するを常とす。又王子及富士製紙兩會社は共に此の地に大工場を有し盛にパルプ及製紙作業を經營し、且つ人口は年々增加し而も寒國なるが爲に薪炭材を要することは到底內地の及ぶ所にあらざるなり。然るに伐採跡地は殆んど造林をなさず、加ふるに春季の候山火事は到る所に發生し之が爲め森林面積を減少すること蓋し甚だ大なるものあり。故に古來有名なる北海道の森林面積は年と共に甚だしき勢を以て減少しつゝあるの狀態なり。故に心ある者が北海道の森林は亂伐更新などと評せるが如きは故なきにあらず。之が爲に河川の荒廢を來たし市街地地方は薪炭の騰貴を來たし既に北海道自身としても樂觀を許さざるものあるに至れり。故に北海道の森林を農林省の所轄に移し林區署制度を布き林業の規格により律せざる可らず。現在の如く內務省所管に委するに於ては徒らに拓殖事業に利用せられ將來益々增加すべき木材需給調節の如きは遂に破碎せらるゝに至るべし。

其の三、樺太の森林狀況及需給力

一、立木面積（日本領）　二百九十四萬千二百四十八町

內
- 針葉樹林　二百十萬四千五百町
- 闊葉樹林　四十七萬三千七百五十町
- 針闊混淆林　三十六萬千九百九十八町

二、總蓄積約　十九億萬石

三、樹種は　トドマツ・エゾマツ・落葉松にして、パルプ用原料材としては滿鮮地方のものに比し遙かに優る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を以て前記の針葉樹林二百萬町歩は既に王子製紙會社外數社に對して賣約濟なりと云ふ。然るに大正八年此の森林に對して俄然害蟲の大發生を見るに至り僅か三箇年間に枯死せる面積二十萬町歩に渉り材積九千萬石と稱せらる、依て樺太廳に於ては大正十年より向ふ五箇年間官行斫伐を行ふ計畫を立て大正十二年に於て既に六百五十萬石の搬出をなせりと云ふ。而して現在に於ては三十五萬噸のパルプを製出する爲め年々千四百萬石の立木を賣下げつゝあり。故に樺太針葉樹林はパルプの原料として消費せらるゝの外他方面への輸出は甚だ困難とせざる可らず。其の他濶葉樹は島内の薪炭材の自給自足に任せざる可からざるものあるにより之又島外輸出は餘り多くを期待すること能はざるべしと思料す。

其の四、朝鮮の森林狀況及需給力

朝鮮は人の知る如く有名なる森林缺乏國なり。寒氣峻烈なるに加へ温熱を採ること古來の風習として甚だ贅澤にして、從て多額の燃料を要するに係らず造林は殆んど行はず、從て荒廢地の增加すること年を追ふて激しく殊に日露戰役後一層其の程度大なりと稱す。

朝鮮の森林地としては只鴨綠江流域左岸圖們江流域右岸を有し林野總面積約千五百九十萬町

内　林　地　五百五十萬町
　稚樹地　七百二十萬町
　無立木地　三百二十萬町

蓄積としては　針葉樹　約十二億石
　濶葉樹、約一億七千萬石

營林廠によりて經營せられたるも最近に於ては朝鮮總督府山林部に統一せられ署と改め從來通り經營しつゝあり。年々二百萬圓內外の木材を日本內地及朝鮮支那に向て輸出せらるゝ外、同地に於てパルプ原料として使用せらる。本地は更新も相當困難にして加ふるに害蟲の發生頗る多く筏流しと雖も年々相當困難を來たすの實例あり。故に吾人の期待するが如く大量の產出を望む能はずと云ふ。

其の五、臺灣に於ける森林狀況及需給力

總面積　二、九二七、一〇九甲（保安林一〇四、五二八甲外に草生地あり）

總蓄積　八億七千萬石（推定）

而して其の重なる樹種は

針葉樹にて

（1）	Chamaecyparis Obtusa	扁柏
（2）	〃　Formosensis	紅檜
（3）	Thuga　Formosana	肖楠
（4）	Picea　Morisonicola	唐檜
（5）	Abies　Moriesii	白檜
（6）	Cunning hamia koniahii	香杉
（7）	Taiwania cryptomerioides	亞杉
（8）	Libocedrus maclolepis	肖楠木
（9）	Tsuga chinensis	鐵杉
（10）	Rinus massoninna lamb	タイワンアカマツ

濶葉樹にて

（1） Quercus　カシ類
（2） Machilus　タブ類
（3） Lggerstroremia subcostata koehna　九芎
（4） Camphor (Cinnamomum Champhora Nees et Ebe)　クス
（5） Melia Azedarach L　センダン
（6） Acasia confusa　相思樹

外數種

山岳は一般に急峻にして治水關係上施業の制限を受くること甚だ大なり。故に内地に於けるが如く施業は木材收穫を主眼とすること能はず。故に治水を主とし木材收穫の如きは第二位として施業計畫を立つるの要あり故に莫大なる蓄積を有しながら搬出上の困難の伴ふも元より其の一原因なれども多くは前述の理由によりて伐採を充分ならしむること能はず、年々多額の木材を移輸入せざる可からざる狀態に在り。而して彼の檜林を以て有名なる阿里山・八仙山・太平山の三作業所に於ては年々多量の檜材を伐採搬出すれども本島に於ては公共用建築材として使用する外多くは内地に移出せるの狀況にあり。即住民の大部分は所謂本島人なるが爲め慣習により建築は多くは煉瓦及土塊を以てせられ優良材を使用すること極めて少し。而も使用する材の多くは濶葉樹なり。尙此の外花蓮港木材會社及南投興業會社により檜材を伐採搬出するとも多くは内地移出を目的とす。

今三作業に於ける年々の伐木材積を示せば次の如し。

伐木材積（造材積）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

年度	材積	内譯 阿里山	八仙山	太平山
	石	石	石	石
大正元年度	六六,四三六·〇〇	六六,四三六·〇〇	—	—
同二年度	一一〇,六一四·〇〇	一一〇,六六四·〇〇	—	—
同三年度	一三七,二〇三·四五	一三七,二〇三·四五	—	—
同四年度	三八九,五八〇·八三	三三六,三三九·八五	三一,四四八·一八	二一,七九二·七九
同五年度	三九二,五三六·三四	二九四,二九八·〇二	四八,八三二·七八	四九,四〇五·五六
同六年度	三二二,一四六·二七	二四八,六七七·六四	三一,六七九·八三	四一,七八八·八〇
同七年度	三六六,四七一·〇四	二六八,七八四·五二	三五,五六六·〇四	六二,一二〇·四八
同八年度	四五九,四三一·二五	三五九,八〇三·五一	三三,四五〇·四九	六六,一七七·二五
同九年度	二四三,四八七·五〇	一七〇,二七五·五七	一〇,四二九·五三	六二,七八二·四〇
同一〇年度	三二〇,五二六·三二	二〇〇,二八四·七二	一八,一三七·六〇	一〇二,一〇四·〇〇
同一一年度	三八四,一八二·一〇	二三八,八一六·三八	二四,四二五·七二	一二〇,九四〇·〇〇
同一二年度	三〇九,五六九·三三	一九一,七一六·三八	二五,〇一五·三三	九二,八三七·六二
同一三年度	二九〇,六八〇·八〇	一七九,一九〇·六五	三〇,一〇四·一四	八一,三八六·〇一
計	三,八一三,八六五·四三			

備考

阿里山・八仙山は立木一につき造材假は五〇—六〇%の步留(六七%平均)太平山は六〇%平均とす。

各作業所共造材々積の年度と伐木材積の年度とは同一年度なり。

即前述の如く年々多額の優良材を搬出すれども多くは內地に移出せらるゝのみならず、年々內地又は外材の輸入を見るの次第にして莫大なる蓄積を有しながら使用樹種の異なると、治水關係上伐採量の多くを期待することを能はざるは本島住民の爲め不幸とする所なり。

今試に其の移輸入數量を示せば次の如し。

木材輸移入高（自明治四十二年至大正十三年）

年度＼數量	移入高	輸入高	合計	備考
明治四二年度	二,二〇七,五二八円	五二八,五四八円	二,七三六,〇七六円	日本內地よりのものは移入として外國より輸入せるものとを區別す
同四三年度	二,八五九,八四四	六三一,四四一	三,四九一,二八五	
同四四年度	二,五七七,三一五	六一三,八七〇	三,一九一,一八五	
大正元年度	三,四七〇,八七三	七〇四,六九六	四,一七五,五六九	
同二年度	三,〇〇二,一七一	六三四,五七一	三,六三六,七四二	
同三年度	二,〇九六,五五五	四六六,四六九	二,五六三,〇二四	
同四年度	一,七五四,二二〇	四三二,九六四	二,一八七,一八四	
同五年度	一,六六七,九五〇	四四三,二九八	二,一一一,二四八	
同六年度	二,五〇九,四〇三	六七八,九七六	三,一八八,三七九	
同七年度	三,一〇〇,四三七	一,〇五七,六〇三	四,一五八,〇四〇	
同八年度	四,八七三,四八六	一,七七三,六三一	六,六四七,一一七	大正八、九、一〇年に於ては移入高極めて多きが如きも畢竟材價騰貴に依るものにして材積に於ては前年度さ大差なかるへし
同九年度	七,七三一,九七九	二,六〇二,四八八	一〇,三三四,四六七	
同一〇年度	四,四〇〇,一三八	二,二四八,三三五	六,六四八,四七三	
同一一年度	二,八九五,一七四	二,一四六,四〇六	五,〇四一,五八〇	
同一二年度	一,八四二,六二四	二,三五一,七二四	四,一九三,三三八	
同一三年度	一,三七〇,八一五	二,六九八,五八五	四,〇六九,四〇〇	
合計	四八,三五八,五〇三	二〇,〇一四,五九五	六八,三七三,〇九七	
平均	三,〇二二,四〇六	一,二五〇,九一三	四,二七三,三一八	

而して日本內地より移入せるものを材種別に示せば次の如し。

木材移入高（材種別）

年度＼材種	杉材	松材	檜材	電柱	枕木	其の他	合計
大正三年度	一,四五一,九三三円	一五五,二四九円	八,四一八円	七二,三三九円	二五六,六六四円	一五二,〇七二円	二,〇九六,五五五円
同 四年度	一,〇三四,四二三	一六一,〇六九	一四,五一八	五一,六二四	三〇二,六二九	一八五,九七八	一,七五四,二二〇
同 五年度	八三六,二三六	一九三,二八八	五,一三〇	六六,一一〇	三五三,一二六	二一四,〇七〇	一,六六七,九五〇
同 六年度	一,〇〇八,一七八	一四三,三三三	四,六六四	四一,一九八	四七六,八三〇	八三六,二〇一	二,五〇九,四〇三
同 七年度	一,三九五,五七九	一一七,三九三	一,三三五	一五四,一一三	三八七,七五六	一,〇四四,五七二	三,一〇〇,四二七
同 八年度	二,四二七,一三一	一九七,五三二	一八,二二五	一〇四,一五三	五八〇,二九七	一,五四五,〇六九	四,八七二,四八六
同 九年度	二,九二二,四八五	四八二,六四九	—	三九一,七五三	一,三三六,二三八	二,六九九,八六四	七,七三二,九七九
同 一〇年度	一,四二〇,四七一	三六三,八八三	—	四〇八,〇三三	五三九,七八一	一,六八七,九八一	四,四〇〇,一三八
同 一一年度	四五五,七四六	二七五,三四六	—	一五〇,一二六	四七四,九五五	一,四五九,〇〇一	二,八九五,一七四
同 一二年度	三三一,三六六	二九四,七〇六	—	七〇,九〇三	三二一,〇五二	七二三,五八七	一,七四一,六一四
同 一三年度	一七三,九〇六	三二七,九〇七	—	四六,八六四	三一五,六八二	五九六,四五六	一,三七〇,八一五

又外國より輸入せるものを國別に示せば次の如し。

木材輸入高（自大正三年度至大正十三年度）

年度＼輸入國	支那	關東州	香港	英領印度	同海峽殖民地	佛領印度	蘭領印度	比律賓	暹羅	米國	其の他諸國	計
大正三年度	四六一,八一五円	一,九〇〇円	—円	—円	一,一〇三円	—円	—円	—円	二六八円	九六一円	—円	四六六,三一七円
同 四年度	四二六,六六七	—	四六	二,五三二	—	—	—	—	三三	六六五	一,〇〇四	四三二,六六四
同 五年度	四四二,一六六	—	—	二〇〇	六	二四	—	一一〇	一〇七	六六五	—	四四三,二七八
同 六年度	六六八,〇五一	—	—	一七	二五	六	—	—	八〇七	—	—	六六八,九〇六
同 七年度	一,〇五六,五六九	—	一四四	—	三九〇	—	—	五〇〇	—	—	—	一,〇五七,六〇三
同 八年度	一,七六八,八九九	—	五,六〇四	—	二一四	—	—	—	四	—	—	一,七七四,七二一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

同九年度	二,三六三,九一八	—	—	一五,八八六	二六八	—	一,〇一四	—	一,五九二	—	—	二,六〇二,四八八
同一〇年度	二,一九四,一二五	—	—	五,三四九	二五,四四五	—	—	—	二,九一四	一,四九四	—	二,二四八,三三五
同一一年度	二,〇九二,三六五	—	—	一〇,九一六	二一〇	一〇八	—	—	四一,三五七	—	—	二,一四六,四〇六
同一二年度	二,三一三,六八一	—	—	—	七四	—	—	—	六,七六九	—	一,九一七	二,三二二,四四一
同一三年度	二,二四一,三七五	—	—	一六四	三一,〇一三	—	一,二二六	一,一五三	一六,六〇〇	—	二,九九〇	二,二九三,五一九
合計	一六,三六〇,六三九	一,九〇〇	五,七九四	三三,〇六四	五九,三三〇	一四八	二,二四〇	一,七六二	一二〇,四九〇	三,七八三	二四,九一一	一六,六一六,〇六一

四、輸入對策としての造林計畫

（一）我が國と最も密接なる木材取引關係諸國の木材生產及需給の趨勢並に我國の狀態は大略上述の如くなるが、幸にして我が臺灣は半熱帶に位する關係上南洋諸國より輸入する樹種の我が臺灣にもよく生育するを豫想し、小規模ながら此の種の造林計畫を立て旣に明治三十五年より之れを實行しつゝあり。而して後に於て述ぶるが如く我が海軍省に於ては艦船用材たるチーク材の缺乏を恐れ其の造林方を總督府に向て翹望し來れるにより、大正六年より更にチーク造林をも計畫を加へ以て軍需上の缺を補ふ事に務むるに至れり。（造林計畫樹種及面積省略）。

然れども其の後大正十年以來財界の不況に遭遇したるため財政の緊縮となり、最初の計畫通り造林する事能はず殊にチークの如きは最近に至り年々減少し其の三分の一をも造林する事能はざるに至れるが如きは國防止の見地よりして甚だ遺憾とせざる可らず。

今チーク材に就て述べんにチーク材の國際市場に取引せらるゝもの年々約五〇萬石に達す。日本には大正十三年度に於て七萬二千餘石の輸入を見たり主として艦船用材に使用せられ而も年々增加の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

傾向を有す。

英國の例に觀るに過去六十年間に於て人口一人當木材の消費量は二倍に增加せり。今後六十年にしてチークの世界市場に取引せらるゝもの約百萬石に達したりとすれば之れが圓滿なる供給は中絕するに至るべし。即今日の學者間に於て木材飢饉來を警告せるは故なきにあらず。殊にチークの如き特別用途を有するものは勢ひ爭奪の的となり、例へ暹羅・印度・爪哇其他に於て多少の補充策を講ずると雖も需要の趨勢を追隨する事能はざる事となり、我國は爲めに平素國防に必要なる諸設備に於て缺陷を來たすの恐あるのみならず事變毎に恐怖を來たし將來國防上由々しき問題を起すに至るべし。

彼の歐洲戰爭當時米國は突然鐵の輸出禁止をなしたるが爲めに我國に於ける鐵價は約十倍位迄も騰貴し國防上國難來を絕叫せしめたるは今尙國民の腦裡を脫する能はざる處なり。若し將來此の外に艦船用材に缺く可らざるチークの如き輸入を絕たれんか其の結果たるや蓋し寒心に堪へざるものあらん。

前總督府駐在藤澤海軍武官の談に依れば、歐洲戰爭當時戰艦長門の建造に當りチーク材は甚だ高價にして而も容易に輸入すること能はざりしを以て、阿里山檜材を使用したるに結局チーク材を使用するよりも稍々高價となり、而も甲板は石炭の積み卸其他作業の爲め損傷を生じ戰鬪作業に於て支障を生ずるにより、過般戰艦陸奥の建造に當りては下部は檜を用ひたるも上部はチーク材を使用するの止むなきに至れりと。

即チークは一般には比重輕く光輝強く香氣を有し、油分も亦甚だ多くして觸覺に依て直ちに之れを知り得べし、邊材は白色にして甚だ薄く心材は暗黑色なり。一度乾燥したる無節の材は其の後如何なる四圍の變化を受くるも容易に工藝的性質を失はざるにより軍艦の裝甲部・甲板を張るに用ひられ、其の他家具材・家屋の建築・橋梁・鐵道枕木其の他貴重なる彫刻材其他に重用せられ、從て用途甚だ廣く其の保存力の大なる事等は

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

到底他の材の追從を許さゞる處なり。故に現今世界の市場に於てはチーク材程取引の激增を見たるものは他になしと云ふ。之に依つて見ればチークが艦船用材として如何に絶體優良なるかを推知し得べし。

故に海軍省に於ても夙にチーク材の缺乏を恐れ、明治四十五年既に時の海軍大臣より佐久間總督宛にチークの造林方を依賴し來りたり、尙ほ同時に別記の如く時の總督府參謀長より南投廳長宛にも其造林方に付要望したる事情あり。之に依て之を見ればチーク材の缺乏を恐るゝや明かなり(照會文省略)。而して近年に至り軍艦用材としてはチークの外シッソ樹も大に有望なる事を知らるゝに至れり。

海軍省より依賴し來たれるチーク造林適地々帶は明治三十年より同四十四年迄の暴風進路を除外せる地帶なるが、その後卽大正元年より十四年迄の暴風進路を調査するに幸に前調査の區域は今日に於ても依然として暴風進路に該當せざるを見る。卽所謂造林適地帶たり得るものと信ず。

之れに依てチークの造林安全地帶は臺灣に於ては臺中州埔里・集々附近一帶及高雄州旗山・潮州の東南地方の二箇所に過ぎざれども、面積に於ては相當大なるものあるを以て此の地に於ては他の造林に對し相當制限を加へ、チークを主林木として造林をなすに於ては所謂適地適木の理と合致し材質の收穫上甚だ有利なりと信ず。

次に福州杉に就て述べんに、從來本島に於ては優良なる檜林甚だ多く現に官營としても三作業所により盛に伐採搬出せられ、大正十三年の如きは約三十萬石に達したりと雖も多くは內地に移出せられ、而も一般の需要を滿たす事能はず。又島內に於てもある特種のものを除きては之れ悉く他樹種を以て代用しつゝあるの狀況なり。

特に福州より輸入する福州杉の如きは材質は良好ならされども價格低廉なるを以て大正十三年度の如きは

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三十二萬餘石の輸入をなし價額二百二十萬餘圓に達せるの狀況なり。

、(二) 南洋より輸入せらるゝ重なる材種及之れ等の樹種にして臺灣に於ても相當生育しうるものを列擧すればば次の如し

輸入材種	栽樹適種	學名
一、チーク		Tectona glandis L.
二、花梨木		
三、鐵刀木		Cassia siamea Lam.
四、紅木		
五、黃楊木		
六、紫壇		Pterocarpus santalinus L. fil.
七、黑壇		Diospyros oldhami var. chartecea.
八、縞黑壇		Diospyros oldhami Max. von. chartacea Hay.
九、外數種		

倘此の外輸入はせざるも南洋樹種にして臺灣に於てより生育しうるものに有加里・ネム類等あり。又近時琉球松にして本島に於て植栽せらるゝもの甚だ多くその幼時に於ける成長は頗る有望なれば恐らくは本島に於ける有用樹種の一つとして益々植栽せらるゝに至らん。

(三) 南洋より最も多量に輸入せらるゝは、チークにして、移入せらるゝ內地材は杉・松・(電柱)・枕木等支那より輸入せらるゝものは福州杉なり。

而してチークは臺灣に於て優良なる生育を遂げ前川原營林局技師及同上田代技師の如きは彼地のチーク生育狀況を視察したる結果口を極めて之れを賞讃せるの事實あり。又移入材中杉・松・の類は現に北部及中南部

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

共様高稍々高き處に於ては實に優良なる生育を遂げ反て内地の原野地を凌駕するものさへありと云ふ。故に電柱の如きは臺灣にて生育する福州杉又は内地杉によりて充分代用し得可く福州杉はその植栽適地面積は或は少からんも臺灣に於て充分生育し得る事を立證せられつゝあり。

故に現在日本内地は勿論支那及南洋より輸移入せられつゝある樹種は大部分我臺灣に於てよく生育し得るを以て、ある程度迄は充分輸移入の防止又は緩和を計る事出來得可き事なり、尙此の外有價木として大切なる樟を有すれども他日改めて記述すべし。(南洋より輸入せらるゝ材種にして臺灣適種の尙之れ以外あるならんも適格なる試驗なきを以て玆に省略す)。

然れども以上列記したる臺灣適種の外本島には在來樹種として有用なる濶葉樹種頗る多くその缺は在來種の植栽によりて幾分たりともその輸入に對抗し得らる可きものと思料す。卽今金平博士が本島に於ける在來種の濶葉樹の重なるものに就て工藝的利用上その强弱に就て調査したる主なるものを記すれば次の如し。

樹種名	學名	彈性係數(封度平方吋)	破壞負擔强(封度平方吋)	抗壓强(封度平方吋)	比重(百倍)
ながたまのき		一、四三二、〇〇〇	八、六〇〇	五、二〇〇	七一
せんだん		一、二三八、〇〇〇	四、六〇〇	二、九〇〇	五五
くりかし		一、六四八、〇〇〇	九、五〇〇	五、三〇〇	七七
あみかし		二、二八一、〇〇〇	三、八〇〇	六、一〇〇	一六
いちゐかし		一、七九一、〇〇〇	一三、一〇〇	七、〇〇〇	九一
たいわんあかかし		一、七四六、〇〇〇	一一、三〇〇	五、三〇〇	九九
ほそばしらかし		二、四五二、〇〇〇	一四、六〇〇	七、四〇〇	一一四
せうなん		九三四、〇〇〇	六、八〇〇	五、三〇〇	六九

(詳細は金平博士著　臺灣樹木誌參照のこと)

本表に依て之れを見れば、現在有用樹種として造林しつゝある外國材種の外島内利用々途の如何により輸入對策上植林せらるべき本島固有の造林樹種は多々ありと信ず。然れども例へ固有の樹種と雖も造林の難易地方的需要等を考慮せざる可らざるにより、臺灣に於て奬勵すべき固定的有用樹種の決定を見る事は相當調査研究考慮の餘地あるものと思料せらる。

五、結論

前論、我が國木材の供給難及臺灣に於ける熱帶性有用樹種の植栽可能なるは事實斯くの如くなるを以て、特にチークの如く材質最も優良にして國防上重要なる用途を有するのみならず、他の總ゆる方面に重用せらるゝが如きは到底他の材種の遠く追從し能はざる處なり、斯くの如く貴重なるものを只單に外國よりの輸入に依てのみ滿足すべき筋合のものにあらず。

今や世界の列强は云ふに及ばず我が國に於ても其の需要たるや年々增加して止まず、爲めに原產地は勢ひ過伐に陷入り良材を手に入るゝこと昔日の如くならず、而も造林の如きは勿論天然更新等に依る增殖の如きものと雖も少しも顧みられず、只存在するが儘に亂伐を敢てすと云ふ狀況にあり。されば若し我國の領土に於て臺灣の如き半熱帶國なかりせば詮方なしとするも、天賦とも稱すべき本島を領有し而も年來の經驗に徵し其の生育も頗る優良にして南洋チーク原產地方と比較して何等の遜色なしと云ふに於ては特に夫れ相當の造林を決行し以て國防上重大なるものは遺憾なく生產を計り、其の使命を果すと同時に優良材の缺乏に對しては益々之れが供給の資源に充當すべきものと思料す。彼の海軍省が製艦上チーク材の缺乏を見越して臺灣總督府チーク造林方を依賴し來たりたるが如きは故なきにあらず。又彼の福州杉の如きも輸入の現況に鑑み

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

適地の調査を行ひ出來得れば大々的造林を決行すべきに國策として頗る有利なりと信ず（森林調査の上適地適木に則る異樹種林分配置に就ては他日論ずべし）。

要するに、本島は幸にして半熱帶に位するを以て、南支南洋より輸入せらるゝものに對しある程度迄は輸入を緩和し、特にチークの如きは全然自供自足の途を講せざる可らず。之れ半熱帶たる臺灣を領有するに依て當然生ずる大なる使命の一にして、帝國の森林政策上重要なる地位を占む。故に例へ督府財政緊縮の折柄とは云へ斯くの如く百年の計を以てし國防に基礎を置く一國の重要なる產業に對しては進んで積極政策に出でざる可らざるものと信ず。之れ敢て拙稿を草し天下の識者に訴へんとする所以なり。

（續く）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那關稅會議と棉織業の前途

小林一馬 譯

本論に於いて稱する棉織業は棉糸棉布の二工業を合して言ふものなれども、時に亦之れに代りて棉製業と稱する事あり。

一

我が國(支那)に於ける棉業の前途は實に關稅會議に繋るものにして、今兩方面より之れを言ふべし。一は即ち再訂せる輸入稅率の幾何なる時、始めて能く外來の棉製品と競爭し得るや、一は即ち外人の中國に在りて製造せる棉織品に對して一種の特稅を課すべき必要あり、而して始めて之れと競爭し得るや否やなり。而して前者の輸入稅率は又二方面に分ちて之れを言ふべし。(1)關稅自主の前に在りては、尙未だ釐金廢止されず、日本人の主張する棉織者の附加稅は二分五厘なり。(2)釐金の廢止、關稅自主の後に在りて、日本人は一般稅率の外に、彼我二國間の特殊物品に對し、一種の互惠稅率を制定せんと欲し、互惠品目は大約日本方面は棉製品・藥品・文具品・裝飾品・海產物を以て主と爲し、中國方面は棉・鐵・荳類等を以て主と爲し、又二分五厘の附加稅率を以て互惠の基本稅率と爲せり。吾人の當に注意すべきは二分五厘稅率を堅く執りて下らざる事にして、皆日本人方面に贊成するが故なり。而して二種の稅率に於いて日本人の最も注意する所は又皆

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

棉製品にして、報告文に記載せる所に據れば、中國政府は已に日本人の主張に傾き、一種の協定成立せりと云ふ。若し事實なれば、恐らく中國棉織業の前途は將に極めて大なる打擊を受くべし。予(筆者)思ふに中國棉織業の前途は中國工業の前途と特に密切なる關係を有するのみならず、卽ち中國獨立の前途とも亦密切なる關係あり。故に棉織業を以て中國の前途と關係ありと爲す事叙述の如く、而して日本の之れを重視する事又彼の如し。卽ち讀者は一々之れが討論を試みらるべし。

二

工業革命の後、機械は勞働者に代りて製造に使用せらる事となり、農業國は世界に在りても優勝なる地位を占むる事能はざるに至れり。故に現代の所謂强國は皆工業の發達を以て要務と爲し、其本國に於いては已に有望なる工業は法を設けて其增進を畫策するに餘力を遺さず、現在は有望ならざる工業と雖、而かも苟しくも將來有望なる工業なる時は、法を設けて之れを輔助し、其助力は至らざる處無し。蓋し一國にして苟しくも獨立せる工業無き時は、卽ち貧民の生計を營む道無きのみならず、而かも國庫の財源も亦其出所無し。斯くの如くんば政治は獨立せりと雖、而かも經濟は其供給を他國に仰がざるを得ざるべく、經濟の獨立せずして政治の獨立せるものは、未だ之れあるを聞かざるなり。

關稅の目的は二つあり。一は財政上の目的にして、稅率の伸縮を自由になし、而して稅收の得る所をして國庫の需要に應じ得しむるにあり。一は工業上の目的にして、稅率の伸縮を自由になし、竝びに外國貨を排斥し、國內の市場を保護し得れば足れり。我が國(支那)の關稅は條約の制限を受け、僅かに價格の百分の五を課稅し得るのみにして、其伸縮力は之れを失へるを以て、國庫の需要に應じて足らざるのみならず、且つ外に向ひても外國貨の續々輸入せらる事を排斥し得ざるなり。故に工業は發達するに由無く、卽ち農業國と

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

爲れるなり。民國十二年度の輸出入品を觀れば、之れを知り得べし。

民國十二年度輸出品表　(單位關銀兩)

品目	輸出價格	輸出總額に對する百分比
生絲及び絹織物	一七〇、〇〇〇、〇〇〇	二三・〇
荳、荳粕及び荳油	一二七、四〇〇、〇〇〇	一五・〇
棉花	三三、六〇〇、〇〇〇	四・〇
雞卵	二九、六〇〇、〇〇〇	四・〇
茶	二三、〇〇〇、〇〇〇	三・〇
木材	二〇、七〇〇、〇〇〇	三・〇
石炭	二〇、三〇〇、〇〇〇	三・〇
生皮及び皮製品	一九、一〇〇、〇〇〇	二・五
落花生及び落花生油	一八、〇〇〇、〇〇〇	二・五
桐油	一七、五〇〇、〇〇〇	二・五
羊毛	一二、九〇〇、〇〇〇	一・五
胡麻	一二、三〇〇、〇〇〇	一・五
粟及び高粱(黍)	一二、〇〇〇、〇〇〇	一・五
銑鐵及び鐵礦砂	八、八〇〇、〇〇〇	一・〇
豚毛	七、八〇〇、〇〇〇	一・〇
錫塊	八、〇〇〇、〇〇〇	一・〇

其餘の輸出品は總額の百分の一に及ばざるを以て省略す。

民國十二年度輸入品表　(單位關銀兩)

品目	輸入價額	輸入總額に對する百分比
棉布類	一三三、〇〇〇、〇〇〇	一四・〇
米	九六、〇〇〇、〇〇〇	一〇・五
石油	五八、〇〇〇、〇〇〇	六・〇
棉花	五四、〇〇〇、〇〇〇	六・〇
砂糖	五〇、〇〇〇、〇〇〇	五・五
棉絲	四二、〇〇〇、〇〇〇	四・五
紙卷煙草及び葉卷煙草	四一、〇〇〇、〇〇〇	四・五
金類	四一、〇〇〇、〇〇〇	四・五
機械器具	三五、七〇〇、〇〇〇	四・〇
雜穀粉	二七、二〇〇、〇〇〇	三・〇
海產物	二五、〇〇〇、〇〇〇	三・〇
染料	二三、一〇〇、〇〇〇	二・一
羊毛製品	一九、〇〇〇、〇〇〇	二・〇
紙	一六、六〇〇、〇〇〇	二・〇
石炭	一三、〇〇〇、〇〇〇	一・五
衣服及び帽子	一二、八〇〇、〇〇〇	一・五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

木材	九、六〇〇、〇〇〇	一・〇	鐵道材料	九、〇〇〇、〇〇〇	一・〇
參	九、一〇〇、〇〇〇	一・〇			

其餘の輸入品は總額の百分の一に及ばざるを以て省略す。

上記二表より之れを観れば、我が國(支那)の輸出品は大部分農產品及び手工品にして、輸入品の大部分は製造品なり。而して農產品と手工品の輸出は亦多からずと謂を得ざれども、而かも、國際貿易上に在りては、一八三一年より後、輸入品は輸出品に比して著しく多く、入超國となれり。試みに最近數十年間に於ける入超の統計を列記すれば、左表の如し。(單位關銀兩)

年次	輸入額	輸出額	入超額
一八八〇年	七九、二九三、四五二	七七、八八三、三八七	一、四〇九、八六六
一八九〇年	一二七、〇九三、四八一	八七、一四四、四八〇	三九、九四九、〇〇一
一九〇〇年	二一一、〇七〇、四二二	一五八、九九六、七五二	五二、〇七三、六六九
一九一〇年	四六二、九六四、八九四	三八〇、八三三、三三八	八二、一三一、五六六
一九二〇年	七六二、二五〇、二三〇	五四一、六三一、三〇〇	二二〇、六一八、九三〇
一九二三年	九二三、四〇二、八八七	七五二、九一七、四一六	一一〇、四八三、四七一

一八八七年以前の入超は通常二百萬と七百萬銀兩の間にありしが、一九二一年は三億五百萬の多額に上りしを以て、利益の外國に溢出する事は大いに人をして驚かしむるに足るべし。而して其原因は甚だ多く、工業の發達せざるが如きも、實に其最大なる原因にして、毎年僅かに輸入棉製品の一項に就きて論ずるも、其價額は甚た多く、已に入超の價額を除去するも尙餘あるなり。試みに右表同年内に於ける輸入棉製品の價額と入超の數とを相比較しなば、卽ち顯然たり。(單位關銀兩)

年次	棉製品輸入額	入超額	差數
一八八〇年	二三、三八二、九五七	一、四〇九、八六六	二一、九七三、〇九一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一八九〇年	四五、〇二〇、二〇二	三九、九四九、〇〇一	五、〇七一、三〇一
一九〇〇年	七五、六〇六、三六〇	五二、〇七三、六六九	二三、五三二、六九一
一九一〇年	一三〇、六七九、二三五	六二、一三一、五六六	四八、五四七、六六九
一九二〇年	二四六、八一三、〇〇〇	二二〇、六一八、九三〇	二六、一九四、〇七〇
一九二三年	一七三、五二〇、〇〇〇	一七〇、四八五、四七一	三、〇五四、五二九

以上擧げたる期間に在りと雖、棉製にあらざる品の輸入額も亦入超少きにあらず、然れども幾んど皆多くは入超にして、巨額に上るもの甚多し。僅かに輸入品の一種なる製造品に就きて論ずるも、利益の外國に溢出する事已に斯くの如く多額にして、若し輸入品全部の製造品を擧げて之れを計算すれば、卽ち外國に溢出する利益の多額なる事は殆んど想像するに堪へざるものあらん。是れ中國工業の發達せざる結果にして、外は卽ち外國品の充滿して國產品の排斥となり、利益は外國に溢出し、內は卽ち民生の疲弊となり、國庫窮乏し、庶政擧らず、諸事興らず、國は既に國としての價値無く、經濟は獨立する事能はず、政治も亦之れに隨ひて獨立容易ならざるなり。

然りと雖經濟の獨立せざる事は、亦未だ始めより政治の獨立せざる害を受くるにあらざるなり。以前より我が國(支那)の關稅は條約の制限を受くるを以て、稅率を自由に增加する事能はず、故に工業を保護せんと欲すと雖、而かも之れが保護に從事するを得んや。關稅會議は吾人(支那人)に稅率變更の機會を與へたるものと云ふべく、稅率を如何に變更すべきやは、特に財政上の收入に重きを置かざるべからざるのみならず、亦宜しく工業の前途に注意すべきなり、且つ又工業の發達すると否とは財政上の收入と密接なる關係ある事に注意すべし。財政上の收入は國境に在りて取る所の關稅は一部分に過ぎずして、最も大に且つ最も主要なる部分は卽ち國內に在りて取る所の各種稅なれども、然かも未だ人民の財力あるにあらざれば、稅

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を納付せしむるに足らざるなり。亦工業あるも發達するにあらざれば、人民の財力は富む事能はざるなり。故に今日の世界に在りて、工業の發達は實に經濟の獨立、政治の獨立に必要缺くべからざる要素なり。

三

然れば即ち中國の工業を發達せしめんと欲すれば、當に如何なる政策を抱くべきか。之れを世界に於ける工業國の歷史に尋ね、之れを中國特殊の情態に度りし結果、棉を栽植し棉業を起すを以て第一の要點となせり。即ち其理由二あり。

（一）凡そ世界に於いて今日の所謂工業國は、其工業の基礎は皆棉織業より著手せるものにして、英國は即ち工業革命の祖國なり。顧みるに其第一に機械を引用せる工業は素より有利なる毛織業にあらずして、外來の棉織業なり。（歐洲はコロンブスの米國發見以前迄で所謂棉布なるもの無く、亞細亞との交通開けたる後、始めて棉布の輸入を見たるなり。故に白人種の工業は其革命以前迄では尙亞細亞に及ばざりしものにして、當時の工業は單に手工工業に止り、機械は用ひざりしなり。當時白人種の手工工業は亞細亞人種に及ばざりしを以て、之れが超過を欲し、即ち英國の工業革命となりしものにして、此點に關しては予は更らに一專門の書籍を著述し、以て之れを說明せり。）棉織業より機械を引用せるものにして、其餘の各種工業の機械は其後前後して用ひらるゝに至れるものなり。（參考 Frederic Austin Ogg, Economic Development of Modern Europe, Chapter VII, Pages 131—142）歐洲大戰以前、英國の工業と競爭の最も烈しかりしものは米獨にして、米獨の工業は皆英國を模倣せるものなれども、而かも又各自發達し、其最も長せるものは出藍の譽あり。二箇國の經濟狀況は完全に同じからずと雖、然かも最も先に發達せる工業にして、英國と競爭し得たるものは皆棉織業なり。米國は產棉を以て世に著れ、原料頗る豐富なれば、棉織業の發達容易なり。而して南米と其

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

他の中立市場（例へば中國等の國の如く、製造發達せず、其需要の製造品は殆んど皆外國より來り、何國の物に論無く、苟しくも價格低廉にして、品質優良なれば皆之れを歡迎す、故に之れを中立市場と云ふ）に在りて、英國品を排斥し、優勝なる地位を占むるは怪しむに足らざるもの丶如し。若し夫れ獨逸の如きは棉花を產出せず、統一以前に在りては他種工業も殆んど發達せざりしが、而かも棉織業は一八七〇年の時（獨逸の統一は一八七一年なり）、已に英國と競爭し得るに至れり。斯くの如きは卽ち大いに吾人（支那人）の注意すべき點なり。（米國の情態參考 Clive Day, A History of Commerce, Pages 526—533. 米國の情態參考 Ogg Economic Development of Modern Europe, Pages 222—223.）米國斯の如く、日本も亦然り、日本は歐洲大戰當時に在りて、數種の精製品を製造し、一躍して世界の工業國となり、中國の中立市場に在りて殆んど英國品を排斥し、而して最も優勝なる地位を占めたり。然かも其最初に發達せる工業は亦棉織業なり。（參考 Clive Day, A History of Commerce Page 282）、試みに以上の事實を觀るに、英國以外の米・獨・日本は工業の後進國にして、後進國の工業を發達せしめ、先進國と相對抗せんと欲するは、棉花の栽培及び棉織業より起らざるは無し。

一、棉織物の製造は最も簡單なるを以て、新式の機械を引用しなば、卽ち無經驗の職工を使用して之れに從事せしむるも、亦完全にして圓滿なる結果を得べく、且つ後進國は工賃低廉に、作業時間長きを以て、其產出せる棉織物は先進國の價格に比して低廉なり。故に國內と中立市場に其販路は擴張され、先進國の棉織物は排斥せられ、而して後進國の棉織物は卽ち有利なる立足地を有する事となるなり。（參考 Clive Day, A History of Commerce, Page 382. Alfred Marshall Industry and Trade, Pages 136—137）、獨逸・日本は其例なり。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、工業上適宜なる機械は必要缺くべからざるものにして、需要の最も大に且つ必要缺くべからざる品は棉織物なり。故に苟しくも棉織物の價格にして低廉なれば、其本國の市場に販路を擴張し得るのみならず、且つ中立の市場にも侵入し得るなり。是れを以て、後進國にして苟しくも棉織業を充分發達せしめ得なば、即ち工業國の中に列入するに足るなり。而して他種の比較的複雜なる工業は之れに從ひて起し得るものにして、即ち米・獨・日本の如き其例なり。此に於いて中國の工業に關し、世界に於ける工業國の經驗に就き之れを觀察すれば、當に棉花の栽培・棉織業を以て、第一の要點と爲すなり。

(二) 若し夫れ中國特殊の情態より之れを觀察すれば、棉花の栽培・棉織業を第一要點となすべきにして、其理由甚だ多し。

(1) 我が國(支那)は世界に於ける棉產國中第三位に當り、每年約三百五十萬包(一包は五百磅)を產出す。然れども苟しくも其種植法にして改良しなば、即ち二三十年間に二三倍の增加を來すべし。

(2) 中國の職工は旣に勞働に勤勉にして勞苦に耐へ、又聰明にして誠實に、且つ生活程度は極めて低きも、生計極めて難きを以て、苟しくも仕事あれば、作業に從事し、賃銀甚だ少く、作業時間甚だ長きと雖、亦顧みざるなり。此れ實に中國製造の費用をして何國に比較するも輕からしむるものにして、最も重要なる要素なり。

(3) 石炭の供給豐富なるを以て、特に棉織業に要する職工の賃銀低廉なるのみならず、機械運轉に要する動力も亦甚だ低廉なり。

(4) 中國は人口の多き事、世界第一位にして、又大部分は棉を用ひて衣料と爲せり。稍や富める中國人は絹布・毛皮を用ひて衣服と爲す者ありと雖、然かも一般人は財力の及ぶ所にあらず、且つ土地の大部は氣

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

候温和なるを以て、棉衣にて防寒の用に足れり。民國十二年度輸入の棉織品（棉絲は除外す）は計關銀一億三千二百萬兩にして、同時に土布（舊式の織機を用ひて製織せる綿布）の製織價額は當に此數に止まらざるべし。異日經濟發達し、購買力(Purchasing Power)増加しなば、棉織品の販路の大いに增加すべきや、又甚だ明なり。

之れを要するに、中國は世界に於ける棉産國の第三位に位し、而かも棉製品の生産費の低廉なる事は世界第一にして、販路の廣き事も亦世界第一位を占め、且つ其消費せらるゝ棉製品は最も簡陋なる製造品なり。夫れ各種製造品中、棉織物の販路は最も廣く、且つ最も簡陋なる棉織品なるを以て、適々幼稚なる棉の栽培・棉織業の發達に適せるなり。

上述せるが如きを以て、中國棉織業の便利なる點を世界に於ける工業國と比較しなば、英・獨・日本の如く棉を産出せざるものにあらず、而して其棉の産出は甚だ多く、工賃の低廉なる事も亦日・英・米・獨の論にあらざるなり。此に於いて中國の工業を本國の特殊情態に就きて之れを觀察すれば、當に棉の栽培・棉織業を以て第一要點と爲すべきなり。

中國は旣に天然に棉を産出し、天然に棉を用ふる國家なれば、宜しく棉織業の發達せる國家と爲すべし。而るに事實は然らずして、棉織品一項の輸入のみにて、已に中國をして入超の國家たらしむるに足れるなり。然らば卽ち如何にして棉織業を發達せしむべきか、是は卽ち世界に於ける工業國の經驗に賴らざるを得ざるものにして、之れを參考の資と爲すべきなり。

四

世界の經驗より之を觀察すれば、凡そ後進工業國にして、其工業の發達せるは、政府の背後より保護せる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に依らざるは無し。後進國の工賃低廉に、作業時間長きを以て、之れに依りて先進國と競爭し得べしと雖、但し必ず培植して成長の時期に至れる後、始めて競爭の能力を具備するものにして、其長所を發揮し、之れが利用を知るべきなり。若し幼稚なる日に在りては、稍や外界の挫折を受けなば、即ち天命を盡さずして天折すべし。故に幼稚なる工業は必ず先づ外國品との競爭を免れ、然る後發達の機會を得べきなり。然れば如何にして外國品との競爭を免るべきや、曰く稅率を增加し、保護政策を採用する事、即ち是れなり。

自來關稅を論ずる者は、自由貿易と保護貿易の兩派に分れり。但し幼稚なる工業に對しては、二派共に保護を以て當然と爲せり。英國の經濟學者 Alfred Marshall 氏の如きは、自由貿易派なりと雖、然かも彼れは東歐諸國に於ける棉織業の發達せしは保護政策を採用せる結果なりと信ぜるものにして、是れ其一例なり。故に我が國(支那)の經濟研究者は、或は自由貿易を主張すと雖、而かも中國の棉織業を謂ふ時は、保護を受くべきものと爲さゞれば、恐らく亦自ら其說を圓滿ならしむる事能はざるべく、玆に之れを論ずるなり。

中國棉織業の經過情態は寥々なるを以て、數言にて概括し得べく、即ち左の如し。(一) 民國三年以前迄では棉織業は幾んど進步無し。(二) 歐洲大戰時代に至り、工場勃興し、民國元年度支那工場所用の紡錘數は四十三萬餘に過ぎざりしが、七年度は增加して八十萬餘となりしものにして、其發達は異常なる迅速なり。(三) 但し民國十年・十一年及び十二年度は大なる打擊を蒙り、甚だしきは經營困難となり、日本工場に併呑せられたるものあり。上記三大不可解の情態は頗る研究すべき價值あり。歐洲大戰以前何を以て中國の棉織業は發達せざりしや、之れ外國品の國內に充實せる關係上、國產品の振興すべき餘地無かりしものなり。然るに歐洲大戰の勃發するや、歐洲諸國は其全力を戰爭に注ぎ、國外の貿易を顧みる暇無く、米國は一九一七年上半期以前迄では尙中立國なりしと雖、但し海運費の大いに增加せる結果、中國に運送

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

する物品は亦之れが爲め大いに減退し、爲めに日本棉製品は卽ち中國の市場を壟斷し得たり。但し二十一條の要求より「日本排斥」の運動起り、日本棉製品の販路も多少其影響を蒙り、一時挫折するを免れざりき。且つ歐洲大戰中百貨騰貴し、棉製品も亦昂騰せしかば、是により支那商は競ひて工場を設け、巨利を獲得せり。然れども、歐洲大戰後、外國品の競爭又四方より起り、或は金價の驟に騰貴せる結果、借りたる外債大いに增加し、或は棉花の收穫不良の爲め原料大いに騰貴し、或は內亂相繼ぎて起り、更らに終焉せず、爲めに消費の途停頓せるものにして、三者の一は實に此にあり。卽ち淘汰の列に在るは亦理の自然なり。

之れを要するに中國に於ける今日の棉織業は、尙外人と競爭し得ざる事は殆んど疑を容るゝ餘地無し。其原因を視るに、亦內部の弱點に由ると雖、一は經驗の缺乏、二は同業者間に於ける團結力の薄弱、三は資本の不足等なり。固より諱言を用ふるに非らざれども、然かも此れ亦殆んど工業の幼稚なる國に在りては一時免れ得ざる弱點にして、始めは政府の保護を待つべきなり。若し缺點無くば、卽ち已に外國品と競爭するに足るものにして、保護の必要無し。苟しくも或種程度の保護をなしなば、卽ち改良の機會を得る事となり、而して弱點は自然に去るなり。吾人は中國商の經營に係る工場に就き謂ふにはあらざれども、先づ法を設けて改良すべきなり。然かも必ず改良の機會を與ふべきにして、然る後改良は實現せらるべし。然らざれば、恐らく盡く日本商の手に入り、而して日本商の改良する所と爲るべし。試みに中國の棉織業を日本と比較するに、孰れが優り、孰れが劣れるや殆んど判斷に苦しむ狀態なれども、然かも日本政府は其棉織業を保護するに餘力を遺さず、百般に亘つて法を設け、中國に於ける其市場の推廣を謀り、而して中國の棉織業は幼稚にして、尙自立する能はざるにより、政府の保護を受くるに當らずと謂ひ、而して本國の棉織業は本國市場の保護を受くるに當らずと謂ふ。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五

昔中國政府は稅率を變更せしむべき機會無かりしを以て、固より保護を言ふに足らざるなり。然れども今や即ち其機會到來せしかば、棉織業の保護を考へざるを得ざるものにして、工業を發達せしむる所以は、國家百年の大計を定むる事となるべし。然れば即ち棉織業の保護は贅言を待たずとも明なり。但し保護の如何なる程度なりやは是れ一問題なり。日本人の主張に照せば、棉製品の一項は關稅の未だ自主とならざりし以前に定めたる附加稅は二分五厘なれば、關稅自主の後に在りても定めたる互惠稅率に二分五厘を增加すべきなりと。一言にして之れを蔽へば、關稅の自主と否とに論無く、棉製品の增加正稅は今の價格の百分の五に比して二分五厘增加せるに過ぎざるなり。價格の百分の五なるは中國の棉織業を保護するに足らざるものにして、是れは已に掩ふべからざる事實なり。若し夫れ價格の百分の七・五なれば如何、予をして之れを觀測せしむれば、即ち之れ亦保護の資となすに足らざるなり。其理由二あり。

一、先進工業國の棉織業の中國の棉織業に戰勝し得るは、其內部組織の完備せるが爲めにして、所謂內部組織の完備とは、管理の得法、技術の經驗、買賣機關の設備、資本の充實等是れなり。外國棉織業內部の組織を中國に比較しなば、優勝なる程度は苟しくも金錢を以て之れを計算すれば、必ず百分の二・五に止まらざるべし。之れを知るに資本を以て論ずれば、即ち證明するに足れり。外國は資本富裕にして、通常利息は三四分或は四五分に過ぎざれども、中國は資本缺乏せるを以て、通常利息は一割或は一割二分にして、二者の差は百分の六或は七又は八に達し、已に百分の二・五以上に出づるなり。中國は世界に於いて棉の產出最も多き國の第三位なるに反し、日本は棉を產出せざるを以て、中國商の得る棉花は價格低廉なるべきも、然かも其結果は大いに然らざるものあり。即ち日本の棉絲工場は中國に在りて共同し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

て棉花を購入するものにして、且つ資本充實せるを以て、中國人の棉花は日本商の壟斷する所となり、中國棉花の市場は日本商の操縦する所となれり。中國棉花の纖維は太く短きを以て、米國と印度との棉花を混用し、始めて機械用に適合するなり。但し中國商の用ふる米印棉花は又日本商の手に入り、而して彼の操縦する所となれり。故に僅かに資本の一項に就きて之れを論ずるも、外國の棉織業の中國棉織業に比較して優勝なる程度は已に百分の二・五以上に出づべし。若し外國棉織業の他の長所の一々に就きて之れを計算すれば、恐らく比較して言ふべき言葉無かるべし。是に於いて二分五厘税率の增加にては保護の資と爲すに足らざるなり。尙此處に記述せるは單に營業方面に就きてのみ論ぜるなり。

二、中國品の內地通行には沿道に於いて釐金税を納入せざるべからず。然れども若し外國品の內地仕向或は國產品の內地より外國に仕向けらるるものは、價格の百分の二・五の輸入税或は輸出税を除きなば、子口半税(卽ち輸入税或は輸出税の半額)を納入せる後は、其距離の遠近に論無く一切の釐金税を免るなり。釐金の税率は各省により異り、大概は始めて輸送する地に於いて、釐金局は百分の三を徵收し、其後釐金局の驗査を受くる每に各局に於て百分の二を徵收するものにして、一省の徵收數は一回となすも、若し數省を通過すれば、百分の二十となり、或は竟に百分の二十五となるべし。例へば杭州の生絲の如き、北京に輸送して消費せんには、徵收せらる釐金は計約從價の百分の十八と爲れり。是に於いて中國に存在する棉絲工場の得る棉花は、米國或は印度より來るものは他省より來るものに比して徵收税更らに輕く、之れを換言すれば、中國の棉花は國內に於ける棉絲工場に輸送せらるるものと雖、外國より輸送されたるものに比し、徵收せらる税は更らに重し。故に關税自主の實行せらる以前に在りては、釐金は未だ廢止せられず、苟しくも棉織品の輸入物は附加税僅かに二分五厘なれば、輸入税と子口半税を合計するも亦

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

百分の十に過ぎず、(若し輸入港に於いて消費せられなば、即ち子口半税は徴收せられざるを以て、七分五厘の納付にて足れり、)即ち中國品に比し其負擔する釐金は更らに輕し。是に於いて二分五厘附加税にては保護の資と爲すに足らざる事甚だ明なり。

若し釐金局を廢止して關税自主となりたる時、苟しくも馬凱(マッケイ)條約に照して產銷税を賦課し、以て釐金の收入を補ひなば、即ち二分五厘の互惠税率の影響は當に如何なりや。產銷税は同じからざる二種の税にして、所謂製產税と市場税是れなり。製產税は貨物の產地に在りて課税し、市場税は貨物の販賣地に在りて課税す。二税は僅かに國產品に對してのみ課すべきや、或は又外國品に對しても同樣賦課すべきや否やは尙問題なり。馬凱條約の條文より之れを觀れば、市場税の徴收は外國品或は外國に輸出する國產品に及ばざるもの丶如く、製產税に至りては更らに外國品に及ぶ事能はざるものにして、即ち外國品は多く外國に產出すればなり。即ち或は外交を以て之れを處理し、或る方法を得なば、二種の税は亦外國品に及び得べきも、然かも其結果は亦必ず釐金の外國品を優待し、而して國產品を薄遇せるが如き結果に至らん。產銷税を以て釐金の變態なりとなしなば、其不善の結果は必ず釐金に等しきか、或は更らに甚だしかるべし。其理由は中國經濟學社發行の筆者の著書に係る關税問題發刊「製產・市場・到着地等税の保留不可にして、釐金廢止の補足に關する正當なる方法を論ずといふ一文」を詳細に見るべし。故に釐金廢止の後、尙產銷税を賦課するに當り、二税の外國品に及ぶや否やに論無く、外國品の中國に在りて負擔する租税と國產品と比較しなば、其地位は少くとも釐金の未だ廢止せられし時と相等しきは何ぞや。一面互惠税率により二分五厘增加すれども、他面釐金の廢止により二分五厘の子口半税は減せしなり。

若し關稅自主の後、產銷稅を賦課せざれば、凡そ稅にして釐金の性質を含有せるものは、一切廢除せらるゝを以て、國產品たると外國品たるとに論無く、皆自由に奥地に運輸し得べく、即ち二分五厘の互惠稅率にては輸入の棉製品に及ぼす影響如何なりや。此の問題は中國の國內貿易自由なるを以て、國產品及び外國品は共に利を得る事更らに多く、中國全部の製產より之れを言はゞ、獲る所の國內自由貿易の益は自ら外國品に比較して更らに多し、然れども棉織品の製產より之れを言はゞ、當さに同類の外國品の利益を得る事甚だ多きには及ばざるなり。夫れ先進工業國の棉織品の中國品に比し優勝なる程度を金錢を以て計算すれば、當さに百分の七・五以上なるべきは、前に已に說明せり。故に釐金の全部廢止せられたる後に在りては、中國の棉織品は毫も課稅せられず、(此れは恐らく不可能の事なるべく、全部の釐金を廢止すと雖、他種の新稅は發生せらざるを得ざるべく、而して一種の新負擔となるべし。)而して外國の棉織品は必ず從價百分の七・五(內譯すれば從價五分の舊稅と二分五厘の互惠稅率なり。)の輸入稅を納付すべきを以て、即ち外國品の製造費用は即ち國產品より輕く、自から國產品に比し其販路更らに旺となるべく、(租稅の學理に照して之れを言はゞ、所謂自由貿易の利益は特に一切の通過稅を免るのみに止まらず、且つ沿道の輸送は阻害せらる事無く、官吏の不正により運輸遲緩する弊無きを以て、其商業の發達を助くる事甚だ多し。)販賣にして更らに旺となれば、益々製造の費用をして更らに輕からしめ、(販路旺なれば即ち製造多く、製造多ければ即ち費用省略せらるなり。)而して外國品は更らに國產品と競爭し得るなり。故に釐金の廢止と二分五厘稅率の增加せると否とに論無く、保護の資と爲すに足らざるなり。此れ即ち租稅方面に就きて論せるものなり。

僅かに營業或は租稅の一面に就きて論ずるも、二分五厘の增加は已に過ぐる嫌あり。若し兩方面に就きて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

之れを論ずれば、即ち輕き上に輕きなり。然れば即ち增加すべき稅率幾何にして始めて適當と爲し得べきや。予は極端なる保護を主張するものにあらず、即ち中國今日の外交にては、事實上行ふ事能はざるなり。但し過度時代に在りては、棉織品の附加稅率は少くとも百分の五と爲すべきにして、自主時代の互惠稅率は今日の輸入稅に比較し、少くとも百分の七・五を增加すべし。斯くの如にすれば、前者の輸入稅は子口稅を合して百分の一二・五となり、後者の輸入稅は必ずしも子口稅を附課せずとも亦百分の一二・五と爲るなり。予は一割二分五厘の輸入稅ありて、棉の國產品は即ち優勝なる地位を占め得るものと云ふにあらず、唯支那商中技藝の敎育に對し、相當の經驗を有するものあれば、應さに自立するに足り、自然淘汰を受けざるべしと云ふのみ。故に定むる一割二分五厘の稅率は、一面に於いては固より保護稅關（Protective Tariff）となるものにして、有力なる支那商をして外國商と競爭し得しむるなり。而して他面に於いては亦財政關稅（Revenue Tariff）となるものにして、外國品は即ち國產品と競爭し得るを以て供給絕えず、政府は此種大宗物品の稅收を得べきなり。（關稅は分ちて保護的と財政的の二種と爲ると雖、但し同一關稅にて二種の性質を含有すべく、且つ此の如き關稅は收入必ず甚だ多し。其理由は Carl P, Plehn, Introduction to Public Finance. Page 128）を見るべし。

或は謂ふ、馬凱條約（マッケイ條約）は釐金廢止後、輸入稅は從價百分の二・五を課すべく規定し、最互惠稅率の一割二分五厘は或は約に據りて爭ふべしと、而して附加稅の增加百分の五は華府會議條約にて定めたる普通品の增加二分五厘の範圍外に出づるが如し。且つ附加稅は過度時代の稅率に過ぎずして、其期間は甚だ短きを以て、何ぞ必ずしも斯くの如く堅く持すべき。然るに民國十八年度より關稅自主の實行し得べきや否やは、實に一大疑問なり。苟しくも其時或は一時實行不能となれば、即ち臨時の附加稅率は即ち長久の性質を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

含むを以て、棉織業と工業との前途に對する關係は甚大なれば、何ぞ之れを輕視し得べき。華府會議に於いて制定せる中國の關稅條約は「一種の商業協定或は商業契約なれば、中國に於いて若し相當と認めたる時は當然之れを取消すべし。」今日の關稅會議に於いて協議せられたる奢侈品・普通品稅率は原來華府會議條約の範圍に照さずして進められたるものなれども、而かも列國も亦之れに異言なきなり。且つ所謂奢侈品と普通品との限界は最も定め難きなり。日本は大地震より以後、事々に皆復興に待つ事となり、爲めに輸入驟かに增加し、入超の憂を生せしかば、該政府は輸入を減少せしむる見地より、卽ち奢侈品に對し重稅を課する事となり、中國品の日本に輸入せらるるものは、卽ち必需品なりと雖亦百分の百の重稅を課せられり。此れを以て彼れに倣ひ、我が國(支那)も入超を免る見地より、外來の棉織品に對し百分の百を課稅するは、理に於いて甚だ當然なり。然るに今は百分の百を課せず、僅かに百分の一二・五を課稅し、以て特惠の稅率と謂はざるを得ざるなり。

六

然りと雖、近年來日本の中國に在りて開業せる紡織工場は日に多く、其國產品を排斥する勢力は外來の外國品に比して更らに甚し。稅率の增加せる後、日本商の中國に來り紡織工場を開く者は自から更らに多かるべく、國產品の受くる競爭は自から更らに烈しかるべし。故に苟しくも徒らに關稅を增し、以て外來の外國品を抵制するのみにて、外人の內地に在りて製造する外國品を抑制すべき方法を設けざれば、卽ち中國の棉織業は保護の實惠を受くる事能はざるなり。

中日戰爭の結果、一八九五年馬關條約を締結し、馬關條約の結果、外人は開港場に在りて工場を開設し得る權利を獲得せり。一八九五年以前、中國商の經營せる棉絲工場は僅かに六軒にして、合計するも紡錘數は僅

かに一八三、〇〇〇に過ぎざるに、一八九六年末に至り、外國商の上海に設立せる棉絲工場の合計紡錘數は四〇〇、〇〇〇の多數に上り、時日は只　年有餘なるに拘はらず、已に主客を顚倒する事斯くの如し。此れ最初の情態なれども、最近は如何。

最近全國(各省)に於ける棉絲工場の中外勢力の分配情態は、即ち下表に示すが如し。

年別	中國工場所有紡錘數	日本工場所有紡錘數	英國工場所有紡錘數	總數
民國元年	四三二、一〇六	一九〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	八二二、一〇六
同　七年	八七九、二三八	三三三、八六四	二四五、八二四	一、四五八、九二六
同　十一年	六二三、八七〇	一、〇二三、〇〇八	二四八、〇二四	一、八九四、九〇二
同　十四年	一、八八一、八二二	一、三二八、九二〇	二〇五、三四〇	三、四一六、〇八二

上表より之れを觀れば、中・英・日三箇國棉絲工場の競爭狀態は甚だ明瞭なり。民國十四年英國工場の所有紡錘數は、之れを元年に比較すれば、其増加は五千三百二十錠に過ぎずして、之れを七年及び十一年に比較しなば、反りて退步の形にあり、故に英國工場の競爭は顧慮するに足らざるが如し。民國十四年中國工場の所有紡錘數は一千八百八十萬餘錠にして、之れを元年の四百三十萬餘錠に比較しなば、四倍有餘の增加なるを以て、其進步の狀態は速かならずと謂ふべからざるなり。然れども之れを日本工場の夫れに比較しなば、民國元年は十九萬餘錠に過ぎざりしが、十四年には一千三百二十萬餘錠となり、六倍有餘の增加なれば、大いに退色あり。且つ中國工場の民國十一年度に於ける所有紡錘數は六十三萬餘錠にして、之れを七年の八十七萬餘錠に比較しなば、二十萬錠の減少となれるに拘はらず、時を同じくして、日本工場は三百三十餘萬錠より增加して一千三萬餘錠と爲りしを以て、中國工場の進步は退縮の甚だ多き時あるを免れざるものにして、而かも日本工場の進步は即ち逐年擴張充實せるなり。斯れ即ち内部組織の一は完備し、一は完備せざる爲めに

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

して、其證明は此に待たずとも明なり。中國工場の今所有する紡錘數は比較的多しと雖、而かも資本は反て比較的少きを以て、（民國十三年五月の報告に據れば、中・日・英棉絲工場の投せる資本の數は下記の如し。即ち英國工場の資本は八、三〇〇、〇〇〇銀兩、日本工場の資本は合計二〇、六〇〇、〇〇〇銀兩及日本金二四七、六〇〇、〇〇〇圓、中國工場の資本は合計四八、二四五、〇〇〇銀兩及び五八、〇九〇、〇〇〇銀元なり。）一度外界の影響を受けなば、自立する事能はざるに至り、日本商の併吞する處となるは怪しむに足らざるなり。此の如き情態なれば、苟しくも法を設けて制止せざれば、即ち中國棉業の前途は殆んど想ひ設くべくも無し。制止の道は一種の內地稅を設け、外國人の設けたる棉絲工場の製品に對しては從價百分の二十を課し、其中一割二分五厘は棉織品の外國產の納付すべき輸入稅と爲し、其餘の七分五厘は即ち外國人の開港場に工場を設くる權利の納むべき稅と爲すなり。

七

予の我が國（支那）棉織業に重きを置く所以は、我が國（支那）工業の前途にのみ著想せるにあらず、而して日本の工業も之れによりて爲す事能はざるに至るものにもあらざるなり。世界の工業史を考ふるに、凡そ先進工業國は後進國の保護政策を採用し、紡織の粗製工業を培植するを以て、恐らく已に製產せる同種貨物は排斥せらる所となるべきを以て、即ち其出品工業の方針を改變し、精緻品の製造に從事し、以て其損失を補償せんとするなり。日本は歐洲大戰の後、世界に於ける工業國の一となり、其工業の程度は精緻品を製造するに足るべく、而して其間多大なる困難無きが如し。故に苟しくも棉織品の販路にして減少するも、彼の工業の前途は危險を發生するが如き憂無かるべし。而して我中國は即ち棉織業にして苟しくも發達せざれば、入超日に多く、國家は愈々困窮し、政治の獨立上害あるべし、實に懼れざるを得んや。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本人は物産稀少なるを以て、力を竭して我が國(支那)の原料を吸收し、以て我が國(支那)の市場を壟斷せり。即ち武力的侵略はかばかしからざる時は、又經濟的侵略を計畫せるものにして、遠くは馬關條約より、近くは二十一條の要求の如き、皆此種政策の貫徹にあらざるは無く、又最近關稅會議に於いて先頭第一に關稅の自主を承認せりと雖、然かも輸入の棉製品に對しては二分五厘附加稅說を堅く執り、互惠稅率の要求は即ち此政策を抱きて進行せるものなり。吾れ之れを聞く、英人は自由貿易の失敗を有せるを以て、保護貿易を提唱し、同帝國以外の貨物に對しては、農産品たると製造品たるとに論無く、皆之れに課稅せり。唯英本國は植民地及び屬地の農産品に對し、同一の稅に比し減輕し、之れに反して植民地及び屬地は母國の製造品に對し、同一の稅に比し減輕せり。是れ互惠稅率にして、此の如き政策は將來尙實行せらるゝや否やは不明なれども、但し現今の知る所より之れを觀れば、英國の自治植民地(British Self-governing Colonies)も亦幼稚工業保護の主義を取り、母國の製造品に對しては亦重稅を課し、他國の製造品と異なる處無し。(參考 Clive Day, A History of Commerce, Pagge 327—333)。彼れは本來他國の屬國なるに、尙經濟の獨立を謀らんと欲せり。而して中國は本來政治上獨立の國なるに拘はらず、尙經濟の屬國たることを願ふべきか。日本人は政治上及び經濟上の屬國として我(中國)れを待つも亦怪しむに足らず。而かも我が國人(支那人)が他國の政治上及び經濟上の屬國を以て自ら待つを願ふと謂ふか、實に歎かはしき事ならずや。

(民國十五年六月號上海總商會月報「趙文銳」)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

島情

臺灣金融統計（大正十五年六、七月）

財務局金融課

□銀行預金貸出金殘高表

大正十五年六月末島內各銀行預金貸出金殘高左ノ如シ

種類	金額	種類	金額
公金預金	四、三〇一、二八二円	預金手形	一、六八〇、〇一五円
當座預金	一二、九二六、六七一	日本銀行預金	三、三六七、四九八
特別當座預金	三九、三八四、八七四	貯蓄預金	五、五四六、三九九
通知預金	八四五、七二四	合計	九三、九三三、八二一
定期預金	二四、六〇〇、五〇六	前月	九七、〇三〇、一七九
別段預金	二、二八〇、八五二	前年同月	九一、一一三、六〇九

種類	金額	種類	金額
證書貸付	三五、二六四、七三五円	買入外國爲替	五九一、二〇四円
手形貸付	四六、七四三、一三二	其他	四七、一三四
當座貸越	三、六二一、二五二	日本勸業銀行貸付	四五、七五五、四八八
割引手形	九四、一一七、三三五	貯蓄銀行貸付	一、三二六、四四六
荷付爲替手形	一八、〇二七、一九〇	合計	二四五、七九八、三七五
利付爲替手形	三〇四、四五九	前月	二四一、八九五、二一七
		前年同月	二九〇、七六二、四七九

備考　日本勸業銀行貸付ニハ臺灣銀行取扱ノ代理貸付ヲ含ム

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

之ヲ地方別ニ示セバ左ノ如シ

州廳別	預金	貸出金
	円	円
臺北州	四八、一五八、一六一	一三九、八六六、一五四
新竹州	四、七三五、四五七	一七、九八〇、五七七
臺中州	一五、四二八、三四一	三二、七三七、〇七六
臺南州	一六、八二一、四五三	三一、五四七、四四九
高雄州	六、八二九、二九〇	一九、七六九、一七八
澎湖廳	四三二、〇七〇	一六〇、六五四
臺東廳	四二六、〇〇八	二、六六四、五三二
花蓮港廳	一、一〇三、〇四一	一、〇七二、六六六
合計	九三、九三三、八二一	二四五、七九八、三七五

□銀行別重要物産放資殘高

銀行名	大正十五年六月末 金額	大正十五年六月末 千分比	前月末 金額	前月末 千分比	前年六月末 金額	前年六月末 千分比
	円		円		円	
臺灣銀行	五八、二三二、七九一	—	五九、八二六、一七〇	七七八	四九、六二三、五一七	七四五
臺灣商工銀行	五、七四九、二二八	—	五、六五六、五七六	七四	五、八三六、一五八	八八
華南銀行	四、五〇九、九一五	—	三、七二〇、七九三	四八	四、七三八、〇六七	七一
彰化銀行	三、九一八、九三八	—	三、九七九、六二六	五二	三、七四〇、六二二	五六
三十四銀行支店	三、二六五、九八八	—	三、七二四、六八二	四八	二、六九五、〇一六	四〇
合計	七五、六七六、八六〇	—	七六、九〇七、八四七	一、〇〇〇	六六、六三三、三七〇	一、〇〇〇

□重要物産別銀行放資殘高

品目	大正十五年六月末 金額	大正十五年六月末 千分比	前月末 金額	前月末 千分比	前年六月末 金額	前年六月末 千分比
	円		円		円	
砂糖	五〇、一八四、三五六	六六三	五三、一六九、八〇三	六六三	三七、七六四、七三七	五六七

米	16,259,503	214	14,291,530	186	17,822,409	268
茶	1,582,764	21	1,343,726	18	1,691,559	25
樟腦	651,836	9	724,301	9	1,694,686	25
金塊	500,984	7	560,984	7	391,620	6
酒精	265,166	4	244,761	3	338,827	5
石炭	6,232,069	82	6,452,752	84	6,919,532	104
合計	75,676,860	1,000	76,907,847	1,000	66,623,370	1,000

□銀行別重要物産放資總額及累計

銀行名	大正十五年六月中	前月中	前年六月中	本年六月迄累計	前年六月迄累計
臺灣銀行	25,228,990円	18,047,856円	25,790,401円	142,113,825円	132,508,500円
臺灣商工銀行	3,338,257	2,492,229	2,764,524	15,970,030	10,213,336
華南銀行	3,613,526	3,191,279	5,009,688	24,196,104	26,791,768
彰化銀行	1,515,240	2,822,613	1,824,193	12,517,351	14,500,417
三十四銀行支店	2,166,347	2,185,148	3,031,512	12,263,265	14,755,641
合計	35,752,360	28,738,334	38,420,318	207,060,575	198,767,762

□重要物産別銀行放資總額及累計

品目	大正十五年六月中	前月中	前年六月中	本年六月迄累計	前年六月迄累計
砂糖	20,486,840円	15,406,906円	20,634,633円	131,471,138円	107,309,638円
米	10,816,035	9,011,282	12,803,413	61,121,480	65,620,295
茶	1,030,595	946,964	1,132,460	4,293,103	3,435,125

樟腦	一九六、二九八	四五六、〇五二	四二一、六六七	二、七〇五、一八二	三、三三七、三一五
金塊	四八五、六八四	四八五、六八四	三五四、六三二	二、六二三、九二〇	一、七九七、六六三
酒精	二九、六四〇	一七五、一〇一	三一六、七〇二	九六三、一八七	一、五一六、六四五
石炭	二、三一七、二六八	二、二五六、三三五	二、六三六、八三三	一三、六三九、一〇五	一三、七四一、〇三二
合計	三五、七三二、二六〇	二八、七三八、三二四	三八、四二〇、三一八	二〇七、〇六〇、三八五	一九八、八六七、七六二

□市街地信用組合事業一覽表（大正十五年六月末日現在）

（其の一）

州廳別＼種別	組合數	組合員數	出資口數	資産 未拂込出資金	資産 貸付金	資産 土地建物什器	資産 有價證券	資産 預ケ金	資産 假拂金	資産 手形割引	資産 其他	資産 現金	資産 計
臺北	九	五、四七九	四五、三三〇	七五、四五八円	四、八八三、三五二円	一三七、三六一円	七一四、八三八円	一、五九八、七六五円	六、九五七円	一二三、九三六円	一五九、三九四円	四八、四二四円	七、七三七、四四八円
新竹	二	一、〇九八	八、三〇九	五、四九三	七八五、七八九	一七、九一三	九七七	四九三、二四二	一、五〇五	—	六五三	二、二六六	一、三〇七、八六一
臺中	二	一、一〇五	四、九九二	一、二八四	七〇一、七八六	一七、一七八	一七、八七〇	三五四、一二五	一〇、五九六	—	—	三、三二〇	一、一〇六、〇六三
臺南	五	二、六一九	一四、四二三	一二三、四四〇	一、八七七、一二〇	五五、八二六	一二七、一八八	四三八、三三三	三、〇五八	二一七、六八一	—	二四、九一六	二、八四六、四四六
高雄	一	三六八	一、三〇二	一、三〇五	三〇一、二〇八	三一、六七八	一三、〇四〇	五七、八六二	—	—	三二、二四四	二六六	四四八、六二五
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	一	一九八	四、六〇五	—	二九六、五二五	九九八	一六、三〇〇	—	一、四四九	三六、六一八	—	一、〇一三	三五二、八九五
合計	二〇	一〇、七八七	七六、八五二	一九五、九八一	八、八四五、七七二	二六〇、九五七	八六三、九一四	二、九五八、五一九	二三、五六七	三六七、三三六	一六三、二九二	八〇、一四八	一三、七五九、三八九
前月末合計	二〇	一〇、七〇七	七六、八三五	一九五、三五一	八、七一二、〇〇四	二六〇、七七四	七九六、七四四	三、一四二、七一一	二五、四三九	三五三、〇九八	二六一、六一六	七七、九八六	一三、八二五、七一六
△ハ減	—	八〇	一六	六三〇	一三三、七六八	一八三	六七、一七〇	△一八四、一九一	△一、八七二	一四、二三八	△九八、三二三	二、一六二	△六六、三三六

（其の二）

種別／州廳別	出資金	貯金	準備金	各種積立金	未拂配當金	借入金	假受入金	其他	剩餘金	計
	負						債			
臺北	一,四九八,三三〇円	五,一五八,九〇九円	四九四,〇〇三円	一七六,九一三円	一〇,〇四八円	二一九,一一〇円	二八,二〇七円	一一,〇三四円	一四〇,九二九円	七,七三七,四八八円
新竹	二二四,六二八	八七一,七八五	一二二,五六八	六〇,六二八	一,二二三	三〇,〇〇〇	三,五八四	一七	二三,四三五	一,三〇七,八六一
臺中	二四九,六〇〇	六三九,〇六三	一〇八,五九七	五九,九四五	二,一八九	—	一〇,八五二	—	三五,八一四	一,一〇六,〇六三
臺南	七二一,一五〇	一,六五七,二二八	二五八,〇八六	四〇,九五二	二,九〇八	二二一,三三二	三五,六五七	一六,九三一	九一,二〇八	二,八四六,四五六
高雄	六〇,一〇〇	二九九,九三八	四八,二七三	三二二	—	—	—	—	—	四〇八,六三三
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	九二,一〇〇	一八五,三七一	四一,二三〇	一九,五三〇	—	三,五〇〇	一,三八二	—	九,八〇〇	三五二,八九五
合計	二,八三五,八九八	八,八二三,三九八	一,〇六二,七五〇	三五八,二七二	一六,三六〇	二六四,九四三	七九,六八三	二七,九九四	三〇一,一八八	一三,七九九,三八九
前月末合計	二,八三九,六七八	八,八三五,一五六	一,〇六二,七三七	三五八,八七一	一七,二〇五	二五三,二五三	八〇,六六六	二七,六九二	三五〇,四八四	一三,八二五,七二六
△ハ減	△三,七八〇	△三,八〇七	一三	△五九九	△八四四	一一,六八九	△九八二	三〇一	△四九,二九五	△六六,三三六

（其の三）

種別／州廳別	組合員貯金	第一條第三項貯金	第一條第四項貯金	加入豫約者貯金	計	手許有高	貯金拂戻準備トシテ管理	計
	貯金內譯					有價證券內譯		
臺北	一,六二九,六七七円	二,〇二四,六四四円	一,五〇四,五八八円	—円	五,一五八,九〇九円	三六四,一〇三円	三五〇,七三五円	七一四,八三八円
新竹	三八三,八七三	三五五,四六三	一三二,四四八	—	八七一,七八五	五二	九二五	九七七
臺中	一七三,九四九	四一三,一三三	五一,八八一	—	六三九,〇六三	一,一六六	一六,七〇四	一七,八七〇
臺南	七三三,一一七	七三八,〇七一	一八六,〇三九	—	一,六五七,二二八	七六,四四〇	四〇,六九七	一一七,一三八
高雄	一五六,一七五	八九,三六九	五四,四九三	—	二九九,九三八	二三五	一三,八一五	一四,〇五〇
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	一〇〇,六〇七	四一,二〇八	四三,五五五	—	一八五,三七一	—	—	—

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

合計	前月末合計	△ハ減
三,一八七,四〇〇	三,二〇〇,八二一	△一三,四二一
三,六五一,八九〇	三,九四三,〇三六	八,八五四
一,九七三,〇〇七	一,九九一,〇二一	△一八,〇一四
—	二三七	△二三七
八,八一二,二九八	八,八三五,一三六	△二二,八三七
四四二,〇三六	—	—
四二一,八七八	—	—
八六三,九一四	—	—

(其の四)

種別 州廳別	預ヶ金內譯 銀行其ノ他ヘ預入	預ヶ金內譯 貯金拂戻準備トシテ管理	預ヶ金內譯 計	貸付金利率 最高	貸付金利率 普通	貸付金利率 最低	貯金利率 最高	貯金利率 普通	貯金利率 最低	借入金利率 最高	借入金利率 普通	借入金利率 最低	預ヶ金利率 最高	預ヶ金利率 普通	預ヶ金利率 最低	手形割引步合 最高	手形割引步合 普通	手形割引步合 最低
臺北	円 一,五八九,〇六五	円 九,七〇〇	円 一,五九八,七六五	厘 四〇	厘 三七	厘 二八	厘 二二	厘 一七	厘 八	厘 三	厘 二二	厘 一八	厘 三	厘 一六	厘 六	厘 三八	厘 三四	厘 二六
新竹	四六一,四六七	三一,七七五	四九三,二四二	四〇	三四	二〇	二〇	一八	一〇	三五	二七	二	二	一〇	一〇	—	—	—
臺中	三五三,五二五	六〇〇	三五四,一二五	三七	三五	二八	二二	一四	一〇	—	—	—	—	—	—	三七	三五	三〇
臺南	四三六,〇九四	二,一一八	四三八,二一三	四八	三五	二八	二五	一八	九	二六	二四	二六	二五	一四	八	三八	三五	三
高雄	五七,八六二	—	五七,八六二	四六	四六	三五	三	一八	一八	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	五,〇〇〇	一一,三〇〇	一六,三〇〇	三七	三七	三五	二二	一八	一八	二六	二六	二四	—	—	—	三七	三七	三七
合計	二,九〇三,〇一五	五五,五〇三	二,九五八,五一九	四八	三七	二八	二〇	一八	八	三五	二五	一八	二五	一六	六	三八	三五	二六
前月末合計	—	—	—	四八	—	二〇	二〇	—	八	三三	—	一八	—	—	—	四二	—	二六
△ハ減	—	—	—	—	—	八	—	—	—	二	—	—	—	—	—	△四	—	△一〇

市街地信用組合一覽表

（大正十五年七月末日現在）

(其の一)

種別 州廳別	組合數	組合員數	出資口數	資產 未拂込出資金	資產 貸付金	資產 土地建物什器	資產 有價證券	資產 預ヶ金	資產 假拂金	資產 手形割引	資產 其他	資產 現金	資產 計
臺北	九	五,五一九	四五,四五一	円 七六,一一九	円 四,九三六,二九四	円 一三七,八三二	円 七三六,〇一〇	円 一,三七四,三六五	円 七,一一七	円 一〇〇,三七八	円 一五七,六六一	円 五五,二六六	円 七,七八〇,九六五

新竹	二	一、一一七	八、二九〇	六、三五三	八二二、四二〇	二〇、九三七	九七七	四五三、五二一	一、六九四	—	六五三	五、四三六	一、三〇二、〇〇四
臺中	二	一、一〇六	四、九九〇	一、二七二	七二三、四九三	一七、二九六	一七、六九〇	三七二、九二五	一〇、五九六	—	—	四、四二四	一、一三六、七〇〇
臺南	五	二、六二九	一四、四三九	一〇九、九三四	一、九二七、八六四	五五、八三二	一二七、七〇八	四三四、一六七	三、一四八	二二六、六八〇	—	二四、六一四	二、八七九、九四九
高雄	一	二九一	一、一〇五	一、一六五	三〇六、〇五五	三一、六七八	一三、〇四〇	五六、六六八	—	—	二、四六〇	六〇	四一一、一九六
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	一	一九八	四、六〇五	—	三〇三、八八八	九九八	—	一六、三〇〇	一、四四九	二八、七五八	—	六六一	三六二、〇五五
合計	一三	一〇、八六〇	七六、九八〇	一九四、九四四	八、九九九、〇一六	二六四、五七二	八八五、四三六	二、八九七、九二六	二四、〇〇七	三五五、七一七	一六〇、七七六	九〇、四八二	一三、八七二、八七二
前月末合計	一三	一〇、七八七	七六、八五一	一九五、九八一	八、八四五、七七二	二六〇、九五七	八六三、九一四	二、九五八、五一九	二三、五六七	三六七、二三六	一六三、二九二	八〇、一四八	一三、七五九、三八九
△ハ減	—	七三	一二九	△一、〇三七	一五三、二四三	三、六一五	二二、五一二	△六〇、五九一	四四〇	△一一、五一九	△二、五一六	一〇、三三四	一一三、四八三

(其の二)

種別 州廳別	出資金	貯金	準備金	各種積立金	未拂配當金	借入金	假受入金	其他	剩餘金	計
	貸					債				
臺北	一、五〇〇、〇二〇円	五、一八六、〇三三円	四九五、〇九七円	一四六、八四〇円	九、〇七一円	三二八、六二〇円	二六、六六三円	九、四三三円	一七、三〇八円	七、七六〇、九六五円
新竹	二二四、一一〇	八五三、一一八	二一、七〇一	六〇、一一二	一、一八三	二六、〇〇〇	三五、〇九一	二七	三〇、六六〇	一、三〇二、〇〇四
臺中	二四九、五〇〇	六六六、六六八	一〇八、五三九	五九、九二五	二、〇四四	—	一〇、八二〇	—	三九、二〇三	一、一三六、七〇〇
臺南	七三一、九三〇	一、七〇八、〇〇三	二五八、〇七七	四〇、九四六	二、七六二	三一、八七九	三、八二三	一六、五二〇	一〇四、九八六	二、八七九、九四九
高雄	六〇、二五〇	三〇二、三六〇	四八、二七三	三二二	—	—	—	—	—	四一一、一九六
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	九二、一〇〇	一六六、七八五	四一、二三〇	一九、五三〇	—	八、五〇〇	一、一三三	二、二三五	一〇、四五二	三六二、〇五五
合計	二、八三七、九三〇	八、九〇二、九六九	一、〇六二、九〇九	三二七、六五六	一五、〇六一	二六七、九九九	四七、五七一	二八、二二五	三六二、五四九	一三、八七二、八七二
前月末合計	二、八三五、八九八	八、八一二、二九八	一、〇六一、七五〇	三五八、二七二	一六、三六〇	二六四、九四三	七九、六八三	二七、九九四	三〇一、一八八	一三、七五九、三八九
△ハ減	二、〇三二	九〇、六七〇	一、一五八	△三〇、六一六	△一、二九八	三、〇五六	△三二、一一二	二三〇	六一、三六〇	一一三、四八二

（其の三）

種別 州廳別	貯金内譯 組合員貯金	貯金内譯 第一條第三項貯金	貯金内譯 第一條第四項貯金	貯金内譯 加入豫約者貯金	貯金内譯 計	有價證券内譯 手許有高	有價證券内譯 貯金拂戻準備トシテ管理	有價證券内譯 計
	円	円	円	円	円	円	円	円
臺北州	一、六八〇、八二九	一、九九二、三七一	一、五三二、九三三	─	五、一八六、〇三三	三七九、〇六二	三五六、九四八	七三六、〇一〇
新竹州	三八五、四六一	三三七、九〇〇	一二九、七五七	─	八五三、一一八	五二	九二五	九七七
臺中州	一八二、六〇七	四三五、七四三	四八、三一七	─	六六六、六六八	九八六	一六、七〇四	一七、六九〇
臺南州	七九三、一七九	七二三、六五六	一九二、一六六	─	一、七〇八、〇〇三	六九、五〇一	四八、二〇六	一一七、七〇八
高雄州	一六四、六五三	八六、六八一	五一、四五三	─	三〇二、三六〇	二二五	一二、八一五	一三、〇四〇
臺東廳	─	─	─	─	─	─	─	─
花蓮港廳	一〇二、三九七	四〇、六五七	四三、七三〇	─	一八六、七八五	─	─	─
合計	三、二六九、一二六	三、六一五、五一〇	一、九九八、三三九	─	八、九〇二、九六九	四四九、八二六	四三五、六〇〇	八八五、四二六
前月末合計	三、一八七、四〇〇	三、六五一、八九〇	一、九九三、〇〇七	─	八、八三二、二九八	四四二、〇二六	四二一、八七八	八六三、九〇四
△ハ減	一〇一、七二八	△三六、三八〇	二五、三三二	─	九〇、六七〇	七、七九〇	一三、七二二	二一、五二二

（其の四）

種別 州廳別	預ケ金内譯 銀行其ノ他ヘ預入	預ケ金内譯 貯金拂戻準備トシテ管理	預ケ金内譯 計	貸付金利率 最高	貸付金利率 普通	貸付金利率 最低	貯金利率 最高	貯金利率 普通	貯金利率 最低	借入金利率 最高	借入金利率 普通	借入金利率 最低	預ケ金利率 最高	預ケ金利率 普通	預ケ金利率 最低	手形割引步合 最高	手形割引步合 普通	手形割引步合 最低
	円	円	円	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘
臺北州	一、三六四、六六五	九、七〇〇	一、三七四、三六五	四〇	三七	二〇	三〇	一六	八	三三	三三	一八	三	一六五	六	三八	三四	三六
新竹州	四一〇、四一一	三三、一一〇	四四三、五二一	四〇	三四	三〇	三〇	一八	一〇	二七	二〇	二〇	三	一四	八	─	─	─
臺中州	三七二、三二五	六〇〇	三七二、九二五	三七	三五	二六	三三	一四	一〇	─	─	─	三	一四	八	─	─	─

臺南	四〇、八四八	三、三一八	四四、一六七	四六	三五	二八	二五	一八	九	二六	二六	二六	二三	一四	八	二八	二五	二二
高雄	三六、六三八	—	三六、六三八	四六	四六	三五	三三	一八	一八	—	—	—	一四	一四	八	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	五、〇〇〇	一一、三〇〇	一六、三〇〇	三七	三七	三五	三三	一八	一八	二六	二六	二六	一七	一四	一四	二七	二七	二七
合計	二、八三九、八八九	五八、〇三九	二、八九七、九二八	四六	三七	二〇	三四	一八	八	二二	二五	一八	一二	一二	六	二八	二五	二六
前月末合計	二、九〇三、〇一五	五五、五〇四	二、九五八、五一九	四八	三七	二八	三四	一八	八	二五	二五	一八	一五	一四	六	二八	二五	二六
增△減	△六三、一二六	二、五三五	△六〇、五九一	△二	—	△八	—	—	—	△三	—	—	△三	△二	—	—	—	—

□島內各銀行內外爲替取組高表（大正十五年六月中）（單位圓）

摘要	收入 島內 口數	收入 島內 金額	收入 內地 口數	收入 內地 金額	收入 外國 口數	收入 外國 金額	支出 島內 口數	支出 島內 金額	支出 內地 口數	支出 內地 金額	支出 外國 口數	支出 外國 金額	收支（△）超過 島內	收支（△）超過 內地	收支（△）超過 外國
送金爲替	三六、五六一	二、一四〇、七三〇	四、二五五	一〇、三五四、一四一	二八	一四、五五〇	三〇、八〇一	四〇、三五七、二〇五	一、六六八	八、八八八、八〇七	三五五	一、〇五〇、三五三	一、五五五、九三五	一、六六五、一六四	△九六、〇五三
割引手形	七、六八〇	二、八五〇、一一四	一、八六八	一、四〇三、九六八	—	—	七、六七〇	四、一五五、〇四八	四〇	五、一六八、四五五	—	—	△三三三、八一四	△一、二五五、四三五	—
荷付爲替手形	一、四四三	七、四四五、八〇一	二、〇〇五	五、三八〇、三六三	二九	三三〇、八八〇	二、〇二三	二、四五七、一七五	八六〇	四、六六一、三〇〇	九	二七、六四六	△三五、九〇三	△一、〇八八、八五六	三四三、二三四
買入外國爲替	—	—	—	—	△一八	六四八、四三三	—	—	—	—	三六	二六八、二四四	—	—	三八〇、一九九
利付爲替手形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三五	一六六、六六八	—	—	△一六六、六六八
代金取立	一三、八〇四	七、八二〇、二一四	八、八五四	五、一八五、一一四	三一	三五四、六一九	九、三五五	一、〇五六、六九八	三五二	六五五、三五七	六五	三四、二二〇	三六〇、六四四	五、二〇七、四五七	三五五、三六九
計	五〇、三三五	四〇、六八〇、八七九	一六、〇五七	一八、四一〇、六六五	六八九	一、四四五、〇五一	五〇、〇四八	六八、九四七、六〇四	三、二五〇	一七、三五四、一二七	七一八	一、五九七、一四〇	一、四五六、二二五	一、五九六、四六八	△六〇、一一九
前月	四五、八五五	三六、三六八、一二四	一四、八三四	三一、四〇一、一〇四	五五五	一、九九五、〇三〇	四〇、〇〇五	五五、六六四、三三五	二、六五五	三〇、〇〇四、〇〇九	六九七	一、五四五、三二五	六〇四、八〇五	二、一三七、〇〇七	一、七九三
前年同月	三九、五五八	三五、〇五八、二〇三	一六、三五五	三五、〇六六、七六九	一、二四〇	一、九五六、〇二五	四三、六九九	三五、八〇〇、八五六	三五、六九一	一六、九五八、六六〇	一、一二九	一、六〇九、一八九	五、一九九、三五六	六、一三〇、一九九	三五六、八二六
本月迄累計	二五六、七一二	四五一、三五五、七二二	一〇〇、八〇五	一三九、六一五、六〇六	四、〇〇七	一一、九九八、五三一	三一五、七二〇	四〇三、四五七、四〇一	一九、〇九九	一五五、四六八、三三〇	五、九九九	八、五五〇、〇〇五	四七、一五六、七六一	△八、四五四、五七四	三、五八八、四五六
前年同月迄累計	二二五、一五六	四〇一、三五五、〇五八	八七、七七九	一三一、〇八七、〇〇〇	五、二二四	一三、八〇五、六〇七	二六六、四四七	一〇三、三五七、一五六	二〇、四九九	一二一、五五七、六五八	四、三三二	八、八九八、一七九	八、〇二一、九二二	九、四八四、五六二	三、九四四、五五八

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□島内各銀行内外爲替取組高表（大正十五年七月中）（單位圓）

摘要	收入 島内 口數	收入 島内 金額	收入 内地 口數	收入 内地 金額	收入 外國 口數	收入 外國 金額	支出 島内 口數	支出 島内 金額	支出 内地 口數	支出 内地 金額	支出 外國 口數	支出 外國 金額	收支（△）超過 島内	收支（△）超過 内地	收支（△）超過 外國
送金爲替	六、〇七一	三四、六二五、二〇八	四、五四〇	一三、八〇三、三〇八	四〇五	四七一、〇三六	二七、六〇五	三五、〇四五、一五五	一、八四五	一〇、八四四、八三三	五三	六五五、四〇五	二、五八〇、〇五五	△ 九、六二四	△ 一八四、三五九
割引手形	五、六七八	三、三三八、五九八	一、八四三	一、四六七、四八八	—	—	四、八八〇	三、五四〇、一三一	一三八	三、一四四、一四四	—	—	六八八、一三九	△ 三、五八八、五五六	—
荷付爲替手形	二、〇七六	二、七四〇、六七六	一、五六五	二、六四〇、四八八	四九	六二四、九五五	一、九八五	二、四二三、〇五五	一、四八〇	八、一七三、八〇七	五	一四、一七五	△ 三一七、五五九	△ 五、九五五、四一九	五九九、七七六
買入外國爲替	—	—	—	—	五五	五四八、七三〇	—	—	—	—	五五	五八四、九三〇	—	—	一六四、七九九
利付爲替手形	—	—	—	—	一	一五〇	—	—	—	—	一七	九〇、三二八	—	—	△ 九〇、一七八
代金取立	二、八〇一	五、七二〇、一四四	七、九三八	五、四六七、一八八	一五九	三五九、四三九	八、四〇七	五、〇九〇、九七六	四五三	五八、八五五	四四	三〇、四四七	六二一、一五八	五、一三八、五五五	三二八、九九二
計	四七、六九八	四四、〇三四、二一六	一八、二九三	一八、二五七、四三三	八〇九	一、九五三、九五八	四五、六六〇	四〇、一七六、八〇五	三、九七二	三四、五四〇、六八八	六五五	一、一七五、八六二	三、八八八、〇一一	△ 八、二四三、九一六	七七八、〇九六
前月	四七、五五五	四〇、六八四、八一九	一七、〇〇七	一九、五五〇、六五五	六八九	一、四八八、〇五一	四六、〇四六	三八、八五七、六〇四	三、一五〇	一七、五五四、二二七	七二八	一、一五六、一四〇	一、八二七、二一五	一、九九六、四二八	△ 六八、一〇九
前年同月	四四、五〇八	四五、〇五七、一四九	一五、四一八	二〇、一八二、七七六	四一八	一、三四六、五五五	四五、一二五	四五、一〇五、七〇五	四、六〇四	五五、二二一、七三〇	九六一	一、五五八、二四四	△ 四八、五五六	三五、〇四八、四〇四	△ 二〇三、三三三
本月迄累計	三一〇、六〇七	三三五、五〇八、〇〇八	一一六、七一一	一四六、九八八、九九八	四、八八八	一五、九八二、四六八	三五九、六〇〇	三〇六、二二一、七五八	一二〇、〇六一	一〇六、九九八、五七六	四、五八〇	九、七七四、九九七	一五、〇二三、二五〇	一六、〇八八、五四〇	四、二四七、五九三
前年同月迄累計	二九六、七五四	三四四、三五六、四一七	一〇五、一七〇	一三一、二五四、七五六	五、六九九	一五、九九九、九七〇	三五五、三五八	三五五、三三〇、九三二	一三五、一二三	一五八、八〇九、五五八	五、五五一	一〇、一七五、一〇五	八、八二五、四八六	△ 九、五四四、五六三	五、八二四、七六七

□手形交換高表（大正十五年六月分）

所在地	手形枚數	交換金額	交換差額	交換枚數一枚ニ對スル平均金額
基隆	五七九一枚	一、八〇〇、〇九六円	三一三、二九八円	三一一円
臺北	二三、六九九	一〇、五九一、五六二	三、二九四、八四八	四四七
臺中	二、二一五	二、五九六、九九九	一、一三六、一〇三	一、一七二
臺南	一二、一五七	二、七九六、三五一	八〇三、四一三	二三〇
高雄	四、三一八枚	二、一二〇、七七七円	八〇四、三二一円	四九一円
計	四七、一四〇	一九、九〇五、七八五	六、六二二、〇五一	四二二
前月	四八、八六一	二〇、五九八、四九六	七、三四八、九〇四	四二一
前年同月	四五、六〇八	二〇、一〇〇、〇七一	七、一五四、五二一	四四一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□手形交換高表（大正十五年七月分）

所在地	手形枚數	交換金額	交換差額	交換枚數一枚ニ對スル平均金額
基隆	五、五三四枚	一、六九四、六七二円	五〇五、六八四円	三〇六円
臺北	二四、六八七	一二、六一六、九二〇	四、四五九、三三八	五一一
臺中	二、三九六	三、一六九、二九八	九九七、一六九	一、三二三
臺南	一二、一七九	二、八三三、四二九	八九一、一五〇	二三三
高雄	四、〇四六枚	一、八九六、二六三円	六六七、一八五円	四六八円
計	四八、八四二	二二、二一〇、七七一	七、五二〇、五二六	四五四
前月	四八、八六一	一九、九〇五、七八五	六、六三一、〇五一	四〇七
前年同月	四六、〇二九	二一、一三八、九三〇	七、二三七、八一〇	四五九

□臺北物價指數表（大正十五年六月末）

品目	本月	前月	前年同月
白米	(+) 二五八、七三	二四七、〇九	二七九、〇六
玄米	(+) 二二三、五九	二二三、一五	二二九、二九
清酒	三二一、四三	三二一、四三	三四二、八六
麥酒	一七二、〇〇	一七二、〇〇	一六四、〇〇
紅酒	三三三、三三	三三三、三三	三三三、三三
澤庵漬	(+) 二二三、八七	一九九、四三	一八五、一八
小麥粉	(−) 一五八、四九	一六四、九〇	一八三、〇三
砂糖	(+) 一二九、二〇	一二八、二二	一四二、三九
鰹節	二〇七、八一	二〇七、八一	二五〇、九〇
味噌	一五八、四六	一五八、四六	一六六、一五
醬油	(−) 一六五、九〇	一七〇、四五	一八一、八一
雞卵	二三八、七七	二三八、七七	二三六、六二
火油	(−) 一五六、四二	一五八、九七	一八四、六一
鹽	一四〇、九一	一四〇、九一	一四〇、九一
煙草	一八〇、〇〇	一八〇、〇〇	一五〇、〇〇
烏龍茶	九一、〇八	九一、〇八	七五、一四
包種茶	(−) 一一七、二四	一三七、五八	一一三、七九
白木綿	一七八、七七	一七八、七七	二二〇、三三
綿布	一四五、七八	一四五、七八	一八六、八四
洋紙	(−) 一八二、八〇	二〇〇、〇〇	二一七、三九
日本紙	三三三、三三	三三三、三三	三三三、三三
杉板	一九四、四四	一九四、四四	一七五、〇〇
杉材	一八七、五〇	一八七、五〇	一六八、七五
洋鐵	(−) 一七七、八九	一八一、七七	一八四、二二
鉛	(−) 一五六、二五	一六二、五〇	二〇〇、〇〇
銅	(−) 一三二、六五	一三八、七七	一三八、七七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

品目	本月	前月	前年同月
煉瓦	二〇八、七〇	二〇八、七〇	二〇八、七〇
日本瓦	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇
板硝子	一三七、五〇	一三七、五〇	一六二、五〇
セメント	一七六、四七	一七六、四七	一七六、四七
燐寸	二三七、一六	二三七、一六	二三七、一六
石油	(−)一四一、八一	一五三、一八	一六八、一八
石炭	(+)一五〇、〇〇	一三七、五〇	一三七、五〇
木炭	(+)二五三、三三	二四七、三三	二五三、三三
薪	(+)二七一、四三	二五七、一四	二二四、二九
平均	(−)一八五、二〇	一八六、〇二	一九二、八七

備考　本表ハ大正三年七月ノ物價ヲ一〇〇トシテ計算セリ(+)印ハ騰貴(−)印ハ低下ヲ示ス

●平均指數五箇年對照表

月次	十五年	十四年	十三年	十二年	十一年
一月	一九七、八三	二〇三、二五	一九二、八一	一九一、六四	二〇二、六一
二月	一九七、九九	二〇三、二〇	一九一、九四	一九五、三二	二〇〇、一五
三月	一九四、六五	二〇〇、六〇	一九一、三二	一九六、〇六	一九九、四一
四月	一八八、二五	二〇〇、三二	一九一、五九	一九六、〇一	一九九、二五
五月	一八六、〇二	一九二、五〇	一九四、一六	一九五、二七	二〇〇、〇三
六月	一八五、二〇	一九二、八七	一九二、七六	一九五、〇七	二〇一、九二
七月	—	一九九、八四	一九二、六一	一九〇、八六	二〇二、八九
八月	—	二〇一、七八	一九三、九二	一九〇、五六	二〇二、五四
九月	—	二〇三、四〇	一九八、二〇	一九二、〇四	二〇一、三三
十月	—	二〇〇、一五	二〇二、四一	一九〇、三三	一九六、六一
十一月	—	二〇〇、九三	二〇五、〇二	一九二、三八	一九七、三九
十二月	—	一九七、五一	二〇三、三三	一九二、六六	一九六、四〇

●各年月ヲ一〇〇トセル本月平均指數

基礎年月	十五年五月	十四年六月	十三年六月	十二年六月	十一年六月
本月平均	九九、五五	九六、〇三	九六、〇七	九四、九四	九一、七一

□臺北物價指數表　(大正十五年七月末)

品目	本月	前月	前年同月
白米	(+)二六一、六二	二五八、七二	三一三、九五
玄米	二一三、五九	二一三、五九	二六八、〇七
清酒	三二一、四二	三二一、四二	三二一、四二
麥酒	一七二、〇〇	一七二、〇〇	一六四、〇〇
紅酒	三三三、三三	三三三、三三	三三三、三三
澤庵漬	二一三、六七	二一三、六七	二一三、六七

品目			
小麥粉	(+) 一六七、九二	一五八、四九	一八三、〇三
砂糖	(−) 一二七、二三	一三九、二〇	一五三、四八
鰹節	二〇七、八一	二〇七、八一	二九〇、九〇
味噌	一五八、四六	一五八、四六	一六三、〇七
醤油	(−) 一五〇、〇〇	一六五、九〇	一八一、八一
鷄卵	(−) 二三三、八五	二三八、三七	二三三、八五
火油	(−) 一五三、八四	一五六、四一	一六六、六六
鹽	一四〇、九一	一四〇、九一	一四〇、九一
煙草	一八〇、〇〇	一八〇、〇〇	一五〇、〇〇
烏龍茶	(+) 九四、八七	九一、〇八	八三、四九
包種茶	(+) 一三七、九三	一一七、二四	一一三、七九
白木綿	(+) 一八〇、二五	一七八、三七	二二八、二五
綿布	(+) 一四九、三九	一四五、七八	一八六、八四
洋紙	一八二、六〇	一八二、六〇	二〇八、六九
日本紙	二三三、三三	二三三、三三	二三三、三三
杉板	(−) 一六六、六六	一九四、四四	一七五、〇〇
杉材	一八七、五〇	一八七、五〇	一六八、七五
洋鐵	一五七、八九	一五七、八九	一八四、二一
鉛	一五六、二五	一五六、二五	二〇〇、〇〇
銅	一三二、六五	一三二、六五	一三八、七七
煉瓦	二〇八、七〇	二〇八、七〇	二〇八、七〇
日本瓦	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一一〇、〇〇
板硝子	一三七、五〇	一三七、五〇	一六二、五〇
セメント	(+) 一八五、二九	一七六、四七	一七六、四七
燐寸	二三七、一六	二三七、一六	二三七、一六
石油	一四一、八一	一四一、八一	一六八、一八
石炭	一五〇、〇〇	一五〇、〇〇	一三〇、〇〇
木炭	二五三、三三	二五三、三三	二四六、六六
薪	二七一、四二	二七一、四二	二〇〇、〇〇
平均	(−) 一八五、一一	一八五、二〇	一八五、一〇

備考　本表ハ大正三年七月ノ物價ヲ一〇〇トシテ計算セリ(+)印ハ騰貴(−)印ハ低下ヲ示ス

●平均指數五箇年對照表

月次	十五年	十四年	十三年	十二年	十一年
一月	一九七、八三	二〇三、二三	一九一、八一	一九一、六四	二〇二、六一
二月	一九七、九九	二〇三、三〇	一九一、九四	一九五、三三	二〇〇、一五
三月	一九四、六五	二〇〇、六〇	一九一、三三	一九六、〇八	一九九、四一
四月	一八八、二五	二〇〇、三三	一九一、三九	一九六、〇一	一九九、二五
五月	一八六、〇三	一九二、三〇	一九四、一六	一九五、一七	二〇〇、〇三
六月	一八五、二〇	一九二、八七	一九二、七八	一九五、〇七	二〇一、六二
七月	一八五、二一	一八五、一〇	一九二、六一	一九〇、八六	二〇二、八九
八月	—	二〇一、七八	一九三、九二	一九〇、五六	二〇三、二四
九月	—	二〇三、四〇	一九八、三〇	一九二、〇四	二〇一、三三
十月	—	二〇〇、一五	二〇二、四一	一九〇、三三	一九六、六一
十一月	—	二〇〇、九三	二〇五、〇一	一九二、三八	一九四、三九
十二月	—	一九七、五一	二〇三、二三	一九二、六六	一九六、四〇

●各年月ヲ一〇〇トセル本月平均指數

基礎年月	十五年六月	十四年七月	十三年七月	十二年七月	十一年七月
本月平均	九九、九五	一〇〇、〇〇	九六、六五	九六、九八	九一、二三

臺灣貿易統計（大正十五年八月）

臺灣總督府稅關

□貿易額比較

外國貿易	十五年八月	十四年八月	十五年累計	十四年累計	增減(•)
輸出	四、六五七、一二八円	四、四六一、三五六円	三一、六〇八、二〇三円	二七、三五一、二〇六円	四、二五六、九九七円
輸入	三、七三三、三三九	三、一七八、〇七六	四二、五三一、〇一八	三一、四〇四、八六八	一一、一二六、一五〇
計	八、三九〇、四六七	七、六三九、四三二	七四、一三九、二二一	五八、七五六、〇七四	一五、三八三、一四七
輸出(入)超過	九二三、七八九	一、二八三、二八〇(入)	一〇、九二二、八一五(入)	四、〇五三、六六二	—

內地貿易	十五年八月	十四年八月	十五年累計	十四年累計	增減(•)
移出	一二、〇五六、五六六円	一一、八八四、七八〇円	一五九、二八四、一六五円	一七三、五二三、〇七五円	•一四、二三八、九一〇円
移入	九、八一五、〇五四	二、九四九、二七三	七七、四七一、五〇九	八一、〇五七、五九三	•三、五八六、〇八四
計	二一、八七一、六二〇	一四、八三四、〇五三	二三六、七五五、六七四	二五四、五八〇、六六八	•一七、八二四、九九四
移出(入)超過	二、二四一、五一二	八、九三五、五〇七	八一、八一二、六五六	九二、四六五、四八二	—

□輸出

種		八月 數量	八月 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	十四年累計 數量	十四年累計 價額	增減(•) 數量	增減(•) 價額
石炭	噸	四四、八〇四	四八五、一〇一円	五〇四、〇九七	五、六七五、三三〇円	四三〇、八七四	四、四四八、〇七四円	七三、二二三	一、二二七、二五六円
包種茶	斤	七二一、六五二	五二三、一五六	五、五〇〇、四〇八	四、二一六、一三一	四、九七二、二〇四	三、九二七、三五四	五二八、二〇四	二八八、七七七
砂糖	同	—	—	一七、三〇〇、七一五	二、四一六、〇〇七	二九、四六六、四二三	四、一六一、八七九	•一二、一六五、七〇八	•一、七四五、八七二

品名	單位	八月 數量	八月 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	十四年累計 數量	十四年累計 價額	增減(●) 數量	增減(●) 價額
烏龍茶	同	2,051,882	1,503,431	3,591,471	2,619,272	4,696,977	3,090,252	●1,105,506	●470,980
綿織物	碼	1,596,736	479,356	12,605,727	3,296,620	4,402,225	1,179,363	8,203,502	2,117,257
榨腸	斤	300,500	37,050	912,213	1,557,238	1,558,519	2,735,371	●646,306	●1,178,133
餡	同	466,715	144,239	5,277,075	1,585,424	888,335	375,409	4,388,740	1,210,015
酒精	升	250,800	86,771	3,541,880	1,194,397	4,117,300	1,262,900	●575,420	●68,503
鹹魚及乾魚	斤	733,344	150,653	4,713,797	994,650	6,663,863	1,058,334	●1,950,066	●63,684
セメント	同	8,204,381	189,412	63,683,079	1,370,047	28,726,732	594,700	34,956,378	775,347
紙	同	424,472	32,615	3,966,293	334,857	4,023,261	306,245	●56,968	28,612
燐寸	哥	19,225	12,391	221,861	151,969	250,125	193,877	●28,264	●41,908
苧麻	斤	171,169	63,140	974,061	370,203	1,008,326	393,347	●34,265	●23,144
貝柱	同	40,595	54,373	334,363	433,476	158,543	201,190	175,820	232,286
硝子鏡	箇	663,313	19,649	5,759,904	153,527	7,143,993	184,726	●1,384,089	●31,199
其他諸品		—	386,713	—	5,139,055	—	3,138,195	—	2,000,860
計		—	4,667,128	—	31,608,203	—	27,351,206	—	4,256,997

□ 輸入

品名	單位	八月 數量	八月 價額(円)	十五年累計 數量	十五年累計 價額(円)	十四年累計 數量	十四年累計 價額(円)	增減(●) 數量	增減(●) 價額(円)
大豆油糟	斤	10,550,964	533,992	175,223,006	9,190,756	158,518,668	9,042,367	16,704,338	148,389
硫酸アンモニウム	同	10,903,366	979,145	40,326,842	3,910,972	19,968,669	2,164,488	20,358,173	1,746,484
砂糖	同	—	—	25,335,319	3,152,300	13,805,252	1,865,910	11,530,067	1,286,390
大豆	同	3,672,915	258,592	33,497,825	2,337,832	27,237,328	2,187,154	6,260,497	150,678
阿片	同	—	—	33,213	866,295	44,538	1,075,626	●11,325	●209,331
ガンニー袋	箇	100,000	63,300	2,482,999	1,735,506	2,320,000	1,773,625	162,999	●38,119
木材		—	235,354	—	1,289,458	—	1,169,839	—	119,619

米（穀共）	斤	九、七六七、八四九	八四三、六三六	八七、七八五、六七〇	八、一三〇、六六八	一三、九七九、五三〇	一、一五四、〇六四	七三、八〇四、一一〇	七〇四七、六〇四
石油	ガロン	七九五	三一七	一、五四〇、三五五	八一七、〇四五	一、一六三、一四六	七八〇、四六六	三七七、八四九	三六、五六八
包蘆	枚	四七〇、六〇〇	七三、一三三	三、三一〇、三一〇	六一四、六六八	二、三〇〇、三一六	四九三、八四七	一、一二〇、〇〇四	一三三、一一三
小參	斤	六七、九三八	三九、九六八	七七五九、一〇五	六八七、一八六	九七一、八一三七	九六、〇三三	• 一、九五九、一三三	• 三三八、八四六
葉煙草	同	四一、七三〇	二四、一三九	一、一七六、三九九	六一三、九〇九	一、一〇三、八四〇	六三四、六一六	七〇、三五九	• 八、七〇七
毛織物	方碼	七八七	一、八五九	一六八、五三七	三三七、七七六	二九四、三三五	• 四二六、九五六	一三五、七九八	• 一八九、一八〇
鹹魚	斤	六、七四九	一、〇四七	一〇、八七三、九三六	七五九、九五七	五、三七一、八六六	四八一、八四四	五、〇六〇、〇七〇	二七八、一一三
黄麻	同	一〇、七九四	一、一九二	二、四三七、六四三	四三四、二二五	一、五六三、三三六	二二〇、四六六	八七四、四一七	一三三、七五九
苧麻布	方碼	一六、七三三	六二、二八	一、一四〇、一四二	二九二、七五四	一、三七二、一六二	三九一、一六〇	• 一三三〇、〇三〇	• 九八、四〇六
禮拜紙	斤	一〇三、四三〇	三七、〇四〇	一、〇六五、九二一	三〇〇、六六三	八五〇、一三四	二六八、一九七	二一五、六九七	三一、九六六
繰綿	同	三三、四八四	一三、〇九五	四三九、四一〇	二一九、七〇七	一一五、〇七七	七六、一一一	三一四、三一三	一四三、四九五
鐵	同	二四七、二六八	一九、四四四	五、一〇三、八二三	四九三、三九九	三、九九三、一六七	一六八、六一九	一、一一〇、五五六	三三四、九五〇
コンデンスドミルク	打	—	—	一〇〇、三六	三三、七六八	三五、八五九	• 一七四、八九一	一五、八〇三	• 一二一、一六三
陶磁器		—	二一、〇八四	—	二二三、五五三	—	二〇一、七三九	—	一一八、一三
唐紙	斤	三一七、〇〇四	三三、一一七	二、〇〇九、〇〇〇	一九〇、七一三	一、七〇六、五〇五	• 一九四、七一八	• 三〇二、四九五	四、〇〇六
綿織物	方碼	一一、二六五	九、八五三	三五二、八七七	二六六、七七九	二六四、六〇九	二三四、八八二	七八、二六八	五一、八九七
パラフインワックス	斤	—	—	二四四、六一〇	六九、八三六	三三九、七八五	• 九六、六三七	• 九五、一七五	• 三三、八〇一
錫	同	五七、三三七	一〇、三四三	七八、三六六	一四〇、七八一	七二、八三五	一三六、五八四	五五、三五一	四、一九七
豆素麵	同	七四、六七四	二一、五八六	三九三、九四一	一一三、三三〇	三三六、九六八	一三〇、三五七	五七、〇一三	八、〇〇七
石炭	噸	三、七六八	一〇四、〇四〇	七、九六八	一五六、六〇一	九、四五六	一三三、七九五	• 一、四八八	• 三三、八〇六
苧麻綿布	方碼	一五、〇三三	六、〇〇八	二三〇、三八九	九三、八六八	二六九、六七四	一四〇、〇九三	• 六九、六八五	• 四六、一三五
機械用油	斤	二八、九四三	四、五三一	四〇九、七三三	七〇、三六〇	三七三、三〇六	六一、三一八	三六、四三七	九、〇四二
輕油	ガロン	九五、四三五	八、九一六	六九、五四〇	七三、二二九	三六、〇七九	四七、八二一	三三、四六一	二四、四六八
其他諸品		—	三五一、三三一	—	四、八九一、八六六	—	四四一、二五五	—	四八〇、三〇一
計		—	三、七三三、三三九	—	四三、三二〇、一〇八	—	三一、四〇四、八六八	—	二一、一三六、一三〇

□移出

品目	單位	八月 數量	八月 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	十四年累計 數量	十四年累計 價額	増減(●) 數量	増減(●) 價額
			円		円		円		円
砂糖	斤	二,三〇四,七一〇	二六七,四八〇	七三三,六六三,四六三	九六,二三五,〇四二	六五六,五九八,三八一	九七,四〇一,七四八	七七,〇六五,〇八二	●一,一六六,七〇六
米	斤	六〇,〇三〇,八三〇	七一,三五八,九六一	二九〇,四九九,〇〇四	三三,八二〇,三四五	三七〇,五三五,七三〇	四九,一二九,八四六	●八〇,〇三六,七二六	●一五,三〇九,五〇一
芭蕉實	斤	三,六二一,四九五	一,四六〇,五六三	一三一,七三九,一一八	八,四四六,四九七	一〇五,八七八,六一〇	七,二七八,二三九	二五,八六〇,五〇八	一,一六八,二五八
酒精	升	五八七,七六〇	三一四,二〇一	五,七二九,六四〇	三,〇八八,四四七	五,〇〇八,二四〇	二,六八五,八一四	七二一,四〇〇	四〇二,六三三
木材		—	四二九,五七三	—	二,二五五,九六四	—	一,六四〇,〇七五	—	六一五,八八九
樟腦油	斤	四四三,八九九	一三八,二三〇	四,一五〇,九〇一	二,一五六,一七二	三,一七六,四五一	一,五八二,六九一	九七四,四五〇	五七三,四八一
切乾薯	斤	四,四七五,九六〇	一九三,〇五一	一〇,七五六,二〇〇	四六二,七二一	四三,七四九,〇四〇	一,六六〇,六三四	●三二,九九二,八四〇	●一,一九七,九一三
鳳梨罐詰	打	九四,一八六	三三五,九三六	四〇四,八三三	一,四五四,八一七	四〇九,〇三七	一,五八四,六一九	●四,二〇四	●一二九,八〇二
石炭	噸	一四,〇一八	一九九,五九〇	九六,六二二	九八二,四二二	一三一,六五〇	一,三四〇,六五六	●三五,〇二八	●三五八,二三四
模造パナマ帽子	箇	二五九,二〇〇	一一五,〇二〇	二,八一〇,六〇〇	一,〇〇八,六五五	二,一三八,六四〇	七二三,〇二四	六七一,九六〇	二八五,六三一
鰹節	斤	三,四七八,〇四一	一三〇,八二七	四,三六七,七四四	一,一四七,八九四	七七〇,三五〇	七九一,六七七	三,五九七,三九四	三五六,二一七
食鹽	斤	一,五〇〇,八〇〇	八二,八二	七二,〇二六,六四〇	五九三,五九一	一一一,四三六,九〇四	九六二,〇九六	●三九,四一〇,二六四	●三六八,五〇五
樟腦	斤	三二,六八〇	三七,五〇〇	六七九,三四二	一,一六五,五一九	五二六,九一七	九一五,〇九二	一五二,四二五	二五〇,四二七
鑛	斤	一七,五六五,五四四	二九三,三三三	五一,八六四,一〇二	一,〇〇九,七四〇	二四,七九六,六九五	五六五,一七四	二七,〇六七,四〇七	四四四,五六六
麻織物	碼	九五〇	一九五	一,三七〇,八五〇	四〇三,二五〇	一,八一〇,九七二	四三二,八六二	●四四〇,一二二	●二九,六一二
其他諸品		—	六六三,八二四	—	四,九六三,一〇〇	—	四,八二九,八一六	—	一三三,二八四
計		—	二三,〇五六,五六六	—	一五九,二六四,一六五	—	一七三,五三三,〇七五	—	●一四,二六八,九一〇

□移入

品目	單位	八月 數量	八月 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	十四年累計 數量	十四年累計 價額	増減(●) 數量	増減(●) 價額
			円		円		円		円
米	石	一,三八四	六一,三七一	一八,〇〇三	六七四,四六一	五四四,七七六	一五,二四七,七七〇	●五二六,七七三	●一四,五七三,三〇九

紙及紙纖維物		—	一、七九二、一〇六	—	二、四七二、四六三	—	八、四四六、一七七	—	四、〇六六、二六六
肥料	斤	五、五二一、七三五	二六二、六六六	五一、一五四、四四二	二、五〇八、九二四	六五、六二六、五八六	四、〇八五、〇五六	●一、四九二、一四四	●一、五六六、一四三
鐵	斤	四、〇〇七、四六四	四四五、〇一八	三九、五三四、一八三	四、四七〇、九四一	三一、五四五、四七六	四、一一二、七九六	七、九七八、七〇七	三六八、一四五
鹹乾魚	斤	一、三六八、六〇八	二七九、九四〇	一五、一二一、一九一	三、〇三一、〇七九	一三五、五九二、二六六	三、六六五、九七六	●八、四七一、〇七五	●六三四、八九七
小麥粉	同	十、八三五、五一三	二二五、五〇七	二〇、五五一、〇七四	二、四九〇、二九五	一七七、七〇七、六五五	二、三六四、六九九	二六四、三五八	二三五、五九六
鹽	同	六四九、六八五	二三四、三三七	六、七八一、八四四	二、〇〇九、一〇〇	一、九四五、四九五	九一八、四〇五	四、八三六、三四九	一、〇九〇、六九五
紙		—	一八五、三九六	—	二、〇〇二、六七〇	—	二、一三五、六〇九	—	●一三三、六三九
ガンニー囊	箇	一五四、八五〇	六〇、六八〇	二六四、〇〇〇	一、五五九、六八四	三、〇二七、六九〇	一、八〇九、六八一	●三六三、六九〇	●二四九、九九七
鐵製品		—	一六〇、〇五六	—	一、六三五、二六四	—	一、四一八、〇四七	—	二一七、三三七
木材		—	九二二、一〇九	—	二、二三四、一一八	—	一、一四四、四五四	—	一、〇七九、六六四
絲類		—	一五六、四一五	—	一、四〇二、三六八	—	一、一五一、四七六	—	二五〇、八九二
清酒	打	四三、六八五	四二〇、一〇四	六七、八六九	六一七、〇〇五	八七、八八八	八四四、五〇七	●二〇、〇一九	●三二七、五〇二
麥酒	打	五四、七九二	二六六、八五二	三〇七、〇九五	一、七九四、〇三三	三三四、一〇〇	一、五三六、一五七	五二、九九三	二五七、八六五
紙卷煙草	千箇	六五、七四〇	一五一、七四七	五七三、七二〇	一、三四五、五九二	四九二、七六〇	一、〇一八、二六五	八〇、九六〇	三三七、三三七
メリヤス肌衣		—	二二八、五四九	—	六〇一、〇〇七	—	二九五、二五一	—	三〇五、七五六
燐寸	哥	一〇七、八二八	七六、八六九	九九二、七六三	七五八、一八五	一、一二七、七四五	九〇三、六五二	●一三四、九八二	●一四五、四六七
罐詰食物		—	一七〇、四四五	—	一、二六〇、〇一六	—	八九七、六四〇	—	三六二、三七六
自轉車同部分品及附屬品		—	一一〇、七六四	—	九九九、〇三四	—	七一七、七四〇	—	二八一、二九四
石油	ガロン	二四、八八〇	五九、四五〇	一、一〇五、四六〇	三八二、四九二	一、一三三、六一五	八二一、〇〇四	●一二七、一一五	●三八、五一二
毛織物		—	二三九、八七七	—	五〇二、〇六八	—	三三〇、五四〇	—	一七一、五二八
鐵道建設用材料	斤	三六六、八七八	四九、六四八	五、五〇二、三四四	四四五、三四四	七、一三四、一九一	六一五、四四八	●一、六三二、八四七	●一七〇、一〇四
菓子類		—	三八、一六七	—	六五三、二二五	—	三一七、〇五一	—	一三五、一六四
切組板		—	五一、九二九	—	五五三、三七三	—	五三二、〇九九	—	二七四
醬油	石	八五四	五〇、〇二七	七、四四五	四四五、一一五	六、六一三	四四六、四三二	八三三	●一、三〇六
石鹼		—	七九、一六〇	—	三六一、五九二	—	五三〇、三三一	—	四一、一七一

機械用油	—	四五,一九三	—	五四一,一一三	—	四一〇,八一〇	—	•六九,六八九
陶磁器	—	五五,二一九	—	五四一,八〇五	—	三九六,九三三	—	一四四,九三二
砂糖　斤	三〇六,二六八	七六,七九一	一,七五九,四六八	四六,四六四	一,三八七,〇三八	四三三,一八〇	一七二,四三〇	一四,二八四
セメント　同	一,〇一九,九五六	三〇,五三七	一八,六八七,一六二	三九九,一九一	一八,五一六,八三六	四〇一,九〇二	一七〇,三三六	•二七二
其他諸品	—	三,九四五,九六八	—	二八,一七五,四六一	—	二三,九一九,六九六	—	•五,二四五,八三五
計	—	九,八一五,〇五四	—	七七,四七一,五〇九	—	八一,〇五七,四九三	—	•三,三六八,〇八四

□港別貿易額

港名	輸出 円	輸入 円	計 円	十五年累計 円	十四年累計 円	増減(●) 円	移出 円	移入 円	計 円	十五年累計 円	十四年累計 円	増減(●) 円
基隆	二,一八八,三三五	一,四四四,八六七	四,三一二,五八〇	三七,八六八,三三五	二六,六六四,〇五三	一一,一〇四,三〇二	九,四五九,三二三	七,三一二,八五三	一六,七八一,一二四	二八,〇六八,七七六	一五〇,四四四,五六八	三,五五五,六〇九
臺北	二,〇四〇,九〇五	六八,四三六	二,一〇九,三四一	八,四五四,八三六	九,二八四,九五一	•八〇〇,二一五	—	—	—	—	—	—
淡水	五七,五四一	二二八,六六九	一六八,五六一	二,三五六,九〇六	二,〇六四,〇一六	二九一,八九〇	—	—	—	六,〇〇〇	一五,五四〇	•七,五四〇
安平	—	八九,八八〇	八九,八八〇	一,一六七,六五四	一,三二一,四五四	•一五三,七九九	六,二八〇	五四〇,六六四	五五七,〇五四	八,三一六,五五九	七,〇〇九,四五〇	一,三〇六,八九九
高雄	四五四,六八五	一,四五一,六七二	一,九〇六,三六六	三二,四五二,一六四	一八,二九九,一六四	四,一五三,〇〇〇	二,五三二,二六一	一,九一五,九九九	四,三三七,八五〇	一〇九,九六九,五〇七	一二五,五〇九,四六六	•五,六〇二,九六九
其他諸港	五六,五三六	六〇,三二五	九六,四六一	一,〇〇〇,三六六	一,〇二一,五九九	•二一,二三五	三六八,六六五	四六,〇〇〇	三一五,三六五	五五八,一〇九	一,六〇四,〇四五	•一,〇四五,九三五
計	四,六六七,一二六	四,七五五,五五九	八,四六〇,四六九	八四,一五九,三三三	五八,七五六,〇四九	一五,四〇二,一四七	一二,〇五六,五六六	九,八一五,〇五四	二一,八七二,六一〇	一五五,七五五,六九五	三五四,五八〇,六六八	•一七,八二五,九五九

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

詩壇

迎蔗菴總督再攀瑤韻恭賦　　鷹取岳陽 田一郎

紫泥封賜有鴻榮。直荷重權浮大瀛。鷁首飛驅天外沒。
鯤身跋浪月中橫。高樓百尺擎天柱。新漲一杯傾赤誠。
氣格使人能起敬。清操氷潔老書生。

奉次蔗菴總督原韻　　猪口鳳菴 安喜

鳳闕朝叨章綬榮。雙旌映日入南瀛。遙天靄散青螺出。
落際波平畫鷁橫。飭吏昌言期履道。治民眞訣欲推誠。
公餘獨對仙禽坐。應有詩情箇裡生。

敬次上山蔗菴督憲瑤韻　　謝雪漁 汝銓

君子能兼義勢榮。新持龍節駐南瀛。思齊韓范威經略。
定薄儀秦策縱橫。德化悅來將近遠。道心開布以公誠。

更施惠澤無嫌厚。霖雨七鯤慰衆生。鰥寡獨孤窮有告。
田園肥沃物滋榮。形勝東西控雨瀛。向日花知早致誠。
詖淫邪遁議無橫。偃風草欲全治化。
半壁河山資保障。陳詩說禮集諸生。

迎蔗菴總督閣下謹次瑤韻　　鄭述公

人世生存樂共榮。會逢仙吏下東瀛。英賢爲造緇衣好。
思議須防處士橫。百穫樹人聞管子。二良似我愧通誠。
明公渾一融和策。務得民心親愛生。

敬次蔗菴總督閣下瑤韻　　林獻章

鳳詔光銜寵命榮。福星臨照我澎瀛。才賢肯爲蒼生出。
邑治欣聞綠綺橫。殖產振興資富敎。內臺親善在眞誠。
公餘賓從如雲裡。設醴無忘到穆生。

敬次蔗菴督憲瑤韻　　林石崖 佛國

草木欣欣欲向榮。炎天霖雨望重瀛。出山匡濟時稱謝。
入海徵求士有橫。小我對人終見陋。多公隨處總披誠。
澄清吏治還興殖。共信家邦福利生。
漢和二族共存榮。連鎖從來重大瀛。鷸蚌久將私利誤。
蝎蛇深據要塗橫。弟昆未睦同鬩寇。文種空讀奈信誠。
懸案至今憑刃解。憂時早慰老書生。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

敬上上山督憲瑤韻　謝尊五

麻宣丹闕錫殊榮。
下車視察任縱橫。
棠樹陰成無弗屆。
萬里長風蒞北瀛。
胸羅珠玉施華實。
三臺山水自春生。
攀轍恭迎皆貴顯。
才蘊經綸本素誠。

奉和蔗菴總督瑤韻　尾崎古村 秀眞

終歲欣欣草木榮。
觀世音山咫尺橫。
天南一夜逢新雨。
眞成斯境古蓬瀛。
萬物因才皆得所。
解慍薰風特地生。
婆娑洋水東南繞。
群番拱手盡投誠。

同題　黃純青

蔗境彌甘寵命榮。
民氣融和論縱橫。
玉山淡水供詩料。
今朝持節鎭南瀛。
兩袖清風無欲望。
退食公餘吟興生。
富源開發胸成算。
一心報國竭眞誠。

同題　何棨峰

重臣奉詔拜恩榮。
先懲豪右抑蠻橫。
霖雨臺澎期待沐。
撫育南疆涉海濤。
信如旦旦寧交質。
向陽草木潤蘇生。
欲使庶民沾德澤。
物自欣欣仰一誠。

同題　張思達

節制南疆仁則榮。
一世詩豪筆陣橫。
風清治道因民利。
神仙吏好到東瀛。
德教敷施徵悅服。
車下甘霖潤衆生。
三綱道統心箴立。
天心感應表眞誠。

同題　周澄秋

萬木欣沾盡向榮。
饑決槐廳待月橫。
不凡仙吏追韓范。
底緣霖雨施東瀛。
兵食措餘孚素信。
在抱璇璣著手生。
政敷草野徵風偃。
扶携恐後見丹精。

敬次蔗菴督憲瑤韻　歐陽朝煌

高牙大纛不爲榮。
放懷詩酒筆縱橫。
韓范同規今再覩。
志切又安濟兩瀛。
兆民有慶逢仙吏。
遠期霖雨澤蒼生。
駐節臺澎聲遠近。
一視同仁出素誠。

同題　李炎海

詔頒彤陛仰尊榮。
披襟岳峙又川橫。
島國卽今雲望久。
秋水樓船下大瀛。
才如大叩鳴聲應。
乘時霖雨慰蒼生。
爲政潛移將默化。
德貴中心悅服誠。

敬次上山蔗菴督憲瑤韻　陳瑾堂

九重奉詔沐恩榮。
才懷經緯論縱橫。
看待明公布同化。
使節新持駐北瀛。
稼農爲本定先見。
爲霖爲雨濟蒼生。
政在養和修孝悌。
仁德居心出至誠。

同題　黃得時

士沃氣溫草木榮。
治策高談豪氣橫。
作霖作雨斯人出。
天然產物偏南瀛。
吏有汚貪嚴以正。
大旱望霓慰衆生。
富源開發文風振。
民無新舊待惟誠。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

俳壇

孕江選

子規忌

絲瓜忌の座設けしたる月の縁　素山
燈一つ殖やして子規忌修しけり　同
古顔の今年寂しき子規忌かな　不二居
蟲の庭に明け放されし子規忌かな　同
恙ありて先生見えぬ子規忌かな　零々
鴨川に莚める家の子規忌かな　同
子規のもの何か掛けたき子規忌かな　瓦全城
たまたまに僧が幹事や獺祭忌　同
絲瓜忌や別れて坐せる句兄弟　みさく
寄れば直ぐホ句ごゝろや獺祭忌　同
緬句合歡賞を持ちそめし子規忌かな　靜雪
甘蔗植にはらから揃ふ子規忌かな　同
魂を招ふ道士の角笛（ふえ）や獺祭忌　青亞
諧謔の笑ひも寂し獺祭忌　同
樂書のランプの笠や獺祭忌　南山
一瓢を提げし御僧や獺祭忌　同

絲瓜忌にバナ、龍眼供へあり　光田
絲瓜忌の短冊に書く臺灣句　同
子規の軸かけて蘭香る子規忌かな　夢舟
佛門の我に子規忌の一句かな　同
大方は浴衣がけなる子規忌かな　波光
靈前にバナ、もあげて子規忌かな　同
絲瓜忌に特に句會の通知かな　菰江
絲瓜忌や子規の句などをあさり見し　同
又一人缺けて淋しや獺祭忌　ひさし
絲瓜忌に誇つけ來し幹事かな　同
風邪聲にお在す御僧や獺祭忌　みどり
絲瓜忌や榕樹の陰のすがれ薔薇　青原
絲瓜忌の芒生けあり違ひ棚　素水
絲瓜忌の案内狀や今日の雨　秀峰
子規忌日寂寞と見るカンナかな　しん一
子規忌の灯庭のパパヤの青き實に　鏈峰
絲瓜忌や龍眼の月十三夜（素山居）　孕江
撈り來し瓜の匂ひや獺祭忌　同

◎募集　四季雜詠（十句）　締切毎月二十五日、句稿は時報俳壇と明記のこと、臺北市東門町九七ゆうかり社宛

臺灣日誌

自八月十九日
至九月二十二日

八月

▼十九日
・上山總督島內巡視に出發す
▼二十日
・臺南協和會評議員會を開く
▼二十一日
・臺中青果同業組合評議員會開催
・一期作在來種標準米査定
・臺南高等商業入學試驗を行ふ
▼二十三日
・臺北幼稚園愛國婦人會へ移管
・中部暴風雨被害多し
▼二十四日
・田中軍司令官中部及南部視察に出發す
▼二十五日
・臺北商工會電力充實陳情書提出
▼二十六日
・總督巡視を終りて歸府す
▼二十八日
・恒春東城漢琉球藩民履墓祭執行
・臺灣電力總會開催
・臺北州宜蘭に衛生展覽會を開く
▼二十九日
・總督淡水視察
・體育協會主催角力大會擧行
・全島庭球大會圓山運動場に開催
▼三十日
・田中軍司令官基隆部隊檢閲
・新竹製茶競技褒賞授與式を行ふ
・高雄方面委員助成會發會式擧行
▼三十一日
・全島水泳大會臺北プールに開催

九月

▼一日
・總督宜蘭方面視察
・臺南高等商業學校始業式擧行
・臺灣銀行總會開催
・佛敎會關東震災追悼會を行ふ
▼三日
・總督基隆視察
・來期產糖七百五十萬擔、殖產局發表
▼四日
・臺南州水產會委員會開催
・軍艦駒番外驅逐四隻基隆入港
▼六日
・暴力取締令公布さる
・內臺有志總督招待會を開く
▼八日
・臺北商工會總督に電力問題陳情
・臺北市體育講習會を開く
▼十日
・傳染病豫防法施行規則改正
・基隆運輸同業組合會臨時總會開催
・宜蘭苧麻織布講習會修業式擧行
▼十一日
・總督上京の途に就く
・新竹共進會評議員會を開く
・南部暴風雨に襲はれ被害尠らず
▼十三日
・乃木大將墓前祭執行
・北部蕃地航空開始
▼十四日
・宜蘭孔子廟祭典執行吉岡知事參列
・阿片令違反事件上告棄却さる
▼十五日
・總督府各州水產主任會議を開く
・臺北市小學校長會議開催
▼十六日
・十六年度總督府豫算會議開始

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▼十七日
・新高登山新道開鑿起工式擧行
▼十八日
・青果組合補償金減額決定
・臺北盲啞學校校授音樂會開催
▼二十日
・澎湖在郷軍人分會總會開催
▼二十二日
・日本ホテル協會員十七名來臺

人事消息

自八月十六日
至九月二十六日

▼春山博士八月十六日內地へ歸還
▼ロータリークラブ員　同上
▼河野郡守　同上
▼下村充郎氏　八月二十一日任地岡山市へ出發
▼北村臺北市財務課長　同日內地へ
▼青木博士　八月二十二日來臺
▼森山法制局參事官　同上
▼吉成高商教授　八月二十二日歸臺
▼嶺交通局技師　同上
▼田中高商教授　同上
▼中瀬特產課長　八月二十三日上京
▼土井府技師　同上
▼久保田專賣局技師　八月二十四日歸臺
▼清水臺北第一高女校長　八月二十五日歸臺
▲藤濱博士　八月二十六日內地へ歸還
▼太田臺北市尹　同日內地へ
▼中井京大教授　同上
▼大賀基作氏（本誌評議員）　九月一日上京
▼松方正熊氏　同上
▼石崎高商教授　九月二日南洋より歸臺
▼永田臺灣電力理事（本誌評議員）　九月一日來臺
▼小林府事務官　九月六日內地へ
▼原口統計官　同上京
▼色部府技師　同上
▼片山殖產局長　九月八日上京
▼松井典獄　同上
▼田端府事務官　九月十日南洋より歸る
▼上山總督　九月十一日上京
▼竹屋秘書官　同上京
▲中田金融課長　同上
▼坂本警務局長　同上
▼松野帝大教授　九月十七日來臺
▼三浦高雄州知事　九月十六日滿鮮方面へ出發
▼岡本代議士　九月二十日來臺
▼栗山昇氏（醫學博士）　九月二十二日來臺
▼水岡臺南郵便局長　九月二十六日內地へ
▼白勢鐵道部長　同上
▼片山工務課長　同上

任命

自府報第三千八百八十號
至同第三千九百二號

▼八月二十三日

臺灣總督府事務官　鼓　包美
臺灣中央衞生會委員ヲ命ス

臺灣公立高等女學校教諭　土岐　邁
依願免本官（內閣）

法令取調委員會委員　一戸二郎
法令取調委員會幹事ヲ命ス

臺灣總督府事務官　富田松彥
財務局税務課長辰野龜男不在中代理ヲ命ス

▼八月二十四日

臺灣土木技師　松本圓次郎
東京、新潟、三重、鹿兒島ノ一府三縣下へ出張ヲ命ス

▼八月二十一日

臺灣產業主事　小池金之助
東京、大阪、京都、愛知、福岡ノ三府二縣下へ出張ヲ命ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣公立高等女學校敎諭 石川平司
彰化高等女學校長事務取扱ヲ命ス

▼八月二十八日

臺灣公立高等女學校敎諭 栄田信太郎
同 金村力子
任臺灣公立高等女學校敎諭
新竹州技手 山口櫻
任臺灣總督府技師
臺灣公立中學校敎諭 小川文雄
任臺灣公立中學校敎諭
臺灣總督府技手 神田元壽
任臺灣總督府地方技師 神田元壽
臺灣土木技師ニ任ス
臺灣公立高等女學校敎諭 住江正
同 仁保正雄
依願免本官（内閣）
臺灣公立高等女學校敎諭 栄田信太郎
補新竹高等女學校敎諭
臺灣公立高等女學校敎諭 金村力子
補臺北第一高等女學校敎諭
臺灣總督府技師 山口櫻
警務局衛生課勤務ヲ命ス
臺灣公立中學校敎諭 小川文雄
補臺中第二中學校敎諭
臺灣總督府地方技師 神田元壽
新竹州勤務ヲ命ス
臺灣總督府地方技師 宇敷赳夫
臺南州勤務ヲ命ス
臺灣土木技師 神田元壽
新竹州土木技師ニ補ス
臺灣土木技師 宇敷赳夫
臺南州土木技師ニ補ス

▼八月三十日

臺北州視學 田中七三郞
兼任臺灣公立高等女學校敎諭
臺灣總督府技師 山口櫻
臺灣公立高等女學校敎諭 金村力子
（各通）
依願免本官（以上内閣）
臺灣公立高等女學校敎諭 田中七三郞
補臺北第一高等女學校敎諭

▼八月二十一日

臺灣總督府醫院醫官 進昇藏
臺東醫院長近藤喜一不在中代理ヲ命ス

▼八月三十日

臺灣總督府地方理事官 太田吾一
東京、大阪、愛知、石川、新潟ノ二府三縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府專賣局技師 三松經大
東京、神奈川、廣島、鹿兒島ノ一府三縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣產業主事 後藤鑑
上京ヲ命ス
臺灣總督府醫院醫長 伊勢良男
文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス

▼九月一日

臺灣總督府統計官 原口竹二郞
上京ヲ命ス
臺灣總督府典獄 松井晨千代
東京、大阪ノ二府竝朝鮮ヘ出張ヲ命ス

▼九月三日

臺灣總督府技師 色部米作
上京ヲ命ス
臺灣總督府事務官 小林光政
東京、兵庫、福岡、栃木ノ一府三縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府交通局參事 深川繁治
東京、仙臺、熊本ノ各遞信局管内ヘ出張ヲ命ス

▼九月四日

臺灣公立公學校訓導 岡本要八郞
一時歸府ヲ命ス

▼九月三日

臺灣總督府事務官　中田榮次郞
上京ヲ命ス
▼九月七日
臺灣總督府殖産局長　片山三郞
(各通)臺灣總督府事務官　鼓包美
上京ヲ命ス
▼九月八日
伊藤信次
任臺灣總督府醫院醫長兼臺灣總督府醫學專門學校教授
臺灣總督府地方理事官　田代彥二
依願免本官(以上內閣)
▼九月六日
臺灣總督府事務官　佐藤續
警務局保安課長小林光政不在中代理ヲ命ス
▼九月七日
休職臺灣總督府醫院醫長兼臺灣總督府醫學專門學校教授　本名文任
復職ヲ命ス
臺灣總督府高等農林學校教授　大石太七郞
文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス
▼九月八日
臺灣總督府醫院醫長　伊藤信次
臺北醫院勤務ヲ命ス
臺灣總督府地方理事官　坂口主税
新竹州勤務ヲ命ス
臺灣總督府事務官　一戶二郞
總督官房文書課長鼓包美不在中代理ヲ命ス
臺灣總督府事務官　一戶二郞
總督官房調查課長鼓包美不在中代理ヲ命ス
▼九月九日
臺灣總督府事務官　一戶二郞
臺灣總督府警察及刑務所職員語學甲種試驗委員ヲ命ス
▼九月十日
臺灣總督府祕書官　一戶二郞
文官普通懲戒委員ヲ命ス
(各通)臺灣總督府事務官　熊澤外茂吉
臺灣總督府技師　梅本英太郞
臺灣總督府中央研究所評議會ヲ命ス
臺灣總督府事務官　今川淵
殖産局特産課長中瀨拙夫不在中代理ヲ命ス
▼九月十日
臺灣總督府祕書官　竹屋春光
上山總督上京ニ付隨行ヲ命ス
臺灣總督府警務局長　坂本森一
上京ヲ命ス
臺灣總督府技師　三宅勉
東京、神奈川、兵庫、福岡ノ一府三縣下へ出張ヲ命ス
臺灣總督府地方理事官　佐藤由松
東京、大阪、青森、愛媛ノ二府二縣下及朝鮮、滿洲關東州へ出張ヲ命ス
▼九月十一日
休職臺灣總督府交通局技師　茂木亮作
依願免本官
▼九月十二日
大藏技手兼稅關鑑定官補　森卯五郞
任臺灣總督府稅關鑑定官
▼九月十一日
臺灣總督府事務官　佐藤續
警務局長坂本森一不在中代理ヲ命ス
臺灣總督府事務官　今川淵
殖産局長片山三郞不在中代理ヲ命ス
臺灣總督府事務官　富田松彥
財務局金融課長中田榮次郞不在中代理ヲ命ス
▼九月十三日
高雄州知事　三浦碌郞
(各通)臺灣總督府地方技師　伊東廣
支那北京、天津、濟南、青島、上海、南滿洲、關東州及朝鮮へ出張ヲ命ス
▼九月十四日

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣總督府地方技師　小野勇五郎
任臺灣總督府技師

京城法學專門學校教授　坂義彥
任臺灣總督府高等學校教授

臺灣總督府技手　瀨邊惠鎧
（各通）　藤田孫太郎
杉山產七
任臺灣總督府高等學校教授

臺灣總督府技師　小野勇五郎
殖產局農務課勤務ヲ命ス

臺灣總督府地方技師　石渡篤
臺南州勤務ヲ命ス

臺灣總督府地方理事官　酒井正之
東京、京都、大阪、福岡、長崎、熊本、鹿兒島、廣島、愛知、靜岡、栃木ノ三府八縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府高等學校教授　西田正一
歸朝ノ途次上京ヲ命ス

▼九月十五日

第七高等學校造士館教授　中島余治
任臺灣總督府高等農林學校教授

在外研究員　杜聰明
在留地バルチモアヨリフイラデルフイアニ出張ナ命ス

▼九月十六日

任臺灣總督府商業專門學校教授兼臺灣總督府臺南高等商業學校教授　兒玉晉一
任臺灣總督府高等農林學校教授　深谷留三
照山昇
任臺灣總督府醫院醫長

臺灣總督府技手　伊澤貞吉
任臺灣總督府技師

臺灣總督府醫院醫長　照山昇
臺中醫院勤務ヲ命ス

臺灣總督府技師　伊澤貞吉
內務局土木課勤務ヲ命ス

▼九月十八日

臺灣總督府交通局參事　白勢黎吉
東京、仙臺、門司ノ各鐵道局管內ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府事務官　酒井雪介
橫濱、大阪、神戶、門司、長崎ノ各稅關管內及朝鮮ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府交通局副參事　水岡位彥
東京、熊本ノ各遞信局管內ヘ出張ナ命ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及南洋情報

臺灣總督官房調查課

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

目次

支那

最近支那人口の正確なる數……一
上海・廣東間に於ける航海業の近況……二
黨軍々力調査表……三
兩漢の南附と武昌の困守……四
江西に於ける南北軍の行動……六
福建廣東間の戰爭は爆發せん……九
黨軍の江西福建進攻と福建廣東の風雲……一一
東南五省聯盟第四方面軍（福建）の狀況……一三
廣東政府の私立學校取締……一五
勞工仲裁等の條例原文……一七
英國軍艦突然珠江に入る……一八
雲南大理府變亂の經過……二〇
中國藍の產出概況……二〇
支那の工業用機械市場……二五

比律賓

比律賓時報……二一

佛領印度支那

印度支那月報（一九二六年九月中）……三四

馬來半島

馬來半島の漁業に就て……三七

蘭領東印度

蘭領東印度に於ける鑛產物……四〇
一九二五年度に於ける和蘭本國の紡績と爪哇市場……四四

英領印度

印度幣制委員會報告……四六

其他

英帝國領土內に於けるカポックの生產狀況（二）……五四
最近の世界產糖額の見積……五八

□最近支那人口の正確なる數

北京總郵務司の發表せる所に據るに、支那各郵便區內の戶口は共計四億三千六百零九萬四千九百五十三人にして、蒙古・青海・西藏三地は此の内に計上されずといふ。卽ち各郵便區域最近調査に係る戶口數は下の如し。

北京	四、〇一四、六一九人	直隷	三〇、一七二、〇九二人
山西	一一、一二四、九五一人	河南	三〇、八三一、九〇五人
陝西	九、四六五、五五八人	甘肅	五、九二七、九九七人
新疆	二、五一九、五七〇人	奉天	一二、九二四、七七〇人
吉林	九、二五八、六五五人	黒龍江	九、二五八、六五五人
山東	三〇、八〇三、二五五人	四川	四九、七八五、五〇七人
湖北	二七、一六七、二五四人	湖南	二八、四四三、二七七人
江西	二四、四六六、八〇〇人	江蘇	二八、二三五、八六四人
上海	五、五三〇、一〇〇人	安徽	一九、八三二、六六五人
浙江	二二、〇四三、三〇〇人	福建	一三、一五七、七九一人
廣東	三七、一六八、七〇九人	廣西	一二、二五八、三三九人
雲南	九、八三五、一八〇人	貴州	一一、二一六、四〇〇人

共計 四三六、〇九四、九五三人 （七月六日―廣州民國日報）

又最近支那稅關の發表せる一九二五年支那各省及び各貿易港都市の人口統計は次の如し。之に據れば支那人口の總數は四億四千八百二十五萬一千人となる譯なり。

○滿洲	一九、二九〇、〇〇〇	愛琿	四一、六〇〇
哈爾賓	一五九、三〇〇	琿春	五九、八〇〇
龍井村	三、三〇〇	安東	七二、五〇〇
大連	二〇一、四〇〇	牛莊	六五、六〇〇
○直隷	二九、四〇〇、〇〇〇	秦皇島	五、〇〇〇
天津	八〇〇、〇〇〇	○山東	二八、〇〇〇、〇〇〇
龍口	八、〇〇〇	芝罘	九三、五〇〇
青島 ▲	二六三、五〇〇	○四川	七六、八一三、〇〇〇
重慶	六〇八、一〇〇	萬縣	七五六、六〇〇
○湖南	三二、〇〇〇、〇〇〇	長沙	五三五、八〇〇

岳州	五、〇〇〇	○湖北	三五、一二四、〇〇〇
宜昌	六〇、〇〇〇	沙市	一九〇、〇〇〇
漢口	×一、五八三、九〇〇	○江西	二四、四六七、〇〇〇
九江	五四、五〇〇	○安徽	三四、〇〇〇、〇〇〇
蕪湖	一二八、一〇〇	○江蘇	二六、九二〇、〇〇〇
南京	三九五、九〇〇	鎮江	一四一、四〇〇
上海	一、五〇〇、〇〇〇	蘇州	五〇〇、〇〇〇
○浙江	二六、五七八、〇〇〇	杭州	一、〇〇〇、〇〇〇
甯波	二六四、三〇〇	温州	二〇二、三〇〇
○福建	二〇、〇〇〇、〇〇〇	三都澳	八、〇〇〇
福州	三一四、九〇〇	厦門	三〇〇、〇〇〇
○廣東	三〇、〇〇〇、〇〇〇	汕頭	九二一、〇〇〇
廣東	九〇〇、〇〇〇	拱門	七七、〇〇〇
三水	七〇、五〇〇	北海	三五、〇〇〇
○廣西	八、〇〇〇、〇〇〇	梧州	五〇、〇〇〇
南寧	五〇、〇〇〇	龍州	二〇、〇〇〇
○雲南	九、八〇九、〇〇〇	蒙自	一〇、〇〇〇
思茅	一〇、〇〇〇	騰越	一三、五〇〇
○其他山西・陝西・甘粛・河南・貴州		計	五三、〇〇〇、〇〇〇
合計	四八、三五一、〇〇〇人		
四十二港	一二、六五七、〇〇〇人		

（備考）▲は隣接區域を含む
×は武昌・漢陽を含む

（八月十七日—支那事情）

□上海・廣東間に於ける航海業の近況

中央社云はく、去年の上海五卅事件に英人が我が國の民衆を慘殺してより後、廣州の人民は報復手段として外商に抵制し上海廣州間を航行せる太古怡和公司の英船に對し廣東への入港を許さず、こゝに於て我が國の航海業は卽ち機に乘じて兩地の定期船を增加し、各船每に乘客及貨物は、何れも滿載せるを以て景氣非常に好況たり。目下定期船は已に二十餘艘の多きに至れるも、尙ほ臨時船乃ち不定期船と外國船あり。日清公司（日商）及亨寶公司（德商）の如きは同じからず。茲に調査せる所を次下に列記せんとす。

公司	國別	使用船	航路
招商局	華商	四艘	廣東上海間
三北	同	二艘	同
肇興	同	同	同
泰安	同	同	同
美順	同	一艘	同

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

政記	華商	六艘	廣東上海間
華手	同	二艘	同
中華	同	同	同
通華	同	二艘	廣東汕頭間
源安	華商	三艘	汕頭廣東間
日清	日商	三艘	汕頭廈門廣東間
	德商	四艘	廣東上海間

（七月二十日―七十二行商報）

□黨軍々力調査表

（甲）蔣介石直轄部隊

獨立第一師々長　賴世璜（江西の信豐に駐る）

獨立第二師々長　賀耀祖（石門に駐る）

獨立第三師々長　賀　龍（津澧前線に駐る）

湖北軍第一師々長　夏斗寅（漢陽前線に駐る）

四川軍師長　羅觀光（湘西に駐る）

以上共計五個師團あり。此の外湘（湖南）鄂（湖北）邊防司令湖南軍第四路指揮周朝武、旅長周雪鄉（湘西に駐る）鄂豫（河南）邊防督防司令黃鉞の所部三團、砲兵第一團々長蔡忠笏、工兵一營、共計一旅四團一營と、又北伐飛行機隊二十臺あり。

（乙）各軍步兵隊

第一軍長　何應欽（所部二個師）第一師々長　王俊　第二師々長　劉珍（現に湖北の前線に駐る）

第二軍長　譚延闓（所部四個師）第三師々長　魯滌平　第四師々長　張輝瓚（醴陵に駐る。現に萍鄉・安源に前進中）第五師々長　譚道源（南雄に駐る）　第六師々長　戴岳（已に贛州に入れり）

第三軍長　朱培德（所部三個師）第七師々長　王均　第八師々長　朱世貴　第九師々長　韋杵（もと瀏陽・平江に駐りしが、目下は萍鄉一帶に分駐しつゝあり）

第四軍長　李濟琛（所部二個師一團）第十師々長　陳銘樞　第十三師々長　陳發奎　獨立團々長　葉挺（皆武昌前線に在り）

第五軍長　李福林（所部一個師）（湖南茶陵南の酃縣に駐る）

第十四師々長　練炳章（郴縣一帶に駐る）

第六軍長　程潛（所部三個師）（現に兵を修水に進めつゝあり）

第十七師々長　鄧彥華　第十八師々長（鄧彥華兼任）　第十九師々長　楊源濬（皆通城一帶に駐る）

第七軍長　李宗仁（所部四個旅）第一路指揮　夏威（二個旅）（武昌前線に駐る）　第二路指揮　胡宗鐸（二個旅）（咸寧・

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

棗陽に駐る）
第八軍長　唐生智（所部五個師三個旅六團）第一師々長　葉琪（一部は長沙に駐り一部は武昌前線に駐る）　第二師々長　何鍵（漢陽嘉魚に駐る）　第三師々長　李品仙（咸寧以下に駐る）　第四師々長　劉興（汀泗橋一帶に駐る）　教導師々長　周斕（岳陽に駐る）　第一警備旅々長　廖家棟　第二警備旅々長　王者師（長沙一帶に駐る）　第三警備旅々長　陳漢章（湘西に駐る）　第一補充團々長　晉楊開　第二團々長　周武彝　第三團々長　胡達　第四團々長　徐權　第五團々長　龔業裕　第六團々長　劉進才（皆後方に在り）

第九軍長　彭漢章（所部三個師）第一師々長（賀龍兼任）　第二師々長　楊昌（津澧の前方に駐る）　第三師々長　毛鴻翔（常德に駐る）
第十軍長　王天培（四川軍にて所部三個師）第一師々長　王天錫　第二師々長　楊勝治　第三師々長　王天生（皆常德以上辰靖一帶に駐る）
左翼前敵總指揮　袁祖銘　直接部隊　五混成旅
以上共計二十四個師と十二旅七團あり。
總計二十九個師十三個旅十一團一營と飛行機二十臺となり。
（公平社—九月十四日—新聞報）

□兩漢の南附と武昌の困守

黨軍漢陽漢口を占領せりとの廣州消息　蔣介石師を率ゐて湖南に入りし後、勢破竹の如く向ふ所敵なし。去月二十二日岳州を攻破り二十六日始めて武昌の境に至る。旣にして漢陽漢口をも相ついで占領し、武昌は今や四面包圍の中にあり。廣州總司令部の接手せる前方戰報には云ふ、吳佩孚は漢陽兵工廠を以て軍實根本の重要地と爲し、湖北軍劉佐龍を派して駐守せしめ、兼ねて漢陽附近の龜山を守らしめ、漢陽縣城は靳雲鶚の所部を派して防守せしめたるが、革命軍は第四軍陳銘樞・張發奎の二箇師、第七軍李宗仁の全部を以て武昌に逼らせ、而して第八軍唐生智軍の全部は嘉魚・新堤より揚子江を渡りて斜に出で進んで漢陽を攻めしめ、第二師何鍵をして兵工廠を攻め、第四師劉興に漢陽縣城を攻めしむ。靳雲鶚部は頑强に抵抗すと雖も、劉佐龍の兵の龜山に駐守せるもの突然青天白日旗を揭ぐるに至り、何鍵は遂に兵工廠を占領したれば、縣城なる靳軍は勢後退せざるを得ず。是に於て劉興亦遂に漢陽城に入る。唐生智亦急に所部に令し水を渡りて漢口に向ひて進攻したり。九月九日午後二時總司令部の受取りたる蔣總司令の捷電には、劉佐龍が我と聯合動作せる爲め漢水を渡り漢口に進み武勝關に向ひて追擊せんとの報告あり。電中に我鄂城（湖北省城）に克たば江蘇・浙江の西援するを阻むに足り、我兩漢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(漢陽漢口)を得ば直隸河南の南下を阻むに足るの語あり。以て蔣氏の豪氣天を摩するに足るを想ひ見るべしと。又蔣介石指揮の兵は第四・第七・第八の三軍に過ぎず、勁旅五萬に過ぎず。而して其の期たる二週間に過ぎざるに、能く長驅して兩漢に入れり。北軍の今回戰敗せる原因は多しと雖も、要するに劉佐龍の歸附を以て其の大關鍵とす。湖北宣撫使蔣作賓はもとより劉と友としてよし。(同鄕同學同事なれば)且つ劉は吳佩孚に對し久しく不滿を懷き、吳の未だ漢口に返らざる時、蔣劉間には已に密に信使を往復し、劉は其の親弟を派し秘密書を持して蔣介石に見え降伏の意を表示したりといふ。劉に同情を表するものには襄陽の鎭守使張聯陞あり。然るに吳佩孚は今回劉に命じて漢陽を守らしめたれば劉乃ち南軍に內應し、而して第二軍より漢陽兵工廠を占領するの報告至れり。又漢陽兵工廠の工人は多く全國總工會の會員たる關係上、該兵工廠の占領は此の如く容易に進行せしなりといふ。(九月十日—西南社—廣州消息)

劉佐龍の南軍に降りしは緩兵の計　新雲鶚は劉佐龍の心事を諒とし、九月九日孝感驛より急電を發して、劉佐龍は現に蕪軍と漢陽兵工廠を爭奪せる爲め戰事を發生したる程なれば自身(新)より劉に歸順を勸告中なりと告げ來れり。前に漢陽の前線に在りて戰へる高汝桐部は後方の變故に因り退却の止むなきに至りたるも、新より更に高師長に向ひ、其の所部を督同して破られし鐵橋を修復し、部隊を準備し至急に漢口を恢復すべく命令したる旨を吳佩孚の許に報じ越したりといふ。劉は孝感なる總司令部某要人の十日附電報には云ふ、我が軍は田維勤魏益三等の部が孝感に到着せし後、積極に外に向ひて發展し、九日朝、魏部は遂に劉家廟を克復し、武昌亦援軍の來集せるを以て士氣大に振ひ、已に城外一帶の敵を擊退したるが、是の夜漢陽城內なる南軍は忽ち潰退したり。我が軍の詳細に調査せし所によれば、劉部(佐龍)が前に南軍に歸降せしは實に其の勢力の支ゆる能はざるに迫られ、遂に一時の權變を以て兵を緩ふするの計を爲せるものなるを悉せり。又我軍が前に後退せる時、已に漢陽の兵工廠內銃砲子彈を全部送り出し、十一列車に乘せたれば現在兵器等は極めて充足せりと。(九月十五日—新聞報—北京通信)

劉玉春の武昌死守　武昌城內の北軍は武漢商會の調停に盡力せるにより頗る曲折を生じ、九月十三日正午頃の如き双方の條件已に漸く接近し來り、陳嘉謨・劉玉春等の態度は前日の倔強なりしが如くならず。故に一般人士は頗る樂觀せし所なるが、何ぞ料らん十三日一日の猶豫期間に忽ち轉じて武力解決の途に趨かんとは、陳・劉等は十二日夜軍事會議を召集して可否を議決し、翌十三日午間武昌商會漢商會の代表徐榮廷等は洋銀六萬元を携へ楊子江を渡つて最後の相談を遂げたるに、陳嘉謨は何れにもつかざる說を述べて云く、我れ已に一平民に屬すれば一切劉の意の儘になし居れりと。是に於て劉玉春に謁したるに　劉は六萬元を受け納れたれば代表等は解決如何の回答を求めたるに、劉は云く、十二日夜軍事會議の結果六條件を決

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

定したるが、大要は漢商會が前に吳に代り軍費二百五十萬元を作りたる内未だ交付し了らざる百二十萬元（按ずるに此數は漢商會が目下積極的に準備して北伐軍費と爲せるもの）を全數本軍に交付すべき事。仍ほ各原防地に返るべければ商會より出城後の安全を擔保せられよといふに在り。然らざれば城の存せん限り之を守り城亡びば其の時一同蹶ひ死せんのみと。各代表乃ち議の諧はざるを知り、調停を謝絶し、同時に交付せし所の彼の六萬元は如何になりしかを問ひしに、劉は笑つて曰く、此の區々の金は貴商會が我が軍を犒はれたるものとして已に各軍に分配し了れりと。されば商會代表は再び何事をも言はず辭し去りて江を渡れり。右の事情を各代表より水電公司にて各團體に報告せる時、劉佐龍も出席一同と共に歎息せるのみなりき。然るに是の夜十時頃劉玉春は忽ち代表を派し呂超伯を中人として再び斡旋せしめ、呂より劉佐龍に協商したるも、時已に晩し。乃ち革命軍は劉玉春の反覆常なく絶えて和平の誠意なきを以て已に城を包圍せる各軍に命じて攻擊を開始せしめたるが、只歩兵銃を用ひて夜の十二時より翌午前二時頃迄射擊を繼續したるのみにて全く銃聲の止みたるは十四日朝九時頃なりき。

（九月十四日正午—漢口消息）

武昌困守の狀況　武昌城中なる北軍は門を閉ぢて困守せること已に十七日に及び糧盡き水竭きて久しきを持つ能はざるは自ら明かなるも、陳嘉謨・劉玉春は殘部を率ゐ死守して屈せず。十三日調停決裂の後南方黨軍は武力解決を準備し積極的に其の攻城作業を進行せしめ、城内北軍も亦嚴重に防禦し、濱江の漢陽・平湖・文昌の三門も皆之を堵塞し、一滴の水をも洩さゞる狀なり。十七・十八の二日には城内城外に火燄盛にして夕方に至り始めて息む。蓋し防禦の障碍を除く爲め北軍の自ら燒きしものと見るを至當とす。十九日黨軍は攻城總司令鄧演達より總攻擊令を下す筈なりしも、商會代表呂等の要求により遂に中止したるも二十日午後三時以後に至れば再び猛烈なる攻擊を爲さん狀況なり。

（九月二十日正午—新聞報—武昌消息）

□江西に於ける南北軍の行動

方本仁贛西より兵を進む　北伐軍湘東より兵を分ちて江西進攻に出でしより、鄧知事は九月八日樟樹鎭に赴きて師を督し抵抗を期す。方本仁は現に北伐軍朱培德部を待、醴陵より直ちに萍鄉に入る。萍鄉駐紮贛西鎭守使唐福山は其の所部が醴陵にて失敗せし時損失甚だ大なりし爲め應戰するの力なきが上に、方本仁に對しては舊部下に屬せし關係あり。故に方氏が兵を率ゐて江西に入るや唐福山は竟に退いて宜春に駐り後又退いて分宜に至れり。方本仁及び朱培德所部の大軍は已に長驅して直ちに新喩縣を距る僅に一日程の地に入る。

新喩縣は鄧如琢直轄の中央第一師岳思寅叢の駐守せる所にして、吉安に駐れる蔣鎭臣軍と唐福山軍とは同じく方本仁の舊部に係り關係且つ極めて密接なれば、其の鄧に對する態度は道の遠き爲め明悉する能はざるも、交通界中の人の言によれば蔣軍が吉安に移駐せしより以來、一切の施設頗る省政府と離るゝの勢多し、近頃は又吉水・三曲灘一帶に戰壕を掘り、峽江に駐れる鄧如琢部と相對峙し居れば、贛西の危きは、贅言を待たず。

賴世璜は贛南に在りて獨立　又贛南來客の言に據るに、江西陸軍第四師長賴世璜は贛南邊防督辦楊如軒・贛南鎭守使楊池生との二氏と不和を生じ居り、二楊氏は屢々賴師を摧殘せんことを思へり。然るに幸にも賴軍の實力頗る充ち且つ本籍は贛南に係る。故に二楊共に之を如何ともするなし。然るに陰曆七月二十四日に至り二楊氏は共の所部の軍隊を移して賴軍の防守地占領せんと欲したれば、賴氏は遂に二楊と戰を開きけるが、恰も南雄一帶に駐れる晉滌平部が機に乘じて贛南に攻め入り賴師と共同して二楊の軍を破り、楊池生は身に重創を受け贛南を退出するの止むなきに至れり。かくて晉滌平軍と賴師と已に吉安に進展しつゝありといへば、贛南の危きは更に贛西よりも甚しとす。

孫傳芳の援贛軍の進勢　孫傳芳所部の援贛軍隊に至りては、前に德安・永修・安義等の諸縣より已に進んで靖安・奉新以上に至りたるが、九月六・七日頃修水に在る孫部は命を奉じて鄂湘邊境なる通城平江に向ひて北伐軍を截擊せんとせるに、北伐軍陳銘樞部は亦已に修水銅鼓に向ひて攻擊令を下し、双方幕阜山・九宮山一帶に於て接觸せり。但し江蘇・浙江軍は其の地形の險惡なると土地不案內の爲め、已に武寧に向ひて退却し、修水・銅鼓縣は北伐軍に占領せられたり。

盧香亭九江を防備す　南軍新に戰略を變じ、別に一軍を分ちて九江の後方を包みかすめたる後直ちに瑞昌を攻めんと欲す。幸に盧香亭は總司令として命を江蘇軍楊鎭東一個旅に傳へ該處に赴き增防せしむ。現に南昌市場の金融は恐慌を來し、物價暴騰、油・鹽・薪・米の如き一日中に二回の騰貴を爲し、上熟米は每石二十元、油は每斤一千百六十文に至れりといふ。（九月十一日―樟樹鎭消息）

孫傳芳將に江西に赴き師を督せんとす　聯軍第一回の動員にて出發せる各師團旅團は近頃已に輸送を了り、主要部隊も已に轉じて前方に赴き、大規模に展開せる陣列にして全戰局勝負に關係せる第一回の大戰開始の期は迫つて目前に在り。是に於て九月十八日の夜總司令部に於て全局統籌の重要軍事會議ありて翌朝まで繼續したるが、嚴密に秘密を守られ、僅に第二回大動員令の出でたるを知り得たるのみ。第七師馮紹閔の部、第五師白寶山の部、第六師陳調元の部下第十一旅、第一旅陳儀部の陳光組混成團、第五混成旅楊佐和部、江西軍第二混成旅馬碑城部等の各師旅は皆命を奉じて江西省へ增援の列に在り。又此の戰事の全局を主持せる孫馨遠（傳芳）氏は亦本日內所部重要の職員を率ゐて江西に赴き親しく六師を統ぶることに定

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

めらる。茲に聯軍側の已に出發して前方に到着せる兵力を調査するに次の如し。

第一方面軍司令官　鄧如琢部　贛軍（江西軍）（隊號名は其の舊に仍る）

中央第一師全師　（附補充團一團）　師長　鄧如琢

贛軍第一師全師　（約七千人）　師長　唐福山

同　第二師全師　（約八千人）　師長　蔣鎭臣

中央第六師　（約五千人）　師長　楊如軒

滇軍―（雲南軍）第一師　（約二千數百人）　師長　楊池生

贛軍第九混成旅　（約四千人）　旅長　張鳳岐

同　補充旅　（約三千人）　旅長　劉寶題

以上贛軍。内に賴世璜部第四師約八千人あるも未だ計上せずして共計約四萬五千人あり、銃器皆充足せり。

第二方面軍司令官　鄭俊彥部　（隊號名は新舊を兼列す）

第一軍　もと第十師第十九旅全旅　司令　李彥青

第二軍　もと第十師第二十旅第三十九團全團及改編せる第二團梁鴻恩部全團合編司令　王良田　（もと二十旅々長）

第三軍　もと第十師工程營全營輜重營及當師砲兵團第二營合編（以上各營皆混成營の編制に依る）　司令　鄭俊彥　兼任

以上第二方面軍の兵力はやゝ薄弱なるも白寶山部第五師が命なくして援贛せる一個旅を第二方面軍に加入せしめて第四軍と稱し、鄭の統率に歸せしむるといふ。

第三方面軍司令官　盧香亭部　浙軍

浙軍第四師全師　（兵數はたゞ一個師あるのみにあらず。）　師長　謝鴻勳

浙軍第三師全師　（兵力同上）　師長　周鳳岐

浙軍第二師全師　（兵力同上）　師長　盧香亭兼

浙軍第六混成旅全旅　旅長　李俊義

第五混成旅全旅　旅長　楊廣和

第八混成旅全旅

以上浙軍兵力共に三個師三個混成旅ありて約五萬人以上に達す。兵力最も厚く戰鬪力最も強く、統兵各長官皆百戰を經て屢々勝ちし將領にして、實に聯軍主力の在る所と爲す。現に九江・銅鼓・修水一帶に分紮し、蔣介石の主力軍、朱培德第三軍、魯滌平第二軍と對峙し、旗鼓相當れり將來の勝負決戰は必ず此の軍に屬すといふ。

第五方面軍司令官　陳調元　皖軍（安徽軍）

第一軍　もと皖軍第三混成旅全旅及補充團一團　司令　王普

第二軍　もと皖軍第四混成旅全旅及補充團賈永清全團　司令　劉鳳圖

第三軍　もと第六師歩兵第十二旅全旅及砲兵團第二營　司令　畢化東

以上皖軍共計三混成旅　約兵力二萬人餘　第二回動員の皖軍は皆此軍に加入せん。（九月二十一日―南京消息）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□福建廣東間の戰爭は爆發せん

閩粤戰事の警急　福建方面は廣東に對して積極に用兵の準備をし、近日上游なる光澤・邵武方面に於て數個旅團を布置すと雖も、尙ほ江西入の確報なし。蓋し此の一路は暫く守勢を取るならん。其の對粤用兵の向ふ所は閩南にして進んで潮汕を攻むるに在り。而して第一師長張毅を以て之に當て、同時に第四十八團を派し漳州に赴きて援助たらしむ。前には該團の上游に赴くことを報ぜしが、そは不確にて、現に同團は連日已に同安及び安海より小蒸汽にて廈門を經て浮宮に到り轉じて漳州に赴きつ丶あり。若し果して開戰とならば、更に孔昭同・蔣啓鳳の二旅を派して援軍と爲すべく、軍火は江蘇省より已に數回の接濟あり。近頃又子彈十八萬發、砲四門・步兵銃三百挺及び其の他の軍用品を上海より船運にて張氏に送れり。該軍用品は皆十七日午前に廈門に到り嵩嶼にて陸揚し、漳廈鐵路に依りて江東橋に轉運し、こ丶にて民船に移し、漳州に運送したり。又江蘇の孫傳芳及び福建の周蔭人は共に張毅を陞任して軍長とし、張部の田・李二旅長を師長に昇せ、同時に潮梅鎭守使たることを許せり。

張毅兵力　廣東攻入の張軍兵力は共計十一團にて、內精銳なるもの四團以上あり。張は已に其の眷屬及び所部の官眷を鼓浪嶼に送り、張自身は卽日にも前方に赴き師を督せんと欲し、目下漳州は特別戒嚴中なり。又周・張は陳炯明部を利用して嚮導並に內應と爲し、陳炯明は自ら任じて粤軍討逆總司令と爲れり。洪兆麟の弟洪兆麒を師長と爲し、福建に來りて殘兵を收集し張氏を助けて入粤せしめ、民軍子彈は周・張より接濟すること丶なれり。

何應欽攻閩と決す　廣東側はもと江西を取りて後入閩せんと計畫せしが、今は方針を一變し積極的に福建に對し戰備を準備し、潮安・潮陽・揭陽等の駐軍を召して大埔・饒平及び福建の詔安に赴かしめ、第六軍程潛の部千餘人も汕頭に來りて防線に加はりたれば對閩兵力は計一萬五千人に止れり。國民政府は數日前江大鹽運艦をして大宗の子彈を汕頭に運送補充せしめたり。

民軍と海軍との態度　閩中の民軍は皆此の時に乘じて活動せんと欲し燕軍に響應せり。周・張共に之を憂慮し居れるが、廈門海軍方面に至りては態度穩健なれば、已に江元・永良・永績・楚觀・楚同・楚有・海籌・聯鯨・諸艦は廈門東山に集中し居れり。若し閩粤間に實戰起らば永績・楚觀・海籌・江利の四艦を以て汕頭を襲攻すべく、其の計畫は仍ほ海口封鎖に重きを置くこと去春汕頭を封鎖せる故事の如くなるべしといふ。（八月二十三日―新聞報―十八日―廈門通信）

周・陳の策動說　かれて風說の福建周蔭人部隊及陳炯明の殘兵は廣東軍北伐の虛に乘じ、福建より南方を攻略すべしとの議も確定せられたる趣にして、孫傳芳の援助を得て、既に行動を開始し、張毅

の第一師は福建省より廣東に入るべく永定に達せりとも、或は已に廣東省內に入り黃岡を占領し、陳炯明部下の部隊は惠州附近の一部を占領せりとも傳へらる。しかして目下汕頭には第一軍長何應欽ありて守備し居れるも、北伐行動開始に伴ひ、部下中約二千の兵員は廣東に送りたる後、少しく補充せるも言ふに足らず。全部にて尚ほ一萬あり。或は四千に過ぎずと言ふものあるも、汕頭を中心として潮梅一帶に配置せる兵員六千を越えずと見るべし。此の風說の汕頭市街は相當動搖の徵あり。二十八日夜より自動車數臺を連れ北伐勝利の宣傳ビラを撒布し、爆竹を鳴らして市中をまはらしめ居れるも人心尚ほ未だ安定せず。中には政府筋重要位置に在り、且つ第一軍長何應欽の親戚に當る何公安局長も逃走の準備を爲せりと傳へらる。

　廣東財政と汕頭との關係　汕頭を中心として潮梅一帶より廣東政府に納めらるゝ稅金は全部合して一箇月分約百二十萬元なり、目下極端に窮迫せる政府の財政に寄與するところ尠少ならざるを以て、當方面の奪取せらるゝことは甚大なる打擊につき、双方多大の興味を以て成行を觀察されつゝあり。（以上八月三十日—汕頭通報）

　閩粤兩軍の對峙と緊張　東江一帶の警備に任ぜる何應欽軍と南方に侵入し來れる福建第一師張毅の軍とは相當緊張の態度に在るも交戰等は今尚ほなきものゝ如し。けれど廣東軍中相當階級の家族妻子は既に汕頭を去らしめ、或は汕頭を去るの準備をしつゝあり。何應欽の妾某は九月一日汕頭を去りて上海に向へり。市況は稍鎭靜せるも軍事方面の警戒は嚴重にして、市街地より各郊外に通ずる道路には徹宵警戒の軍裝兵士を配置しつゝあり。汕頭港口には敷設水雷を裝置せりとの流說、昨五日より發生せり。尤も數日前某方面より敷設水雷十五個汕頭に搬入されたる事實あるものゝ如し。廣東より軍艦民生（內部河海航行用小蒸汽を改造せるものにして七八十噸位にて戰鬪力殆どなし）を派遣し來りて海面警備中なり。

　張何妥協の說は尚早　北伐軍が武昌侵入の報ありて後四日若くは五日頃より福建張毅の軍は廣東軍に買收され、周蔭人に背き妥協せりとの風評發生しつゝあり。然れども福建方面に對する警戒嚴重にして、昨日も約二百の兵員を黃岡方面に派遣せると、政府筋が同盟罷工と稱する事も實は軍隊の徵發を虞れて航行を中止せる奧地行の小蒸汽船の今尚ほ中止し、一般商工業者も奧地との取引は相互に中止中なるより見て、妥協成立せりとの確定は尚早と認む。

　閩粤交戰は消極　廣東軍は北伐行動中直接福建軍との積極的交戰は避け居るものゝ如く、張毅軍亦泉州に在る舊福建軍孔昭同氏を警戒し居れる爲め、捗々しき行動に出で難く、福建軍としては元來保境安民を此際上策とし、廣東軍を刺戟することは稍考慮し居れるものとも察せらる。

　武昌を指すは深入に過ぐ　大局上の觀察として稱へらるゝところによれば、武漢の地を廣東軍に制せらるゝ時は、揚子江流域に於け

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る英國側の地盤は根本的に覆へさるゝを以て、英國側又時に相等の策動を爲すべく、廣東軍の軍費・軍器・兵力の今日を以て、武昌に攻入れるは餘りに深入し過ぎたるものにして、却て蔣介石の爲危險なりとするもの多し。

廣東政府筋の宣傳　粤政府側は汕頭に於て北伐援助工人遊藝大會・武昌克服慶祝大會・九五青年國際記念・九七反帝國主義運動・反對關稅會議再開示威大會等を催し、人氣引立、人心收攬に力め、何應欽は又昨五日市內學生の代表的人物・各學校長を招待して宣傳に努め、第一軍々司令部にては日々軍樂隊を奏して士氣を盛にせしめつゝあり。(以上九月六日—汕頭通報)

福建軍・江西軍の汕頭侵入說　懸念せられたる福建軍侵入の風評も孫傳芳の決起に伴ひ行動を開始したるものゝ如く、福建軍は已に省境を越え、南は黃岡に、北は大埔に入りたりと傳へらる。大埔に入りたるは江西軍なりといふものあるも、或は陳炯明の部下林虎若くは劉志陸の部に非ずやと思料せらる。

潮州の拉夫と潮梅汕一帶の守備難　昨十九日潮州にては人夫の拉致せらるゝもの多く逃亡せんとするものに對しては威嚇して捕へつゝあり。爲めに同日同街は一般に恐怖して閉戶するもの多かりしといふ。又汕頭より潮州への鐵道沿線にて鶴巢以北は耕作中の農夫を拉致するもの多く、爲に農夫は續々自宅に引返せり。又數日前より兵員・軍器・彈藥の奥地輸送頻繁なるも、手兵多からざるを以て、結局潮梅一帶及び汕頭の守備は困難なるべきか。

和平運動　上海方面より同浙江公會は和平運動を提唱し、孫・蔣兩將に運動せる由。上海總商會方面にも同樣の運動あり。蔣介石は浙江の出。孫傳芳は積極的に希望して立てるに非ざるも、吳佩孚の失敗は孫に取りて得失如何より考慮すれば、如何なる變性を來すや計り難く、又一面吳佩孚の勢力範圍・廣東北伐軍の獲得せる地位を今日の儘にすることは列國並に支那國內各省巨頭の勢力均衡等より考察し如何なる結末を告ぐるや甚だ微妙なる問題なるべし。尤も第一軍長何應欽は今尙汕頭に在るものゝ如し。

(以上九月二十日—汕頭通報)

□黨軍の江西福建進攻と福建廣東の風雲

黨軍已に大庾嶺を占む　武漢の戰爭未だ了結せざるに日來又盛に革命軍が江西福建の二省に對し同時に出兵せしことを傳ふ。蔣介石は已に九月二日岳州より長沙に返り江西入軍事を計畫せるが、六日午前七時半第二軍譚師長の軍は梅關を占領し。十時大庾城を克復したるの報あり。敵は新城方面に向ひて潰退したれば今正に之を追擊中なるを報告し、而して第十五團は青龍墟方面に向けて殺到し、第

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十三團は大庾に至り、明七日は全部を率ゐて新城に追擊せんとすることを附令せり。又革命軍が南昌を進攻するには三路を分ち、東路は第三軍朱培德部より擔任し、此の軍は已に贛西に達せり。又中路は第二軍譚延闓部の擔任にして、第十四軍賴世璜部と會合して、直ちに南昌に趨く筈、又西路は第十一軍長方本仁の擔任にて贛西に入り舊部を拾集し作戰に從事する手筈なり。

對福建の粤軍　對閩軍事は潮梅警備司令兼第一軍長何應欽より主持し、九月六日より福建軍に對し總攻擊令を下せり。總指揮は何氏にして潮州を距る七十支里の留隍に駐り、此の四通八達の地に居て北は三河大埔を援け東は饒平・黃岡を援くべし。現に第十四師馮軼裴を以て饒平澄海方面を擔任せしめ、第三師譚曙卿は梅縣より蕉嶺に調動せられ、兼ねて大埔を顧みさしむ。又別に潮梅軍校學生軍を三河壩に出したれば、其の兵力は一萬五千人以上に在るべし。汕頭海面の鎭壓には永豐艦の派遣を廣東政府に請ひしも省防重要なれば特に廣北廣玉の兩艦を代りとして出し子彈百八十箱を載せ汕頭海面に赴援せしむることゝなれり。(九月六日ー廣州消息)

閩南民軍の活動　何應欽部下に收容されたる福建國民黨員張貞下の兵千餘人は第一軍獨立團と爲り、陳國輝・葉定國・詹方珍等の各大部隊の民軍より小部隊のものに至るまで、此の閩粤風雲の急なるに乘じ互に連絡を取り、汕頭にて新閩同志社を成立し詔安にて建國軍總司令部を設け、張貞自ら總司令と爲り、陳國輝・葉定國等を第一第二支隊司令と爲し、陳葉等は秘密に南英內一帶の地にて舊部を召集しつゝあり。泉州駐紮第二十九旅長孔昭同は此の報に接し、南安・安溪・晉江・惠安等の要區を嚴密に防備したれば、陳等如何ともしがたかりしが、張貞のみは北伐軍が漢陽を占領せるを好機とし親しく所部を率ゐ、道を黃岡に取り兵を詔安に進め、特に宋淵源を廈門に派し建國軍の軍事會議を開きたるに、參會の上討議に與かりしものに葉定國・陳國輝・詹方珍及び安溪の禍漢烈・漳平の何其朋・大田の陳國華・永定の蘇仁壽・永春の吳威・德化・大田の尤賜福・林淸龍・徐飛等あり。(自身又は代理を派す)條件の議決を爲し、赤化の宣傳・互助辦法、兵餉軍械は張貞宋淵源の二人より責を負ふことゝなれり。但し張貞麾下の詔安海盜吳寶興部は張の參謀長許顯時と合せず、特に所部を率ゐて雲霄民軍黃庭經の麾下に入り、改めて浦雲詔東聯鄉自治第一獨立支隊となり、もとより張貞と合はざる高義は陳昌侯・蔣袞和・莊文泉・高爲國を派遣し、支海官橋一帶に就きて舊部を召集し、別に一軍を作りたるが、三點會の土匪の附き從へるもの頗る多し。

周督辦の出張巡視　周陰人氏はさきに吳佩孚・孫傳芳兩氏の電報に接し、兵を潮汕に進めて北伐軍の勢を分たんとしたり。ついで又廣東よりの諜報に接したるに、張貞が土匪と聯合し大擧して漳州を襲はんと欲するの狀なれば、預て縣に命じて夫役を豫備せしめ、期を定めて親しく自ら泉州に入り轉じて漳州・汀州に赴かんことを定め、七日已に密令を發して各軍隊の巡閲を行ひ、省防は李生春に負

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を負はしめ、督辦軍署の事務は參謀長雷原壁に代理せしめ、隨員は周蔭棠以下八十餘人にて、此の外前閩侯縣知事劉煦•財政廳科長江慶新等四十餘人も隨行せん。又出發期は大約中秋節後三五日の頃ならんといふ。（以上九月八日—福州消息）

福建海陸聯防　周督辦は七日汕頭なる粤軍何應欽に發電して、閩粤兩省の唇齒の如く相依れるに於ては斷じて時勢の轉移に從はず和平を保持せんとの旨を告げ、一方自身は孫傳芳聯帥の命を受けて第四方面軍總司令の職に任じ、一切軍事は皆總司令の名義を以て之を行へり。閩北方面に至りては孫雲峯一旅を以て、江西邊境に沿ひて西行せしめ、指揮處を邵武に設けたるが、今は移りて長汀に在り。孫雲峯亦直ちに邵武より程を兼れて汀州に至り、其の所部第二團王團は現に寧化に入り、第一團李辨は已に江西屬地に入り、現に杉關に沿ひ江西の石城に向ひたるが、其の地亦汀州と相近し。又閩當道の唱へたる海陸聯防會議に對し海軍側が的確なる同答なき爲め暫くは世評に上らざりしが、今同又大に其の必要を感じ、閩海軍の各要人を催促し速に會同して之を實行せんとし、先づ馬江に辦事總處を設け省城洪山橋に分處を立て、同時に海軍警備司令部參謀郁邦彥を總處々長とし、其の分處々長は督辦署內の人を以て之に充つることゝなれり。但し海軍陳季良司令が東沙島砲臺巡視中なるを以て更に同氏の來省を待ち一度の相談を爲すべきは固よりなり。

（以上九月十四日—新聞報—福州消息）

□東南五省聯盟第四方面軍福建の狀況

一、第四方面軍司令部重要職員の顏振

總司令　周蔭人　（福建督辦、日本士官學校出身）
參謀長　鄭長垣　（督署高級參謀、日本士官學校出身）
副官長　宋錫恩　（督署高級副官）
軍事處長　馬世傑　（督署軍務課長）
軍醫處長　史啓葆　（督署軍醫課長）
軍需處長　周蔭棠　（督署軍需課長）
執法處長　朱徽元　（督署軍法課長）
砲兵部長　江連球　（第十二師砲兵團長）
工兵部長　吳大洪　（福建陸軍第五旅長）
兵站處長　沙泰昇　（督署顧問）
同副處長　馬瑞雲　（督署參議）
軍械處長　王承祖　（督署軍械處長）
秘書處長　張樞誠　（督署秘書長）

二、第四方面軍と福建海軍との提携　福建省內には常に北方人と南方との軋轢あり。卽ち歷代の督辦及之に屬する直系軍隊は兵卒に至

るまで北方人より成り民軍(土著軍)及福建海軍は福建人より成り、昨年夏の如きは民軍及海軍の協同に依り(學生をも加へて)周督辦驅逐運動すら行はれしところなるが、孫傳芳が東南に覇を唱ふるに至りてより、彼の巧妙なる手腕により、福建海軍亦總司令楊樹莊以下悉く孫の傘下に趨り、昨今に於てはすべて其の命令を遵奉するに至れり。孫傳芳側は周督辦と福建海軍とを接近せしむべく力めつゝあるを以て兩者漸く密接の度を加へ、今次對粤作戰開始に當りては全然同一步調を取るに至れり。即ち海軍警備司令陳季良常に周督辦と協調して赤化防止竝に福建の警備に當りつゝあるが如き、或は今回周が閩南に移駐するに方り、海軍の援助を受け、其の軍艦に搭乘し、且海軍の根據地たる廈門港に廻航し、該地より上陸せんとするが如き、其の著しき例證なり。(以上九月二十三日—南支情報)

三、周陸人福州より出發　周氏は軍事緊急の爲め十五日に省城を離れんとするにつき、十一日より起り福州に在る軍隊は續々下游に向ひ出動しつゝあり。其の先づ出發せるものを第三混成旅第二團全部とす。而して十二・十三日に出でたるものは衛隊旅一・二の兩團と第十二師第四十五團留省軍隊一營にして十四日及十五日に出發せしものを第十二師憲兵連機關銃連竝に砲工團・追擊隊全部なり。先發軍隊は陸路より福清を經て莆田に入り漳州泉州に向ひ、周氏自身は隨行高級武官竝に護衛數百人と共に海容軍艦に搭乘し、省城の軍務は參謀長雷原璧に濱して代理せしめ、第十二師第二十三旅々長李生春は後方防務司令及省防司令を兼ぬるに因り亦命を奉じて省城に留守し軍政を維持することゝなれり。督辦署中の課長以上のものは皆軍に隨ひて出發し每課々員二人を留めて事務を取扱はしめ。餘は悉く隨行せり。隨ひて第十二師司令部全部の職員軍官も亦悉く出發し、江運球は第四方面軍總司令部砲兵部々長、蔣啓鳳は步兵部々長、吳大江は工兵部々長と爲りしも餘は未だ發表せられず。延平に駐れる閩北防務司令兼第三十混成旅々長蘇挺は閩北の防務を委せられ、同じく延平に駐れる第十二師第四十六團々長李天雲は其の所部軍隊の一營だけを省城に送りて該處の防務を固めしめたり。是の日周氏と軍艦に同乘じて前方へ出發せる高級軍官は督辦署第十二師職員を除くの外は第三混成旅々長兼步兵部々長蔣啓鳳・第五旅々長兼工兵部々長吳大洪・衛隊旅王旅長・王團長・、第二混成旅第一團々長周陸軒等あり。護衛には各高級軍官の衛兵護兵共に二百十八人と、衛隊第一團第二團第一營全營、竝に手銃隊三百五十人あり。其の省城に駐留せる軍隊は第三・第五の兩旅新兵を除くの外、新編制の保安四大隊及砲兵一排、機關銃一連あり。周氏の出城せる時戒嚴極めて嚴にして、督辦署より臺江汎に至るまで途上に軍警を滿たし交通を斷絕すること三時間の久しきに亘る。各手銃隊衛隊は皆實彈を銃に籠めて車旁或は車の前後に追隨し、甚しきは商店の樓上に至るまで亦軍警の步哨を布置しありしといふ。(九月十五日—福州急信)

四、周氏廈門に入り嵩嶼に泊す　十五日朝周氏は參謀孫仲鑑・秘書

長王俊臣・旅長吳大洪・團長張某等と共に馬江に到り、海容軍艦に乘り同日午後五時福星・勝武・福州の三艦を從へ、夜深に胡海山砲臺の海面に泊し、十七日午前七時海容艦亦厦門港に入る。厦門海軍警備司令部參謀林國賡・副官長鄭某・厦門道尹吳山は艦上にて周氏に參謁し、八時林等の辭去せし後海容及勝武・福星・福州は皆移りて鼓浪嶼の背後嵩嶼の海面に泊し、大に民船を雇ひて軍實の揚陸を行ひつゝあり。午前十時、周、吳等は海容を出でゝ嵩嶼に上陸し漳厦鐵道汽車に乘じて漳州に入る。聞く此の時周氏の率ゐたる軍隊は約二千餘人にして銃砲子彈軍用品甚だ夥しく、已に入漳せる劉俊の一箇旅を合せて約七千名に上るといふ。（九月十八日―厦門急信）

五、周氏出發後の行動　福建の周陰人は九月十七日朝福州より厦門に至り、海容艦を下りて嵩嶼に登り、漳厦間汽車に乘じて漳州に入りたれば、張毅及び軍政紳學各界は江東橋にて之を迎へ、午後二時一同漳州城に到着せり。各商舖は張毅の命令にて皆戸毎に旗を掲げ爆竹を燃し、大小街路には警備兵を滿たし六時間も交通斷絶の狀を呈せり。周氏の行臺は新道署内に設けゝ午後五時頃より其の師團司令部に館を設けて周氏を歡迎し、八時軍事會議の召集あり。廣東攻伐の計畫を決定したるも其の内容は秘密なれば知り難し。但し列席者は團長以上の軍官には、張毅・張貞・劉俊・張順・李芳池・田寶豐等あり。周氏は先づ龍巖に赴きて師を督し、中央に在りて策應せんとするものゝ如し。尤も閩南民軍に對する計は專ら興泉永鎭守使孔昭同に責任を負はせて控制せしめ、孔賛は南安縣に在りて大に戰壕を掘り民軍陳國輝の來り攻むるを防ぎ、同時に大に陳部の家族を捕へ、趙營は安溪に在りて又迅雷耳を掩ふに及ばざるの手段に出で、民軍楊漢烈の部隊錚を仙苑地方にて獲、之を安溪城に軟禁したり。又廣東側の福建に對する布置に至りては、何應欽が汕頭より潮州に赴き、同時に學生軍二團を出して張貞に渡しもとありし補充團と合せ一箇師として右路攻閩を擔任せしめたるが、其の動員期日は本月二十六日以前に在り。閩南民軍側は已に改めて福建國民軍と稱すと雖も其の内容は仍ほ變化なし。該軍參謀團臨時主任宋淵源は前日汕頭に赴き何應欽より子彈の供給を請ひ、且つ攻閩動員令を下さんことを求めつゝありて、今に至るも尚未だ返らず。該參謀團は前日已に任務の分配を行へりといふ。

（九月二十二日―厦門消息）

□廣東政府の私立學校取締

最近支那各地に於いて教育權回收反基督教等の運動漸次盛となり居る處、廣東政府に於いては客年五月當時の省長公署より基督教關係諸學校取締方に關し、

一、宗教は一般學校教育と分離すべく、公私立學校に論なく一律

に宗教經典を學校の正課課目に列することを得ず。

一、人民の信教は其良心の自由に委す可く、宗教團體が教義を傳布し、儀式を擧行する場合、其所屬學校學生が之に出席參加すると否とは其父兄保護者或は學生自身に於て之を決定すべし。

との布告を發したることありたるが、其後現廣東政府出現以來教育行爲委員會に於て種々講究の結果今般別紙譯文の如き「私立學校取締規則」なるものを制定發布せり。從來教會學校に對し何等具體的取締規則を設けざりし當地方官憲が、新に之が取締の明文を設けたるものとして、本規則は相當注意に値するものと認めらる。

私立學校取締規則

第一條　凡そ私財を以て設立したる學校を私立學校とす、外國人及び教會の設立したる學校も之に屬す。

第二條　私立學校の名稱は學校の種類を明確に標示し、且つ校名の上に「私立」の二字を冠するを要す。

第三條　私立學校は設立者より推擧したる校董を以て校董會を組織し、學校經營に關する全責任を負はしむべし。

校董會設立規程は別に之を定む。

第四條　私立學校の設立廢止及び變更は校董會より主管教育行政機關に申請し、許可を受くべし。

右申請許可を受けざる學校に在ては其學生の在學及び卒業資格は一律に無效とす。

第五條　私立學校は教育行政機關の監督及び指導を受くべし。

第六條　私立學校の組織、課程、教授時間及び其他一切の事項は現行教育法令に基きて辦理すべし。

第七條　私立學校に於ては宗教の科目を課することを得ず、又課內に宗教宣傳をなすことを得ず。

第八條　私立學校に於て宗教の儀式を行ふ場合學生を強迫參加せしむることを得ず。

第九條　中小學校に於て外國語の科目以外は中國語を以て教授すべし。

第十條　私立學校の校務、教務其他各事項は定章及び教育行政機關の命令に遵照して隨時報告すべし。

第十一條　私立學校にして辦理宜しからず、或は法令に違背するものは政府に於て隨時之を解散することを得。

第十二條　主管教育行政機關は私立學校の教職員を不當と認めたる場合之を更迭せしむることを得。

第十三條　未だ主管教育行政機關に申請許可を受け居らざる私立學校は本規程分布後其手續をなすべし。

第十四條　本規程は公布の日より施行す。

（九月三日—廣東情報）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□勞工仲裁等の條例原文

勞工仲裁會の條例及國民政府の組織せる雇傭主及被雇傭人の爭議を解決する仲裁會の條例はすでに國民政府より制定して公布することに議決せり。昨日は國民政府より特に其の原文及條例を印刷し省政府をして所屬一體に轉飭して知照せしめ、省政府はその令を奉じて後、直ちに所屬各廳に轉飭して知照せしめたり。玆に該條例を分錄すれば下の如し。

勞工仲裁會の條例

第一條　勞工仲裁會の設立はその宗旨とするところ勞工組織間の爭議を解決するに在り。

第二條　勞工仲裁會は政府より仲裁代表者一人を委任し及關係ある雙方或は數方より各代表者一人を派遣して共同に之れを組織するものとす。

第三條　勞工仲裁會は下に列記せる各事項を解決すべきものとす。

（一）工人の紛糾
（二）工會範圍の決定
（三）其他の紛糾及衝突

第四條　農工廳に於て工人の爭議を解決し能はざるときは、須らく二十四時間內に國民政府に呈請し仲裁會を設立すべし。

第五條　凡そ工人の爭議は須らく仲裁會に在りて解決し、如何なる場合にも論なく各方とも羣衆を聚め兇器を携帶し爭鬪することを得ず、或は法律に違犯し或は公安に危害を及ぼすの行動あるを得ざるものとす。

第六條　爭議或は紛糾案の解決を仲裁するものには、須らく下に列記せる各責任を負ふべきものとす。

（一）爭議の原因を調査すること。
（二）爭議せる各工會の相互の關係に關し調査すること。
（三）爭議或は紛糾の事項に關し調査すること。
（四）各關係工會の要求せる條件の曲直を研究すること。
（上列の各項は須らく最短時間に於て調査し完竣を得てのち公平に解決すること。）

第七條　仲裁會の判決に對し若し一方又は双方に於て不服の時は國民政府に上訴すべし。國民政府に於て公平なりと認め或は改修の判決は卽ち最後の判決となし、各方とも須らく之に遵依すべし。

第八條　兩工會に於て爭議を發生したる時雙方の行動は第三者に危害を及ぼすことを得ず。何れに論なく此の條例に違反し損失を生ぜしめたるときは、その直接責任者にその責めを負はしむべし。

第十條　本條例は公布の日より之を施行す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國民政府の組織せる雇傭主及被雇傭人の爭議を解決する仲裁の條例

第一條　雇主及被雇傭人間の爭議に對しては須らく仲裁合を設立し以て之を解決すべし。

第二條　仲裁會は政府より仲裁代表者一人を委任し及關係ある雙方より各代表者二人を派遣し、共同して之を組織すべし。もし雙方關係の爭議に屬するときは則ち雙方の外各方面より代表者一人或は數人を派出することを得。

第三條　仲裁會は雇傭主及被雇傭人間の紛糾を解決すべきものとす。（勞賃問題・傷害保障問題・勞働時間問題・勞工待遇問題及其他爭議の問題にして凡そ雙方ともに解決し能はざるもの）

第四條　雇傭主及被雇傭人にして自ら爭議を解決し能はざる時は、當さに雙方又は一方よりその事由を農工廳に請願し、本條例第二條に依照して仲裁會の組織方を呈請すべく、農工廳は須らく國民政府に轉送し直に代つて仲裁會の組織方を申請すべし。

此の項仲裁はたゞ爭議せる一方を經て呈請したるときは、他の一方は必らず承諾すべきものとす。

第五條　仲裁會が既に本條例によりて成立したる後は、務めて該關係の被雇傭人の生活狀況・當地の經濟實情及該種の工業或は商業の經濟狀態を調査し然る後公平に解決すべし。

第六條　公共事業或は政府所辦の企業に對し爭議を發生せしめ、もし八方或は一方に於て仲裁會の判決を不服なりとせば國民政府に上訴し、最後の判決を請求することを得。

國民政府の公平なりと認むるもの、或は修正するところ、或は仲裁會に送還して更らに仲裁會の覆判決を經たるものに對しては、各關係方面に於て須らく之を遵守すべし。

第七條　凡そ雇傭主及被雇傭人間の紛糾にして已に仲裁呈請中は雙方直接行動を採るべからず。但し罷工或は工場閉鎖の擧動に付きては未だ仲裁を請求せざる以前に於て發生する所の罷工或は工場閉鎖はこの限にあらず。

第八條　仲裁の細則は別に之を定むべし。

第九條　本條例は公布の日より之を施行す。

（九月九日—廣東七十二行商）

□英國軍艦突然珠江に入る

九月四日英國の淺吃水軍艦三艘あり、突然省河に進船し來り武裝せる水兵を上陸せしめたる爲め、人心一時に驚惶し政府又交涉を爲したる次第を詳述すること左の如し。

（一）起因　罷工委員會の設けたる糾察隊は水陸各重要緊要の[illegible]

を拒絶するを任務とせるが、凡そ罷工委員會より通過證を與へざるものは皆自由に香港に往くを許さず、而して香港より來れる客人に對しては檢査極めて嚴重にして、偶英貨を所持せるものあれば必ず其の人と貨物とを一緒に罷工會へ送りて處置し、貨物は沒收し人身だけは釋放するの例なるを以て、英貨は毫釐も廣州に輸入する能はずなりぬ。此れによりて英商の營業は非常に衰落し香港船業の其の影響を蒙ること甚だ大なり。時に月の初に二人の米國人あり未だ罷工會の許可を經ず、亦通過證所持せざりき。然に該人香港汽船に乗じて香港に赴かんとしたるに、糾察隊は之を聞き込むや否や、該二米人が汽船のボートに乗ぜんとするの際之を抑留して罷工會へ送る。會は即時之を國民政府に送り、外交部代理部長陳友仁より其の原因を詰詢したるま、釋放し沙面なる米國領事館に送り返せり。當初香港汽船當事者が徒らに其の詞を大にし、香港總督と英國領事官とに打電し一切の報告を爲せるが、是に於て終に英淺吃水軍艦二艘が省河に駛せ入り水兵上陸の事ありしなり。

(二)英艦省河に入るの眞相　九月四日午前九時二十分、突然沙面なる英國淺吃水兵艦二艘ありて省河に駛せ入り、西堤大新公司前なる工商檢驗貨物處の河上に在りて、燕の翼をひろげたる如くに分れ、投錨碇泊し、同時に附近の各種船隻をして河南の河面に移航せしむ。各船舶は皆令のまゝに移り去りぬ。午後二時半又一艘の英國砲艦來りて省港汽船埠頭に泊し、別に多數の小蒸汽船あり往來縱橫して示威的運動を爲せり。三時十分突然武裝水兵五十名をして機關銃數臺を携へて上陸せしむ。省港汽船埠頭を占據し鐵門を封鎖し、同時に罷工工人會の食堂を破壞したり。當時艦上の砲位は工商檢驗處を照準に取り皆砲衣を取り去りありしといふ。

(三)罷工委員會の緊急通告　此の事發生の後罷工委員會は政府の訓令を得鎭靜を守り政府の交涉を待たんとす。是に於て二通の通告を發し一は各糾察隊に隊を收拾せしめ、一は外交部に請ひ嚴重の交涉を提出せしむ。

(四)英水兵の撤退　英水兵の上陸はもと糾察隊に對し示威をなすに在り。後糾察隊が已に收隊せると、政府及び人民が之に對し亦未だ何等の激烈なる干涉的舉動なからしめし爲め、該英水兵は五時前後巳に所屬軍艦に返れり。

(五)四商會英國領事官に質問す　總商會・商民協會・市商會・商聯會は討議の結果左の四條を議決せり。(イ)四商會の名義を以て外交部に請願し嚴重なる抗議を提出せしむること。(ロ)四商會の名義を以て書面にて英國領事に質問すること。(ハ)在廣各國領事に書を送り、公道を主持し英領事に至急軍艦を撤回すべく勸告せしむること。(ホ)四商會より宣言を出し普く全國商人に告げ一致抵抗せしむること。以上四條の中英領事へ質問のこと並に外交部へ請願の文は巳に淨書捺印の上夫々宛名の方面へ送り了れり。

(六)沙面の戒嚴　四日英艦が武裝して省河に駛せ入りし後、五日

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

より沙面に戒嚴を行ひ、工部局の出入證所持者に非れば何人も沙面に出入するを許さず、工部局よりは沙面なる各洋行に事務を停止せしむること三日、東西の橋には英國印度兵を派し頗る嚴重に警戒せしむ。

（七）政府の嚴重抗議　國民政府は此種の報告を得て後、即時議案を常務會議に提出し、罷工委員會に力めて鎭靜を持たしむる外、外交部長陳友仁に訓令し英領事に向ひ立ちどころに嚴重なる抗議を提出せしむることを議決せり。外交部は政府の令を奉て後緊急部務臨時會議を開き秘書に命じて抗議文書を起草せしめ、六日朝之を沙面の英領事に送達せりといふ。（九月六日—廣州通信—新聞報）

□雲南大理府變亂の經過

雲南麗維鎭守使羅樹昌は大理剿匪指揮官李秉陽と意見合はざるに因りて互に衝突を起し、遂に羅樹昌の叛變となり、大理府は其の占據する所と爲れり。今其の經過を聞くに左の如しといふ。

張狠匪群が楡城を擾攻多數の船隻を奪獲し海東金梭島一帶に盤踞して船隻を封禁せるの情況は十九日（八月頃）附電報にて李指揮より唐繼堯省長に報告せり。又十九日附鄧川縣知事の電話によるに、逆匪隊大光は羅樹昌の連絡を受け妄に排團長と稱し多數の股匪を脅して鄧屬江尾青索一帶に盤踞し、進みて楡鄧を伺ふの狀あり。請ふ兵を派して剿辦せられよとあり。是に於て李指揮は史營長に令し至急海東一帶に向ひ匪群を剿攻せしめたるに、該史軍は双郎より前進し江尾方面に向ひて包剿し、上關に駐防せる補充隊一連及び鄧州縣知事より派遣せる一中隊となして同じく江尾一帶に向ひ共同剿滅せしむ。八月十七日より起り二十二日に至るまでに之を剿絶するに至れりといふ。（九月十五日—新聞報）

□中國藍の產出概況

歐洲大戰の勃發當時、中國の藍業は漸次危險狀態より悲境に陷入りしが、其主因は獨逸產人造藍の競爭に勝利を得たる結果にして、而かも中國は世界に於ける藍の消費地として最も有利なる市場なり。之れ支那人の好みて藍色の服を着用するが爲めにして、外國產藍の未だ輸入せられざりし以前に在りては、中國產の藍は其約百分の七十は染色業者の買收に歸し、往時は無論中國產の上布或は外國產綿布も皆中國に於いて染色せられたるなり。一九一四年以後藍及びアニリン染料の侵入甚だしく、市場は殆んど其獨占の趨勢なりしが、然かも久しからずして輸入漸次減退し、在庫品は著しく增加せり。然るに歐洲大戰の開始せらるゝや、海港等は封鎖せられしを以

て、藍の價格日に騰貴し、一時藍業の經營者は輸入に係る在庫品を購入し、之れを他國に轉賣して著しく利益を獲得し、巨萬の富を作りしもの少なからざりき。斯くの如く輸入品は一變して輸出品となり、各國は藍の輸出地僅かに減少せるを以て、殊の外苦痛を感ずるに至り、爲めに植物性の藍業は、例へば枯木の僅かに澤を得て死地より蘇生せるが如く、一九一六年度產植物性藍は一九一四年度に比し其量百四倍となり、需要に對しても充分供給し得る狀態となり、一躍して農業及び商業上重要なる位置を占むるに至れり。然るに大戰の終局を告ぐるや、獨逸の商業漸次恢復せるを以て、藍と染料とは捲土重來し、中國の植物性藍の唯一の勁敵として又復出現し、一九二〇年度の輸入は一、三三二、六九擔より一五、三〇六、四七四擔に增加せり。歐洲大戰の結末後獨逸よりの第一回輸入は僅かに二一、五七五擔にして、第三位を占め、米國及び瑞西の下位に在りしも、一九二二年度は又其牛耳を執り、計一〇〇、三〇七擔となり、一九二三年度は八二、〇三七擔となれり。

植物性藍は中國の西北部に產し、麥の收穫後直ちに其地に種植するを最も宜しとなす、之れ即ち土地を調劑するが故なり。藍は低溫或は灌漑の得易き土地に種植するを以て、最も佳良となし、大約六月初旬に下種を行ひ、玉蜀黍と竝植し、隔列に行を成さしむるものなり。故此西部地方に在りては、一年中に三種の植物を種植するものにして、即ち麥・藍及び玉蜀黍是れなり。（泰盧門中國西北部旅行記第六章七十九頁に見ゆ）、化合染料は化學上の物質にして、中國に在りては猶未だ其取得法を知らず、且つ植物性染料の產額も限りあれども、中國の內地に在りては、普通使用の染料となせり。中國西北部の各省は皆藍を產出すれども、而かも山西省の藍は染料の含有尤も豐富にして、本省の需要を滿し、尙餘りあるを以て、陝西・河南等の諸省に移出す。藍の產出區は離石・霍縣・渾源・曲沃・太谷の地方なり。而して近年來更らに其他十餘處に於いて試驗的種植を行ひしが、其結果は天候の適せざりし爲め、成績不良なりき。山西省產藍の每年の收穫は據るべき統計無きも、輸出量は各釐金局に記錄を存し、即ち一九二二年は薛鎭より一三四、六五一斤、東陽關より一、八九七斤、風陵渡より一七〇斤、槐莘より一五〇斤、車關より五、二〇〇斤、保河偏より四四、〇四九斤、計一八六、一一七斤の輸出を見たり。其內薛鎭及び保河偏等の釐金局を通過せるものは其他各處の合計數に比較して尙巨額に上れり。薛鎭の藍は過半離石及び其附近區域より產出せるものに係り、保河偏の藍は即ち渾源及び代縣等の處に產出せるものにして、此二處は輸出の大宗たり。曲澤太谷產の藍は其半數を河南省に移出するものにして、東陽關・風陵渡・車關・槐莘等の釐金局を通過す、但し尙山西省の別縣に於ける需要にも應ずるものなり。各釐金局の報告を綜合するに、一九二二年離石は七六、〇〇〇斤を移出し、渾源は六、〇〇〇斤、曲沃は三、四四〇斤、霍縣は九八五斤、其他各處の太谷・文水等を包括して計一、三九七斤を移出せり。

以上各處より河南省に移出せるは一八六、一一七斤、陝西省に移出せるは八八、四二二斤なれば、移出の合計は二七四、五三九斤なり。此種の統計は大いに信用し得べきものにして、釐金局の多くは其數量を誤寛化し或は減少するものなれども、山西省に於いては監督頗る嚴重なれば、其報告は皆甚だ確實なり。十萬乃至二十萬斤の製成藍は本地の需要に供する外、山西省産藍の收穫は每年五十萬擔に足らざるなり。山西省は每年近隣の諸省に移出を見ると雖、而かも藍産出の重要なる省なりと見るを得ざるものにして、卽ち若し山東省を見んか、固より比肩すべくも無し。山東省は藍の産出量最近十餘年來一落千丈せしが、然かも二四、六〇〇擔の産出を有し、一八七五年度産出の山東藍を現在の市價を以て換算すれば、其價額六千萬兩に達し、尙現在の産出は十萬擔以上なり。故に藍の種植事業は、山西省の農民は猶主要農産品と視ざるなり。山西省産藍の市價は每斤六七角の間にして、大口の取引は卽ち擔を以て計り、山西省の普通市價は約六十元なり。樂平は江西省産藍の中心なり。歐洲大戰中藍の價格は每擔八十元なりしが、年と共に亦漸落し、今日に至りては藍は山西省の輸出各項中に在りても重視するに足らざるなり。山西省の行政長官は其種植を鼓吹奬勵すと雖、本省各地に運送し來る數量は每年二十萬元にも足らざるなり。藍の製造豫備手續は至極簡單にして、卽ち藍は一定の時期に收穫し、淸水を以て洗滌し、溫水を滿せる缸中に投じ、微温火を用ひて徐々に沸騰せしめ、遲くも一二時間後藍梗は深棕色より深藍色に變ず、此れ卽ち熱により梗中に含有せらる藍の漸次分離せるものにして、水中に溶解す、其飽和狀態に至れるを待ちて一木製桶に傾入し、棒を以て混和す、藍は卽ち水底に沈澱するを以て、再び上層の水を除去し、藍は卽ち布袋に入れて水分を滴下し去り、稍乾燥せる後、之れを重ねて壓搾し、更らに之れを日中に曝し、全部乾燥せしめ、最後に通風好き陰處に移し、然る時は色合始めて充分となるべく、卽ち之れを市場に賣却するなり。

四川に於ける藍の栽培は極めて普遍的なれども、農民の藍製造方法は上述せる處と稍や異なれり。卽ち刈取りたる藍梗は冷水中に投入し、竝に直ちに之れを沸騰せしめ、石灰粉を用ひて其沈澱を助くるなり。其大概はウエール氏の著書中國西方の博物なる一書中に見るべし。藍の高さ三尺に達したる時、其葉を採集して之れを冷水を滿せる一瓶中に置き、五日の後除去すれば、卽水は綠色となり、之れに石灰塊を加ふへ水を抽出しなば、卽ち染料を得るなり。

國産の藍は初め僅かに湖北の染坊(染色所)に於いて藍色用として用ひられしが、人造藍の輸入せられし後は、卽ち改めて外國品を用ふるに至れり。一九一〇年漢口に於ける輸入は計一萬三千擔、其價格四百萬兩なりしが、一九一四年は五萬五千擔に增加せるを以て、四年間に於ける增加は實に著しきものといふべく、約四倍餘に達せり。其後人造藍の需要は愈々廣くなりしを以て、植物性藍の栽培區域は愈小となれり。大戰當時獨逸よりの輸入斷絶し、國産藍は販路

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の價格に比し三倍有餘の昂騰を示せしかば、有利なりとて其種植を鼓吹獎勵せるを以て、湖北省の藍栽培區域は漸次廣大せしが、最も發展せる時期は一九一五年より一九一九に至る間とす。然るに其後人造藍は又以前の地位を恢復し、一九二三年漢口に輸入せられたる藍は六萬八千擔に達し、一九二四年一月より十一月末に至る間は十一箇月に過ぎざれども七萬八千擔に增加し、爲めに國產藍は大打擊を蒙り、大なる不振となれり。

國產藍の湖北省に於ける栽培區域は甚だ廣く、沔水(土名府河)・漢水・襄河・黃岡・黃陂・安陸・雲夢・鍾祥及び其他京山・棗陽・襄陽・宜成・均州・穀城・光華・南漳・潛江・天門・沔陽・遠安・隨縣・應山・江陵・巴東・荊州・石首・房縣・竹谿・武昌・漢陽・崇陽・蘄春・麻城・黃梅・鄂城等の各地是れなり。

土質の肥沃なるものは極めて藍の栽培に適し、生長には充分の雨量を要するを以て、大體降雨期に下種す、耕作地の土塊は粹粉すべきにして、陽曆二月十九日乃至二十日に滲沃の土及び藁を以て覆ひ、常に水を汲みて畑に入れ、乾燥の過激なるを防ぎ、四月二十日前後、長さ半尺に成長せる時、已に肥料を加へたる畑中に移植するものにして、其方法は同一穴に三四株を共に植え、每株の距離を約一尺半とす。而して除草を三四回行ひ、棉實殼灰、人糞等の肥料を加へ、勤めて灌漑を行ひ、六月二十三日葉の深綠色となれる時、始めて葉を採集するものにして、此時頭部は藍の含有最も豐富なり。葉を採集せる後は、根部より又新芽を發するを以て、九月二十三日第二回の採集を行ふ、而して其含有成分は第一回のものと同樣なり。第二回の採集終りたる時は卽ち改めて參類を種植す。

藍の製法方法は左に列記せる數種に外ならず。卽ち採集せる葉は水桶に浸し、其分量は過多ならざるを可しとし、桶は亦瓶を用ふるも宜しく、而して其浸積時間は天候の冷熱に依り一定せざれども、普通二十時間にして、葉は裏表を翻覆し、全部に充分水量を含ましめ、翌早朝葉を取出すなり。然る時は藍は卽ち水中に溶解すれども、尙桶內に石灰を加へゝ未だ溶解せざる藍をして盡く溶解せしむるなり。然れども石灰は藍質を損傷せしめ易きを以て、老練家は均しく濾過せる石灰水を之れに混和す、唯其混和手續は迅速なるを宜しとす。而して一時間後卽ち藍は皆水中に沈澱し、三四時間後水を去り、藍は卽ち桶底に殘留するを以て、竹片を用ひて之れを集め、他器に入るゝなり。

漢口に於いて販賣せらるゝ藍は四種に分れ、樂平物の價格最も高く、其品質も亦最も良好なり。巴河物は黃岡に產し、府河物は消水及び襄河沿岸に產し、黃陂物は其價格最も低廉にして、樂平物の江西省の樂平に產出するものを除きなば、其餘は皆湖北省の產出に係れり。漢口に於ける藍店は十數軒を算すべく、劉春茂は河街に設けられ、王春榮は大夾街に設けられ、共に有名なり。每年藍の產出量は僅かに一萬擔にして、近隣の武漢(武昌・漢口・漢陽)等に消費せら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れり。人造藍は其販路最も大にして、漢口に運送し來れるもの、大部分は沙市・宜昌・岳州及び各商港に轉賣せらるのみならず、且つ遠近の各村落にも消費せられり。一九二四年一月より十一月に至る輸入は計七萬八千擔にして、其內七萬二千擔は上海より轉送し來れるものに係れり。米・日品は市場にて取引せらるゝと雖、然かも最も大量に來るは獨逸品に係り、大半は百司洋行・謙信洋行より本地の藍業商に賣却せられ、更らに他處に轉賣せらるものにして、皆貨市場にて現物は取引せらるなり。

浙江省に於いて栽培せらるゝ藍は兩種にして、一は山靛と稱し、一は紛靛と稱す、山靛は藍の含有量紛靛に比して多く、其中又圓葉・尖葉・紫梗・綠梗等の名目に分れり。其種植の方法は又二種に分れ、一は播種にして、一は挿種なり。浙江省に於ける山靛の種植は比較的廣く、金華・衢州・嚴州・處州は著名にして、其餘の寧波・紹興・溫州・臺州・處州の如きも天然の利を占め、其質最も佳良なり。尙浙江省の東部は藍の產出尤も盛なり。

前清の初め藍業は甚だ繁盛なりしものにして、平均每年の產出五十萬擔にして、其値銀五百萬兩に達し、農民は自ら製造を行ひ、竹製籠に裝入して各地に輸送せり。一九〇〇年獨逸より支那に輸送し來れる藍は、卽ち鐵箱式木箱を用ひたり。一九一四年前に於ける浙江省產藍の製造は極めて僅少にして、藍の價格も亦之れに隨ひ高まりしが、外國商は卽ち獨逸產藍を廉價に平常之れを販賣し、本藍の勢力を奪ふ事に力を竭せしを以て、今日にては藍の產額一萬擔に不足するに至れり。

藍の製造者は常に山內に居住し、平原に一箇の淺池を掘り、以て製造に備へ、其一箇の池は二三軒の共用に供せり。省立改良靛青模範廠は衢州に設けられ、其內部は(一)醱酵製造場(二)沸化製造場の二部に分れ居りしが、創立以來未だ二箇年に及ばざるに、損失頗る巨額に上りしを以て、今は卽ち閉塞せり。浙江省永康には藍の製造工場あり、三良公司と稱し、工場內に醱酵池二十八箇、凝合池二箇を設け居れり。

東三省に於ける藍の產出區は二大區域に分たるべく、一は奉天の東北部卽ち長白山に沿ふ一帶より松花江に至る間にして、西豐・西安・東豐・海龍・柳河・輝奉・磐石・樺甸・雙陽・舒蘭・伊通を包括し、一は遼河の左近より京奉鐵道の沿線にして、錦州は其產出の中心地たり產額は精確なる統計無しと雖、但し各地の貿易に就きて之れを推測すれば、左記農商部の調査表を讀み、其概況を窺知し得べし。

西豐	二,000,000斤	西安	一,五00,000斤
東豐	二,000,000斤	山城	五00,000斤
柳河	六00,000斤	海龍	九00,000斤
朝陽	七00,000斤	輝奉	二00,000斤
磐石	六00,000斤	樺甸・舒蘭・雙陽及び伊通	一,000,000斤
錦縣と興城	九00,000斤	總計	九,000,000斤

最も藍の種植に宜しき土地は必ず有機物に富み、其近郊には河渠存在し、生長期には天氣温和なる處とす。東三省の藍は染料の含有約百分の三十乃至百分の六十二なり。

江西省は兵戰頻發せるを以て、藍の產出は頗る損失を受けたり。樂平より小蒸汽船に依れば、三十四時間にして九江に達す可く、產出區域は最も廣く、且つ著しく有名にして、浙江・安徽兩省の境界に近き處に於ける藍の栽培業は、歐洲大戰當時、殆んど主要農產と視られたり。一九〇〇年頃は一畝に付き十元の利益を獲得せしが、一九一七年より一九一八年頃は一畝の價格六十元にして、二十年前二十斤の藍は僅かに二三元なりしも、戰時中は即ち二十元に取引せられたり。尙該省の年產は八千擔なり。

樂平に於ける藍の採集は年三回にして、第一回は碧藍色をなし、第二第三回は即ち深藍色をなせり。莖葉は均しく、整然と排列し、絲毫も紊れず、日中に上層の枝葉を刈り取り、之れを束に結び、木管中に裝入し、棒を用ひて之れを水中に推入れ、午後三四時頃撈りて他に移し去り、翌日は水中に極めて細き石灰粉を加へ、一人にて此混和に一日を用ゆ。此種の手續は河邊に在りて之れを行ふには、水は第一管より他管に分入するを以て、其方法簡便なれども、唯石灰水の混和は難事なり。

其他の各省に於いても亦藍を產出し、直隷省は二、五〇〇擔、江蘇省は一、二〇〇擔を產し、河南・福建・廣東・廣西・雲南の諸省に於いても亦皆種植せられり。中國の總產額は邊僻の地及び分配方法の不同ある關係上、確定する事能はざれども、但し其數は頗る巨額なり。

（上海總商會月報六月號）

□支那の工業用機械市場

支那の工業用機械類輸入は、一九二二年及び一九二三年には夫々四一、三八七、〇〇〇元及び二一、九〇四、〇〇〇元に上つたが、一九二四年には（同年以後の統計は不明）一八、六七二、〇〇〇元に達したのみであつた。斯の如く一九二四年直前の各年と比較すれば頗る不況なるを示してゐるが、該貿易の大戰前各年との關係を研究する時は大いに好景氣なる事實が認められる。

一九二四年の同輸入貿易は、大戰前一九一〇—一九一三年に亘る平均年額（僅々四、六〇四、〇〇〇元）の四倍に達した。支那從來の政治的擾亂に鑑みれば、此現象は同國の著しき貿易活力を稱揚するものであり、又狀況良化と相俟つて更に新しく活躍せんことを充分に示すものである。尙該貿易の擴張は其他の亞細亞諸國と同樣に益々盛んに起りつゝある支那の工業化をも示すものである。

支那の機械貿易に對する世界の競走

世界の機械製造國の支那貿易に對する關係を研究する時、頗る明

著なる發展のあつたことが分明する。一九二四年に該市場の主要なる供給國たる英國は價格五、五一九、三八四元に上る工業用機械を支那に積出し、米國及び加奈陀は之に亞いで計三、八五九、七三一元、日本は三、五二〇、九一六元、獨逸は三、一七九、〇七五元を供給してゐる。

一九一〇年より一九一三年に至る四年間の平均に依れば戰前の狀況は次の如くであつた。

英國一、七三〇、〇五〇元、獨逸八四七、七三六元、日本四〇九、二二四元、米國及び加奈陀三三一、六二〇元

戰前の同期間と比較すれば、英國及び獨逸兩國よりの積出額は三倍以上に、日本は九倍近くに增加したるに反し、米國よりの積出は殆んど一二倍に上り、其步合は何れの供給國をも凌駕してゐる。

同市場に於ける主要供給國の地位

世界大戰以前の同市場に於ける主要供給國の地位を、一九一〇年より一九一三年に至る四年間の平均步合に依つて示せば次の如くである。

英國三七・九%、獨逸一八・三%、日本八・九%、米國六・八%

一九二四年の同貿易に於ける關係をあぐれば次の如き順となる。

英國二九・六、米國及加奈陀二〇・七%、日本一八・八%、獨逸一七%

斯くて日本は依然第三位にあるに反し、米國は第二位に昇り、獨逸は日本と相密接して第四位に暴落した。

英國・米國・日本・獨逸は、支那の工業用機械輸入の益々大部を支配するに至り、其他諸國の活動範圍は益々狹壓されつゝある。「其他諸國」の一九一〇年及び一九一一年に占めたる步合は夫々二六・八%及び二九%で、一九一二年には三五%の高步に上つたのに反し、一九二四年には僅々一三・九%に達したに過ぎない。

次表は工業用機械の支那輸入額を生產國別に揭げ、且各國貿易額の步合を示したるもので、農業・刺繡・編物及び裁縫用機械を除く機械類全部を含有してゐる。

年次	英國 價格	英國 %	米國及加奈陀 價格	米國及加奈陀 %	日本 價格	日本 %	獨逸 價格	獨逸 %	全額（其他の諸國を含む）
一九一〇	二、六六二	三六・九	六四一	八・九	六八六	九・五	一、二九六	一七・九	七、二三〇
一九一一	一、五一五	三五・五	二四八	五・八	三〇三	七・一	九六四	二二・六	四、二六五
一九一二	一、三〇五	三七・五	一三三	三・八	二八七	八・三	五二四	一五・一	三、四八一
一九一三	一、四三九	四一・七	三〇四	八・八	三六一	一〇・五	六〇七	一七・六	三、四四七

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九一四	二,五二一	四六·〇	四五六	八·四	五七一	一〇·五	七〇八	一三·〇	五,四四六
一九一五	一,一八一	四三·二	四五五	一六·六	五一七	一八·九	四	〇·一	二,七三四
一九一六	一,八五七	三八·四	八五二	一七·六	一,五七三	三二·五	七	〇·一	四,八四〇
一九一七	一,六九八	二七·六	一,四五三	二三·四	二,四九二	四〇·四	—	—	六,一六二
一九一八	一,六五五	一六·七	三,〇一二	三〇·四	四,四九八	四五·四	—	—	九,九〇四
一九一九	二,八八三	一四·五	八,九〇七	四四·七	五,〇一二	二五·一	—	—	一九,九一六
一九二〇	六,四八四	二三·二	一五,一〇五	五四·一	四,六二二	一六·五	八二	〇·三	二七,九四五
一九二一	一六,一六三	三八·七	一六,一一二	三八·六	五,四一八	一三·〇	七三二	一·八	四一,七三三
一九二二	一八,五四二	四四·八	九,六五七	二三·三	七,五八六	一八·三	二,〇九六	五·〇	四一,三八七
一九二三	八,一三一	三七·六	三,四八二	一五·九	五,〇四九	二三·一	二,三三〇	一〇·六	二一,九〇四
一九二四	五,五一九	二九·六	三,八六〇	二〇·七	三,五二二	一八·八	三,一七九	一七·〇	一八,六七二

備考　右表中の價格の單位は千元。公式支那税關統計の海關兩は次の如き基數にて元に換算された。——一九一〇年〇・六六元、一九一一年〇・六五元、一九一二年〇・七四元、一九一三年〇・七三元、一九一四年〇・六七元、一九一五年〇・六二元、一九一六年〇・七九元、一九一七年一・〇三元、一九一八年一・二六元、一九一九年一・三九元、一九二〇年一・二四元、一九二一年〇・七六元、一九二二年〇・八三元、一九二三年〇・八〇元、一九二四年〇・八一元。

大戰中米國及び日本兩國は同貿易に大なる增加を示し、一九二二年より一九二四年に至る三年間の平均より見れば、兩國現今の關係も殆んど同等である。獨逸が戰前の平均步合を殆んど取返したる事實も亦重要なるものである。

推進用機械市場の著しき發達

推進用機械（ボイラー・ターピン等）の支那輸入は、一九二三年に於ける一、二三三、二九三元に對し、一九二四年は一、五七四、九二八元に達し、殆んど二八%の增加を示してゐる。此種の機械市場は戰前一九一一—一三年に比すれば著しく發達し、戰前同期間に於ける推進用機械の平均輸入額は三九七、一〇二元卽ち一九二四年の約四分の一に過ぎない。該增加を詳說すれば次表の如くである。

支那推進用機械(ボイラー・タービン等)輸入表

年次	英國	米國及加奈陀	瑞典	獨逸	日本	白耳義	全計(其他諸國を含む)
一九一一	元 二〇三,〇二八	元 二六,九一八	元 —	元 一六,〇〇五	元 一七,三八二	元 一,九〇三	元 二九一,五八〇
一九一二	二九〇,七八三	一九,八四九	—	三一,〇八四	三一,〇六〇	三,二二五	四一九,一三〇
一九一三	二九六,九〇九	三二,〇九四	八六四	七四,九一六	三三,一六一	一九,二六三	四八〇,五九六
一九二二	一,二四九,六四四	二六四,二六六	一五,三〇二	二三七,七一〇	一八〇,五七八	六,三四二	二,〇六八,九六六
一九二三	五七五,六二三	二七八,五八四	四七,四一四	一八三,一二八	八二,一六四	一七,〇六六	一,二三三,二九三
一九二四	八〇四,六三一	二三九,六八五	二六,四七二	一二六,〇四三	七三,二二四	三三,一九五	一,五七四,九二六

推進用機械の支那市場に於ける米國の關係歩合の增加も亦著しく、一九一一—一三年間の平均歩合に比すれば、一九二四年は正に二倍餘に昇つてゐるが、一方英國は戰前同期間の平均歩合六七%より一九二四年に於ける五一・一%に減少してゐる。同市場に於ける瑞典の歩合增加も亦注目すべきで、一九一一年及び一九一二年には皆無、一九一三年には唯〇・〇〇一%に過ぎなかつたが、一九二四年には一四・五%に增加してゐる。

織物用機械輸入も戰前標準を遙かに超過す

織物用機械の輸入は、戰時及び戰後の俄景氣時期の異常なる標準より引續き齊一なる減少を示し、一九二四年には其輸入全額(四、七五六、三三六元)は一九二三年輸入額の半額に足らなかつた。然し一九二四年に於ける此種機械の輸入は、戰前一九一一年より一九一三年に至る間の平均輸入額僅々三八九、三〇一元に比すれば約一一倍餘に及んでゐる。この發展尚詳細に示せば下表の如くである。

支那織物用機械輸入表

年次	英國	日本	米國及加奈陀	獨逸	白耳義	佛蘭西	全計(其他諸國を含む)
一九一一	一五六,八〇二	三九,一〇三	四,六五五	九,八二三	—	四八七	二二五,五二九
一九一二	二二七,三六九	三七,一六九	七,三一五	三七〇	四,二五五	三八	三三九,五七五

一九一三	四九〇、六七〇	八二、一二五	一、九〇九	一五、九九五	九、六九四	三三二	六一二、九九九
一九二二	三、五九二、六一九	五、五八一、九六九	六、五六五、三三五	二六一、九八四	三二、一八四	三一、三二四	二五、三三九、三〇七
一九二三	四、九二二、八九一	三、六四六、三二七	七四六、八二六	二二七、六〇九	二四、八八六	一八三、二〇五	九、八六七、五二四
一九二四	二、一二九、二五八	一、七四七、二六五	四九一、五三二	一八四、七二二	六九、三八五	五五、七七七	四、七五六、三三六

織物用機械に於ける競爭

織物用機械の支那輸入に於ける米國及び加奈陀の供給歩合は、一九二三年の約八%より一九二四年の一〇%に増加したが、之に反して英國は五〇%より四五%に減少した。之を戰前の各年を基本さして見る時右比較は益々著しくなり、米國の戰前一九一一―一三年間の平均は唯一・六%に過ぎなかつたが、一九二四年には一〇%に増加し、一方英國は戰前同期の平均七三%より一九二四年に於ける約四五%に暴落した。

支那の織物用機械市場に特に重要視すべきは日本の關係増加であつて、戰前同期に於ける平均は一四%に過ぎなかつたが、一九二三年及び一九二四年には各三七%に増大し、其結果日本は今日此種機械の仕出國さして英國に亞いで第二位にある。

機械工具市場の激烈なる競走

支那の輸入したる機械工具は、戰前一九一〇―一三年の平均は僅々二一、二六八元に過ぎす、一九二三年に於ては三九三、五九〇元であつたが、一九二四年には五二九、八九四元に達した。此種の機械は、工業上の發展比較的大なる地方にのみ需要されるさ云ふ事實より見れば、其貿易増加は益々意義を加へ、此方面に支那のなしたる進歩を明瞭に語るものである。

該機械工具市場には激烈なる競爭があり、隨つて主要供給國の地位も年々著しく變異してゐる。一九二四年に於ては、米國が第一位にあつて其二九%、價格一五三、〇九四元を供給し、之に密接して日本は殆んど二八%、其輸入價格一四七、〇一七元を供給してゐる。然しこの狀態は一九二三年及び一九二二年に於ては全く相違し、獨逸は第一位にあつて夫々四四・五%及び三一%を供し、米國は一九二三年には第二位の順にあり、一九二二年には英國さ共に第三位にあつた。日本は一九二三年には米國に次いで第三位にあつたが、一九二二年に於ては英・米を凌駕して第二位を占めた。

貿易發展の比較

戰前の狀態さ比較する時、英國は該特殊市場に有したる優超なる地位を失ひ、一方米國及び日本は著しく利得した。一九一〇―一三年間の各國の關係は次の如くである。

英國二八%、獨逸二〇・四%、日本一一・二%、米國二・六%

左表は、該機械工具貿易に與りたる諸國の地位を尚詳細に示すも

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のである。

支那機械工具輸入表

年次	米國及加奈陀	日本	獨逸	英國	全計（其他諸國を含む）
一九一〇	—元	—元	—元	三、六五〇元	一五、〇八五元
一九一一	四〇〇	六九四	三、五八三	六、三〇四	一八、〇三三
一九一二	九八	三、〇四三	四、六五一	四、三三七	一四、五三五
一九一三	二、七五四	七、四七一	一一、〇七三	八、八四二	三七、四四〇
一九一四	七、三七一	一七、二六七	一四、二〇九	一六、一〇七	六四、九三二
一九一五	九、六〇六	二六、〇九八	—	五、六一三	四五、一四三
一九一六	一八、四八八	三九、二九五	—	八、五一〇	七七、二四五
一九一七	四四、三三三	一七三、二六九	—	一、二九二	二二四、六四六
一九一八	一八三、四一九	二五〇、六八二	—	三、二七三	四三九、八七六
一九一九	二七五、〇二四	三〇八、五七四	—	七〇、一六三	六九四、七九六
一九二〇	三七九、一六七	三九二、六二九	六、三五九	一三七、六八七	九四三、七三一
一九二一	二一一、一四九	二二九、五〇七	二五、八九九	二三二、八六七	七一四、六六六
一九二二	七〇、八一八	一二七、九五六	一六九、六三八	七一、七三三	五四六、〇〇一
一九二三	七一、一四八	六二、六三六	一七五、二四三	五九、三二六	三九三、五九〇
一九二四	一四三、〇九四	一四七、〇二七	一二八、一九八	五七、八六六	五二九、八九四

支那國別機械工具輸入步合表

年次	米國及加奈陀	日本	獨逸	英國	其他諸國
一九一〇	—%	—%	—%	二四・二%	(イ) 七五・八%
一九一一	二・二	三・九	一九・九	三五・〇	三九・〇
一九一二	〇・七	二一・〇	三二・〇	二九・三	一七・二
一九一三	七・四	二〇・〇	二九・六	二三・六	一九・四
一九一四	一一・四	二六・六	二一・九	二四・八	一五・三
一九一五	二一・三	五七・八	—	一二・四	八・五
一九一六	二三・九	五〇・九	—	一一・〇	一四・二
一九一七	一九・七	七七・〇	—	〇・六	二・七
一九一八	四一・七	五七・〇	—	〇・七	〇・六
一九一九	三九・六	四四・四	—	一〇・一	五・九
一九二〇	四〇・二	四一・六	〇・七	一四・六	二・九
一九二一	二九・五	三二・一	三・六	三二・五	四・三
一九二二	一三・〇	二三・四	三一・一	一三・一	一九・四
一九二三	一八・一	一五・九	四四・五	一五・一	六・四
一九二四	二六・九	二七・七	二四・三	一〇・九	八・三

備考 （イ）の殆んど六六%は露國及び西伯利亞より陸路輸入されたるものと記錄されてゐる。

釀造・蒸溜・砂糖精製用機械市場

支那稅關表に依つて見れば、釀造・蒸溜・砂糖製造用機械の輸入は大いに增大した。一九二四年に於ける此種類に屬する機械の輸入は、價格に於て一、一二六、八三五元を算し、之に反して一九二二年及び一九二三年には夫々二二三、一一一元及び八二、五五〇元に達したに過ぎない。戰前の一九一三年、一九一二年及び一九一一年に於て、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

輸入額の夫々三五、八四九元、二二四、三五一元及び二九、一七五元であつたのに比較すれば、尚一層大なる増加のあることを見られる。

此種機械の主要供給國は年々大改變がある。一九二四年に第一位を占めた供給國は獨逸で、其全供給額五三二、一八五元に上り、白耳義之に亞いで三〇二、八七二元、米國は二七四、九六一元であつた。然し其前年に於ける順位は次の如くであつた。

一九一三年—米國六九、二六四元、日本九、八四一元

一九二二年—日本一五九、二八一元、米國四八、一五三元

既に示したる如く、此種機械の輸入は戰前は少額であり、一九一三年及び一九一二年に於ける主要供給國は英國で其額夫々一七、七七〇元及び一〇、〇八三元、一九一一年に於ては獨逸で其額一九、一二〇元であつた。

(Commerce Reports, Aug. 30, No. 35)

比律賓

□比律賓時報

クーリッヂは比島獨立に賛成

上院議員オスメニヤは、トムソン氏をセブー商業會議所各員に紹介する際に、クーリッヂ大統領が米國の意見として若し比島が健全なる經濟的の歩調を辿るに至らば、比島から手を引かふといふ事を彼に語つたと述べた。

「白堊館で初めてトムソン大佐に面謁する光榮を有した午餐會の直前、余はクーリッヂ大統領と種々の問題に就て語つた事があつたが、其物語中彼は次の樣な事を云はれた。」とオスメニヤは述べたが、其要點を摘記すると、米國政府は比島の福祉といふ事に深甚なる注意を拂ひ、其現れとして、米國政府の方針を決定するためにトムソンを派遣せんとしてゐる、又政府は比島からは漸次手を引かふとは思つてゐるが、無限なる資源を其の儘比島人に委して置かふといふ意味ではない………と。

同じく其席に於てトムソン氏はオスメニヤにより "Man at Servi&c." と稱賛され、彼者は前者により同じく最大級の賛辭を呈せられた。(八月十九日比律賓ヘラルド)

オスメニヤは前言を肯定した

トムソン一行が當市(タグビラン)に向つてセブーを去る際にオスメニヤは隨行記者團に前言を又繰返して述べたのである。

「クーリッヂ大統領が比島から手を引かふといふ意味の事を語ら

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

れたと私が云つたのに對し、自分は何等緘口令を布かれてゐる譯でも何んでもないから、又敢て反覆して云ふ。私は自分の言葉が米國に如何に響くかといふ事を熟慮久しくして米國記者團に述べるのである」と。（八月二十日比律賓ヘラルド）

ベイコン案はブートーアン人に喜ばれない

トムソンは巡視日程に隨つてアグーサン河を遡航しアグーサン縣首府ブートーアンに至り初めてモーロー人と會見した。

其處で今度米國議會に提案されたベイコン案に就ての有力者の意見を聞いたが、或る者は北方比島より當地が分割される事があれば、むしろミンダナオが地上から影を没した方がよいと云つてベイコン案に大なる反對をなしたのである。（八月二十二日比律賓ヘラルド）

ファイヤーストンは比島を東方隨一の豐庫と見做してゐる

ファイヤーストン・タイヤ及護謨會社の社長ハーベイ・エス・ファイヤーストンは、クーリバランド・ニウス社に依つて出版された一論文中に、比律賓を目して、若し奬勵發展の適當な手段が採られるならば、東洋に於ける最も富める且繁榮なる國とする事が出來ると書いてゐる。

彼は巨細に亘つて英國の採つた護謨出産制限を分析し、米國に於けるタイヤ使用者は、自由出産時代よりも、此の制限あるがために本年だけで一三六百萬圓を餘計に支拂はねばならぬだろうと計算してゐる。又彼は一九二二年十一月以來のステイーブンソン護謨生産制限史及其れによる生護謨價格の安定問題を批判してゐる。彼は米國に課せられたる斯の如き重大なる負擔に堪へ得ずとして、比律賓に護謨栽培の可能性を調査すべく渡來した事があつたのは衆知の事實であるが、彼は先の論文中、比島の事に及んで次の樣な事を云つてゐる。

「比島は米國のみならず、比律賓自身のためにも、若し適當な投資を誘致をする樣な立法（土地法改正の意味か？）があれば機會を展開してゐるのである。土壤及氣候は理想的であつて、護謨は少規模ではあるが既にミンダナオ及バジランに栽培されゐる。故に比律賓は東洋に於ける最も立派な豐庫にする事が出來るのである」と。

（八月二十四日比律賓ヘラルド）

比島國立銀行ケソン氏に保護さる

且て國立銀行は政治家の走狗であり、ネグロスは別として他方面に於て一般利益のために盡してゐる事がないと、上院議員アレグレ氏が聲明したに對し、八月二十六日ケソン氏は之を非定したのである。

氏の論の要旨は次の如くである。

水曜の夜アレグレ氏が講演された、其要點は大體次の如くであつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

た。

一、比島國立銀行は凡ど無用の物である。

一、商業取引は殆ど行はれてゐない。

一、ネグロス地方を除いては農家に益す所がない。

一、又政治家の走狗である。

デモクラタ黨が國立銀行を盛に批判してゐた時代に於ても、斯の如き似而非理窟の批評は此れに對して說かれなかつた。余は之の言を信じない許りでなく、之に强硬な反對をしたい。

第一今日國立銀行の頭取は比律賓人であつて政治的色彩のある人物ではなく、其銀行家たる手腕によつて選ばれた人なのである。又總支配人も同様である。」

氏は其他の點に於て紛々述べたが、此處には省いて置く。

（八月二十七日比律賓ヘラルド）

トムソンはバジランの富に心を奪はる

トムソンは比律賓に於ける主要護謨生産地であるバジランの調査に終日した。彼は今度來比した調査の主要目的である護謨生産の可能性を觀察し、クーリッヂ大統領に差出す報告の根底をなす數百の事實を蒐集し得たと云つてゐる。

彼は十萬英反の護謨栽培の好適地あるに拘らず、唯二千七百英反のみしか護謨の栽培がされてゐないといふ事實を見て喫驚したのである。彼はイサベラ附近にあるバジラン護謨會社、アメリカ護謨會社及ザンボアンガ開發會社の栽培地を視察した。

彼は其地方が開發されるに先達つて道路運輸の立派な創設が確立されることが望ましいといふ意見を發表した。因に現在通行し得る道路といふのは此の栽培地を横切つてゐるものしかない有様である。

トムソン大尉はイザベラ及ポート・オーランドが此南方島嶼に於ける最良港の二であつて、此の港の有名は此の地方を「保險する」ものであるといつた。彼はアメリカ護謨會社の栽培地及バジラン護謨會社の工場を視察した。

（八月二十八日比律賓ヘラルド）

マニラ麻の前途悲觀さる

八月三十一日比律賓ヘラルド紙は、最近爪哇及スマトラに於ける麻栽培の旺盛になつた結果（生産費の低廉なる爲め）比律賓の從來の位置を奪ふであらうと傳へてゐる。元來マニラ麻は墨西哥のサイザル麻と同様天惠的に有利な立場にあり不可侵の位置を占めてゐたのであつた。然し同紙は若し適當な管理と科學的な研究及再植付を忘る事なくんば依然として獨歩の位置を占め得るであらうと云つて當業者の奮起を望んで切なるものがある。

比島一九二五年の貿易狀況

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二五年比島外國貿易は空前の記錄を作り、關税局の年表によれば關税收入は一九二四年の二一、〇一、五四一比に對し二一、七二〇、二五二比に增加してゐる。

輸入品中自動車附屬品及タイヤーの如きは一九二四年の夫に比し四十二%の激增を示して居り、乘客用自動車も同じく一九二四年の二、〇二九臺に比し二、九三四臺に昇つてゐる。

其他次の物品も下の如き割合で同じく輸入增加を見てゐる。

小麥粉三十八%、絹及絹製品二十八%、機械及其他鐵鋼製品十五%、棉花及綿製品十一%、紙及紙製品八%

輸出品中に於ては帽子の如き九十三%の增加を示し、古々椰子及椰子實は六十三%、アバカ十八%、砂糖九%等の割合を以て累進してゐる。

之は一時的變態現象でなく、健全なる步調を辿つてゐるものだと見られてゐる。（九月二日比律賓ヘラルド）

麻栽培業者比島獨立に反對す

ダバオに於ける多數の麻栽培業者は擧れて比人官憲の無能を稱へてゐたが、今回トムソン來ダバオを機とし同氏に請願書を出し、ベイコン案の通過及亞米利加統治の再現を希望した。

佛領印度支那

□印度支那月報（一九二六年九月中）

印度支那代議院の設置に就て

ヴアレーンヌ現任總督が印度支那に一の代議機關を創設せんとする意嚮あることは施政演說その他に依つて既知の事實であるが、最近稍々具體的に計劃の進捗を見つゝある模樣である。新聞紙の報道する所に依ると新設せらるべき印度支那代議院は一般豫算歲入中の一部款項に對する決議權及一般豫算歲出の監督權を行使し、議員は佛人十六名土人十六名計三十二名で、會議は佛人部會土人部會を別々に開催し最後に總會議を開く豫定であるとのことである。

印度支那簡易農民金庫の設立

九月四日總督令を以て印度支那に簡易農民金庫を設立することに決定したが、之れに依つて最大多數の土人農民の利益を保護せんとする多年の懸案が解決せられた次第である。金庫は蘭領印度に於ける金融制度の特徴を參酌したもので印度支那銀行は初年度事業資金として百萬ピアストルの出資契約を締結した。總督令の條文は左記

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の如くである。

印度支那簡易農民金庫規定

第一條　印度支那に左記の目的を有する簡易農民金庫を設置す。

一、土人に對する農業資金の貸付。

二、風水害、獸疫等天災に基く損害修復費として植民地の支出する特別基金の割當及回收につき協力すること。

第二條　簡易農民金庫は左の諸機關を包含す。

一、市町村銀行。金額百ピアストルを超過せざる短期貸付業務を擔當す。

二、府縣銀行。市町村銀行に對する資金の融通及その法定資産の管理、並に金額百ピアストル以上の貸付業務を擔當す。

三、農業資金中央金庫。府縣銀行に對する資金の融通及一般豫算支辨に依る天災に基く損害修復資金の管理を擔當す。

第三條　農業資金の貸付業務は左記の區別に依る。

一、農業資金中央金庫の貸付資金は一般豫算及地方豫算の歲入並に特に簡易農民金庫資金に充當せられたる各種の基金より之れを支辨す。中央金庫は利益を要求せず且つ貸付資金としての固有資本金を設定することなし。

二、府縣銀行の貸付資金は農業資金中央金庫の貸出金、銀行資本金、個人組合市町村及市町村銀行の當座又は定期預金より之れを支辨す。

三、市町村銀行の貸付資金は府縣銀行の貸出金及銀行資本金より之れを支辨す。

第四條　農業資金中央金庫設立に至るまで臨時左記の暫定規定を適用す。

一、市町村銀行及府縣銀行は當該地方長官の認可を得たる簡易農民金庫の申請に基き總督令を以て之れを設置すること。

二、簡易農民金庫に對し植民地より支出する資金は「印度支那銀行」に設定したる特別會計の方法に依り之れを處辨す。

第五條　本令の實施に關する諸要件特に銀行定款、資金貸付條件及利率、出納監査、第一條第二項の特別基金の管理法に就ては別に總督令又は地方長官の訓令を以て之れを規定すべし。

第六條　各地方長官、財務局長、農業牧畜山林檢閲總監は各所管事項につき本令實施の責に任ず。

一九二六年度佛本國の公債整理費

佛本國の一九二六年度豫算案に計上せられたる公債整理額は二百二億八千七百八十二萬五千六百二法で內整理公債四十六億七千七百八十二萬五千法、滿期又は年賦償還公債百四億四千六百二十六萬九千五百五十二法、終身年金公債五十一億四千三百七十三萬五千五十法である。因に右整理公債は恒久性のもので滿期又は年賦公債は年

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

崩公債か國庫證券又は國防債券より成る浮動公債である、最後に終身年金公債は戰爭恩給及文官恩給より成るものである。

佛國減債基金獨立自治法の條文

本年八月十日佛國會が財政樹て直しのため減債基金獨立自治法を憲法に追加する法案を國民議會に附議して百四十四票對六百七十一票の壓倒的大多數を以て通過したことは世間周知の事實であるが該自治法の條文は左記の如くである。

第一條　國權の組織に關する一八七五年二月二十五日憲法に左記の一條を追補す

國防債券の管理基金及公債償却基金の獨立自治法に憲法上の保證を與ふ國防債券及國庫振出證券を完濟するに至るまで次ぎに掲ぐる收入を本基金に繰入るべし。

一、煙草賣上げ純收入

二、第一次權利移轉税の附加税及特別税收入、相續税收入及法價維持獻金。

本法發布後の初年度内に於ける上記財源より生ずる收入は減債基金の最少限年額收入と定む。是等の財源につき將來減收を來たす場合はその不足額に等しき金額を最少限度とする歳出を豫算に計上すべし。

交趾支那增税案の否決

交趾支那植民地財政當局は歳入不足塡補のため登記税、假免許税、百分の一税等の新税又は增税を立案して交趾支那植民地會議に提出したが會議は之れを不可とし多數を以て議案の審査を拒絶した。當局は不取敢會議の決議を植民大臣に電稟して指揮を仰ぐことゝした。

印度支那關税問題に就て

本年一月以降中止の姿であつた印度支那關税問題に對する日・佛當局の交渉は昨今再び擡頭するに至つた。印度支那協會々長の訪問に對しブリヤン外相は本件は曾て時の外相デルカッセ氏が日本政府に對して爲したる約束の手前日本の要求に對して絶對的拒絶を以てすることは不可能なる旨を言明したとのことである。

右會見の結果印度支那協會長は印度支那各關係方面の意見を徴しいづれもその同意を得たる協會關税部委員會の調査報告書を商務省通商協約局長セルルイ氏に提出して本件の參考に供した。

因に前記デルカッセ氏の對日約束につき印度支那の排日系新聞は該約束は餘りに率直に過ぎたもので常に印度支那の利益を脅威すべき特惠税率の適用を日本に斷念せしむるためには我が關係當局の協力一致を必要とすべしと附記してゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

馬來半島

馬來の漁業に就て

本稿は一九二五年度漁業部報告を抄譯したものである。英領馬來の漁業に就ては近々W. G. David氏の編纂に係る "Fishes in British Malaya" を飜譯上梓する筈である——譯者註。

今年度漁業部の報告はトンコル（Tongkol）漁獲法の結果を示して居らぬ點では甚だ不滿足であるが、而も尚ほ一讀する價値ありと思惟するが故に茲に摘記して一般當業者の參考に供することゝする。

馬來に輸入される乾鹹魚は重に佛領印度支那及暹羅よりであるが、反對に輸出先は主として爪哇・英領印度及緬甸方面である。兩者の噸當り平均價格は過去數年間に著しく低下して居る。鑵詰魚類に關しては加州が殆んど市場を獨占し——從來は專ら葡・西の兩國より凡そ一、五〇〇噸づゝ輸入されてゐた——一九二五年度加州より當地方に供給された鑵詰の量は六、二七二噸に達し、而も贅澤品としてでなく日用品として供給され、價格も二級品と略々相匹敵する樣に低廉であるから甚だ好評を博して居る。

一方ブラチヤン（土語 Blachang）の輸入減少するや、輸出は俄に增大した。前記ブラチヤンは殆んど全部スマトラから輸入されてゐる。英領印度向輸出額は甚だしく增加し、其品質はバガン・ルアル（Bagan Laar）及其附近で採集した二等品が最も多い。

漁業部長はブラチヤンをShrimp pasteとしての鑵詰竝に調製方法の可能性に就いて目下考慮中である。

次に日本人の漁業方法に就て興味ある記述が揭げられてゐる。卽ち同年中馬來近海に於て最も成功した漁獲法は邦人のムロ網である。此方法は琉球島に住む邦人漁夫に一種特有なもので、非常な努力を要するものである。

概說すれば、該漁法は漁夫が珊瑚礁附近の深海に潛水し、適當なる場所に擴布せる網中に礁の端に沿ふて魚類を追ひ込むのである。之れには十人乃至二十名の漁夫が各人數呎每に錘のある流し網を引きずり乍ら共同して魚類を追込むのである。之の流し網は表面より次第に下部に、珊瑚礁と常に縮められて行く圓形内にある網の奧との範圍内を彼處此處へと持運ばれるのである。

主なる魚類は食用魚として著名なBream（學名Caesio）で、普通先方では "Delah" と呼んでゐる。此漁法が採用される迄本魚は殆んど漁獲されることは稀であつた。一九二五年には一、五九九・四五噸の大部分が此ムロ網によつて捕獲され新嘉坡魚市場に運ばれた。同年之等市場で賣捌かれた鮮魚の總量は六、六三三噸で、ムロ網漁量の略々四倍餘に相當する。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

之等の漁夫は、東海岸はトレンガヌー州沖レダン島からリオウ、スギ及他の蘭領諸島の各島嶼に至る新嘉坡以南、更に西海岸ではケダ州海岸沖合に在る島嶼に亘つて活動して居る。捕魚はモーター又は石油エンヂンを動力とする船舶によつて冷藏した儘市場に搬致される。漁業に從事する人員並に船の隻數は同年中に倍加し、彼南及爪哇市場も亦新嘉坡同様、之等魚類の供給を受けて居る。

過捕魚の危險なることは明白である。邦人漁夫は、大群ではないが而も多數にデラーの棲息する深海に達する事が出來ないし、又絶えず下層海から供給されて居ると、主張してゐる。併し此事は今後の調査に俟たなくてはならない、卽ち漁業部に科學的研究機關を附屬せしめ、從つて魚類の生活狀態に關する研究の必要を暗示するものである。

邦人漁夫の主張が妥當とすれば、該漁業は英領馬來を圍繞する海洋の一特色と思はれるイクシオロヂカルな狀態を破壞するものである。浮游生物の食餌及運動活潑な魚類はモンスーンの變化による影響を蒙ることも明かである。けれども他の魚類にあつては一年中を通じて溫度・光線及鹽分の變化少ない關係上中老魚の死滅する外幼魚は何等影響を受けぬと見られてゐる。斯の如くムロ網の成功せる事實は、延いて老魚を採集漁獲することによつて、前述せる如きイクシオロヂカルの狀態を攪亂する此種漁法を奬勵する傍ら、間接に幼魚をして自ら成育地を發見し、其島に於て迅速に成長する儘放置するものである事を暗示して居る。

西海岸沖の各地では十五尋以内の所で漁船シャーク號から長さ五十呎のオッター式トロールを使用してゐる。捕魚の數量は概して少量で、Daun Baharu (Drepane & Ephippus Orbis)、Kelek (Gazza, Mene)、鮐・少量のしたびらめ・若干の小えび・疣鯛等の底魚の種々がある。

引網の特長は網が損傷を免れる點であつて、多數の漁夫が行つてゐるトロール法と何等遜色がない。新嘉坡島近海でトロールの行はれるのは、網が引破られたり失はれたりして今後使用出來ないと云ふ程になつた場合のみである。第二番目の網も亦短期間使用した儘で流失した。之れは一九一一年に新嘉坡附近及リオウ海峽に二週間トロールを企てた「エス・チイー・ゴールデン・クラウン」號及一九一四年カリモン島沖海上で邦人漁夫の使用せる小トロール船等の得た經驗と相一致するものである。併し乍ら、「ゴールデン・クラウン」號が數日間南支那海上でトロールした場合程困難を極めた事はない。目下同方面では主として「トンコル」號が活動せんとしてゐる。

又シャーク號からは丁抹人の使用する大網が投下されたが、ウインチによつて投げ出される曳索の速力が遲い爲め成功を見ることは出來なかつた。

地曳網の試驗は失敗に終つた。最初ブラウ・アンサ近海に設置された限り二度と浮び出なかつた。此突然な紛失は今でも不思議な話と

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

して殘つてゐる。丁度其際一瞬間は見えた相であるが、十分間後には其姿を見ることが出來なかつた。網を投入れた場所に鉤形の鐵を入れて探つて見たけれども何の手懸りもなかつた。シャーク號を運轉する馬來人漁夫(土語Pawang)は一頭の大魚が網を引いたのだと云ふ——兩端は各々五十封度のセメント製の塊りが附屬してゐる關係上若し然うさすれば殆んど不可能な早業である——又當時網の傍で投錨してゐたエム・エル・ヒルダ號馬來人漁夫は此原因を邪神の振舞と云ひ、該場所は常々神秘的 方法によつて漁夫の網を失ふ場所であつたと主張して居る。

フレザー・ヒル附近には少しも鱒の棲む河流がない。此避暑地々帶は將來釣魚竝に渡舟の便宜がつけば更に愉快な場所となるであらう。ゴルフ場の端の峽谷には安價に湖水が設けられやう。而して河流は堰同樣な狹路から來る。併し又同地方には奔流がある、爲一湖水がゴルフ場近くの谷端に出來るものとすれば、水深は堰によつて百乃至百五十呎になる。漁業上の見地からして、相互に捌口を以て流れる樣になつた小湖又は小池及途に比較的大湖が存在することは頗る有利である。一湖水から他の湖水に行くに連れて次第に沈澱物は少く、性活潑な魚類を養魚することが最も可能である。此事に就ては各部別に試驗中である。

又カメロン高臺は鱒の養魚地として有望である。本年は此方面の可能性に就いて研究中である。

冷藏鮮魚に汽車便を以て彼南からイポー附近に運ばれるが、同地以南には稀である。新嘉坡はクアラ・ルムプールから貨車で運ばれる。又時に北東モンスーン季には彼南から海路による場合もある—但し之れは彼南に一般魚類の豐富に獲れた時に限られる。英本國の如く鐵道網が完備すれば、今より一層半島内各地に大規模魚取引が行はれる筈である。併し現在の捕魚數量は現在の鐵道設備で略々充分とされてゐる。

乾鹹魚の相場は鮮魚の半値以下に過ぎない。亞細亞人は何れかと云へば鮮魚を好望する。好況時代には鮮魚を主食し乾鹹魚類には振向もしない。新嘉坡で乾鹹魚價の著しく低廉なのは馬來諸島中其大集散地であるが爲である。マラッカ相場の高値なるは小規模に買入る結果であると考へられる。大抵マラッカ魚商人は個人的に新嘉坡に來て小量を買入れて居る。

水族館、生物學研究所及漁業部事務所として適當なる地區が得られた。卽ちラッフルズ埠頭と海岸との間の官有地選定願は未だに認可されて居らない。尙ほ又更に中央試驗場近郊に好適地を選定中である。一旦好適地が得られた場合、水族館竝に生物學研究所に要する費用は一般の醵出に仰ぐことゝ思はれる。然るときは、恰もネープルス水族館及水産試驗場が地中海に貢獻して居る如く、新嘉坡水族館竝に生物試驗所が馬來一帶の海洋研究に缺く可らざることは贅言を要せぬ所である。斯くて完成の曉にはラッフルズ大學に隣接し

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て水産大學の好適地を形成する事となるであらう。（新嘉坡フリー・プレス―九月二日）

蘭領東印度

□蘭領東印度に於ける鑛産物

蘭領東印度が埋藏する鑛物含有量に就ては精確に之を見積ること能はずと雖も、東印度が埋藏する鑛物例へば石油、錫の如きは現に蘭領東印度政府の財源たるものにして、其他の鑛物にありては將來の開發に俟つべきもの亦其數少しとせず。以下錫・石油・石炭・鐵鑛・銅其他の諸鑛物につき順次述ぶべし。

一、錫

イ、Banka 錫鑛山

スマトラ東海岸の海上にある Banka, Billiton 及 Singkep 諸島は蘭領印度に於ける主要錫生産地なることは既に周知の事項なり。而して將來此等諸島のみに限らるゝことなく、益々其採掘盛んなるべしと豫想せらるゝ所以は、スマトラ島及リオ諸島(Riouw)にも錫鑛の埋藏あることを發見せられたるによる。スマトラ島に於ける錫採掘事業は果して豫想せらるゝが如き好成績を收め得べきや否やは斷言するを憚る所なるが、リオ島に於ける錫採掘は近き將來に於て行はるべしとせらるゝ所なり。

蘭領印度に於ける錫採掘は、以前にありてはバンカ錫鑛山にては支那人により、錫の埋藏量豐富なる個所のみを擇びて轉々と採掘せしに過ぎざりしものなり。

然るに現在に於ては三百個所以上の鑛區を有し、これに勞働する支那人苦力數二萬人に及ぶ狀態であるが、往時にありては、政府はバンカ錫採掘事業に關し、たゞ表面上管轄權を有するに過ぎずして、其實際は支那人公司が錫採掘權を得て之が經營をなし居たるものなり、今日にありては蘭印政府は錫鑛採掘をなすに至り、而も政府經營による錫は其品質良好にして、錫の價格高き今日大なる所得をなし居れり。

バンカ島に於て錫の採掘行はれ居る處は同島の北東部なり。

而して此等の採掘方法については錫鑛の埋藏地なれば河床たると丘陵たるとを問はず何れも竪坑式を採用し居り、時には錫鑛が海中に迄も行き亘るものありて此採掘に對し最も都合よき機械の發明を促したるものなり。目下バンカ錫は大部分新嘉坡に送られて鑄鑛せられバンカ島にも二三箇所の鎔鑛場あり。

然れども Tanjjoeng Priok に於ける錫鑄鑛所完成の曉に於ては、新嘉坡に向け鑄鑛の爲め錫鑛の輸出せらるゝもの殆んど無きに至るべし。バンカ鑛山は錫生産の設備完備せるものにして、同

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

島産の錫は世界錫市場に於ける極上物と比肩し得べく常に高値を唱ふる所なり。

ロ、ビリトン及シンケップ錫鑛山

最近に至る迄バンカ島に近接せるBilliton島の錫鑛山は、一個人會社の所有に屬したるものなるが、蘭印政府は之に利害關係を有するに至り遂に官民合辦合資會社となりたるものにして、其名稱をビリトン聯合鑛業會社と云ふ(Gemeenschappelijke Mijnbouw Maatschappij "Billiton")。此鑛山の最初の採掘は一八五二年に初りたるものなり。採掘方法はバンカ島に於けると同樣に支那人により錫鑛の埋藏多き地點を求めて轉々採掘せられたるものなるが、掬桶浚渫方法に吸管浚渫法を併用し居れり 之に用する動力はディーゼル・エンヂン(Diesel-engine)によりて發電し居るなり。

シンケップ錫會社(Singkep tin Co.)が錫採掘權を得たるは一八八九年にして、同社の採用する採掘方法はバンカ及ビリトン錫鑛山にて採用せると殆んど同一なり。又丘陵に隧道を掘りて相當量の錫鑛を採掘し、海中よりは掬桶浚渫法によりて採掘す。

三、石油

蘭領東印度は石油の主要産出國にして、世界石油中の第五位を占む。ボルネオ・スマトラ・爪哇其他の各小島何れも多量に原油の産出あるが、中に最も主要なるをタラカン(Tarakan)となす。ボルネオ島南東の海岸なるバリックパパン(Balikpapan)は蘭領印度に於ける主要石油中心地にして、近隣地方に産出する原油は何れも此處に送られて精製せらる。粗油は油田より管を通じてバリックパパン市中に送られ、此處にて精製せられて船積され、其仕向港に送らる。卽ちバタヴイヤ石油會社(Bataafsche Petroleum Maatschappij)はBalikpapan市を造りたりとも稱し得べく、同市は同會社の存在によりて其生命ありと云ふべし。スマトラ島に於ける油田は其數多きを以て大なる注意を喚起せらるゝ所なり。

ジャムビー(スマトラ)に於ける石油生産は、目下の所現狀以上の成績は期待せられざる所なるが、同地方に於て今後幾多の油坑の發見あるべきは深く信ぜらるゝ所なり。又スマトラのパレンバン地方に於ても數多の油田あり、スマトラのアッチエーの北方に於ても油坑又多し。爪哇に於てはスラバヤ州及レンバン州の石油採掘も大なる利益を擧げたれり。蘭領東印度の石油工業に關しては嘗て本所が「蘭領東印度に於ける石油工業」一九月號本欄所載一と題して報告せり。

三、石炭

スマトラ島のオムビリン(Ombilin)、ボルネオ南東海岸にあるプールー・ラウト(Poeloe Laoet)及スマトラ島のブキット・アサム(Boekit Asam)炭山は蘭領政府經營の炭鑛にして、此の外二三私人所有による炭山ありて、此種鑛山は蘭印に於ける重要企業なり。

蘭印に於ける石炭鑛業は長足の進捗を遂げつゝあるものにし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

て、世界に於ける石炭の需要が其供給を海外市場に求むる時機至らば、直ちに蘭領印度の石炭鑛業は隆盛となるべしと思はる。現在の所採掘せる石炭は地方の消費並びに船舶の燃料用として用ひらるゝのみなれども、蘭領東印度產石炭の品質は優秀にして、事實上各方面の目的に適應せることを證明せられたり。

蘭領印度に於ける石炭鑛業は未だ幼稚時代を脫せざるも、其將來に對し期待せらるゝものなり。

四、鐵鑛

蘭領東印度は極めて大量に鐵鑛を埋藏する事は最早疑ふべからざる事實なり。然れども、此れが採掘事業をなして果して採算し得るや否やは、蘭領今日の經濟根底を基礎として疑問に屬するものなり。嘗てボルネオ南東部の鐵鑛採掘の計畫ありしが、途に放棄せられたるは、此れが採掘事業遂行上充分なる資本を獲得すること能はざりし爲めにて、目下の所此地の鐵鑛採掘計畫は全く中絕の有樣なり。

蘭領印度に於ては古代より鐵鑛の採掘は土人によりて行はれたる所にして、セレベス島に於ても同島の湖水地方に鐵鑛の埋藏あるものなりと云ふ。ボルネオ島の南東部に於ける鐵鑛生產地は好都合にも石炭を產する Pauloe Laoet に近接し、然も政府の所有たることも恰もセレベス島に於ける實情に同じ。

Poeloe Laoet の近くに Sebokoe 島ありて、均しく鐵鑛の大量埋藏あり。ボルネオ及セレベス產の鐵鑛は鐵分五〇パーセントを有し、玫瑰產の鐵鑛と同一品質のものなりと稱せらる。

チラチャップ近傍には砂鐵の生產多し。其鐵分含有量は三〇パーセント乃至七五パーセントなりと云ふ。

鐵鑛の部分は電磁石を以て集められ、斯くして得たる鐵鑛は五七パーセントの鐵と五・一四パーセントのチタンを含む。

鐵鑛は蘭領印度諸島の到る處にあるも、蘭印今日の經濟狀態はこれが採掘を許さゞるものなり。

五、銅

目下の所蘭領印度にありては、銅鑛の大發見に接せずとなすも、北部セレベス、ボルネオ西部及スマトラ島の一部は最も有望地とせられ、爪哇のマヂオン州も亦有望なりとせらるゝ所なり。銅の大量生產あるべきことを豫期せられたるチモル島は、其採掘の結果全然期待に相反したるものなるが、北部セレベスに在りては九・一パーセントを含む銅鑛五萬噸、二・五パーセントを含むもの二十五萬噸、五・六パーセントを含むもの三萬噸埋藏せらるべしとの專門家の意見なり。

六、鉛及亞鉛

鉛及亞鉛鑛は、爪哇及スマトラ島に發見せらるゝ所なり。スマトラ島のラワス(Rawas)に於て政府の調査せる結果によるも、頗る好成績を收めたるも、此島に一つ困難を生じたるは此鑛石の輸

途問題なり。即ちテワス鑛山は山間僻地にあるを以て其輸送の爲め輸送費を巨額に要するが故に、結局其採掘事業の進展を阻止せらるゝに至りしものなり。

パタン高地にあるスンガイ・パゴ (Soengei Pagoe) にありては、鐵鑛と混ぜる亞鉛鑛大量の埋藏あるものにして、其亞鉛の含有量は一一パーセントなり。又此附近に於ける鉛鑛には若干パーセントの金、銀を含有す。此鑛山の採掘事業は行はれたるも其進捗著しからざるは輸送設備の不備にあるものとす。セレベス島に於ても鉛鑛の發見あるものなるが、交通不便なるが爲め思はしき成績を收むるを得ざるものなり。

七、燐酸鑛物

爪哇の南方にある英領なるクリスマス島 (Christmas Islands) には燐酸鑛物の埋藏多しとす。蘭領東印度に於ても此方面の小島に於て若干の埋藏あり。

南セレベス島の南部 Kobia 島及爪哇チエリボン州に若干の埋藏あるも、大したものには非ず。最も豐富なる燐酸鑛物の埋藏する所は、前述のクリスマス島並びにニユーギニアの北方なるアンガウル (Angaur) にして、其近在の小諸島に於て今後續々此鑛層の發見あるべしとせらる。

八、クロミウム

セレベスの湖水地方及南東ボルネオ州に於ては、クロミウム鑛の埋藏あれど大したものに非ず。然れども、セレベス湖水地方に於ては有望なりとの説多し。

クロミウム鑛はニッケル鑛を含有するものにして、蘭領東印度の東部に多し。

九、硫　黄

爪哇プレアンガル州に於ては硫黄の埋藏多く、又ボルネオに於ても有望なる所あり。硫黄は、噴火口及死火山に其埋藏多し。然れども此採掘事業は未だ何等着手せられず。プレアンガル州の硫黄に就ては嘗て本所が「カワ・ポテ地方の硫黄」と題して報告せる所なり。

十、金銀鑛

蘭領東印度は金銀鑛の埋藏多大なりと常に傳へられ居れども、事實左程迄大なる生産國には非ざるなり。ベンクレーン州に於ける金銀鑛は蘭印に於ける金銀鑛中最良のものなり。又スマトラ島の西海岸地方に於ても此採掘行はる。

ボルネオ及セレベスに於ける砂金採取は、砂床及水路に於て行はる。

十一、マンガン鑛

爪哇島チラチヤツプ近在にはマンガン鑛の埋藏あり。其品質又良質なりと云ふ。一九二四年度に於けるマンガン鑛のチラチヤツプ港よりの輸出は、一萬噸近くに及びたり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十二、其他の鑛物

ボルネオのマルタプラ(Martapora)に於て行はるゝ金剛石採取は歐洲大戰後甚だ振はずと雖も、今後此種の採取にして大いに刺激せらるゝことあらば、其進展は期待し得べしとせらる。採取には全く土人これにあたり、馬來人及支那人之を磨く。

爪哇に於ては火山土多く、スマトラに於ては水銀、ラジユーム及 Monazite の發見せられたることありと云ふ。然れども此等の採掘事業は今後の開展に俟つ外なし。

(南洋協會報告・八五〇號一五・九・二二報告)

□一九二五年度に於ける和蘭本國の紡績と爪哇市場

"Economische Statistisch Bericht" 誌の一九二五年度和蘭の紡績と爪哇市場に關して掲ぐる處を摘出すれば、大要左の如し。

和蘭本國の紡績會社は一九二五年度初期に於ては其の操業多く且つ利潤する所多かりしものありたり。

然るに其後漸次生産減少の傾向を示し、原棉の下落と共に衣類の賣行きも減少したるを以て綿絲暴落の現象を表はしたり。斯る狀態なりしを以て綿業界は頗る不振にして遂に年末に至るも景氣恢復せず、一九二四年度と比較するときは極めて慘憺たる狀態を呈せり。機業者も年頭に於ては頗る好況に惠まれ註文は續々として殺到し、就中爪哇よりの註文は殊に莫大なるものありしを以て、隨つて其價格も高値を持續したるものなり。然れども斯る景況は年初より四・五箇月の間のみ起りたるものにて、其後爪哇に大旱魃の發生するありて、作物は其の收穫少なく土人は生活に追はるゝ有様なりしかば、綿布の需要更に減じ、加ふるにランカシヤより多量の入荷ありしを以て市場ストック充滿し、且年末に至りては市場全く沈靜し、輸入業者は此の上猶價格の下落有るべきことを虞れて盛んに賣氣に出でたる爲め、益々價格の下落を來たし、歐洲に於けるよりも却つて爪哇に於ける同一品質綿布の價格低廉なる奇現象を示したり。爪哇奥地に於ては年を通じて需要狀態概して平調なる狀態に在りたり。たゞ夏期に於ては綿絲の下落の影響を受けて其の需要一時減退したるやの感ありたるも、頓て舊態に恢復したるものなり。

玆に注意すべき事は一般流行の變遷にして、從來綿を以て製したる下着類が別種品質のものに移りつゝあることなり。

一九二五年度に於ける原棉の輸入數量は三四、一三五、〇〇〇基瓦、其の價格四八、五六〇、〇〇〇盾にして、一九二四年度は一九、四三三、〇〇〇基瓦、價格三一、〇〇〇、〇〇〇盾、一九二三年は二四、八二八、四四四基瓦、價格三八、〇九〇、〇〇〇盾を示せり。

綿絲の輸入は一九二五年度三五、二四六、〇〇〇基瓦、其の價格六

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

四、九四三、〇〇〇盾、一九二四年度は三一、八四九、〇〇〇基瓦、價格六五、五三一、〇〇〇盾、一九二三年度は一一八、三一八、〇〇〇基瓦、五一、四八八、〇〇〇盾を示せり。

因みに以下爪哇及マヅラに輸入せられたる綿絲布に於ける和蘭の地位を示さんに次の如し。

綿絲（製織用）

國名	一九二五年の地位	一九二三年（斤）	一九二四年（斤）	一九二五年（斤）
和蘭	四	五〇,〇〇〇	五六,〇〇〇	六三,〇〇〇
日本	一	七五〇,〇〇〇	一,一七〇,〇〇〇	一,三九三,〇〇〇
新嘉坡	二	三六一,〇〇〇	一六三,〇〇〇	八一,〇〇〇
英國	三	一七八,〇〇〇	一六九,〇〇〇	七三,〇〇〇

綿絲（其他の）　（單位盾）

和蘭	四	二八,〇〇〇	二二,〇〇〇	一三七,〇〇〇
日本	三	二六六,〇〇〇	三三六,〇〇〇	三八〇,〇〇〇
英國	一	一,一四三,〇〇〇	一,〇三三,〇〇〇	一,三四〇,〇〇〇
白國	二	一八四,〇〇〇	三三二,〇〇〇	四二六,〇〇〇

綿布（未晒）　（單位盾）

和蘭	三	三,一四四,〇〇〇	九三五,〇〇〇	一,一三三,〇〇〇
日本	一	七,六二四,〇〇〇	一,一四五,〇〇〇	三,五三二,〇〇〇
英國	二	二,五一四,〇〇〇	二,一七四,〇〇〇	二,一二一,〇〇〇
支那	四	一五三,〇〇〇	八二九,〇〇〇	七九〇,〇〇〇

綿布（晒）　（單位盾）

和蘭	一	二七,二六七,〇〇〇	二七,一三八,〇〇〇	三一,一五三,〇〇〇
日本	三	一,〇四七,〇〇〇	一,七九二,〇〇〇	二,三三二,〇〇〇
英國	二	一四,三三四,〇〇〇	一五,三四二,〇〇〇	二二,五八二,〇〇〇
瑞西	四	一,八八三,〇〇〇	一,三一九,〇〇〇	一,八七三,〇〇〇

捺染物（カイン・サロンを含む）　（單位盾）

和蘭	一	一,九三二,〇〇〇	一,九一〇,〇〇〇	四,〇五五,〇〇〇
英國	三	六〇八,〇〇〇	一,一四〇,〇〇〇	二,一九二,〇〇〇
英印	四	一,〇〇〇	二三,〇〇〇	一,五六四,〇〇〇
新嘉坡	二	六,五六九,〇〇〇	七,一四六,〇〇〇	三,七七九,〇〇〇

捺染物（右のものを含まず）　（單位盾）

和蘭	四	五,八二三,〇〇〇	三,八六八,〇〇〇	四,一九〇,〇〇〇
日本	二	七,五七七,〇〇〇	九,五三一,〇〇〇	一三,四三四,〇〇〇
英國	一	一五,五九四,〇〇〇	二一,八〇九,〇〇〇	二八,六七四,〇〇〇
伊國	三	五,四九五,〇〇〇	五,四六二,〇〇〇	六,九五〇,〇〇〇

（スラバヤ日本商品陳列所報告）

英領印度

□印度幣制委員會報告

The Royal Commission on Indian Currency & Finance の報告は七月一日に完成し、各員署名の上、八月四日印度及英國に於て一齊に發表された（本調査に要した諸費用參拾萬壹千留比さのことである）。

報告は第一　印度の貨幣制度
第二　印度に適する金本位制度
第三　印度中央銀行
第四　留比貨の安定
第五　其他の獻策
第六　委員會の經過
第七　獻策摘要
附錄　一、委員會に提出された印度政府の金本位案
一、金塊賣買方法
一、中央銀行業務規定案
一、發行準備の構成及運用
一、中央銀行計表様式
一、過渡期間法制案
一、Sir Norcot Warren の覺書
一、Sir Purshotamdas Thakurdas の反對意見記錄

から成る。

留比貨の安定

留比貨は金一志六片の相場で安定することになつた。一志六片は金爲替本位の場合の呼稱で、一般に慣用して理解し易いから假に之を用ゐるのであつて、英貨一磅が純金一一三・〇〇一六グレインであるから、一留比は純金八・四七五一二グレイン、となる。

X grain of fine gold = R. 1

R. 1 = 18d

£ 1 = 240d

£ 1 = 113.0016 grain of fine gold

$$X = \frac{18 \times 113.0016}{240} = 8.47512 \text{ grain of fine gold}$$

一志六片採用については例により印度人間には不滿もあるが、今更論ずる要もなからう。印度の物價は一志六片の爲替基礎として落付き、又世界の物價とも均衡がされてゐる。勞銀も漸次此の基礎に落著きつゝある。今にして物價に急變を與ふることは好ましからぬ云々が採用の主旨であつて、不良なる季節風、輸入超過の場合は紙幣發行準備の強固さ海外信用設定さによつて、爲替の安定を期することが出來るのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Rs 1 crore = £ 3/4 Million, Rs 2 crores = £ 1. ½ Million であるから、比較觀念上も不便はない。マンチエスターは早速滿足の意を表明した。一志六片維持の方法は中央銀行(過渡期間は印度政府)が金

輸送點で金貨國宛爲替を又は金塊を賣買するのであつて、其何れに

するかは中央銀行の選擇による。爲替の上の金輸送點は大體 1/6. 3/1 で、下の金輸送點は 1/5. 3/54 見當である。中央銀行金塊買相場は純金 1 tola Rs 21—3—10 である。卽倫敦英蘭銀行賣相場八十四志十一片四五を標準とし、一留比一志六片の平價で計算したものである。或は一志六片平價の爲替を以て、英蘭銀行から金塊を買ひ印度までの諸費用利息までを加算したものと見てもよい。上の金輸送點で金塊を買うと云ふ所以である。

金塊賣相場は爲替上の金輸送點又は以上に在る場合は右の平價の相場である。中央銀行が何等損失なしに補充が出來る相場である。爲替が上の金輸送點より下つた場合は、右の平價の相場に運賃諸費用利息等百分の一・一六二五を加算した相場 Rs 21—7—9 である。或は 1/5. 3/4 の爲替で英蘭銀行から金塊を買つて、其地で引き渡す相場と見てよい。卽ち下の金輸送點で金塊を賣ると云ふ所以である。右は倫敦渡しの場合であるが印度內地渡しとなると右の平價の相場に、二重の諸費用利息を加算した Rs 21—11—9 となる。蓋し中央銀行が 1/5. 3/4 の爲替で英蘭銀行から金塊を買つて、印度內地に補充する費用である。

一箇年四億留比、二千萬オンスの金塊を輸入する大きな金塊市場を有つから、中央銀行が常に平價で金塊を賣出すとなれば、最も安い賣手となることを意味し、金準備は忽ちにして空虛となる虞があ**る。從て爲替の維持も出來なくなる。**

左に金塊賣買相場計算式を示す。

○ Buying rate for gold

1 tola of fine gold = 180 grains of fine gold

480 grains of fine gold = 1 oz of fine gold

1 oz of fine gold = 84s 11.45d (Bank of England selling price 77s 10.5d par standard oz)

1s 6d = R. 1

$$1 \text{ tola of fine gold} = \frac{180 \times 84s\ 11.45d}{480 \times 1s\ 6d} = \text{Rs } 21.23\,9583$$

= Rs 21—3—10 (aprox)

○ Selling rates for gold

爲替が上の金輸送點に在る場合は、Selling rate に同じ。

(1) for delivery London Rs 21.239583×(1+.011625)

= Rs 21.484375

= Rs 21—7—9

(2) for delivery Bombay Rs 21.239583×(1+.02325)

= Rs 21.7334

= Rs 21—11—9

○ The gold points

$$\frac{\text{Reserve Bank selling price (L' don)}}{\text{Bank of England buying price per 77s 9d}} = \frac{21.484375\times480}{4.240909\times180}$$

=17.76555d per Rs. or

Rs. 18.50929 to £ 1 (say 1/5 49/64)

$$\frac{\text{Reserve B'k buying price (B' bay)}}{\text{Cost in Bombay of gold, B'k of England}} = \frac{21.239583\times480}{4.297221\times180}$$

=18.20893d per Rs. or

Rs. 13.18035 to £ 1 (say 1/6 13/64)

中央銀行の金塊賣相場は英蘭銀行賣相場 1 fine ounce に付 88s—11.45d を標準とするが、印度市場へは南阿から直接金塊を輸入さる。英蘭銀行の相場にて普通一オンスに付一片安く買付が出來又諸費用も少くて濟むから、中央銀行の賣相場は市場の相場に比して割高となる。

爲替 1/6 3/16 のとき中央銀行賣相場

Rs 21.239583 or Rs. 21—3—10

同　同　南阿から輸入相場

Rs 21.207375 or Rs. 21—3—38

同　1/6 5/32　同　同

Rs 21.2439 or Rs. 21—3—12

同　1/6 3/16 以下の時中央銀行賣相場

Rs 21.7334 or Rs. 21—11—9

同　1/5 3/4 の時南阿から輸入相場

Rs 21.785092 or Rs. 21—11—9

卽ち中央銀行に金塊を買付ける場合は、非常時を除いては甚だ稀であり、金準備の減少を憂うる必要はなく、中央銀行は金塊と金爲替との間に選擇權を有つから、非常時には金塊賣出を中止することも出來る。金融繁忙期には却て市場から中央銀行に金塊が流入し、通貨の擴張を助けるであらう。然し爲替が 1/6 5/32 では旣に南阿輸入も割安ではないから、爲替はそれ以上に上る可能性がある。中央銀行買相場は常に Rs 21—5—10 の平價率であるから下の金輸送點 1/5 3/4 の維持も心配はない。

金塊運送費の計算は左の通りである。

	From London at B'k of England or to London (B'k of England)	From south Africa at Durban	From N. Y. at Mint
	per cent	per cent	per cent
Freight	15s 0d	12s 6d	10s 0d
Insurance	2 3	1 3	3 25
Packing, etc.	0 3	0 3	—
Mint Charges	—	—	1 25
Bank Charges	—	—	0 6
Interest @ 5% 21 days L' don Durban 35 ds. N. Y.			
	5. 9	5. 9	9. 7

ブローカーを通す場合は更に 1/8% 仲買手數料加算。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

金塊の賣買には一日四百オンス（一萬トラ）以上といふ制限がある。金爲替賣買も亦右相當額以上と制限される。

近來政府は所謂印度手形の倫敦に於ける賣出を中止して、臨時印度で磅爲替を買入れて居たが、平衡を保つ爲め印度市場に於て公衆入札によつて磅貨爲替を爲すべしと提議してゐる。

印度政府は八月七日貨幣法、一九二二年）を發布した。これは一九二六年十一月一日から效力を發するもので、一九〇六年の印度鑄造法及び一九二三年印度紙幣法を更正すると共に、政府に金塊賣買の權限を附與するものである。即ち一志六片金塊本位は最早議論の時でなく、市場の不安を除く爲めに迅速決定するを機宜に適すとしたのである。

中央銀行

中央銀行として Reserve Bank of India を新設し、通貨の管理、政府勘定の收支送金事務取扱、金塊又は爲替の賣買、商業手形の再割引等を爲さしめる。現在中央銀行(Imperial Bank of India)あるに拘はらず、別に中央銀行を設立するは通貨管理には相當嚴格な要件があるので、現在の Imperial Bank of India の定款變更が必要である。又同行は最近商業銀行として發展しつゝあるに付、過重の拘束を受くるを好まぬかも知れぬとの考慮からである。Imperial Bank of India で必要な條件を受諾するとなれば、其間再考の餘地があるかも知れぬ。Sir Norcot Warren が Imperial Bank of India の Managing Governor の資格を離れた個人として、此の報告に署名することの當然な覺書を特に附記したのは、此の案が最後的のものでないことを感ぜしめる。政府は Imperial Bank of India とも協議の上今秋の議會に具體案を出すであらう。中央銀行案中に注意すべき點が一、二ある。

二箇以上の適法の署名ある手形の再割引を奬勵することで、これを棉花資金に利用し得れば好都合である。

次に印度で業務を營む銀行は印度に於ける要求拂の債務に對し其の一割期限付債務に對し其三分を最小限度として中央銀行に準備預金を殘すこと、及び毎月末貸借對照表を中央銀行に提出せしめることで中央銀行をして Banker's Bank として監督權を發揮さすのである。外國銀行も其の圈外に立つことは出來まいと思はれるのである。

金塊本位制度と通貨

通貨は從來通り紙幣及並留比銀貨とし、金本位制度維持の爲め此等通貨は直接金塊と交換し得ることにする。金は通貨として流通させない、これが今度の Gold Bullion Standard の要點である。

留比銀貨も紙幣も從來通り無制限の強制通用力を保つが、一磅及半磅の英國金貨は法貨として認めない。英金貨は現在法制上法貨であるが、印英爲替が二志を維持し得なくなつて以來、一磅金貨を十留比として支拂に用ゐる者はなく、金塊の代用として其純分で取引されるのに過ぎない。今之を法貨から除いても、それは單に形式上のことで實際に影響する所はない。

一留比銀貨に無限の强制通用力を認めたのは委員會の苦心の存する所である。政府の報告に依れば、一留比銀貨は政府保有の約九億を加算して三十五億乃至四拾億留比內外ある。約二十五億は死藏されてゐる。今留比銀貨の强制通用力を奪ふとすれば、死藏の約二十五億の銀貨が一時に出て來て金との交換を要求する。其金塊の準備も困難であるが其受入れた銀塊は甚しく銀塊市場を壓迫する。現在印度三億の民の大部分が價値貯藏に用ゐて居るのは多くは銀の裝飾品である。銀價の急激に暴落と貨幣制度の改革は、支那人の金塊買入を刺戟し、銀價の慘落、印度國民の富の減少を甚だしからしむると同時に、金本位制度維持の爲めの金塊買入を困難ならしむ。それ故に一留比銀貨の無限の强制通用力は之を存置して除々に回收するを得策とする。將來其流通額が甚しく減少する曉に始めて其の强制通用力に制限を加へることにする。

金本位になつた以上紙幣は原則として金と交換するべきで一留比銀貨に交換する義務はないが大きな通貨を少さな通貨に交換を請求された場合差支なき限り銀貨を渡してもよい。これは渡す方の者の勝手であるが現在の政府紙幣は銀貨と交換する條件で發行したのであるからこれが存續する間は銀貨と交換する義務も存續する。之の政府紙幣は五年の後は强制通用力を失ひ其後は政府に對してのみ支拂ひ得ることゝする。中央銀行は政府の支拂保證のある新紙幣を至急發行すべきである。

尙昨年來停止した一留比紙幣を再び發行する。一留比紙幣を一留比銀貨と交換することは、金本位制度の下に於ては無意義であるから其義務を認めないが、金塊とならば交換する。印度人間にはかくては一留比紙幣の流通性が阻害されると批評する者もある。結局は時の力が彼等を啓發するのである。

以上の如く制度の變更も實際には現狀と大差がない。土を耕す印度三億の民をして恐らく何の變化をも知らしめないで濟むであらう。金貨を流通せしめない點で、印度人間には失望の聲を聞く Gold Standard in Name と皮肉を云ふ者もある。金貨を流通せしむる爲めには一時に多額の金塊を購入する必要あると共に銀塊市場を不當に壓迫する虞がある。金貨を流通せしめず、準備に多額の金を保有する方が信用設定の彈力性を多からしめる。最初から金貨を流通さしてはならぬ、漸進的に金準備を增加し、將來實力が出た時には金貨流通は差支ないが、其時には既に金貨流通の必要を感じないであらう。金融制度の進んだ國では法律上金貨はあるが實際には流通の必要を認めて居ない。但し金本位を周知せしめる爲めに三年又は五年の期限で金塊引渡しの貯蓄債券を賣出すことを奬める。勿論請求によりては金塊の代りに通貨で支拂つて差支ない。これは又金銀を死藏するから開放するであらう。

要するに金貨を流通さすよりは餘り費用をかけず又金銀市場に急激な變動を與へないで徐々に紙幣發行準備を豫圖にすることが賢明

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

な策である。

紙幣發行準備

紙幣發行準備改革の要點は從來の Paper Currency Reserve と Gold Standard Reserve とを合併し、金及金貨證券による準備を增加して全體の四割以上とし、銀及銀貨證券による準備を漸減するのである。尙銀貨回收償却の爲め五億留比の準備を設ける。

紙幣發行準備の制度に三種ある。一は Fixed Fiduciary System といひ、一定額までは公債其他政府に對する債權證券を準備として紙幣を發行し、其れ以上は金額金準備を以て增發を許す制度で、英國が一八四四年以來採用してゐる制度である。此制度は、彈力性を缺ぐ印度の如き膨大な農業國にては、農作物に要する資金も巨額に上り、又其の需要の期節も偏倚する。又信用制度が充分發達せず小切手の利用が盛でないから、發行券の制度はより彈力性に富むものを必要とする。米國又は南阿で Federal Reserve System と呼ばれて歐洲諸國でも採用してゐるのがある。これは全額の三割又は四割の金又は金貨證券を準備とすれば足るのであるが、運用宜しきを得ないと不當な通貨膨脹又は收縮を齎すことがある。故に印度には Proportional Reserve System がよい。發行券金額と留比銀貨償却準備金五億留比とを準備責任額とし、其の四割以上は金又は金貨證券、殘餘は留比銀貨並びに印度政府留比貨公債又は大藏省證券を以て準備とするのである。

一九二六年四月三十日の印度の發行券並びに其準備構成は左の通りである。

Liabilities	Rs crores	Assets	Rs crores	Rs crores 1/6
Note issue	185	Silver	85	85
		Rupee Securities	57	57
		Sterling Securities	21	28+53=81*
		Gold	22	30
			185	253

*£40,000,000 の Gold Standard Reserve を 1/6 にて換算し、これを基礎として左の如き變更を加へる。

一、Liabilities 中に留比銀貨償却準備として先づ五億留比を計上する。此の額は留比銀貨償却と共に漸減する。

、Assets の方は全 Liabilities に對し次の如く定める。

イ、金及金貨證券準備は全 Liabilities の四割以上とする。

ロ、其内金は全額の二割五分を最少限度とする。然し最初からこれが實現は困難であるから二期に別ちて五年後には二割以上、十年後には二割五分以上、常に三億留比を下らざることゝする。

ハ、留比貨證券は全額の二割五分を超えず、又五億留比を最高限度とする。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二、留比銀貨は左の四期に別つて漸減する。但し全 Liabilities の一割以内ならば必ずしも減少しないでよい。

第三年の終りまでは　　七億留比を最高限度とする。
爾後第六年の終りまでは　　五億留比　〃
〃　第十年の終りまでは　　三億五千萬留比　〃
〃　第十年以後は　　二億五千萬留比　〃

三、實行の方法

イ、銀貨及留比證券を減少し金及金貨證券の合計を全體の五割以上にする爲めに、七千萬留比の留比公債を除いて金貨證券にする。直に金貨證券に差換困難ならば印度政府は取り敢へず硬貨大藏省證券を發行して乘換の上差入れる。

ロ、現在一億五千萬留比の準備過剩を減少する爲め、先づ銀塊又に銀貨を準備中より引き上げ政府に於て保管する (Retain)。

ハ、前掲準備制限額以上に留比銀貨が還收された場合には之を政府に引渡し保管せしめる。この場合政府は銀貨五留比に對し四留比の割合で紙幣金塊又は金貨證券を準備に繰入れる。殘り一留比分は留比銀貨償却準備の責任額を減少する。

ニ、準備の銀貨が缺乏し、尙必要の場合は政府之を供給する。此の場合は前の逆で五留比銀貨に對し政府が四留比を受取り、留比銀貨償却準備責任額を一留比增加する。

斯の如くにして五億の留比銀貨償却準備責任額が全滅した場合は死藏されてゐた二十五億の留比銀貨を回收し盡し、十億乃至十五億の銀貨が流通又は發行準備中に生き殘つてゐることになる。

四、以上實行の結果新制度の最初に於つては準備構成は左の如くなる。

Liabilities		Assets		
Note issue	185	Silver coin	67	
Rupee Redemption	50	Rupee Securities	50	
		Gold Secrities	88	118 = 50%
		Gold	30	
	235		235	

右は四月末現在を基礎としたものであるから、愈々實行に際しては其の時の準備構成狀態を見て適當の加減をなすべきは云ふまでもない。

此の Report が一志六片を採用したことも金塊本位制度を採用したことも餘り財界に衝動を與へなかつたが、準備構成の點は大きな波動を世界市場に齎した。五年間に金塊準備を二割以上とすることは約五億の金塊を必要とする。現在約三億を保有するから結局五年間に二億の金塊を新に蒐集することになる。一年平均四千萬留比、百八十七萬 Tolas 七十一萬オンスである。一箇年四五億留比の金塊を輸入する印度としては必しも困難な額ではあるまい。

現在準備に保有の銀貨八億五千萬留比を先づ七億留比に減じ、三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

年の終りまでには更に五億留比に減ずることは、三年間に三億五千萬留比の銀貨を引き上げることである。約一億二千萬オンス、一年平均四千萬オンス印度が年々輸入する銀塊を八千萬乃至一億オンスと見るときは其の約半額となる。印度支那紐育銀塊市場の暴落を來したのは此の News である。然し Report の何れの部分にも引き上げた銀塊の處分に就ては何事も云つて居ないが、唯附錄中の印度政府の金貨本位制度案には次の如く述べてゐる「十年間に約二十億留比の銀貨を引き上げると六億八千七百萬オンスの銀塊となり、世界年產額の約三倍に達し、金貨本位制度の爲めには費用も要するから之を處分するとしても十年以上に亘る長い期間に亘らればなるまい、そして平均一オンス二四片位は得られるであらう云々」。

此度の金塊本位制度は費用も餘り要らないから處分を急ぐ必要もない。尙回收した銀貨は政府に於て保管(retain)するとしてある。又準備に銀貨が乏しくて必要とする場合には政府は供給の義務があるとしてゐる。卽ち將來印度財界が發展して通貨の膨脹を要する時期が來るかも知れぬが、其の場合準備として銀貨は全 Liabilities の一割迄は許されるから、割合から云へば銀貨準備は減じても實際處分される銀貨の數は左程多くないかも知れぬ。印度の紙幣流通額は最近十年間に二倍になつて、戰前に比較すると二倍半である。或は十年の後には三四十億の銀貨を流通して敢て過多を感ぜぬ程にされるかも知れぬ。又八・九・十年の長い歷史を有つ銀貨に對し、印度人の愛著が急に減ずるとも思へない。尙香港、アフガニスタン、波斯、イラック、埃及、東阿等實際銀貨の流通し、又將來發展の餘地ある國々が英國の勢力範圍に在る。處分される銀貨の一部は Open Market に出でないで此等の國々へ流れ込むかも知れぬ。

印度の銀準備減少の報傳はつて米國筋は市場維持の自信を失つた樣である。當市場では米國の投賣を怖れて急に弱氣配に轉じた。元來 Gold Bullion Standard は、印度國民の富を維持し銀市場に急激な變動を與へない希望の下に推奬されてゐるから、遠からず其の眞意が徹底する時が來るであらう。然し過去に於ける銀貨騰貴の事情を見るに印度政府の購銀が動因となつてゐることが多い。今此の重大原因を失つた事は銀貨の將來に對する大打擊であり、印度は年々輸出超過を續け、其の銀塊輸入を斷たないであらうが、唯一般嗜好が漸次金塊に轉換しつゝあることは事實である。支那は內亂の爲め財界不振であるが、海外よりの送金と外債とに惠まれた國であつて、其銀塊輸入も年々續くであらう。然し將來銀價騰貴に際しては、印度政府保有の餘剩銀が常に眼の上の瘤とならう。之が銀價の大勢は漸落の運命に在りと云ふ所以である。

一般物價は騰貴する傾向があるといはれてゐるが、銀も亦一の商品である以上他の商品並の騰貴はあるかも知れぬ。實際には注意すべき點であるが、これは銀價の問題でなく寧ろ金價の問題である。

(寧滬銀行孟買支店報告一九二六・八・一三)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其他

□英帝國領土内に於けるカポックの生産狀況（二）

カポックの種子

カポックを商品として仕上げる迄には多量の種子が得られる。此の種子は多量の油分を含んで居るから、毯毛が其地方的使用に供せられて居る諸國に於ては、油が種子から摘出され、料理用及其他の目的に用ひられてゐる有樣である。蘭領東印度に於ては種子が重要なる歲入の源を形成して居り、一九二四年に於ては一四、〇〇〇噸、價額九七、五〇〇磅のものが爪哇及マヅーラから輸出され、其中一千噸の物が英本國に船積されたのである。

トラヴアンコール・馬來聯邦州・ゴールド＝コースト及ザンジバールからの種子の見本が英帝國領土内資源調査會（Imperial Institute）に於て試驗されたのである。其結果は次に揭げてある通りであるが、爪哇カポック種子及油と棉花種子及油の比較を含めて置いた。

	カポック種子及油 トラヴアンコール	馬來聯邦州 1	馬來聯邦州 2	ゴールドコースト	ザンジバール	並等	棉花種子及油 並等
種子							
溫度 %	一一・四	一三・八	一三・九	一三・二	一二・七	—	—
油含有量 %	二四・三	二〇・〇	一八・八	二四・七	二一・〇	二一—二五	二〇—二四
油含有量（無水種子） %	二七・四	二三・二	二一・六	二八・四	二四・〇	—	—
油							
攝氏十五度に於ける比重	〇・九二二七	—	—	〇・九二六	〇・九二四	〇・九二二—〇・九三三	〇・九二二—〇・九二五
酸化價	三〇・九	五四・一	六一・〇	六・一	三六・〇	不定	不定
鹼化價	一九二・二	—	—	一九三・五	一九四・二	一八九—一九五	一九二—一九五
沃度價 %	九〇・四	—	—	八九・六	一〇一・五	八五—九四	一〇五—一一五
非鹼化物 %	一・二	—	—	—	—	—	〇・八—一・八

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

風折度（攝氏四十度）	一・四六三	—	—	—	—	一・四六〇五—一・四六七	一・四六四八—一・四六五五
脂酸の凝結度攝氏	二九・八度	—	—	—	—	二〇—二三度	三〇—三七度

之によつて見れば一般的にカポック油は棉實油と似て居る事が解る。之を精製した後には、食料油に供せられ其他石鹸製造及棉實油の利用せられて居る所に用ひられる。英本國には順調なるカポック種子市場があり又馬來聯邦州から本會向に送付された物はリバープルに於て一九二五年三月爪哇カポックの取引値段即ちシー・アイ・エフ噸當十一磅十五志で賣渡されたのである。種子の取引狀況に附て本會は次の樣な事を報道を得た。即ち普通の場合に爪哇に於ける栽培カポックから得られた種子は不足量を四%內外含んでゐるといふ事實があるに拘らず、英國に於ては値段の割引される事なしに船積された物の中二十五%迄の損失が許容されるといふ事である。

種子から油を取つた殘滓は家畜の好い飼料となるが、然し棉實殘滓よりは幾分劣つて居り、混合飼料として使用せられるのである。

資源調査會での、トラヴアンコールから得られた飼料の組成は次の通りであるが、例によつて、商業用カポック種子糟及殼を除かない棉實糟との比較をすると次の通りである。（單位%）

	トラバンコール種より得られたカポック・ミール 本會で分析したる分	トラバンコール種より得られたカポック・ミール 七%の油を含める物	商業用カポック糟	殼を除かない棉實糟 (1)
濕氣	一三・八	一三・九	一三・八	一三・八
粗類似蛋白質	三二・七	二六・二	二六・二	二四・六
油脂	〇・五	七・〇	七・五	六・五
炭水化物（其他）	一九・八	一八・四	二三・二	二九・三
粗纖維	二六・八	二五・一	二三・二	二一・二
灰分	六・四	六・〇	六・一	四・六
營養率	一:〇・六 一〇三	一:一・二 一一三	一:一・五 一〇七	一:一・六七 一〇五

此の糟は肥料價の組成が豐富であり、佛領印度支那での含有物は次の通りである。

窒　素	四・五
過燐酸（P_2O_5）	一・六
ポタッシュ（K_2O）	一・五

印度カポック實（Bombax malabaricum）からは眞のカポック實から得られた物と同樣な油を得られ幾分之に優る。此の殘滓糟は豐富な類似蛋白質を有して居りカポック種子糟よりも價値の多い飼料となるのである。

其他の副產物

眞のカポック木は輕且軟く土人さへも殆んど之を用ひない。一時製紙原料にしたら如何かといふ樣な話があつたが、當地の製紙會社での試驗の結果が非常に不滿であつたのであり、從つて之からパルプを製造する事は餘りよくないと考へられて居る。最近の事であるが佛蘭西での試驗の結果三〇%の晒パルプを得、之から普通の物を得られたといふ事である。

若葉及根は土人藥にせられ一方赤褐色の纖維を含んでゐる樹皮は時々土人により結帶用に用ひられるといふ事である。

帝國內各地に於ける生產狀況

亞　細　亞

眞のカポックは西及南印度、緬甸の濕潤地一圓に生長してゐるが、劃一的に栽培されてゐるといふ譯ではない。毯毛の內國商業は頗る發達したが、諸外國へ船積される分は極少量に限つて居り、之も既に述べた如く、Bombax Malabaricum に限られて居る。資源調査會で試驗した結果によつて推知すると、印度で生產される眞のカポックは良質の物である。一九〇六年マドウラスからの見本を試驗して見たが、カポック仲買人は良質爪哇カポックと一步も讓らないと考へてゐた。又トラヴアンコールからの見本が最近資源調査會に屆いたが之れも評判がよいのである。

印度からのカポックの輸出―といつても重にベンゴール及孟買からであるが―は一九二三＝四年に於て一、六九二噸、價格一三六、〇〇〇磅であつた。之の中四四八噸は英本國に、二七二噸は和蘭に、二一〇噸は獨逸に、一九六噸は佛蘭西に、一四〇噸は伊太利に、一一〇噸は合衆國に、七三噸は濠洲へ積出されたのであつた。

倫敦市場に於ては二種の格付が認められて居り、カルカッタと孟買とが此れである。ダブル・クリーンド・カルカッタ・カポックは最近封度當一志から一志〇片½の相場を實現して居り、爪哇種よりも三片安いのである。

Eriodendron は錫蘭に於て普通に發見せられる所であり廣く分布されてゐる。之は水準線二、五〇〇呎或は其以上の所に茂つてゐるが、低い或は中間の高地に於て最もよい結果を得るのである。又村落の庭とかエステイトなどで境界用として使用されてゐる。錫蘭か

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ら輸出するカポックは極少量であつて最近三百噸位で其の多くは和蘭へ送られる。品質は印度及瓜哇カポックの中間である

馬來の或る部分に於ては、カポック樹が百姓達により驚くべき多數栽培されてゐるが、茲に於ても殆ど自家用のみしか使用されてゐない仕末である。農務省は最近輸出貿易を樹立する可能性について、綿密な研究をなし、存在してゐる木から莢を集め、毯毛及種子を販賣する計圖を初めたのである。然して當局は栽培狀況によつてカポックの利益ある生産を見る事が出來ると主張して已まないのである。

現在馬來には十萬本の木があると推算せられてゐる。之を詳細に云ふと、スランゴール（重にクワラ・スランゴール）七、五〇〇本、パハンに三、八〇〇本、ペラに六二、〇〇〇本（其中四〇、〇〇〇本はペラ河附近、二〇、〇〇〇本はクリアン附近）、マラッカに七、〇〇〇本と彼南に六、一〇〇本（其中四、〇〇〇本はバリック・プラオ）あると推測されてゐる。其中結實期に達した物は四分の三あつて重に右に括弧で示した地方に存在する。然して此の地方では馬來人に、莢を收穫し市場向の毯毛を生産する方法を敎へる努力があるさうである。

モーリテイウスに於ては可成良質のカポックが生産されてゐるが、しかし甲蟲の被害があつたため、此の木の栽培は中止されたのである。其植物園で生長したPamplemoussの毯毛が一九〇六年資源調査會で試驗された所、爪哇カポックより漸や暗色を呈して居り光澤・色澤共に劣つて居た。

阿弗利加

西阿弗利加に於けるカポック樹は巨大なる型に迄成長し、之を凌駕する物は二三のマホガニーあるのみである。之は西阿弗利加英國植民地に發見せられ、常綠・落葉樹混合林の兩方に發見せられる。トーゴーランドを除いては毯毛を規則的に蒐集する事はされてゐないらしく思はれる。然しトゴーランドのカポックは獨領時代に特別の注意を拂はれ、種子は土人間に廣く分布されたのである。此の木は北方トゴーランドのマンゲ・ジュンディ地方全體に存在してゐるが、此の地方から莫大なる輸出をする迄には鐵道の敷設を待たればならぬのである。戰前に於けるトゴーランドから少量即ち一九一三年には九噸の輸出があつた。然し之は重に野生の木から採取されたと云はれてゐる。トゴーランドからカポックの少量が英帝國資源調査會に一九一六年送付され、商業上の見地からして總べての點を檢討した所他の物とは劣らず、相當な値段で賣渡す事が出來たのである（詳細は一九一七年インピーリアル・インスチイテユートの報告を見よ）。英領西阿弗利加に於けるトゴーランド及其他の地方共輸出の爲めに原料を蒐集し、精製する事を土人に敎へるのは望ましい事である。然しながら毯毛の品質を保持するために莢を劃一的に蒐集する事及土人が現在自家用の使用に供してゐる樣に落脫莢の蒐集を許さない樣にしなければならん。最近ゴールド・コースト及カムビヤから資源

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

調査會へ送られた材料を試驗した所、若し適當な注意さへ拂はれば、此等の地方から良質のカポツクを得る事が出來るといふ結論を得た。

東阿弗利加に於ては、カポツクの規則的栽培がタンガンイカに於て目論まれた。戰前に於ては、本産業は漸增の趨勢を辿つてゐた、卽ち一九一〇、一一及一二年の栽培面積は夫々一、七三五英反、三、四五八英反及六、五八〇英反、輸出は夫々一二、二八、五二噸となつたのであるが、現在の栽培面積については何等報告がなく、戰時中及戰後に於て象のために大被害を蒙つたと云はれてゐる。然し現在本產業が再生しつゝある徵候は確にあるのであつて、一九二四年を以て終る四年間の輸出量は六、三〇、三二及五二噸であつた。並の農務當局はカポツク木が棉花の害蟲を庇護する事があると云つて、本產業の擴張を喜んでゐない樣に思はれる。

カポツクはケンヤの沿岸地方に充分に成育し普通ザンジバールの境界線として用ひられてゐると云はれてゐる。ザンジバールの官有栽培地からの絨毛は英本國に輸出されたとの事である。

此木は又スーダンに於て繁茂し、モンガラに於て得られた絨毛は一九一七年本調査會で試驗された結果、爪哇カポツクに優るより物が出來る事が明らかになつた。（續く）

□最近の世界産糖額の見積

左表はウイルレツト・アンド・グレー（Willett & Gray）會社の見積に依るものである。

國名	一九二五—二六（單位噸）	一九二四—二五（單位噸）
北米合衆國	一三四、四四七	七九、〇〇二
ポルトリコ	五三五、〇〇〇	五六九、七六〇
ハワイ群島	六八九、二八六	六九二、八〇四
ヴアージニア群島	七、〇〇〇	七、二〇〇
玖馬	四、九〇〇、〇〇〇	五、一二五、九七〇
英領西印度及トリニダツト	二三五、〇〇〇	一六九、六二八
バルバドス	四五、〇〇〇	四九、三二五
ジヤマイカ	五七、六七五	四二、八四二
アンチグア	三一、八〇〇	一七、三〇〇
セント・キッツ	一三、〇〇〇	一五、三六三
其他の地方	七、五〇〇	九、〇〇〇
佛領西印度・マルチニック	四五、〇〇〇	四七、九九〇
グアデループ	四〇、〇〇〇	三六、九九〇
サンドミンゴ	三五〇、〇〇〇	三二一、七五〇
ハイチ	一三、五〇〇	八、二八〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

墨西哥	一、九〇二、八六二	一、六五五、三三三
中部亞米利加・グアテマラ	二五〇、〇〇〇	二五五、五六二
其他の中部亞米利加	六二一、五〇〇	七三三、二〇〇
南亞米利加・アカララ	一〇二、〇〇〇	九〇、八七四
スリナム	一〇、〇〇〇	一〇、二〇〇
ベネツイラ	一九、〇〇〇	一九、〇〇〇
エクアドル	一六、九六六	一八、七〇〇
ペルー	二六五、〇〇〇	三一〇、五三三
アルゼンチン	三九五、七三三	二四六、七一七
プラジル	六五〇、〇〇〇	八二三、四九三
全亞米利加計	八、六六二、六九九	八、八七八、四五一
□		
英領印度	二、九三三、〇〇〇	二、五四八、〇〇〇
爪哇	二、二七八、九〇〇	一、九七七、四九〇
◎臺灣及日本	四九八、四六〇	四五八、八三六
比律賓	四三五、〇〇〇	五八一、〇六四
全亞細亞計	六、一二五、三六〇	五、五六五、三九〇
□		
濠洲	五三二、三四四	四三五、六八〇
フイジー群島	九〇、〇〇〇	一〇〇、八一〇
濠洲及ポリネシア計	六二二、三四四	五三六、四九〇
□		
埃及	九五、〇〇〇	七九、九一八
アウリチウス	二四一、二三〇	二三四、七一〇
レウニオン	五九、〇一五	五三、三八〇
ナタール	二一三、八〇七	一四五、九七四
モザンビック	七〇、〇〇〇	四四、二六八
全亞弗利加計	六七九、〇四二	五四五、二六〇
□		
西班牙本國	九、〇〇〇	八、〇八七
甘蔗糖計	一六、〇四七、四四五	一五、五三三、六七八
甜菜糖		
獨逸本國	一、六〇〇、〇〇〇	一、五七五、六八四
チエッコ・スロバキヤ	一、五三〇、〇〇〇	一、四〇九、七〇三
オーストリー	八〇、〇〇〇	七五、四四三
ハンガリー	一六二、〇〇〇	二〇二、三五四
佛蘭西	七四九、九二〇	八二七、四七二
白耳義	三三五、〇〇〇	四〇〇、一〇五
和蘭	三一〇、〇〇〇	三二九、二四四
露國及ウクライナ	一、〇四一、九〇三	四五八、三七五
ポーランド	五九〇、〇〇〇	四九四、八五四
瑞典	二〇四、五〇〇	一三五、二七〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

丁抹	一七九,九九八	一四〇,九九五
伊太利	一六三,〇〇〇	四三三,四三九
西班牙	二四三,九三九	二六〇,〇〇〇
瑞西	六,三九五	五,九〇六
ブルガリア	二八,〇〇〇	三九,七五八
ルーマニア	一一〇,〇〇〇	八六,二五六
英國	五一,一四〇	二三,七三〇
其他の諸國	九四,四六五	一九一,九〇七
歐洲計	七,四七九,二六〇	七,〇七九,四八五
北米合衆國	八〇四,四三九	九七四,一八五
加奈陀	三二,四七五	二六,二〇〇
甜菜糖總計	八,三一八,一七四	八,〇八九,八七〇
甘蔗及甜菜糖合計	二四,二六六,三六一九	二三,六二三,五四八

□

世界産額の増加見積	七四八,〇三一	三,五〇七,四三九

(Korte berichten voor Landbouw, Nijverheid, en Handel. Sept. 10, '26. No. 37.)

■北　　米■

一九二五——二六年度に於ける米國外國貿易
Foreign Trade During the Fiscal Year 1925—26. (Com. R. No. 33, Aug. 16, '26. P. 394.)

墨西哥の護謨
Mexicaansche Rubber. (L. N. e. H. No. 37, Sept. 10, '26.)

世界通商競爭者としての米國
The U. S. As A World Trade Competitor. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 2, Sept. 11, '26. P. 32.)

米國の繁榮するは何故か
Why America Prospers ? (1) By Bertram Austin and W. Francis Sloyd. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 4, Sept. 25, '26. P. 94.)

アメリカ印度人の亞細亞的起源
The Asiatic Origin of the American Indian. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 4, Sept. 25, '26. P. 89.)

■阿　弗　利　加■

阿弗利加の護謨生産
De Rubberproductie van Afrika. (L. N. e. H. No. 34, Aug. 20, '26.)

南阿弗利加の經濟的進捗
De Economische Vooruitgang van Zuid-Afrika. (L. N. e. H. No. 35, Aug. 27, '26.)

南阿弗利加に於ける甘蔗糖工業
Zuidafrikaansche Rietsuikernijverheid. (L. N. e. H. No. 37, Sept. 10, '26.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

De Javanen-emigratie. (H. N. v. d. D. Sept. 2, '26.)

蘭領印度の珈琲
Koffie in Nederl-Indië. (L. N. e. H. No. 36, Sept. 3, '26.)

湖川に於ける淡水漁業
Binnenvisscherij. (S. Hb. Sept. 3, '26.)

總督の交迭
De Wisseling der Landvoogdij. (S. Hb. Sept. 4, '26.)

熔鑛爐設立計畫に就て
Het Hoogoven-plan Nogeens Onder de Loupe. (H. N. v. d. D. Sept. 6, '26.)

總督事務の引繼き
De Bestuurs-wisseling. (H. N. v. d. D. Sept. 7, '26.)

統治權の移轉
De Bestuurswisseling. (S. Hb. Sept. 7, '26.)

一九二五年に於ける蘭領東印度の護謨
Dutch East Indies Rubber in 1925. (N. C. D. N. Sept. 8, '26.)

フォック前總督の出發
Het Vertrek van Mr. D. Fock. (H. N. v. d. D. Sept. 8, '26.)

フォック前總督の訣別の辭
De Afscheidsrede van Mr. D. Fock. (S. Hb. Sept. 8, '26.)

漁業界に於ける競爭
De Strij'd in de Visschers-wereld. (S. Hb. Sept. 8, '26.)

新任總督の演說
De Rede van den Nieuwen Landvoogd. (S. Hb. Sept. 8, '26.)

爪哇の人口過剩狀態
De Overbevolking op Java. (S. Hb. Sept. 9, '26.)

新任總督の歡迎と統治權の引渡
Ontvangst en Bestuursoverdracht. (S. Hb. Sept. 9, '26.)

國家の財政問題
'S Lands Financieele Vraagstukken. (S. Hb. Sept. 11, '26.)

濠　　洲

濠洲に於ける石油戰
Een Petroleumstrijd in Australie. (L. N. e. H. No. 34, Aug. 20, '26.)

■歐　羅　巴■

英　　國

英領土に於けるカポック栽培の增加
Bevordering van de Kapokcultuur in het Britsche Rijk. (L. N. e. H. No. 34, Aug. 20, '26.)

英領土に於ける綿花栽培の增加
De Bevordering van de Katoen-cultuur in het Britsche Rijk. (L. N. e. H. No. 37, Sept. 10, '26.)

太平洋に於ける英國の防備
La Défense Anglaise Dans le Pacifique. (F. I. Sept. 12, '26.)

船舶仲買人問題（ジエー・エフ・フオセツト氏の演說）
The Problems of Ship-brokers. (N. C. D. N. Sept. 14, '26.)

和　　蘭

和蘭の殖民政策
Dutch Colonial Policy. (C. E. T. No. 3288, Aug. 26, '26. P. 605.)

佛　　國

國債償却のため佛國は植民地賣却の必要ありや
Pour que la France Paie Ses Dettes…Doit-elle Vendre Ses Colonies ? (F. I. Aug. 25, '26.)

露　西　亞

西伯利亞縱貫鐵道
The Trans-Siberian Railway. (C. E. T. No. 3287, Aug. 19, '26. P. 586.)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

比律賓に於ける米國の護謨栽培
L'hévéaculture Américaine aux Philippines. (le C. S. Sept. 10, '26.)

新銀行の設立力說さる
Creation of More Farm Banks Urged. (P. H. Sept. 10, '26.)

米•比兩國の關係を決定する會議の必要
Conference on Sound Philippine-American Relations is Urged. (P. H. Sept. 11, '26.)

スティムソンは次代比島總督と豫想さる
Stimzon Looms As Next P. I. Governor. (P. H. Sept. 11, '26.)

ケソンは遣米委員會の首領に推されん
Quezon to Head Coming Mission. (P. H. Sept. 12, '26.)

蘭　領　東　印　度

爪哇古蹟の話
The Story of Ancient Java. By Dr. W. F. Stutterheim. (I. O. Vol. VII. No. 8, Aug., '26. P. 439.)

ボルネオ•バリト河溯航の記
Borneo's Barito. By L. M. Smith. (I. O. Vol. VII. No. 8, Aug., '26. P. 448.)

一九二七年度の豫算
De Begrooting voor 1927. (K. S. No. 4, Aug., '26.)

一九二五——二六に於ける爪哇銀行の年度報告
Het Jaarverslag van de Javasche Bank over 1925/26. (K. S. No. 4, Aug., '26.)

蘭領印度に於ける國民信用制度
Het Volkscredietwezen in Nederl-Indië. (K. S. No. 4, Aug., '26.)

住民に對する砂糖工業の價値
De Waarde der Suikerindustrie voor Bevolking. (S. Hb. Aug. 16, '26.)

新總督の着任
De Nieuwe Gouverneur-Generaal. (S. Hb. Aug. 16, '26.)

蘭領に於ける農業指導
De Landbouw-voorlichtings Dienst. (S. Hb. Aug. 17, 23, '26.)

和蘭及蘭領印度に於ける貨幣制度
Het Muntwezen in Nederland en Nederl-Indië. (S. Hb. Aug. 18, '26.)

バンタム州に於ける不穩狀態
De Onrust in het Bantamsche. (H. N. v. d. D. Aug. 18, '26.)

ニューギネア探險日誌
De Nieuw-Guinea Expeditie. (H. N. v. d. D. Aug. 24, '26.)

爪哇及マヅラに於ける主要土人農產物の收穫及植付
Oogst en Aanplant der Voornaamste Inlandsche Landbouwgewassen op Java en Madoera. (H. N. v. d. D. Aug. 25, '26.)

農業指導部及其の事業
De Laddbouwvoorlichtings-dienst en zijn Werk. (S. Hb. Aug. 25, '26.)

七月中に於ける土人農產物の收穫及植付
Inlandsche Landbouwgewassen Verslag over den oogst en Aanplant in Juli. (S. Hb. Aug. 26, '26.)

土人護謨調查
Native Rubber Investigation. (N. C. D. N. Aug. 28, Sept. 20, '26.)

日本農園に於ける苦力虐待事件
De Koeliemishandelingen op een Japansche Onderneming. (H. N. v. d. D. Aug. 28, '26.)

Dr. Henri, François, Rudolph Hubrecht 氏の談話"印度は彼の良友の一人を失へり"
Dr. Henri, François, Rudolph Hubrecht "Indië Verloor een van zijn Beste Vriend" (S. Hb. Aug. 30, '26.)

スラバヤの日本人漁業
Het Visscherijbedrijf te Soerabaja. (H. N. v. d. D. Sept. 2, '26.)

爪哇人のスマトラ東海岸移住

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Indian Currency Reports—I. The Problem of the Ratio. (S. Aug. 14, '26. P. 249.)

印度諸港の發達
Indian Port Developements. (Com. R. No. 33, Aug. 16, '26. P. 430.)

印度幣制改革委員報告(其二)
Indian Currency Report—II. The Standard. (S. Aug. 21, '26.)

印度幣制委員會は金本位を推奬す
Indian Currency Commission Recommends Gold Standard. (Com. R. No. 34, Aug. 23, '26. P. 502.)

一九二五年に於ける錫倫島の輸出物產
De Exportproducten van Ceylon in 1925. (L. N. e. H. No. 35, Aug. 27, '26.)

■南洋諸島■

比律賓

宗教上の歷史
Murder By Punctuation. By P. A. Hill. (I. O. Vol. VII. No. 8, Aug., '26. P. 465.)

クーリツヂは獨立に贊成すとオスメニヤは云ふ
Coolidge Favours P. I. Independence, Osmeña Declares. (P. H. Aug. 19, '26.)

オスメニヤは前言を肯定す
Osmeña Ratifies Coolidge Remark About Withdrawal. (P. H. Aug. 20, '26.)

ベイコン案はブータン島人に喜ばれず
Bacon Bill Denounced By Butuan Speaker. (P. H. Aug. 22, '26.)

ファイヤーストーンは比島を亞細亞の豐庫と見てゐる
Firestone Sees in P. I. Richest Country in Asia. (P. H. Aug. 24, '26.)

比島國立銀行ケソン氏に保辯さる
National Bank is Deffended By Quezon in Speech in Senate. (P. H. Aug. 27, '26.)

拒否權の濫用問題化す
Abuse of Veto Power is Assailed. (P. H. Aug. 29, '26.)

トムソン•バシラン島の豐庫に目を奪はる
Thompson Struck By Richness of Land in Basilan. (P. H. Aug. 28, '26.)

ベイコンは法律の大改正を要望す
Bacon Wants Big Changes in Law. (P. H. Aug. 28, '26.)

比島はジョンズ法十年祭を祝す
Islands Celebrate Tenth Anniversary of Jones Law. (P. H. Aug. 29, '26.)

マニラ麻業の衰退目に見ゆ
Fall of Hemp Industry in P. I. is Seen. (P. H. Aug. 31, '26.)

一九二五年の貿易は比島の記錄を作る
1925 Big Year For P. I. Trade. (P. H. Sept. 2, '26.)

麻栽培者は比島の獨立に反對す
Hemp Men Are Againt P. I. Freedom. (P. H. Sept. 3, '26.)

米、砂糖、甘蔗の收穫記錄を作る
1925 Crops Break Records. (P. H. Sept. 4, '26.)

比島官制に大變更加へられんとす
Big Changes Planned in Government. (P. H. Sept. 4, '26.)

糖務會議は多數の議題を有す
Sugar Convention Has Big Topics to Discuss. (P. H. Sept. 5, '26.)

糖務會議は明日より開らかれん
Sugar Meet Will Open To-morrow. (P. H. Sept. 5, '26.)

比島の砂糖は脅威さる
P. I. Sugar is Menaced. (P. H. Sept. 8, '26.)

糖業者は比島銀行に援助を希求す
Sugar Men Look to Bank of P. I. For Aid. (P. H. Sept. 8, '26.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那革命までの廣東の貢獻
Canton's Contribution to the Chinese Revolution. By John C. Griggs. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 4, Sept. 25, '26. P. 92.)

列强に對する支那の關係
China's Relations to the Great Powers. By Harold S. Quigley. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 4, Sept. 25, '26. P. 100.)

武漢の圍攻(2)
Siege of Wuhan. By Bruno Schwartz. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 4, Sept. 25, '26. P. 108.)

佛領印度支那

一九二六年上三個月間に於ける佛印貿易
Mouvement Commercial de l' Indochine. (A. T. Aug. 31, '26.)

交趾支那に於ける養蠶業
L'éducation du ver à Soie en Cochinchine. (le C. S. Sept. 4, '26.)

馬來半島

青年期の馬來
Young Malaya. (C. E. T. No. 3287, Aug. 19, '26. P. 590.)

極東に於ける航空路の調査
Aerial Surveys Work in the Far East. (S. F. P. Aug. 21, '26.)

英領馬來協會議事
Association of British Malaya. Fruture Position of F. M. S. (S. F. P. Aug. 23, '26.)

新嘉坡の懷古(其三)
Glimpses of the Past—Part III, IV. By R. S. K. and G. C. I. (S. F. P. Aug. 25, Sept. 4, '26.)

英領馬來に於ける印度人の勞力
La Main d'Oeuvre Indienne en Malaisie Britannique. (le C. S. Aug. 30, '26.)

馬來の漁業と漁法
Malaya's Fisheries. Fishing Methods. (S. F. P. Sept. 2, '26.)

聯邦州に對する新政策の意義
The "New Policy" for the F. M. S.—Part I, II, III. By Sir G. Maxwell. (S. F. P. Sept. 14, 15, 16, '26.)

暹羅

そのかみの盤谷
Other Days in Bangkok. (P. T. Aug. 21, 28, Sept. 4, 11, '26.)

暹羅•印度支那間の新條約
Siam and Indochina. (P. T. Aug. 28, '26.)

暹羅の道路
The Road of Siam. (P. T. Sept. 8, 10, 11, '26.)

暹羅の商業概觀
Commercial Outlook in Siam. (P. T. Sept. 9, '26.)

暹羅の土地法に就て
Siam's Land Laws. (P. T. Sept. 9, '26.)

暹羅灣に於ける漁業工業
L'industrie de la Pêche Dans le Golfe du Siam. (le C. S. Sept. 9, '26.)

一九二四——二五及一九二五——二六年度の暹羅外國貿易
Foreign Trade of Siam. (P. T. Sept. 13, 14, '26.)

英領印度

英領印度の稅金の研究
Het Britsch Indische Belastingonderzoek. (K. S. No. 4, Aug., '26.)

印度の工業用機械輸入狀況
Industrial Machinery Imports of India. (Com. R. No. 32, Aug. 9, '26.)

西部カシアワールの新港(印度)
New Port for Western Kathiawar, India. (Com. R. No. 32, Aug. 9, '26.)

印度の農業は徐々科學的方法を採用しつゝあり
Indian Agriculture Adopting More Scientific Methods. (Com. R. No. 32, Aug. 9, P. 373.)

印度幣制改革委員會報告(其一)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

A Study in Chinese Principles of Education. By Monlinchiang. (C. R. Vol. LVII. No. 9, Sept., '26. P. 641.)

支那各邇に於ける政治上の發展
Political Developments in China. (C. W. R. Sept. 4, 11, 25, '26. P. 111.)

二十五年間一等陸軍國たる支那
China A First-class Military Power in Twenty-five Years. Henry J. Reily. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 1, Sept. 4, '26. P. 6.)

一九二六年———七月間の米合衆國向支那輸出
China Exports to U. S. A. for January—July, 1926. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 1, Sept. 4, '26. P. 12.)

雲南鐵道の營業成績
L'exploitation de la Ligne du Yunnan. (F. I. Sept. 6, 7, '26.)

楊子江流域に於ける孫傳芳將軍の形勢
The Situation in the Yangtsze Valley-An Interview with Marshal Sun Chuan-fang. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 2, Sept. 11, '26. P. 34.)

孫傳芳と白寶山との共同一致
Sun Chuan-fang and Pei Pao San in Perfect Accord ! (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 2, Sept. 11, '26. P. 36.)

何故に支那關稅會議は失敗せしか
Why the Chinese Tariff Conference Failed ? By Dr. Yoneda Minoru. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 2, Sept. 11, '26. P. 37.)

一九二六年七月十一日及三十一日間の上海勞働爭議の概說
Summary of Shanghai Labor Troubles Between July 11 and 31, 1926. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 2, Sept. 11, '26. P. 44.)

朱寶山逝去
Death of Chu Pao San. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 2, Sept. 11, '26. P. 46.)

奉天の溷沌たる財政
Mukden's Chaotic Finance. (N. C. D. N. Sept. 13, '26.)

廣東人の勝利と將來
The Cantonese Victory and the Future. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 3, Sept. 18, '26. P. 59.)

新聞通信社の戰
The Battle of the News Agencies. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 3, Sept. 18, '26. P. 60.)

支那饑饉救濟策としての受胎調節
Birth-Control As A Relief for Famine in China. By Charles Dailey. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 3, Sept. 18, '26. P. 62.)

支那は米國化しつゝあるか
Is China Being Americanized ? By Sewis S. Gannett. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 3, Sept. 18, '26. P. 63.)

僻遠なる甘肅に於ける政治、軍事、宗教及ソヴイエツトの影響
Politics, Militarism, Religion and Soviet Influence in Far Off Kansu. By Vincent De Quayle. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 3, Sept. 18, '26. P. 64.)

南方支那に於ける英支人の衝突
British-Chinese Conflict in South China. By F. K. Wu. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 3, Sept. 18, '26. P. 66.)

武漢の圍攻(1)
The Siege of Wuhan. By Bluno Schwartz. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 3, Sept. 18, '26. P. 74.)

前週間の支那の地位の發達
Development in the China Situation for the Past Week. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 4, Sept. 18, '25. '26. P. 110.)

國民黨とは何ぞや
What is the Kuomintang ? By Dr. C. C Wu. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 4, Sept. 25, '26. P. 90.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

世界に於ける金產額
L'ordans le Monde. (le C. H. Sept. 8, '26.)

日本さ英米海軍軍備
Le Japon et les Armements Navals de l'Angleterre et des Etats-Unis. (le C. S. Sept. 9, '26.)

珈琲の前途
De Vooruitzichten voor Koffie. (L. N. e. H. No. 37, Sept. 10, '26.)

油椰子の將來
The Future of the Oil Palm. (N. C. D. N. Sept. 17, '26.)

■亞　細　亞■

一　般

政變を以て沸立てる亞細亞
Asia Seething With Political Change. By Sir F. Whyte. (C. H. Vol. XXIV. No. 6, Sept., '26. P. 845.)

日　本

極東市場の覇者日本
La Conquête des Marches d' Extrême-Orient. (O. F. May—June, '26.)

日本の玩具工業竝に其輸出狀況
Japanese Toy Industry and Export Trade. (Com. R. No. 33, Aug. 16, '26. P. 410.)

支那關稅會議の失敗に就て日本人は英國を責む
Japanese Accuse British for China Tariff Failure. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 2, Sept. 11, '26. P. 31.)

支　那　及　香　港

滿洲の新鐵道
The New Railways of Manchuria. (F. E. R. No. 8, Aug., '26. P. 347.)

蘭印の機械市場
Machinery Markets of N. E. I. By J. F. Van Wickel. (F. E. R. No. 8, Aug., '26. P. 373.)

二十年間に於ける滿洲
Manchuria in Twenty Years. By Dr. K. Uyeda. (F. E. R. Vol. XXII. No. 8, Aug., '26. P. 341.)

上海外國貿易の衰退(一九二五年)
Decline in the Foreign Trade of Shanghai. (Com. R. No. 32, Aug. 9, '26. P. 375.)

雲南に於ける一九二五年度錫取引
Yunnan Tin Trade in 1925. (E. E. No. 8, Aug. 12, '26. P. 250.)

廣東香港間、和平豫想
Canton and Hongkong. The Prospects of Peace. (C. E. T. No. 3287, Aug. 19, '26. P. 589.)

一九二五年の上海貿易
The Trade of Shanghai in 1925. (N. C. D. N. Aug. 28, '26.)

廣東航業規則
Canton Shipping "Rules". (N. C. D. N. Aug. 28, '26.)

天津の貿易狀況
Trade Conditions in Tientsin. (Com. R. No. 35, Aug. 30, '26.)

內部より見たる支那
China Seen from the Interior. (N. C. D. N. Aug. 30, Sept. 1, 3, 7, '26.)

滿洲に展開されつゝある紛擾
Complications Developing in Manchuria. (N. C. D. N. Aug. 31, '26.)

列强に對する支那の關係
China's Relations to the Great Powers. By H. S. Quigley. (C. H. Vol. XXIV. No. 6, Sept., '26. P. 866.)

支那革命に對する廣東の寄與
Canton's Contribution to the Chinese Revolution. By J. C. Griggs. (C. H. Vol. XXIV. No. 6, Sept., '26. P. 872.)

外來宗教さ支那人の敎化
Foreign Religions and Chinese Culture. By Chiang Liu. (C. R. Vol. LVII. No. 9, Sept. '26. P. 619.)

支那の敎育主義の硏究

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及南洋記事
海外重要記事索引

臺灣總督官房調查課

■ 新聞雜誌略號一覧表 ■

A. T. L'avenir du Tonkin. (Aug. 25—31, '26.)

B. T. Bangkok Times. (Aug. 21—Sept. 14, '26.)

C. E. T. China Express and Telegraph. (No. 3287, Aug. 19, '26.)

Com. R. Commerce Reports. (Aug. 9—30, '26.)

C. R. Chinese Recorder. (Sept. '26.)

C. W. R. China Weekly Review. (Sept. 4—25, '26.)

E. E. Eastern Engineering. (No. 8, Aug. 12, '26.)

F. E. R. Far Eastern Review. (No. 8, Aug. '26.)

F. I. France-Indochine. (Aug. 21—Sept. 12, '26.)

H. N. v. d. D. Het Nieuws van den Dag. (Aug. 18—Sept. 11, '26.)

I. O. Inter Ocean. (No. 8, Aug., '26.)

K. S. Koloniale Studie. (No. 4, Aug., '26.)

le C. H. Le Courrier d' Haiphong. (Sept. 8, '26.)

le C. S. Le Courrier d' Saigonais. (Aug. 21—Sept. 10, '26.)

L. N. e. H. Landbouw, Nijverheid en Handel. (Aug. 18—Sept. 10, '26.)

N. C. D. N. North China Daily News. (Aug. 26—Sept. 20, '26.)

O. F. Océanies Française. (May—June, '26.)

P. H. Philippine Herald. (Aug. 12—Sept. 12, '26.)

S. Statist. (July 31—Aug. 21, '26.)

S. F. P. Singapore Free Press. (Aug. 19—Sept. 18, '26.)

S. Hb. Soerabajasch Handelsblad. (Aug. 15—Sept. 11, '26.)

* * *

■ 世　　界 ■

一　　般

一九二五——二六年月別國際貿易
International Trade by Months, 1925—26. (Com. R. No. 34, Aug. 23, '26. P. 462.)

世界の造船は最下點にあり
World's Shipbuilding Nadir. (N. C. D. N. Aug. 26, '26.)

世界的砂糖市場
The International Sugar Market. (C. E. T. No. 3288, Aug. 26, '26. P. 603.)

世界の航業進步せず
World Shipping Unimproved. (Com. R. No. 35, Aug. 30, '26. P. 530.)

支那の工業用機械市場
Industrial Machinery Market of China. (Com. R. No. 35, Aug. 30, '26. P. 536.)

世界砂糖狀況
De Wereldsuikersituatie. (L. N. e. H. No. 36, Sept. 3, '26.)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN